WILLCOM

取扱説明書

形名 **WS007SH**

かんたん操作ガイド

SHARP®

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、ウィルコムサービスセンターまでご連絡ください。
別添の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この『取扱説明書』をよくお読みになってからご使用ください。また、この『取扱説明書』は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役にたちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き一切その責任を負いません。
- 当社は、この製品において内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果に関しては、いかなる保証も致しかねますので、あらかじめご了承のほどお願い申しあげます。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化・消失するおそれがあります。
- 次のことを必ずお守りください。
  重要な内容は必ず控えを取っておいてください。動作確認済みの市販のminiSDカードにバックアップ(保管)することができます。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」(☞0-7ページ)を必ずお読みください。

携帯電話・PHS端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず右記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご注意!

- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客様の情報(電話帳、通信履歴、メールなど)は事前に消去してください。

公衆サービスについて

ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときは、契約手数料がかかります。また、契約申込後は毎月の基本料金と通話料がかかります。

くわしくは、下記ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ●ご契約内容(加入、変更、引越等)
- ●オプションサービス
- ●この製品の紛失
- ●基本料金・通話料等
- ●サービスエリア
- ●その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

受付時間:9:00〜21:00
(日・祝日を除く)
この製品から……………………局番なしの116(無料)
一般加入電話・公衆電話から…0120-921-156(無料)
(携帯電話・PHSからもかけられます。)　番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

ウィルコムのデータ通信に関してのお問い合わせ窓口

受付時間:9:00〜21:00
(日・祝日も受付)
この製品から……………………局番なしの157(無料)
一般加入電話・公衆電話から…0120-921-157(無料)
(携帯電話・PHSからもかけられます。)　番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

もくじ

2 インターネットやメールを使うための準備

3 電話

4　メール

5　インターネット

6 PIM 機能

7 映像と音楽

8 パソコンとの連携

9 その他の機能

10 設定

11 付録

この製品には、本書で説明している以外に次のプログラムがあります。

- Word Mobile
- PowerPoint Mobile
- Excel Mobile
- Picsel PDF Viewer

これらの説明は、付属のGetting Started CDに収録されている『Windows Mobile 5.0 Office アプリケーションマニュアル』または『Picsel PDF Viewerマニュアル』をご覧ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図表示の意味

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

⃠ 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

■ WS007SH本体の取り扱いについて

⚠ 警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。

- 万一、異物(金属片・水・液体)が製品の内部に入った場合は、まずACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- 指定のACアダプターや充電池をご使用ください。指定以外のACアダプターや充電池などを使用すると、火災・事故の原因となります。

この取扱説明書の用紙は、再生紙を使用しています。

⚠警告

- 屋外で雷が鳴っているときは、使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

- 交通事故の原因になりますので、自動車・バイク・自転車などを運転中は使用しないでください。自動車・バイク運転中の使用は法律で禁止されています。自動車・バイク・自転車などを安全な場所に止めてからご使用ください。

- 航空機など使用を禁止された区域では電源を切ってください。航空機内での使用は禁止されています。

- 通話するときは周囲の安全を確認してから、使用してください。安全を確認せずに通話すると、転倒や交通事故などの原因になります。

- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどから離して携行および使用してください。
  電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

- 満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、この製品の電源を切ってください。
  電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。
- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
  - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、この製品を持ち込まないでください。
  - ・病棟内ではこの製品の電源を切ってください。
  - ・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、この製品の電源を切ってください。
  - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

- 自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器に影響を与える場合があります。
  ご注意していただきたい電子機器の例：心臓ペースメーカ、補聴器、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。心臓ペースメーカやその他医療用電子機器をお使いの場合は、各機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

- 心臓の弱い方は、バイブレータや着信音の設定に注意してください。

⚠注意

● ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。バイブレータを設定しているときも、ご注意ください。

● 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、この製品に影響を受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、このようなときは使用しないでください。

● 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め医師の治療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

● miniSDカードやW-SIMを取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。miniSDカードやW-SIMを装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、カードが飛び出し危険です。

■充電池の取り扱いについて

⚠危険

● 充電池(リチウムイオン充電池)について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。

・この製品で使用できる充電池は、EA-BL13 です。これ以外の充電池は使用しないでください。
・装着するとき、充電池の向きが決められています。この製品にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電池の向きを確かめてください。
・充電には、付属のACアダプター(EA-79)以外のものを使用しないでください。また、充電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。
・直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所(60℃以上)に放置しないでください。
・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
・外傷、変形の著しい充電池は使用しないでください。
・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
・端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリー、ネックレスなど)と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。

⚠危険

● 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こすおそれがあります。

⚠警告

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
・電子レンジや高圧容器に入れないでください。
・水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。
・充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
・液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

⚠注意

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
・小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。

・乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児がこの製品から取り出さないように注意してください。

・充電は必ず５～35℃の範囲で行ってください。

・充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

● 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

● 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、充電池を本体に装着しないでお買いあげの販売店にご持参ください。

■ACアダプターの取り扱いについて

⚠警告

● WS007SH本体に接続するACアダプターは、必ず付属のEA-79を使用してください。他のACアダプターは使用しないでください。

● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

● 付属のACアダプターはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

● ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

● 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。

・ACアダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。

・ACアダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。

・お客様による改造や分解・修理はしないでください。

・ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

・ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。

・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

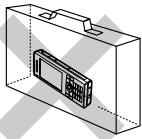
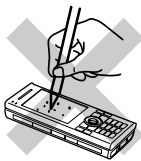
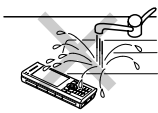
● 使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

● 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外しお買いあげの販売店にご連絡ください。

● 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

● 長期間使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

⚠注意

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
  - ・周囲温度0～40 ℃、湿度35～85％の範囲でご使用ください。
  - ・直射日光の当たる場所では使用しないでください。
  - ・ほこりの多い場所に置かないでください。
  - ・落下させたり衝撃を与えないでください。
  - ・つけ根部分を無理に曲げないでください。
  - ・重いものを載せないでください。
  - ・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
  - ・布などでくるまないでください。

■付属 CD-ROM の取り扱いについて

⚠警告

- 付属のCD-ROM は、一般オーディオ用のCD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に被害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

使用上のご注意とお手入れのしかた

持ち運ぶときや使用しないときは、必ずキーボードを閉じて、付属のソフトケースに入れてください。
ソフトケースに入れずに持ち運ぶと、画面が割れたり傷ついたりします。

日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因となります。

落としたり、ズボンのポケットに入れたり、満員電車の中などで強い衝撃や力を与えたりしないでください。また、ハンドストラップなどをご使用になり、落とさないようにしてください。
故障や破損の原因となります。

表示部を開いた状態で表示部だけを持って移動したり、振り回したりしないでください。
本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。

画面は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。
汚れたまま画面にタップすると傷つくことや、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

お手入れは、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

ホコリの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。
故障の原因となります。

画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。
画面などを傷めることがあります。

スタイラスペンの先や画面の汚れを取って操作してください。
汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

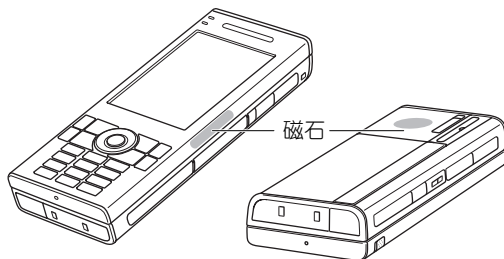
本体の上に書類などをのせないでください。
誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
また、液晶画面の上に直接、本や書類などを置いたままにして長時間圧力がかかった状態にしないでください。表示がにじんだり破損の原因になります。

使用中に、強い磁石を近づけないでください。
故障の原因となります。

突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。

防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

長時間使用しているとこの製品は温かくなりますが、故障ではありません。

この製品には磁石が埋め込まれています（下図）。
磁気に弱いカード類（テレフォンカードや定期券など）を磁石の周囲に近づけないようにしてください。
カード類などに記録されているデータが消えてしまうことがありますのでご注意ください。

●内蔵カメラについて

・レンズに直射日光があたらないようにしてください。直射日光があたる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
・大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。

●USBポート／カードスロットについて

・USBポートやminiSDカードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記憶内容の消失の原因になります。
・USBポートやminiSDカードスロットなどにはカバーがあります。使用していないときは、カバーを閉じてください。

●液晶表示について

・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
・画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。
・画面タップの操作は、付属のスタイラスペンを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものは、使わないでください。

●公衆の場で使用するときは、まわりの方に迷惑にならないようにご注意ください。

●ハンドストラップについて

ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

●この製品が持つPHS電話機能は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

著作権等に関するお願い

音楽用CD等各種CD、TV映像等、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
著作権にかかわる画像やサウンドの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。
実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、この製品にはデジタルカメラ機能が搭載されていますが、このデジタルカメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

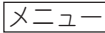
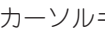
・Microsoft、ActiveSync、Outlook、Word Mobile、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、Windows、Windows Media、Windowsロゴ、MSNロゴ、Officeロゴは、米国およびその他の国における米国マイクロソフト社の登録商標または商標です。

・この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
Powered by JBlend™. Copyright 1997-2006 Aplix Corporation.
All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

・ miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

・Flash、Flash LiteおよびMacromediaはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

・Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。

・Picsel、Picsel Powered、Picsel Viewer、Picsel File Viewer、Picsel Document Viewer、Picsel PDF ViewerまたPicselキューブロゴはPicsel Technologiesの商標、または登録商標です。

・Operaは、Opera Software ASAの商標または登録商標です。
Operaに関する詳細については、http://jp.opera.comをご覧ください。

・「ATOK」および「APOT」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

・QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

取扱説明書の表記

ボタンやキーの表記

・画面上のメニューやボタンなど… ・ メニュー などと表記します。
・画面(表示部)下のキーやダイヤルキー ・『ok キー』などと表記します。
・カーソルキーは、『(カーソル)キー』と表記します。
・キーボードのキー………………… ・『(A)キー』などと表記します。
・キーの上に表示されている「Del」などの機能は、『(BS)(Del)キー』などと表記します。

操作手順の表記

この製品を操作するには、次の3つの方法があります。
・画面(表示部)下のキーを押して操作する
・キーボードのキーを押して操作する。
・スタイラスペンで画面にタップして操作する
※主に縦表示の場合を説明しています。

マーク

MEMO …… 補足的なことを説明しています。

ご注意! …. 注意していただきたいことを説明しています。

☞ …………… 参照する取扱説明書のページを指しています。

表示画面

・本書に記載されている画面例は、縦表示のものを掲載しています。
・本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。
※この取扱説明書に記載しているお問い合せ先の電話番号や時間帯、各種サービスの電話番号などは、2006年6月現在のものです。

他機種のデータを この製品に移す

「WS003SH、WS004SHなどの予定表や連絡先などのデータ」と「パソコンのMicrosoft Outlookのデータ」を同期したあと、そのパソコンとこの製品を同期します。

同期によって移行できるデータ

・連絡先	・予定表	・仕事
・メモ	・お気に入り	・電子メール※

※電子メールでデータを移行(同期)できるのは、Outlookのアカウントのみです。オンラインサインアップで取得したEメール(ウィルコム)やご自分で加入しているプロバイダーメールは同期できません。

ご注意!
● バックアップツール(☞9-3ページ)を使って他の機種からこの製品にデータを移すことはできません。

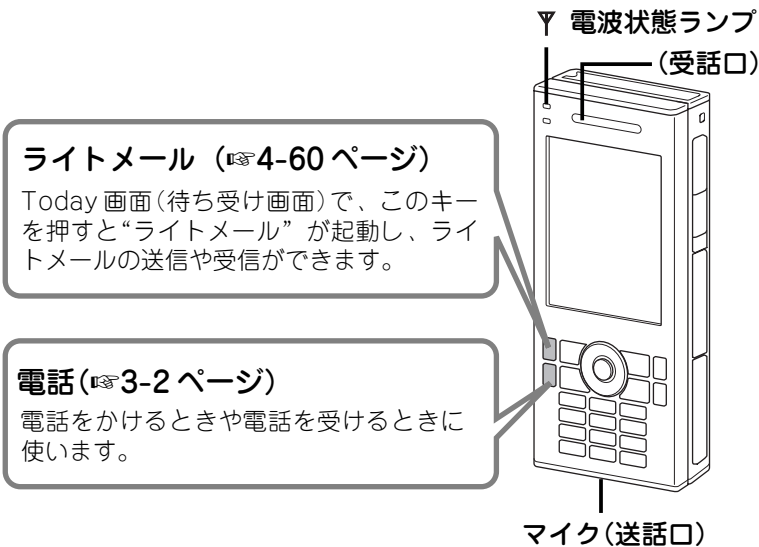
●WS003SH、WS004SHなどでActiveSyncをインストールしてお使いの方
お使いのActiveSyncとこの製品を同期することで他の機種のデータをこの製品に移すことができます。同期する項目を確認して、同期を行ってください。

●WS003SH、WS004SHなどでActiveSyncをインストールされていない方
ActiveSyncをインストールした後、データを移します。くわしくは、8-15ページをご覧ください。

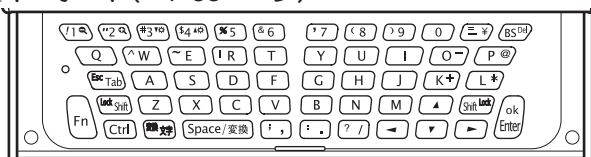
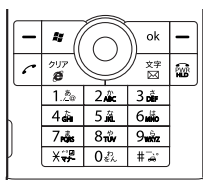
かんたん操作ガイド

この製品を使って電話やメールをする

この製品では電話・メール・ライトメール・ホームページ閲覧などができます。

ご購入してすぐに使えます

ご使用時、キーロックスイッチ（☞1-8～9ページ）がオフになっていることを確認してください。キーロックスイッチがオンになっているとキーを押したり画面をタップしても動作しません。

文字を入力するには次の3つの方法があります。

◇キーボード（☞1-33ページ）

◇ダイヤルキー（☞1-50ページ）

◇文字入力パネル（☞1-42ページ）

オンラインサインアップすると使えます

オンラインサインアップ（☞2-2ページ）をすると、メールアカウントやインターネット接続に必要な情報が、この製品に自動的に設定されます。

● お持ちのインターネットプロバイダーの情報などを設定しても、メールの送受信やホームページの閲覧ができます。

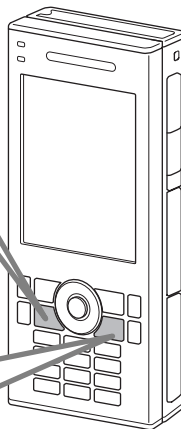
インターネット
- Internet Explorer Mobile（☞5-2 ページ）
- Opera Browser（☞5-11 ページ）

※キーを長く押して起動します。

ホームページの閲覧ができます。

メール
- W-ZERO3 メール（☞4-3 ページ）
- メール（Outlook）（☞4-32 ページ）

※キーを長く押して起動します。

パソコンやウィルコムの電話機などとメールを送信／受信します。

インターネットに接続しているときの表示について

インターネットに接続しているときは、画面上部に⇄が表示されます。
⇄が表示中は、インターネットに接続中です。

● ホームページ閲覧中などデータ通信中（パケット方式）に電話がかかってきたとき、データ通信を切断し着信する設定に変更できます（☞3-30ページ）。

ネットワークを切断するときは

インターネットから切断するときは PWR HLD キーを押すか、⇄にタップし表示されたウィンドウの 切断 にタップします。

ご注意！

● ホームページ閲覧後、✕にタップして画面を消しても、ネットワークは切断されていません。

アプリケーションプログラムを起動する

次のようにして、アプリケーションプログラムを起動します。

スタートメニューから起動する

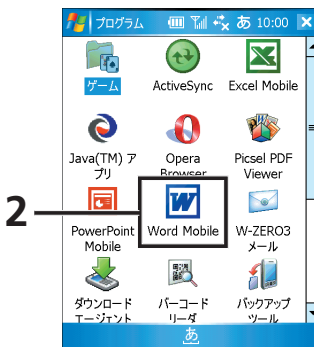
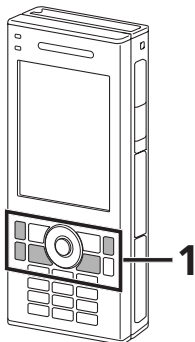
1 キーを押します。

2 表示されたメニューから“連絡先”などを選択します。

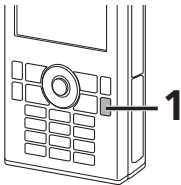
● スタートメニューに表示され る内容を変更できます(☞10-7ページ)。

プログラム画面から起動する

1 画面左上の“スタート”▶“プログラム”を選択します。

2 起動したいプログラム(“Word Mobile”など)を選択します。

パネルのキーを押して起動する

1 キーや キーを長く押します。
Webブラウザソフトやメールソフトが起動します。

アプリケーションプログラムを終了する

プログラム表示中に画面右上の ✕ や ok にタップして画面が消えてもそのプログラムは終了していません。使用していないプログラムは、以下のいずれかの方法で終了してください。起動したままではプログラム実行用メモリが不足し動作が遅くなることがあります。

PWR HLDキーを押して終了する

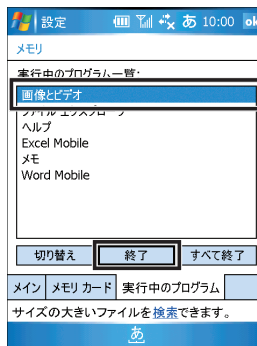
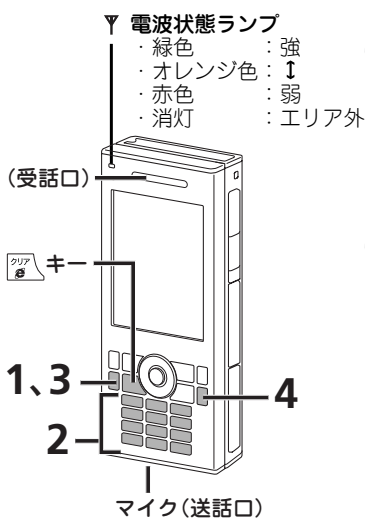
1 通話していない状態でPWR HLDキーを押します。

- "予定表"や"Windows Media Player"などのプログラムが終了します。ただし、"電話"、"メール"、"W-ZERO3メール"、"ライトメール"、"バックアップツール"、"ActiveSync"、"ブンコビューア"、"ファイルエクスプローラ"、"Bubble Breaker"、"Picsel PDF Viewer"、"ご購入後に追加したプログラム"などは終了しません。
- インターネット接続中は、回線を切断します。

設定(メモリ)画面でプログラムを選択して終了します

1 Today画面(待ち受け画面)で、実行中のプログラム：X件を選択します。

メモリ画面(実行中のプログラムタブ)が表示されます。

2 終了したいプログラム名を選び、終了をタップします。

電話をかける／自分の電話番号を見る

1 電波状態が良好であることを確認し（☞1-3、1-16ページ）、キーを押します。

電話（ダイヤル）の画面が表示されます。

2 ダイヤルキーを押して電話番号を入力します。

番号を間違えたときは、キーを押して入れ直します。

3 キーを押します。

電話番号が点滅してダイヤルされ、電話がかかります。

4 通話が終わったら、PWR HLD キーを押します。

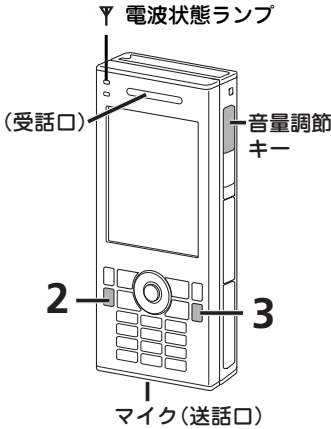
自分の電話番号を見る

番号を入力していない状態でダイヤル画面で画面右下の メニュー － 自局番号表示 を選択します。

ご注意！

- 通話中、電話画面で ✕ をタップしても電話は切れません。電話を切るときは PWR HLD キーを押してください。

- マイクはダイヤルキー下側にあります。ふさがないように通話してください。
- 一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。
- 通話を保留にするときは画面左下の キー表示 にタップし、保留 にタップします。解除するときは 保留解除 にタップします。
- ご購入時、自分の電話番号は相手に通知する設定になっています。設定の変更は3-16ページ、3-36ページをご覧ください。

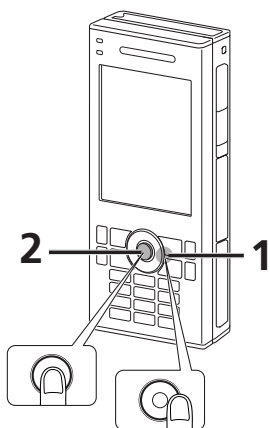
電話を受ける

1 電話がかかってきたら、
- 着信音が鳴ります。
- 電波状態ランプ(Ƴ)が青色点滅します。
- 画面に相手の名前や電話番号が表示されます。

2 キーを押し、相手と話しをします。

3 通話が終わったら、PWR HLD キーを押します。

ご注意！
- 通話中、電話画面で ✕ をタップしても電話は切れません。電話を切るときは PWR HLD キーを押してください。

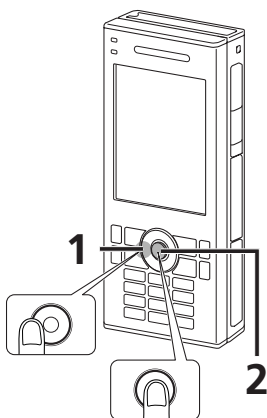
- マイクはダイヤルキーの下側にあります。ふさがないように通話してください。
- 通話中に相手の声の大きさを変えるときは、右側面にある音量調節キーを押します。
- 着信の設定は変更できます。
  - ・着信音を鳴らさない(☞3-25ページ)
  - ・着信をバイブレータで知らせる(☞3-28ページ)
  - ・着信音を変更する(☞3-26ページ)
  - ・電波状態ランプを点滅しない(☞3-32ページ)。
- 着信の履歴は、電話の画面またはToday画面(待ち受け画面)でカーソルキーの左を押して確認できます(☞次ページ、3-10ページ)。

前にかけた相手にもう一度かける(リダイヤル)

1 **ダイヤル画面で、(カーソル)キーの右を押します。**

発信履歴画面が表示されます。

2 **リストからかけたい相手を選択し、(アクション)キーを押します。**

電話がかかります。

かかってきた相手にかけ直す

1 **ダイヤル画面で、(カーソル)キーの左を押します。**

着信履歴画面が表示されます。

2 **リストからかけたい相手を選択し、(アクション)キーを押します。**

電話がかかります。

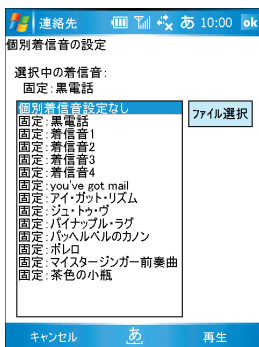
- Today画面(待ち受け画面)で、(カーソル)キーの左右を押しても着信履歴画面/発信履歴画面が表示されます。
- 上記手順**2**で、発信履歴画面/着信履歴画面で、かけたい相手をタップし、確認画面で[はい]をタップしても電話をかけることができます。

個別着信音を設定する

連絡先に登録しているデータに個別の着信音を設定できます。着信音によって、誰から電話がかかってきたか分かります。

1 **“連絡先”を起動し、着信音を設定したい相手のデータを表示(詳細表示)します。**

2 **画面右下の メニュー ー 個別着信音の設定 をタップします。**

3 **着信音を選択します。**

保存している音楽ファイルを着信音にするときは、ファイル選択 をタップし、リストより音楽ファイルをタップします。

4 **ok をタップします。**

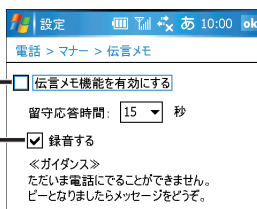
- 1件のデータに複数の電話番号を登録していても、各電話番号に個別着信音を設定することはできません。着信音は1件のデータに対して設定されます。
  手順**1**で複数の電話番号が表示されているとき、電話番号を選択し手順**2**〜**3**を行っても電話番号に対して着信音が設定されるのではなく、1件のデータに着信音が設定されます。
- 設定している個別着信音を解除するときは、手順**3**で 個別着信音設定なし を設定し ok をタップします。

伝言メモを使う

電話に出られないときなどに相手からのメッセージをこの製品に録音してあとで聞けるように設定できます。

- 伝言メモの録音件数、録音時間
  ・録音件数：5件
  ・録音時間：1件につき最大15秒
  録音件数が5件のとき伝言メモ機能が働くと、相手にはアナウンスのみ流れます。録音はできません。

伝言メモを設定する

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、個人用タブの“電話”のマナータブにタップし、“伝言メモ”にタップします。**

2 **okにタップします。**

伝言メモを聞く

伝言メモで録音メッセージを受けたときは、Today画面（待ち受け画面）の下にアイコンが表示されます。

1 **Today画面（待ち受け画面）で、アイコンにタップします。**

2 **メッセージがあるものを選択し、画面左下の再生または画面右下のメニュー－再生にタップします。**

録音されたメッセージが受話口から流れます。

- この伝言メモとは別にウィルコムが提供している留守番電話サービスがあります。このサービスについては、3-50ページをご覧ください。

着信音を変える

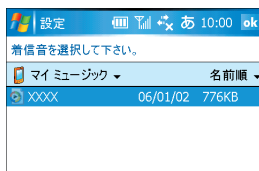
電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を、あらかじめ登録されているパターンやこの製品に保存した音楽ファイルから設定します。

1 スタート メニューー“設定”ー“電話”を選択します。

2 呼出 タブをタップし、“メロディ”をタップします。

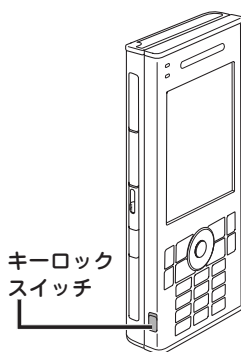
3 電話・ライトメール・メールの各欄の▼にタップして、表示されたメニューから設定する音を選択します。

保存している音楽ファイルを着信音にするときは

表示されたメニューから《ファイル参照》にタップし、リストより音楽ファイルをタップします。

4 画面右上の ok にタップします。

- くわしくは、3-26ページをご覧ください。また、呼び出し時間などの設定は、3-33ページをご覧ください。

キーロックをする

誤って画面にタップしたりキーが押されても動作しないようにできます。

1 キーロックスイッチを 側にします（下側にします）。

Today画面（待ち受け画面）にが表示されます（☞1-18ページ）。
また、タイトルバーの充電池残量アイコンが になりが付きます。
キーロックします。キーロックの状態になるとキーを押したり、画面にタップしても動作しません。
キーロック中でも電話がかかってきたときは、電話に出ることができます。

キーロックスイッチをオンにしている状態で、画面の電源がオフし画面が消えたとき、画面を点灯する（オン）方法として、以下の2つの方法があります。

- キーロックスイッチを解除する（☞下記）。
- 電源キーを押す。
  ※電源キーを押したときは、画面がオンしますが、キーロックはかかったままです。

キーロックを解除する

1 キーロックスイッチを反対側にします。

Today画面（待ち受け画面）のが消えます。
キーロックが解除します。キーを押したり、画面タップが行えます。

消費電力を節約して使う

以下の設定を行うとこの製品の消費電力を節約することができます。

◇バックライトの表示を調整する

バックライトを消すまでの時間を短くしたり、明るさを暗くしたりして消費電力を少なくすることができます（☞10-17ページ）。

マナーも携帯しよう

この製品を使うときは、周りへの心くばりを忘れないようにしましょう。

◇鉄道やバスでは...

新幹線や電車、バスの中では、車内アナウンスや掲示ルールに従いましょう。

◇飛行機などでは...

使用を禁止されている場所では、電源をオフにしましょう。

◇病院内では...

必ず医療機関の指示に従いましょう。

◇劇場、図書館、美術館などでは...

着信音で迷惑にならないように、電源をオフにしておきましょう。

◇ホテルのロビーやレストランなどでは...

静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。

◇カメラを使うときは...

撮影や画像送信するときは、著作権や肖像権、プライバシーなど他人の権利を侵害しないように充分に配慮しましょう。

ご注意！

- **運転中の使用は大変危険です。**
  自動車やバイクの運転中に使用することは法律で禁止されています。
  運転中は留守番電話や安全運転モードに切り替えましょう。
- **歩行中や自転車に乗りながらの使用は控えましょう。**
  歩きながら、自転車に乗りながらの通話・メールなどの使用は、周囲への注意がおろそかになり大変危険です。通行の邪魔にならない安全な場所に止まるなどしてご利用ください。

マナーを守るための機能について

◇マナーモード（☞3-34ページ）

着信音をオフ、バイブレータをオンなどにします。

◇安全運転モード（☞3-35ページ）

相手に運転中で電話に出られないことを伝えます。

◇伝言メモ（☞3-14ページ）

電話に出られないときに、相手のメッセージをこの製品に録音できます。

◇バイブレータ（☞3-28ページ）

着信などを振動で知らせます。

◇無線ON／OFF（☞3-49ページ）

通信／電話機能（W-SIM（PHS））を停止します。

◇留守番電話サービス（有料）（☞3-50ページ）

ウィルコム留守番電話センターが応答し、メッセージをお預かりします。

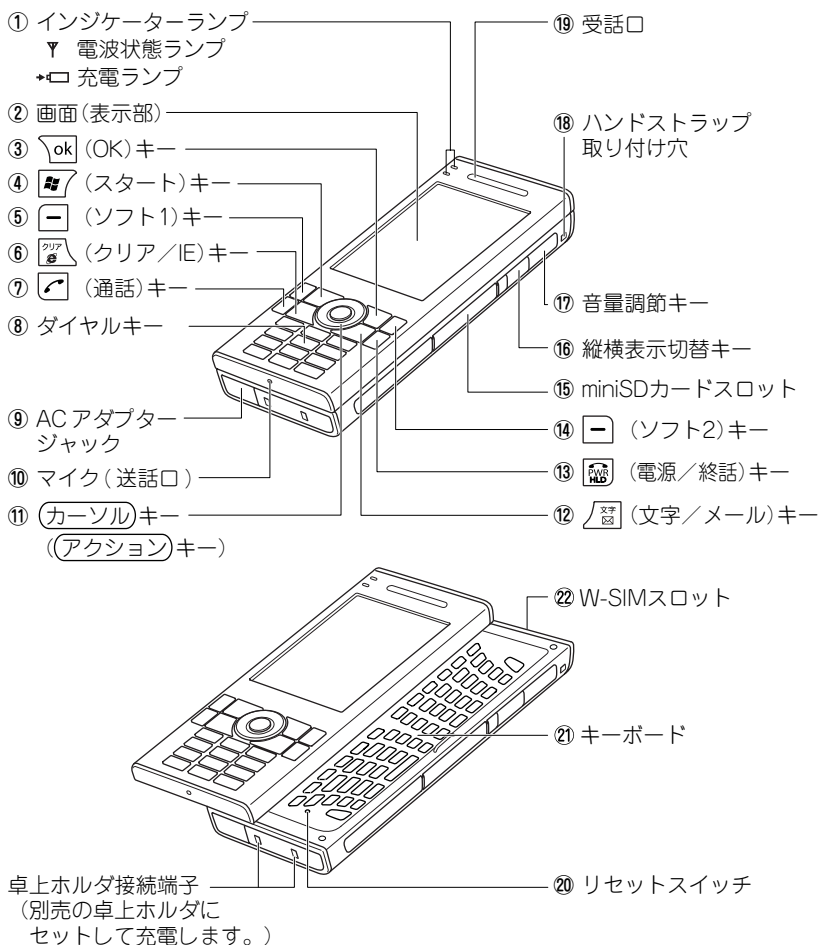
1　基本操作

基本的な使いかた

この製品の基本的な使いかたについて説明します。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとその働きを覚えましょう。

正面・右側面

① **インジケーターランプ**

この製品の状態をランプの光りかたで表します。

電波状態ランプ

電話の電波強度(☞1-16ページ)や、電話着信などを表します。

緑色に点灯※1	
オレンジ色に点灯※1	
赤色に点灯※1	
消灯	圏外（エリア外であることを示します。）
青色に点滅	電話着信時、メール／ライトメール受信時であることを示します。※2
青色に点灯	不在着信、未読のメール／ライトメールがあることを示します。※2

※1：・電波状態アイコン（☞1-16ページ）と連動します。
・ホームページ閲覧中やメール送信／受信を行うと、電波強度は電波状態ランプ（緑色、オレンジ色、赤色）で示します。

※2：点滅や点灯する／しないを設定できます（☞3-32ページ）。

充電ランプ(☞1-10ページ)

オレンジ色に点灯	充電中であることを示します。
黄緑色に点灯	満充電であることを示します。
黄緑色に点滅	予定表などのアラームを知らせます。※
オレンジ色に点滅	充電中に異常が発生したことを示します。

※点滅する／しないを設定できます（☞10-12ページ）。

② **画面(表示部)**

各種のデータを表示します。また、付属のスタイラスペンでタップして操作します(☞1-14ページ)。

③ ok **(OK)キー**

画面右上の ok または ✕ にタップするのと同じ働きをします。

④ **(スタート)キー**

スタートメニューを表示し、プログラムを起動したり、設定画面を表示したりします(☞1-26ページ)。

⑤ − **(ソフト1)キー**

画面左下(メニューバー)の 新規 などにタップと同じ働きをします。

⑥ クリア **(クリア／IE)キー**

・電話番号や文字を入力中にこのキーを押すと、 カーソルの前(左側)の文字を削除します。また漢字変換中は、変換を取り消します。

・長く押すと“Internet Explorer Mobile”(☞5-2ページ)または“Opera Browser”(☞5-11ページ)※を起動します。

※ご購入時は、“Internet Explorer Mobile”が起動し、オンラインサインアップで通常使用するブラウザに“Opera Browser”を設定すると“Opera Browser”が起動します。

⑦ (通話)キー

電話をかけるときや電話を受けるときに使います(☞3-2ページ)。

⑧ ダイヤルキー

電話番号や文字を入力できます(☞1-50、3-2ページ)。

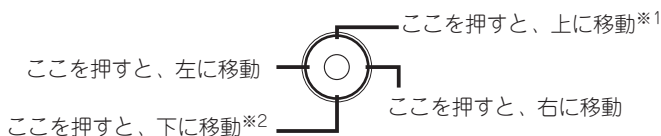
⑨ ACアダプタージャック

付属のACアダプター(EA-79)を取り付けます。
他のACアダプターは取り付けないでください。故障の原因になります。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

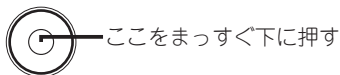
⑩ マイク(送話口)

自分の声をここから伝えます(☞0-24ページ)。

⑪ (カーソル)キー((アクション)キー)

上下左右を押すと、カーソルが上下左右に動きます。

※1 文字入力時に「かな漢字変換」モードで未確定文字がある場合は、変換されます。
※2 文字入力時に「かな漢字変換」モードで未確定文字がある場合は、推測変換候補ウィンドウの文字を選択できます。

(アクション)キー

- 内蔵カメラ使用時、写真を撮影します。
- 中心をまっすぐ押すと、キーボードの(Enter)キーに相当する操作を行います(プログラムや設定画面によって、動きが異なることがあります)。
- 文字入力時は、未確定文字が決定されます。

⑫ (文字／メール)キー

- 文字入力モードを切り替えます。
  このキーを押すたびに、文字入力モードが切り替わります(☞1-50ページ)。
- 長く押すと“メール”(☞4-32ページ)または“W-ZERO3メール”(☞4-3ページ)※を起動します。
  ※ご購入時は、“メール”が起動し、オンラインサインアップで通常使用するメールソフトに“W-ZERO3メール”を設定すると“W-ZERO3メール”が起動します。

⑬ [PWR HLD]（電源／終話）キー
・通話中の電話を切ったり（☞3-3ページ）、インターネット接続を切断します。
・"予定表"や"Windows Media Player"などのプログラムが終了します。ただし、"電話"、"メール"、"W-ZERO3メール"、"ライトメール"、"バックアップツール"、"ActiveSync"、"ブンコビューア"、"ファイルエクスプローラ"、"Bubble Breaker"、"Picsel PDF Viewer"などは終了しません。
・キーを長く（約2〜3秒）押すと、電源の入／切ができます（☞1-12ページ）。
※キーロック中（☞1-8ページ）、画面の電源が切れている状態で[PWR HLD]キーを押すと画面が表示されます。ただし、キーロックがかかっていますので、他のキーを押しても動作しません（キーロックを解除してください）。

⑭ [－]（ソフト2）キー
画面右下（メニューバー）の[メニュー]などにタップと同じ働きをします。

⑮ miniSDカードスロット
動作確認済みのminiSDカードを装着します（☞1-57ページ）。
通常はカバーで覆われています。装着時はカバーを開きます。

⑯ 縦横表示切替キー
画面を縦表示から横表示へ切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えます。

⑰ 音量調節キー
・通話中、音量（受話音量）の調節をします（☞3-13ページ）。
＋：音量が大きくなります。　－：音量が小さくなります。
・通話中以外では、着信音やアラーム音などの音量を調節します。

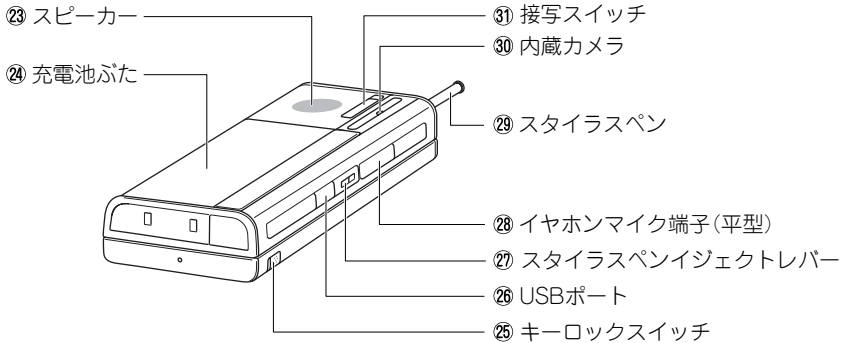
⑱ ハンドストラップ取り付け穴
市販のハンドストラップを取り付けます。

⑲ 受話口
通話中に相手の声が聞こえます（☞0-24ページ）。
※イヤホンマイク接続時はイヤホンから聞こえます。

⑳ リセットスイッチ
画面タップやキー操作が正しく働かないなどのときに付属のスタイラスペンで押します。リセット（再起動）がかかります（☞11-2ページ）。

㉑ キーボード
キーボードを引き出して、キーボードを使って文字を入力できます（☞1-33ページ）。

㉒ W-SIMスロット
W-SIMを装着します（☞11-10ページ）。
通常はカバーで覆われています。交換時はカバーを開きます。

背面・左側面

㉓ スピーカー

着信音や"予定表"のアラーム、再生している音楽が鳴ります。
※イヤホンマイクを接続しているときは、イヤホンから聞こえます。

㉔ 充電池ぶた

このふたを外し、充電池の取り外しやフルリセットをします(☞11-4ページ)。

㉕ キーロックスイッチ

O╥側にするとキーロックがかかります。キーロックの状態になるとキーを押したり、画面にタップしても動作しません(Today画面(待ち受け画面)下部に🔒アイコンが表示されます(☞1-18ページ))。キーロックを解除するには、スイッチを反対側にします。キーロック中でも、画面の電源オフの状態では、[PWR HLD]キーを押すと画面が表示されます。

㉖ USBポート

付属のUSBケーブルを接続し、パソコンなどと接続します(☞8-6ページ)。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉗ スタイラスペンイジェクトレバー

スタイラスペンを取り出すときに使用します(☞1-9ページ)。

㉘ イヤホンマイク端子(平型)

イヤホンマイクなどを接続します。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉙ スタイラスペン

画面にタップしたり、画面に文字を書きます(☞1-9ページ)。

㉚ 内蔵カメラ

写真を撮影します(☞7-4ページ)。

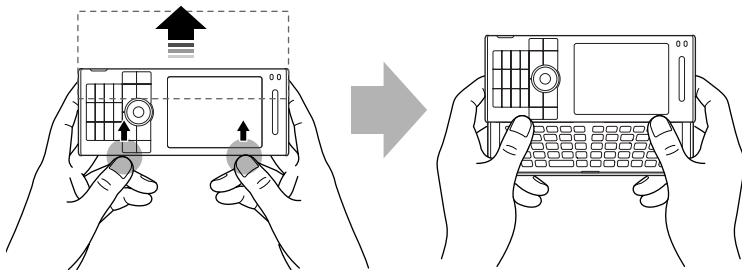
㉛ 接写スイッチ

QRコードなどを撮影するときに切り替えます(☞7-15ページ)。

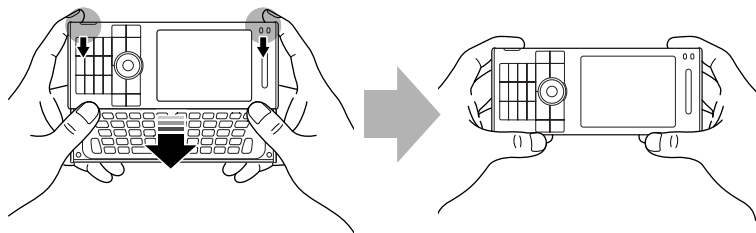
キーボードを開く／閉じる

キーボードを正しく開きます。また、閉じます。
キーボードを使う場合、キーボードを開いてから行ってください。

1 ●部分を軽く押して、表示部をスライドさせて開きます。

しっかりと開いてください。

ご購入時の設定は、電源を入れた状態でキーボードを開くと自動的に縦表示から横表示に切り替わります。
キーボード開閉による画面切り替えの設定は、10-26ページをご覧ください。

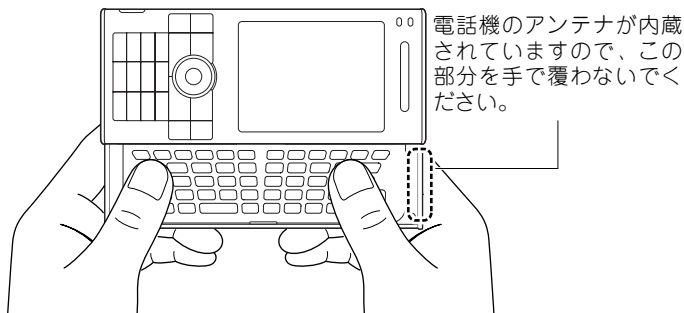
2 ●部分を軽く押して、表示部を閉じます。

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

- ご自分で画面を切り替えるときは、縦横表示切替キー（☞1-2ページ）を押します。

ご注意！

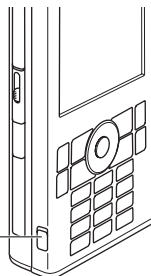
- **持ち運ぶときは**
  必ずキーボードを閉じてください。キーボードを開いたまま持ち運ぶと、破損の原因になります。

キー操作をするときの持ちかたについて

この製品を使って文字入力や登録したデータを見るためにキー操作などを行うとき、下図のように両手でこの製品を下から支えるようにして持つことをおすすめします。

キーロックする

誤って画面にタップしたりキーが押されても動作しないようにできます。

キーロックスイッチを 🔑 側にします(下側にします)。

Today画面(待ち受け画面)に🔒が表示されます(☞1-18ページ)。
またタイトルバーの充電池残量アイコンが 🔋 になり🔒が付きます。
キーロックします。キーロックの状態になるとキーを押したり、画面にタップしても動作しません。
キーロック中でも電話がかかってきたときは、電話に出ることができます。

MEMO

キーロックスイッチをオンにしている状態で、画面の電源がオフし画面が消えたとき、画面を点灯する(オン)方法として、以下の2つの方法があります。

- キーロックスイッチを解除する(☞次ページ)。
- 電源キーを押す。
  ※電源キーを押したときは、画面がオンしますが、キーロックはかかったままです。

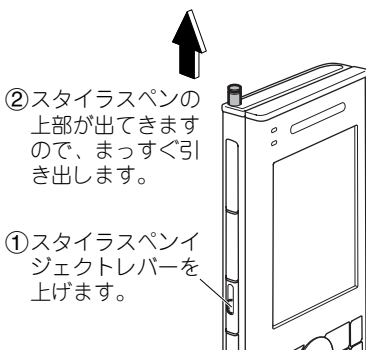
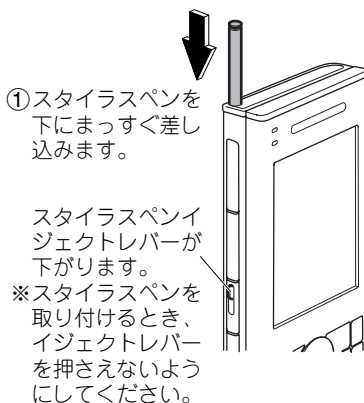
キーロックを解除する

1 **キーロックスイッチを反対側にします。**

Today画面（待ち受け画面）の🔒が消えます。
キーロックが解除します。キーを押したり、画面タップが行えます。

スタイラスペンを取り出す／取り付ける

スタイラスペンを正しく取り出します。また、取り付けます。

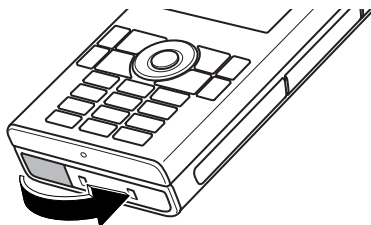
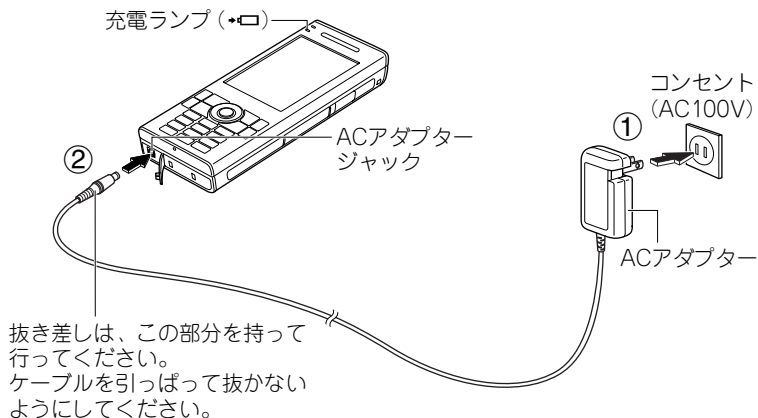
スタイラスペンを取り出す

スタイラスペンを取り付ける

縦表示と横表示を切り替える

この製品では、以下の方法で縦表示から横表示に切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えることができます。
表示を切り替えると、レイアウトも自動的に変わります。

- **縦横表示切替キー（☞1-2、1-5ページ）を押します。縦から横、横から縦に切り替わります。**
- **キーボードを開いたり閉じたりすると、縦から横／横から縦に切り替わります。**
  ※キーボード開閉によって表示を切り替えないようにもできます（☞10-26ページ）。

充電する

この製品を使用中に充電池が消耗したときは、すぐにこの製品の専用充電器である付属のACアダプター(EA-79)を使って充電池を充電してください(他のACアダプターは使用しないでください)。

1 ACアダプターのカバーを開きます。

2 下図のように①、②の順で、ACアダプターを接続します。

充電ランプがオレンジ色に点灯して、充電が始まります。

3 満充電になると、充電ランプが黄緑色になり、充電が完了します。

電源を切った状態で満充電になるまでに、通常、常温25℃で約3.5時間かかります(充電池の残量や周囲温度によって変わります)。
また、この製品を使用しながら充電を行うと、満充電になるまでには長い時間がかかります。使用状態(データ通信や通話など)によっては、消費電流が多いため充電されないことがあります。

ACアダプターをこの製品のジャックから抜き、コンセントから取り外します。

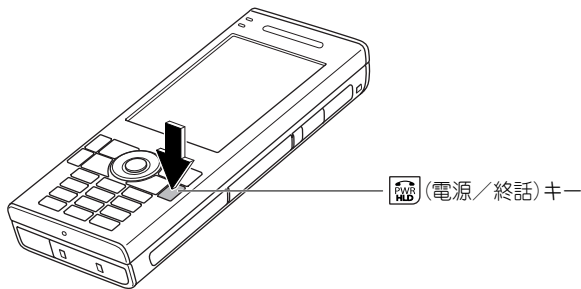
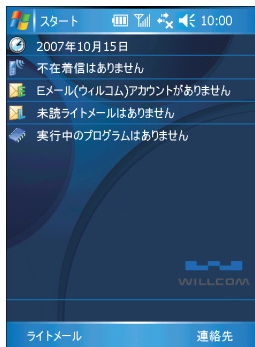
ご注意！

- 必ずこの製品に付属のACアダプター（EA-79）を使用してください。
- ACアダプターを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。ACアダプターが故障することがあります。

MEMO

- 充電は、周りの温度が5～35℃の場所で行ってください。温度が変わると充電時間が長くなることがあります。また、充電は満充電になるまで行ってください。
- ACアダプターを取り付けた状態で長時間使用していると、満充電にならずに充電ランプが消え充電が自動的に終了することがあります。
  このようなときは、ACアダプターをいったん取り外し、再度、取り付けると充電ランプが点灯し充電が行われます。
- 長時間使用しなかった充電池の充電には、通常より多くの時間がかかります。
- 充電池については、11-7ページをご覧ください。
- 充電中にこの製品やACアダプターが温かくなることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる／切る

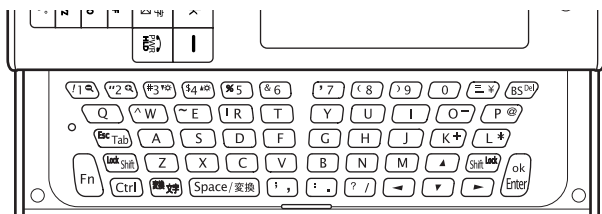
1 PWR HLD キーを長く（約2〜3秒）押します。

2 電源が入り、Today画面（待ち受け画面）が表示されます。

3 電源を切るときは、PWR HLD キーを長く（約2〜3秒）押します。

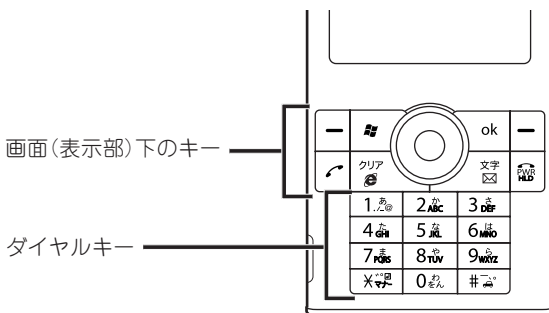
- 充電池が消耗して電源が切れた後に、付属のACアダプターを接続しても電源が入らないことがあります。このような場合は、しばらく充電してから使用してください。
- （充電池を交換したときなど）電源が入らないときは、フルリセットしてみてください（☞11-4ページ）。

キー操作について

キー操作を行うとき、大きく次の3つがあります。
・キーボード（文字を入力する）
・画面（表示部）下のキー（画面を切り替えたりする）
・ダイヤルキー（電話番号や文字を入力する）
※キーボードは文字入力のときに使い、隠したり／出したりすることができます（☞1-7ページ）。

■キーボード

キーボードは文字を入力するときに使います。操作方法については1-33ページをご覧ください。

■画面（表示部）下のキー／ダイヤルキー

・画面（表示部）下のキーは、電話をかける／切るやプログラムを起動します。操作方法については、1-2～5ページをご覧ください。
・ダイヤルキーは、電話番号や文字を入力するときに使います。操作方法については、1-50や3-2ページをご覧ください。

スタイラスペンでタップする

付属のスタイラスペンで画面にタップして操作します。
スタイラスペンで画面に1回軽くタップします。プログラムの起動や設定などを行うときに操作します。

Today画面(待ち受け画面)を使う

この製品の電源を入れると、Today画面(待ち受け画面)が表示されます。また、スタートメニューの "Today"をタップしても表示されます。
Today画面(待ち受け画面)には、電波状態、充電池残量やマナーモードなどの状態、メール／ライトメールの未読件数などが表示されます。

① **スタート**
タップするとスタートメニューが表示され、プログラムを起動したり(☞1-26ページ)、設定画面を表示します。

② **タイトルバー**
電波状態、ネットワーク接続中／通話中などを示すアイコンなどが表示されます。タイトルバーに表示されるアイコンについては1-16ページをご覧ください。

③ **日付表示**

日付を表示します。タップすると「時計とアラーム」画面が表示され、日付／時刻を変更できます（☞10-28ページ）。

④ **不在着信件数表示**

不在着信の件数を表示します。ここにタップすると、着信履歴画面が表示され不在着信を確認できます（☞3-7ページ）。

⑤ **メール、ライトメールの未読件数表示**

メール、ライトメールの未読件数を表示します。メールの場合は、オンラインサインアップを行い取得したウィルコムのメールアドレス（☞2-3ページ）へ送られてきたメールと、ご自分で設定したメールアドレスへ送られてきたメールを別々に表示します。アイコンに表示されている未読件数はウィルコムのメールアドレスの未読メール件数です。Today画面（アイテムタブ）（☞10-3ページ）で表示するようにした場合、アイコンに表示されている未読件数は、ご自分で設定したメールアドレスの未読メール件数です。

ここにタップすると、“W-ZERO3メール”または“メール（Outlook）”画面や“ライトメール”画面が表示されます。

⑥ **実行中のプログラム数表示**

現在実行（起動）しているプログラム数を表示します。使っていないプログラムを終了するときは、ここにタップするか、画面下のアイコンをタップし表示されたメモリ画面（実行中のプログラムタブ）でプログラムを終了します。

⑦ **各種アイコン表示**

キーロック設定中などを示すアイコンが表示されます。これらのアイコンについては、1-18ページをご覧ください。

⑧ **メニューバー**

左端と右端にボタンが表示されます。Today画面（待ち受け画面）では、ライトメール、連絡先などが表示されそれぞれにタップすると“ライトメール”、“連絡先”などが起動します。プログラムによって、表示されるキーは異なります。

－（ソフト1）キー（☞1-3ページ）を押すと左端のボタンが実行され、
－（ソフト2）キー（☞1-5ページ）を押すと右端のボタンが実行されます。
Today画面では、－（ソフト1）キーを押すと“ライトメール”が起動し、
－（ソフト2）キーを押すと“連絡先”が起動します。

- Today画面の背景を、お好みの画像に変更できます（☞10-4ページ）。
- （カーソル）キーの左右を押すと、着信履歴画面／発信履歴画面が表示されます。

■文字サイズを調整する

Today画面（待ち受け画面）やプログラムで表示される文字などのサイズを変更することができます。

スタートメニュー－“設定”－システムタブ－“画面”－文字サイズタブをタップして変更できます（☞10-30ページ）。

タイトルバーに表示されるアイコンについて

① **時刻表示** 10:00
時刻を表示します。タップするとウィンドウが表示され、今日の日付と時刻、今日これから一番近い予定が分かります(ウィンドウはしばらくすると自動的に消えます)。
時刻にタップしたままにするとメニューが表示され、アナログ表示に変更できます。

② **入力モードのアイコン あ**
文字入力(ATOK)時の入力モードを表示します。
入力モードは文字キーを押すと切り替わります。
文字入力については、1-50ページをご覧ください。
Today画面(待ち受け画面)や"電話"では音量アイコンが表示されます。

③ **インターネット接続のアイコン**
：インターネットに接続している状態を示します。
：インターネットに接続していない状態を示します。

④ **電波状態のアイコン**
電波の受信状態をアイコンで表示します。
このアイコンは、電波状態ランプと連動しています(☞1-3ページ)。
※ ホームページ閲覧中やメール送信／受信のためにインターネット接続中、このアイコンは消えます。このとき、電波状態は電波状態ランプで示します(☞1-3ページ)。
圏外：エリア外または電波が届いていない場所にいます。

強 ←→ 弱
OFF：通信／電話機能(W-SIM(PHS))を停止状態を示します(☞3-49ページ)。
PIN：W-SIMをロックしている状態を示します(☞3-39ページ)。
：W-SIMがこの製品に装着されていません。

● タイトルバーに表示されるアイコンの数は4つです。この数を越えるとが表示されます。にタップすると隠れているアイコンが表示されます。

⑤ 充電池残量のアイコン

充電池の残量を表示します。

：ある程度残っています。

：少なくなっています。

：あまり残っていません。充電してください。

：ほとんど残っていません。充電してください。

充電池の残量は、パワーマネージメント画面（バッテリタブ）（☞10-19ページ）でも確認できます。

：充電中を示します。

※キーロック中は充電池残量アイコン になりが付きます。

⑥ 通話中／通信中のアイコン ／PT

：通話中であることを示します。

32PF、64BE、64GR、PT、FC：通信中、通信方式を表示します。

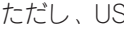
それぞれのアイコンについては、8-23ページをご覧ください。

⑦ アラームのアイコン

予定にアラームを設定しているとき、アラーム時刻になると表示されます。また画面下部にその予定の内容を表示します。画面下部に表示された予定の内容を消すには、画面左下の消去にタップします（☞1-32ページ）。

⑧ メールのアイコン

：Eメール（ウィルコム）の自動受信中または自動受信終了時に表示されます。
また画面下部に状態を表示します。画面下部の表示を消すには、画面左下のOKにタップします。

：この製品で受信していないEメール（ウィルコム）がセンターに有る場合に表示されます。
また画面下部に状態を表示します。画面下部の表示を消すには、画面左下のOKにタップします。

画面下部のアイコンについて

Today画面（待ち受け画面）の下部には、以下のアイコンが表示されます。

：キーロックがオン（有効）になっています（☞1-8ページ）。

：通話／通信機能が制限されています（☞3-38ページ）。

：バイブレータがオン（有効）になっています（☞3-28ページ）。

：伝言メモがオン（有効）になっています（☞3-14ページ）。

：マナーモードがオン（有効）になっています（☞3-34ページ）。
ダイヤルキーの ［※マナー］ キーを長く押すとマナーモードになります。

：安全運転モードがオン（有効）になっています（☞3-35ページ）。
ダイヤルキーの ［#］ キーを長く押すと安全運転モードになります。

：不在着信があったことを示します。
1-15ページの④で不在着信の件数が表示されると、このアイコンが表示されます。

：伝言メモ（メッセージ）があることを示します（☞3-14～15ページ）。

：未読のメールがあることを示します。
1-15ページの⑤で未読のメールがあると、このアイコンが表示されます。

：未読のライトメールがあることを示します。
1-15ページの⑤で未読のライトメールがあると、このアイコンが表示されます。

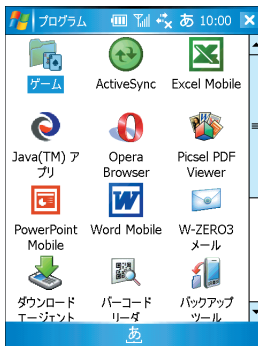
：実行（起動）中のプログラムがあることを示します。

アイコン色	実行中のプログラム
青色	：1～5
黄色	：6～10
赤色	：11以上

実行中のプログラムが多くなるとメモリ不足になり、全体の動作が遅くなります。
メモリ不足を解消するには、このアイコンをタップし表示されたメモリ画面（［実行中のプログラム］タブ）でプログラムを終了します。

：パソコンと接続し同期（ActiveSync）していることを示します。
ただし、USB接続画面（［ActiveSync］タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しているときのみこのアイコンは表示されます。

※安全運転モードをオン（有効）にしていると、バイブレータはオン（有効）になりません。

プログラム画面について

スタートメニューの“プログラム”にタップしてプログラム画面を表示します。プログラム画面のアイコンをタップすると、それぞれのプログラムを起動できます。

ゲーム
ゲームソフトが2つ入っています（☞9-12ページ）。

ActiveSync
ActiveSyncを使ってパソコンのMicrosoft Outlookの仕事や予定表などと同期します（☞8-2ページ）。

Excel Mobile
表の作成や修正ができます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。

Java™アプリ
Javaアプリケーションを実行するためのJava実行環境です（☞9-14ページ）。ゲームなどのJavaアプリケーションなどを利用できます。

Opera Browser
ホームページの閲覧ができます（☞5-11ページ）。

Picsel PDF Viewer
PDFファイルを表示することができます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。※ファイルによっては表示できないことがあります。

PowerPoint Mobile
PowerPointのファイルを表示できます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。

Word Mobile
文字サイズや文字色を変えたり、レイアウトを変えて文章を作ることができます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。

W-ZERO3メール
インターネットを経由して、パソコンやウィルコムの電話機などとメールの送受信ができます。“メール”との違いについては、4-2ページをご覧ください。

※「ダウンロードエージェント」は、この製品では対応しておりません。

バーコード リーダ
内蔵カメラを使ってQRコードなどを読み取ることができます（☞7-15ページ）。

バックアップツール
この製品に保存しているデータなどをminiSDカードにバックアップ（保管）したり、保管したデータをこの製品にリストア（復元）します（☞9-3ページ）。

ファイル エクスプローラ
本体メモリや取り付けたメモリカード内のフォルダやファイルを表示したりすることができます（☞9-8ページ）。また、新規のフォルダを作成したり、ファイルの削除やコピーなどができます（ファイルにタップしたままにして表示されるメニューから「コピー」などを選択します）。

ブンコビューア
XMDF形式の電子書籍を読むためのビューアです。
電子書籍はSharp Space Town（http://www.spacetown.ne.jp/）などで購入できます。
ブンコビューアについてくわしくは、ブンコビューアのヘルプをご覧ください。
あらかじめ、サンプルの電子書籍が入ってます。

メモ
スタイラスペンを使って画面に手書きしたり、文字を入力することができます（☞6-39ページ）。
また、自分の声などを録音しメモに貼り付けることもできます。

画像とビデオ
静止画や動画の撮影および画像の編集ができます。また、内蔵カメラはこのアプリケーション上で動作します（☞7-2ページ）。

検索
「My Documents」フォルダとそのサブフォルダ内のファイルなどを検索することができます（☞1-62ページ）。

仕事
期限を決めて仕事の管理ができます（☞6-28ページ）。

電卓
9桁の四則計算ができます（☞9-2ページ）。

電話
電話をかけることができます（☞3-2ページ）。

予定表
打ち合せや会議などのスケジュールを入力し管理できます（☞6-2ページ）。

設定画面について

着信音や待ち受け画面など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。
スタート メニューの “設定”にタップすると、設定画面が表示されます。
設定画面には3つのタブがあり、以下の項目が設定できます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

◇ 個人用 タブ ◇

Today（☞10-2ページ）
待ち受け画面となるToday画面（☞1-14ページ）を設定します。
デザイン ：Today画面の背景を変更します。
アイテム ：Today画面に表示する情報（仕事、予定表など）と表示順などを設定します。
カーソルキー ：Today画面で（カーソル）キーの左右を押したときの動作を設定します。

オーナー情報（☞10-5ページ）
オーナー情報を入力します。
オーナー情報 ：名前、住所などを入力します。
メモ ：メモなどを入力します。
オプション ：電源を入れたときに、オーナー情報やメモを表示する／しないを設定します。

ボタン（☞10-6ページ）
画面（表示部）の下などにあるキーに割り当てる機能を設定します。
プログラムボタン ：キーに対して、割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。
上／下コントロール ：（カーソル）キーを押したとき、スクロールを開始するまでの時間や移動速度などを変更します。

メニュー（☞10-7ページ）
スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

ロック（☞10-8ページ）
パスワードを設定して、この製品を他人が使えないようにします。
パスワード ：パスワードなどを設定します。
ヒント ：パスワードを忘れたときに、パスワードを思い出すヒントになる文章などを入力します。

入力（☞10-9ページ）
よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。
入力方法 ：Microsoft IMEの文字の入力方法の設定や単語の登録をします。
オプション ：録音形式や手書き入力の詳細などを設定します。

電話 ー 基本タブ
自番号 ：この製品の電話番号やオンラインサインアップで登録されたメールアドレスなどが表示されます（☞3-19ページ）。
発着信／通話：発信者番号通知、圏外警告音などの設定ができます（☞3-36ページ）。
データ通信 ：通信中の着信のON／OFF（☞3-30ページ）や通信方式の設定ができます。
受話音量 ：受話音量の音量調整ができます（☞3-13ページ）。

電話 ー 呼出タブ
着信音量 ：着信音の音量設定ができます（☞3-25ページ）。
メロディ ：電話着信音／メール受信音を設定できます（☞3-26ページ）。
バイブ ：バイブレータの設定ができます（☞3-28ページ）。
照明 ：電話着信時やメール受信時、バックライトを点灯したりキーのバックライトを点灯するようにできます（☞3-31ページ）。
ランプ ：電話着信時／メール受信時、電波状態ランプ（☞1-2ページ）を点滅／点灯する設定ができます（☞3-32ページ）。
呼出時間 ：メールやライトメール受信時、音／メロディ／バイブレータ／照明による呼び出し時間が設定できます（☞3-33ページ）。

電話 ー マナータブ
マナーモード：マナーモードの設定ができます（☞3-34ページ）。
安全運転 ：安全運転モードの設定ができます（☞3-35ページ）。
伝言メモ ：伝言メモの設定ができます（☞3-14ページ）。

電話 ー セキュリティ タブ

通話通信制限 ：通話や通信機能を制限（ロック）します（☞3-38ページ）。

W-SIMロック ：PINコードを設定して、PHS電話機能を使えないようにします（☞3-39ページ）。

着信拒否 ：非通知拒否や指定番号拒否の設定ができます（☞3-42～44ページ）。

位置情報 ：位置情報機能の設定ができます（☞3-45ページ）。

暗証番号変更 ：W-SIMの暗証番号（4桁数字）の変更ができます（☞3-41ページ）。

電話 ー その他 タブ

電話帳転送 ：W-SIMに保存されている電話帳データを連絡先に登録したり、連絡先のデータをW-SIMに書き込みます（☞3-47ページ）。

メールプロキシ：Eメール（ウィルコム）の自動受信のON／OFFなどの受信設定ができます（☞4-51ページ）。

W-SIM情報 ：この製品に装着しているW-SIMのバージョン情報を確認できます（☞3-49ページ）。

音と通知（☞10-12ページ）

音や通知の方法を設定します。

サウンド ：アラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

通知 ：ActiveSync開始など各種イベントの通知方法を設定します。

◇ システム タブ ◇

システム タブをタップします。

ATOK設定（☞10-13ページ）

日本語入力にATOKを使用する／しないを設定したり、ATOKを使った変換方法などを設定します。

エラー報告（☞10-16ページ）
エラーが発生したときに、マイクロソフトに内容を報告する／しないを設定します。

バックライト（☞10-17ページ）
バックライトの明るさや減光するまでの時間などを設定します。

バッテリ	：充電池を使っている（ACアダプターを接続していない）ときのバックライトを設定します。
外部電源	：ACアダプターを接続しているときのバックライトを設定します。
明るさ	：バックライトの明るさを調節できます。

バージョン情報（☞10-21ページ）

バージョン	：この製品のバージョン情報などを確認できます。
デバイスID	：この製品の名前を設定します。
著作権	：本製品の著作権について確認できます。

パワーマネージメント（☞10-19ページ）

バッテリ	：充電池（バッテリ）の残量を確認できます。
詳細設定	：最後の操作から一定時間が経過すると、この製品の電源が切れるようにオートパワーオフの設定をします。

プログラムの削除（☞10-22ページ）
追加したプログラムを削除します。

メモリ（☞10-23ページ）

メイン	：この製品のメモリの使用状況が確認できます。
メモリカード	：装着しているメモリカードの使用状況が確認できます。
実行中のプログラム	：実行中のプログラムを確認できます。

ユーティリティ（☞10-25ページ）

音量調節キー	：音量調節キーで音量調節するのかページスクロールするのかを設定します。
縦横表示切替	：キーボードを開いたときに画面の向きを切り替える／切り替えないを設定します。
キー点灯	：キーボードのキーやダイヤルキーのバックライトの設定ができます。

地域（☞10-27ページ）
地域、数値、通貨、時刻、日付の各タブで、表示される数値の形式を変更できます。

時計とアラーム（☞10-28、10-29ページ）

時刻　：現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

アラーム　：毎週決まった時刻に表示するアラームを設定します。

その他　：プログラムのタイトルバーに時計を表示する／しないを設定します。

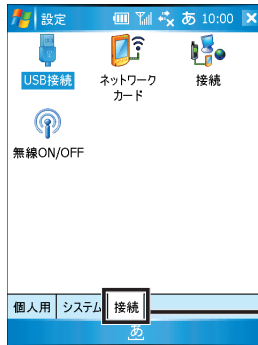
画面（☞10-30ページ）

全般　：表示方向（縦画面／横画面）の設定や、タッチスクリーンの補正をします。

文字サイズ：文字のサイズを設定します。

証明書（☞10-32ページ）

個人証明、ルート証明を表示します。

◇ 接続タブ ◇

USB接続（☞8-9、8-21ページ）

USB接続　：パソコンと接続して同期（ActiveSync）するか、モデムとして使用するかを設定します。

ActiveSync：同期（ActiveSync）する場合、接続の方式を設定します。

ネットワークカード

今後、この製品に接続できるワイヤレスLANデバイスなどが商品化されたときに、接続設定を行います（2006年6月現在）。

接続（☞2-20ページ）

設定や詳細設定タブから、インターネットなどのネットワークに接続する設定をします。

無線ON／OFF（☞3-49ページ）

W-SIMの通信機能をON（有効）／OFF（停止）にします。

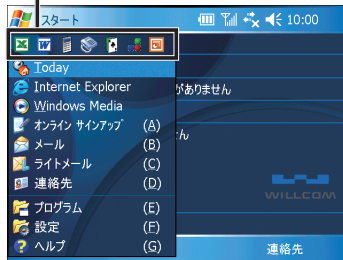
アプリケーションプログラムを起動／終了する

アプリケーションプログラムの起動は、次のようにします。
・スタートメニューから起動します。
・プログラム画面のアイコンにタップして起動します。
・画面（表示部）下のキーや、ダイヤルキーを押して起動します。

スタートメニューから起動する

1 **画面左上の“スタート”をタップ、または キーを押します。**

2 **スタートメニューの“連絡先”などにタップします。**

最近使ったプログラムのアイコンが表示されます。
タップすると起動します。

最近使ったプログラムが表示されます。

● スタートメニューに表示される内容を変更できます。
変更のしかたについて、くわしくは10-7ページをご覧ください。

プログラム画面から起動する

1 **画面左上の“スタート”をタップ、または キーを押します。**

2 **スタートメニューの“プログラム”をタップします。**
プログラム画面が表示されます（☞1-19ページ）。

3 **プログラム画面で起動したいプログラム（“Word Mobile”など）をタップします。**

● 画面（表示部）下の キーや キーを長く押すと、ブラウザソフトやメールソフトが起動します。

アプリケーションプログラムを終了する

プログラム表示中に画面右上の ✕ や ok にタップして画面が消えてもそのプログラムは終了していません。プログラムを終了するために、以下のどちらかの操作を行ってください。

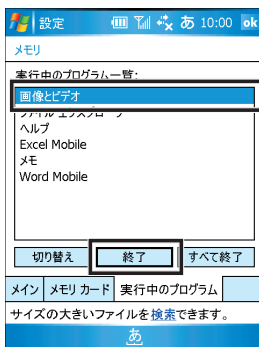
■設定(メモリ)画面でプログラムを選択して終了します。

操作方法は、以下をご覧ください。

1 以下のどちらかの方法でメモリ画面(実行中のプログラムタブ)を表示します。

・Today画面(待ち受け画面)で、アイコンをタップします。

・スタートメニューの“設定”ー システム タブー“メモリ”ー 実行中のプログラム タブをタップします。

2 実行中のプログラム一覧から終了したいプログラム名を選び、終了 をタップします。

ご注意!

● プログラムの状態によっては、「このプログラムはビジー状態にあるか、ユーザーからの応答を待っている…」というメッセージ(画面)が表示されることがあります。このようなとき、終了してもよければ、タスクの終了 にタップします。ただし、このプログラムで保存していないデータは削除されますのでご注意ください。

■通話していない状態で PWR HLD キーを押します。

“予定表”や“Windows Media Player”などのプログラムが終了します。ただし、“電話”、“メール”、“W-ZERO3メール”、“ライトメール”、“バックアップツール”、“ActiveSync”、“ブンコビューーア”、“ファイルエクスプローラ”、“Bubble Breaker”、“Picsel PDF Viewer”、“ご購入後に追加したプログラム”などは終了しません。

またインターネット接続中は、回線を切断します。

※この製品をモデムとして使用しているときは切断しません。

オートパワーオフ（画面の電源オフ）で着信する

ご購入時には、最後の操作から一定時間が経過すると画面の電源が自動的に切れるように、オートパワーオフ機能が設定されています（☞10-20ページ）。
画面の電源が切れても、次の場合は自動的に電源が入ります。

・電話がかかってきたとき
・ライトメールを受信したとき
・Eメール（ウィルコム）を自動受信したとき
・予定表などで設定しているアラーム時刻になったとき

また、以下の操作を行うと電源が入ります。

・PWR HLDキーを含めていずれかのキーを押したとき
・USBケーブルを接続したとき

- キーロック中は、キーロックスイッチを解除（☞1-8～9ページ）すると電源が入ります。
  ※電源キーを押したときは、画面がオンしますが、キーロックはかかったままです。
- オートパワーオフの設定は変更できます（☞10-20ページ）。
- インターネットに接続しているときは、オートパワーオフしません。

本体の電源を切ったときは

PWR HLDキーを長く押して電源を切ったときは、電話着信やメールなどの受信はできません。予定表などで設定しているアラーム時刻になっても自動的に電源は入りません。
本体の電源を切ったときは、PWR HLDキーを長く押して電源を入れてください。USBケーブルを接続しても電源が入ります。

減光したバックライトを点灯する

自動節電機能（☞10-17ページ）によって最小輝度になった画面のバックライトを点灯（元の明るさ）します。

画面にタップしたりキーボードのキーを押します。

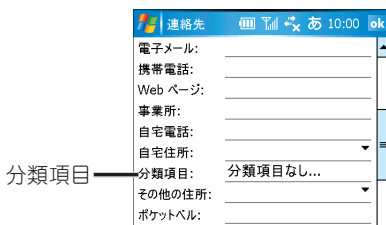
ライトが点灯します。

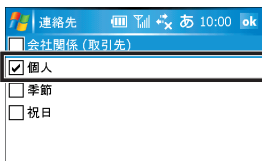
- しばらく操作しないと自動的にライトが最小輝度になります。この設定は変えることができます（☞10-17ページ）。
- ライトを点灯して使用すると、使用時間が短くなります。
  必要なとき以外は、ライトを消したり、明るさを調整して使用することをおすすめします（☞10-18ページ）。
- 「ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける」設定のチェックを外しているときは、点灯しません（☞10-17ページ）。
- ライトの特性上、ライト点灯時には濃淡のラインが見えますが、故障ではありません。

連絡先／予定表／仕事のデータを分類する

連絡先、予定表、仕事では、データを「会社関係（取引先）」や「個人」などの分類項目で整理してグループにできます。分類項目を設定しておくと、「会社関係（取引先）」の仕事だけなど、必要な情報をすばやく検索（フィルタ）できます。
また、分類項目を追加したり、1つのデータに複数の分類項目を設定したりできます。

データに分類項目を設定する

1 **分類したいプログラムを起動し（☞1-26ページ）、分類項目を設定したいデータの入力画面を表示します。**
ここでは、連絡先の画面を例にします。

2 **「分類項目」欄にタップします。**
分類項目を選択する画面が表示されます。

3 **設定したい分類項目にタップしてチェックをつけます。**
チェックは複数つけられます（複数の項目に分類できます）。

4 **okにタップします。**
チェックをつけた分類項目が入力画面に表示されます。

5 **okにタップします。**
分類項目を設定したデータが保存されます。

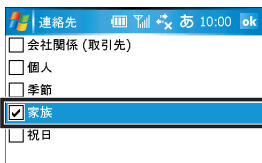
- 設定した分類項目のデータだけを表示（フィルタ）する方法については、1-31ページをご覧ください。

新しい分類項目を追加する

1 **各プログラムで、分類項目を設定したいデータの入力画面を表示します。**

2 **「分類項目」欄にタップし、画面左下の新規にタップします。**

3 **追加する分類項目を入力し、完了にタップします。**

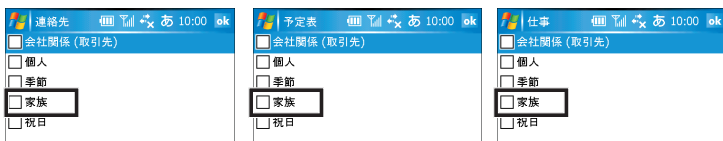
分類項目の選択画面に、追加した分類項目(チェックつき)が表示されます。

- 続けて分類項目を追加するときは、画面左下の新規にタップし、手順**3**を行ってください。
- 追加した分類項目は削除できません。また、修正もできません。
  削除するときは、すべてのデータから削除したい分類項目のチェックを外し、データを保存しなおすと、その分類項目は削除されます。1つでも分類項目にチェックが付いているデータが残っていると、その分類項目は削除されません。
  分類項目を修正するときは、分類項目を削除したのち新たに追加します。

4 **okにタップします。**

チェックをつけた分類項目が入力画面に表示されます。

5 **okにタップします。**

分類項目を設定したデータが保存されます。

- 追加した分類項目は、連絡先、予定表、仕事のプログラム間で共有されます。いずれかで、追加および設定した(チェックをつけた)分類項目は、各プログラムの分類項目を選択する画面に共通して表示されます。

- 追加した分類項目を設定しているデータがなくなると、追加した分類項目も自動的に表示されなくなります(削除されます)。

分類したデータだけを表示する(フィルタ)

連絡先、予定表、仕事では、設定した分類項目(☞1-29ページ)のデータだけを一覧画面にフィルタ表示できます。

1 **フィルタ表示したいプログラムを起動します(☞1-26ページ)。**

2 **各プログラムの一覧画面で、画面右下の[メニュー]−[フィルタ]にタップします。**

3 **メニューから、表示したい分類項目にタップします。**

選択した分類項目のデータだけが一覧画面に表示されます。

MEMO

- 手順**3**のメニューには、設定している分類項目が表示されます。
- 手順**3**で「分類項目なし」を選択すると、分類項目を設定していないデータだけが一覧画面に表示されます。
- すべてのデータを表示するときは、手順**3**で「すべての***」を選択します。

アラーム通知画面を消す/再通知する

アラームは2種類あります。

・予定表や仕事で設定したアラーム(☞6-4、6-29、10-12ページ)

・時計から設定したアラーム(☞10-29ページ)

それぞれのアラームで音の種類やバイブレートの設定ができます。

マナーモードや安全運転モードのときは音は鳴りません。

表示されたアラーム画面は、メニューから内容を確認したり再通知したりできます。

アラーム通知画面を確認する

アラームは、設定した時間になると画面下方に表示されます。

- 予定や仕事のアラーム通知は、画面右下の[メニュー]−[アイテムの表示]にタップすると詳細画面が表示されます。
  アラーム通知画面を再度表示するときは、画面左下の[アラーム]やタイトルバーの🔔をタップします。

1 基本操作

基本的な使いかた

アラーム通知画面を消す

1 **アラームの通知画面で、画面左下の 消去 にタップします。**

MEMO

- アラーム通知画面が複数あるときは、別の通知画面が表示されます。
- 複数のアラーム通知画面をすべて消すときは、画面右下の メニュー − すべて消去 にタップします。
- アラーム通知画面をもう1度表示したいときは、タイトルバーの🔔をタップします（☞1-17ページ）。

アラームを再通知する

1 **再通知したいアラームの通知画面で、画面右下の メニュー にタップし、再通知の時間を選択します。**

- 5分前にアラームを表示する ： その予定や仕事に設定している時間の5分前に再通知します。
- 5分後に再通知 ： 今から5分後に再通知します。
- 15分後に再通知 ： 今から15分後に再通知します。
- 1時間後に再通知 ： 今から1時間後に再通知します。
- 1日後に再通知 ： 今から1日後に再通知します。

メモリ不足を解消する

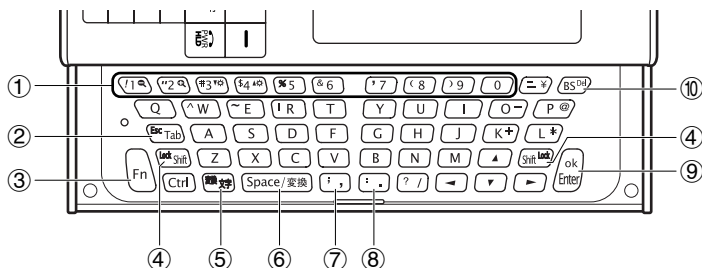
動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、メモリ不足を解消してください。
データ記憶用メモリ不足とプログラム実行用メモリ不足の場合があります。くわしくは、10-24ページをご覧ください。

文字入力のしかた

文字を入力するには、次の3つの方法があります。
・キーボードを使って入力する（☞下記）
・文字入力パネルを使って入力する（☞1-42ページ）
・ダイヤルキーを使って文字を入力する（☞1-50ページ）

この製品には「ATOK」が搭載されており、推測変換機能（☞1-39ページ）などを使って効率的な文字入力が可能です。
ご購入時は「ATOK」が有効になっていますが、ATOKを使用せずに「Microsoft IME」で文字入力もできます。「ATOK」と「Microsoft IME」の切り替え方法は、10-13ページをご覧ください。

キーボードの基本操作について

文字入力に必要なキーボードの基本的な役割について説明します。

① 数字キー、(🔍-)キー、(🔍+)キー、(▼☼)キー、(▲☼)キー

・数字を入力します。
・(Shift)キーを押したまま、または押した直後に数字キーを押すと数字キーの左上側の記号（！、”、＃、＄、％、＆、’、（、））を入力します。
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後に(🔍-)キーや(🔍+)キーを押すと、Excel MobileやWord Mobileなどで表示文字サイズを変更できます。
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後に(▼☼)キー（暗く）や(▲☼)キー（明るく）を押すと、バックライトの明るさを変えます。

② (Tab)（Esc）キー

・新規作成や編集画面では、次の項目にカーソルやフォーカスが移動します。
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、確定前の文字を削除します。

③ **Fnキー**

・キーの上側に書かれている記号(＾、〜、｜、＿、@、＋、＊、¥)を入力したり、機能を実行します。Fnキーを押したまま、または押した直後に該当するキーを押します。

④ **Shift(Lock)キー**

・英字入力時に働きます。このキーを押したまま、または押した直後に文字のキーを押すと、大文字が入力されます(大文字入力状態のときは、小文字が入力されます)。
・このキーを押したまま、または押した直後に ＝¥ キーや ？/ キーを押すとキーの左上側の記号(＝、？)を入力します。
・Fnキーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、英字を大文字で入力できる状態(Caps Lock)と、小文字で入力できる状態を交互に切り替えます。

⑤ **文字(変換)キー**

・文字入力モードを切り替えます。
このキーを押すたびに、文字入力モードが切り替わります(☞次ページ)。
・Fnキーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、入力中のひらがな／カタカナを漢字に変換します。もう一度Fnキーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、別の候補を表示します。

⑥ **Space/変換キー**

・入力中のひらがな／カタカナを漢字に変換します。
・スペースを入力します。
・漢字変換中にこのキーを押すと、別の候補が表示されます。

⑦ **；,キー**

・ひらがな／カタカナ入力時は「、」、英字入力時は「，」が入力されます。
・Shiftキーを押したまま、このキーを押すと、「；」が入力されます。

⑧ **：.キー**

・ひらがな／カタカナ入力時は「。」、英字入力時は「．」が入力されます。
・Shiftキーを押したまま、このキーを押すと、「：」が入力されます。

⑨ **Enter(ok)キー**

・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。
・変換中の文字がないときは、改行します。

⑩ **BS(Del)キー**

・カーソルの前(左側)の文字を削除します。
・Fnキーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、Delキーとして働き、カーソルの後ろ(右側)の文字を削除します。
・漢字変換中は、変換を取り消します。

● **アンダーバーを入力するときは**
Fn キーを押したまま、または押した直後に O ￣ (アルファベットのオー)キーを押します。

キーボードを使って文字を入力する

ここでは、キーボードを使った文字の入力方法について説明します。
まずは、文字を入力する前に入力モードを確認します。

入力モードの確認と切り替え

キーボードで文字を入力するときの入力モードは、画面下に表示されます。
入力モードの切り替えは、キーボードの(文字)キーを押します。

画面下
（メニューバー）

入力モードが表示されます。
あ ：「ひらがな」の入力になります。
カ ：「全角カタカナ」の入力になります。
ｶ ：「半角カタカナ」の入力になります。
Ａ ：「全角英字」の入力になります。
A ：「半角英字」の入力になります。

ローマ字でひらがなや漢字を入力する

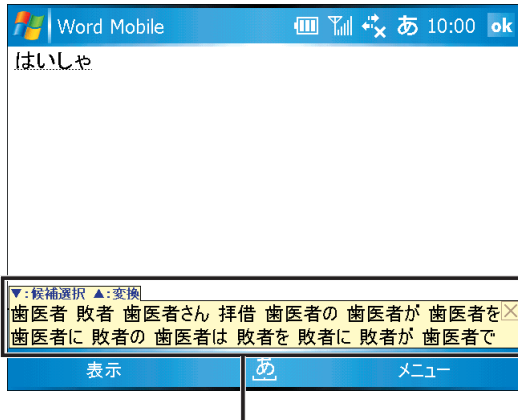
1-35～38ページの文字入力は、ATOK、Microsoft IME共通です。ただし、Microsoft IMEにした場合、推測変換候補ウィンドウは表示されません。
ローマ字でひらがなを入力し（☞「ローマ字→かな変換表」11-17ページ）、漢字に変換します。

（例）Word Mobileで「はいしゃ」と入力して、「配車」に変換します。

1 **Word Mobileの新規画面を表示します（☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「Word Mobile」）。**

2 **入力モードがあになっていることを確認します。**
カなどになっているときは、キーボードの(文字)キーを数回押し、あにします。

3 キーボードから「はいしゃ」と入力します。

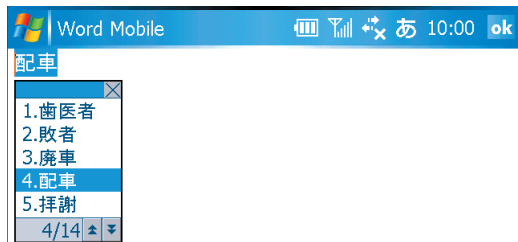
Ⓗ Ⓐ Ⓘ Ⓢ Ⓨ Ⓐ キー を順に押します。

ATOKの推測変換機能を有効にしている場合、文字を入力すると推測変換候補ウィンドウが表示されます。このウィンドウを使った文字の入力方法については1-39ページをご覧ください。

4 Space/変換キーを押します。

「歯医者」と変換されます。

5 続けてSpace/変換キーを押します。

Space/変換キーを押すたびに、別の変換候補が表示されます。

入力したい語(ここでは「配車」)が表示されるまで、Space/変換キーを数回押します。

- Fnキーを押したまま、または押した直後に文字(変換)キーを押しても、別の変換候補が表示されます。
- 推測変換候補ウィンドウが表示されていない場合は、▼キーまたは▲キーを押しても、別の変換候補が表示されます。

6 (Enter)キーを押します。

選択した変換候補が確定されます。

● 入力したい漢字が表示されないときは、手書き入力で入力してみてください(☞1-46ページ)。

1 基本操作

変換中の漢字を別の漢字にする

複数の文節の読みを入力して変換します。

(例)「新しい企画を提案する」を「新しい規格を提案する」に変換します。

1 「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。

2 (Space/変換)キーを押します。

Word Mobile あ 10:00 ok
新しい企画を提案する

3 (Shift)キーを押したまま、または押した直後に(▶)キーを押します。

カーソルが次の文節に移ります。

Word Mobile あ 10:00 ok
新しい企画を提案する

● (Shift)キーを押したまま、または押した直後に(◀)キーを押すと、カーソルが前の文節に移ります。
● (◀)キーまたは(▶)キーで文節の区切りを変更することができます。
● **Microsoft IMEの場合は**
文節を移る場合は、(◀)キーまたは(▶)キーを押します。
文節の区切りを変更する場合は、(Shift)キーを押したまま、または押した直後に(◀)キーまたは(▶)キーを押します。

文字入力

4 Space/変換キーを押します。

Space/変換キーを押すたびに、別の変換候補が表示されます。
入力したい語が表示されるまで、Space/変換キーを数回押します。

5 Shiftキーを押したまま、または押した直後に▶キーを押します。

手順**4**で選択した変換候補が入り、カーソルが次の文節に移ります。

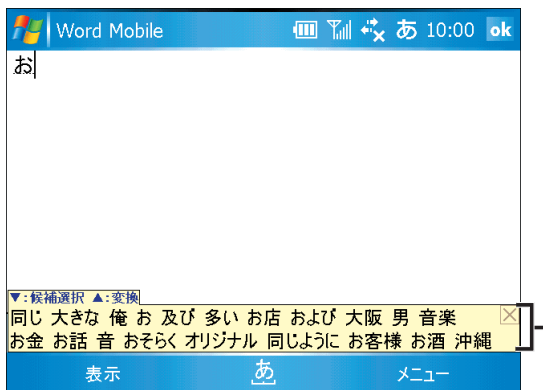
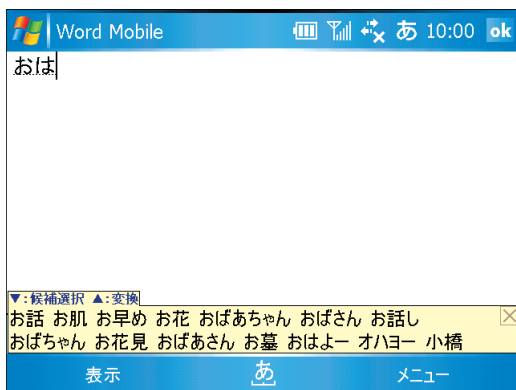
- 続けて文字を変換する場合は手順**4**〜**5**を繰り返します。
- Microsoft IMEの場合は、Shiftキーを押さずに▶キーを押します。

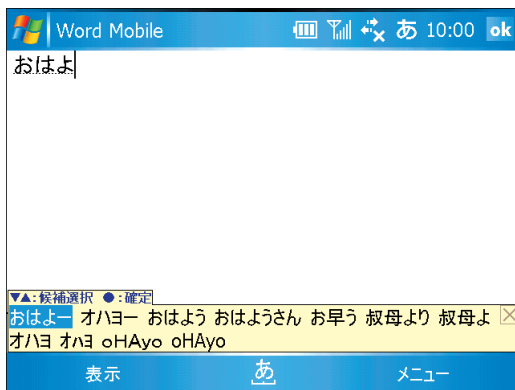
6 Enterキーを押します。

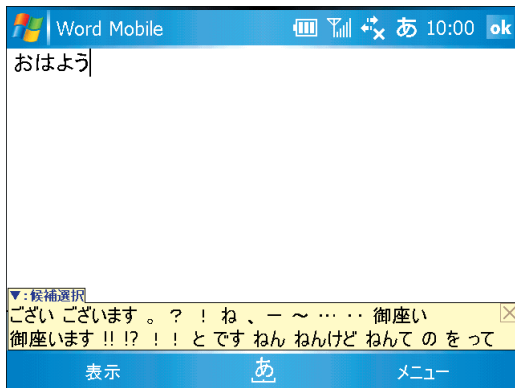
推測変換機能を使って文字を入力する(ATOKのみ)

推測変換機能を有効にしている場合、文字を入力すると、入力した文字から推測される語句の候補を推測変換候補ウィンドウに表示します。
表示された変換候補から目的の語を選択して漢字やひらがな、数字、英字を入力することができます。キーを押す回数が少なくなるので便利です。
ご購入時は推測変換機能が使える状態になっています。無効にする場合は、10-13ページをご覧ください。

文字を入力します。

推測変換候補ウィンドウが表示されます。

1文字ずつ文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。

2 文字を入力していき、変換したい語が推測変換候補ウィンドウに表示されたら、(▼)キーを押します。

推測変換候補ウィンドウの変換候補を選択できるようになります。

3 (▼)キーまたは(▲)キーで入力したい語を選択し、(Enter)キーを押します。

選択した変換候補が確定されます。

入力した文字が確定されると、その後に続く変換候補が表示されます。

「おはよう」と入力して確定すると、推測変換候補ウィンドウに「ござい」などが表示されます。
続けて、推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補から変換を行っていくだけで、「おはようございます。」などの文章を入力することができます。

MEMO

- 推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補をタップしても、語の入力ができます。
- 推測変換候補ウィンドウの右上にある☒をタップすると、推測変換候補ウィンドウの表示が消え、文字の入力が取り消されます。
- 変換候補として表示される語の文字種は変更することができます（☞10-13ページ）。
- 一度変換すると、変換した語が学習され、推測変換候補ウィンドウに優先して表示されます。

文字入力パネルについて

文字入力パネルには、画面に表示されるキーをタップして文字を入力する「キーボード入力パネル」と手書き文字を入力する「手書き入力パネル」があります。

■キーボード入力パネル

「ひらがな／カタカナ」入力パネル

「ローマ字／かな」入力パネル

■手書き入力パネル

「手書き検索」入力パネル

「手書き入力」入力パネル

文字入力パネルを表示する

1 画面下のあなどをタップします。

文字入力パネルが表示されます。

文字入力パネルの表示／非表示を切り替えます。
表示している文字入力パネルによって、次のアイコンが表示されます。

- あ ：「ひらがな／カタカナ」入力パネル
- A ：「ローマ字／かな」入力パネル
- ：「手書き検索」入力パネル
- ：「手書き入力」入力パネル

MEMO

- 文字入力パネルは一度表示すると、文字を入力する画面で常に表示されるようになります。

表示している文字入力パネルを消す

1 **画面下の A などをタップするか、キーボードの各キーやダイヤルキーを押します。**

表示している文字入力パネルが消えます。

文字入力パネルを切り替える

1 **画面下の A などの右横の ⌃ をタップし、表示されたメニューから使用したい文字入力パネルをタップします。**

候補の語を表示して文字を入力する(推測変換機能)

文字を入力すると、入力した文字から推測される語句の候補を表示させて、候補の文字をタップして文字入力ができます。
また、文字を確定すると、これまでの文字入力の履歴より次に続く文字を推測して語句の候補を表示し、文字入力を続けることができます(推測変換機能を有効にしている場合☞10-13ページ)。

1 基本操作

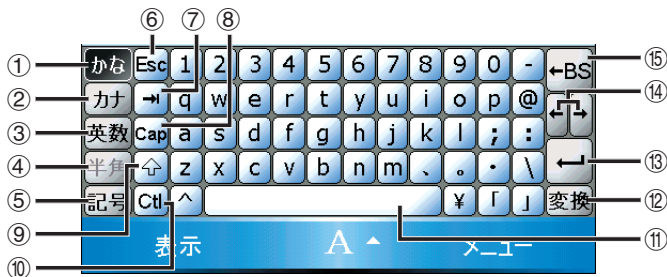
文字入力

キーボード入力パネルを使って文字を入力する

画面に表示されるキーをタップして、文字を入力します。
文字入力は、キーボードを使った文字入力と同じようにできます。
入力のしかたについては、1-35ページをご覧ください。

「ひらがな／カタカナ」入力パネルについて

①	**かな**	ひらがなキーボードに切り替わります。
②	**カナ**	カタカナキーボードに切り替わります。
③	**小字**	タップし反転させると、「っ」、「ょ」などの小文字を入力できます（反転すると、小文字で入力できる文字のキートップが小さく表示されます）。１文字入力すると解除されます。
④	**半角**	カタカナキーボードと記号入力パネルのとき半角カタカナ、半角記号を入力します。
⑤	**記号**	記号入力パネルに切り替わります（☞次ページ）。
⑥	**変換**	入力したひらがななどを漢字に変換します。
⑦	**↵**	Enterキーと同じ働きをします。 ・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 ・変換中の文字がないときは、改行します。
⑧	**空白**	スペースを入力します。
⑨	**←　→**	カーソルを左右に移動します。
⑩	**←BS**	カーソルの前（左側）の文字を削除します。
⑪	**゜**	半濁音（半濁点）を入力します。 たとえば、「ぴ」を入力するときは、ひにタップし、゜をタップします。
⑫	**゛**	濁音（濁点）を入力します。 たとえば、「が」を入力するときは、かにタップし、゛をタップします。

「ローマ字／かな」入力パネルについて

①	**かな**	ローマ字でひらがなを入力します。
②	**カナ**	ローマ字でカタカナを入力します。
③	**英数**	英数字を入力します。
④	**半角**	カタカナ、英数字、記号を半角で入力します。
⑤	**記号**	記号入力パネルに切り替わります(☞下記)。
⑥	**Esc**	・変換中の文字に対して、変換を取り消します。 ・変換前の文字を削除します。
⑦	**→l**	タブを入力します。
⑧	**Cap**	英字を入力するとき、タップして反転させておくと大文字を入力できます。
⑨	**⇧**	タップして反転させておくと英字の大文字や！、＃、＄などの記号を入力できます。1文字入力すると元に戻ります。
⑩	**Ctl**	(Ctrl)キーとして働きます。英数字と組み合わせて機能を実行します。
⑪	**スペース**	スペースを入力します。
⑫	**変換**	入力したひらがななどを漢字に変換します。
⑬	**↵**	(Enter)キーと同じ働きをします。 ・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 ・変換中の文字がないときは、改行します。
⑭	**← →**	カーソルを左右に移動します。
⑮	**←BS**	カーソルの前(左側)の文字を削除します。

●**「記号」入力パネルについて**

「ひらがな／カタカナ」入力パネルや「ローマ字／かな」入力パネルで、(記号)にタップすると記号入力パネルが表示されます。
全角／半角の記号を入力できます。

手書き入力パネルを使って文字を入力する

付属のスタイラスペンを使って、手書きでひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。

「手書き検索」入力パネルで文字を入力する

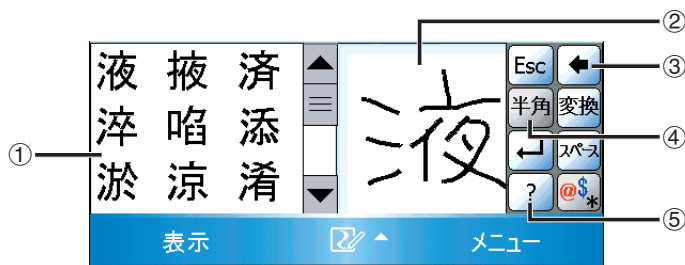
「手書き検索」入力パネルで文字を入力します。

(例)「液」と手書きして変換します。

1 **「手書き検索」入力パネルを表示します(☞1-42ページ)。**

2 **手書き入力枠に「液」と手書き入力します。**
手書きした文字の候補が入力パネルの左側に表示されます。

3 **認識候補一覧から「液」にタップすると、「液」が入力されます。**

4 **↵ にタップすると、「液」の文字が確定されます。**

①	**認識候補**	手書き入力枠に手書きした文字の候補が表示されます。入力したい文字にタップします。
②	**手書き入力枠**	手書き入力します。
③	**←**	手書き中にタップすると、最後の1画が消去されます。手書き入力枠に何もないときは、カーソルの前(左側)の文字を削除します。
④	**半角**	タップして反転した状態でカタカナや英数字などを手書きし認識候補から選択すると、半角のカタカナや英数字を入力できます。
⑤	**?**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

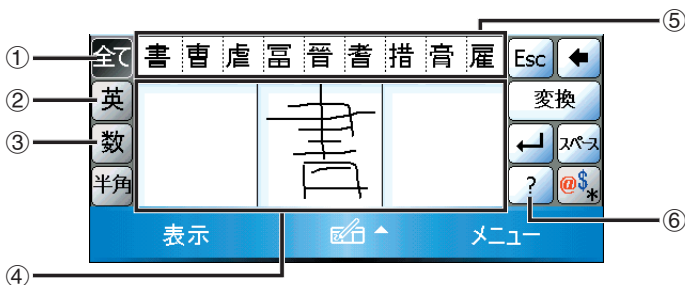
「手書き入力」入力パネルで文字を入力する

1 「手書き入力」入力パネルを表示します(☞1-42ページ)。

2 **枠に1文字ずつ手書きします。**

- 枠に文字を手書きすると認識されて、すぐに候補欄に認識候補が表示されます。
- 別の枠に次の文字を書き始めると、候補欄の左端の候補が自動的に選択されます。
- 別の枠に文字を書かないときは、しばらくしたあと候補欄の左端の候補が自動的に選択されます(選択される前に別の候補にタップすると、その文字が選択されます)。
- どの枠から書いてもかまいません。先に手書きした文字から認識します。

3 **ひらがなを手書きし漢字に変換するときは、 変換 にタップします。**

4 **↵ にタップすると、文字が確定されます。**

①	**全て**	手書きした文字を認識するとき、ひらがな、漢字などすべての種類を候補にします。
②	**英**	手書きした文字を認識するとき、英字および記号を候補にします。
③	**数**	手書きした文字を認識するとき、数字および記号を候補にします。
④	**手書き入力枠**	付属のスタイラスペンで1枠に1文字ずつ手書きします。
⑤	**候補欄**	認識された文字の候補が表示されます。入力したい文字を選択します。
⑥	**?**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

認識した文字を別の文字に変える

誤って選択した文字（確定する前の文字）を、別の文字に変えることができます。この操作は文字入力がMicrosoft IMEになっているときだけです。

1 **手書きで文字を入力します。**

2 **別の文字に変えたい文字の左側にカーソルを移動します。**

候補メニューが表示されます。

3 **目的の文字にタップし、アクションキーまたはEnterキーを押します。**

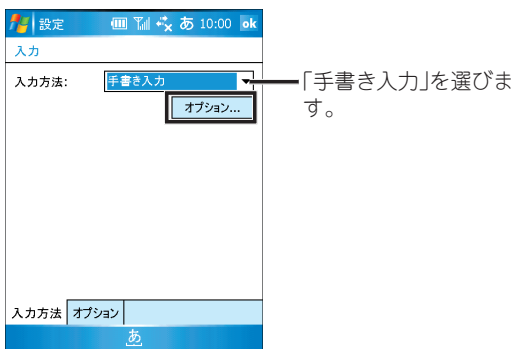
- 文字を確定した後、上記の方法で別の文字に変えることはできません。確定後に文字を変更するときは、目的の文字を削除してから再度入力します。

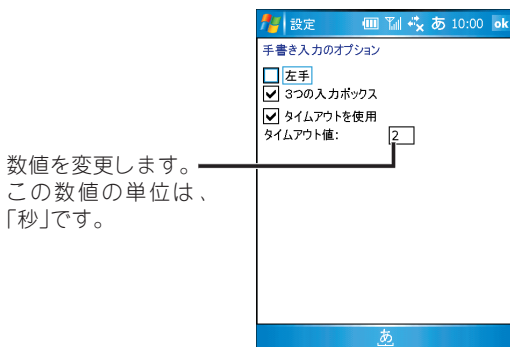
選択されるまでの時間を変更する

認識された文字が、認識候補の中から自動的に選択されるまでの時間を変更できます。

1 **スタートメニューの“設定”にタップします。**

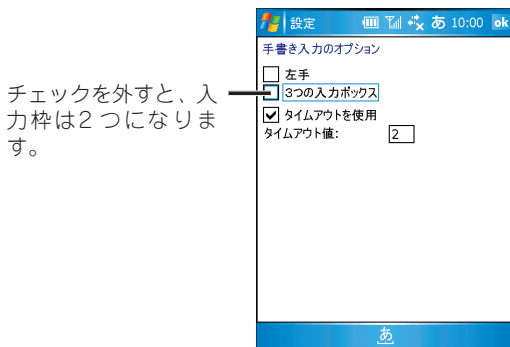
2 **設定画面で個人用タブにタップし、“入力”にタップします。**

3 **入力方法タブで、「入力方法」の右横の▼をタップして「手書き入力」を選択し、オプションをタップします。**

「手書き入力のオプション」設定画面が表示されます。

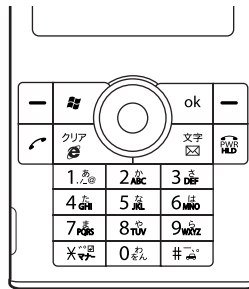
4 「タイムアウトを使用」のチェックボックスにチェックがついていることを確認し、「タイムアウト値」の数値を変えます。

- 「タイムアウトを使用」のチェックを外すと、自動的に選択されなくなります。
  このときは、候補の中から目的の文字をタップします。

5 選択されるまでの時間の変更が終わったら、**ok** をタップします。

手書き認識の入力枠の数を変更する

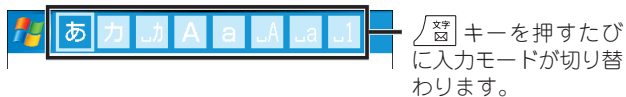
1 「手書き入力のオプション」設定画面（☞上記）で、「3つの入力ボックス」のチェックを外します。

2 入力枠数の変更が終わったら、**ok** をタップします。

ダイヤルキーの基本操作について

文字入力に必要なダイヤルキー（画面（表示部）下のキー）の基本的な役割について説明します。

ご注意！

● Microsoft IMEで文字入力しているときは、ダイヤルキーを使った文字の変換はできません。

ダイヤルキーの入力モードの確認と切り替え

ダイヤルキーで文字を入力するときの入力モードは、画面上に表示されます。入力モードの切り替えは、画面（表示部）下の［文字］キーを押します。

あ ：「ひらがな」の入力になります。
カ ：「全角カタカナ」の入力になります。
ｶ ：「半角カタカナ」の入力になります。
Ａ ：「全角英字（大文字）」の入力になります。
ａ ：「全角英字（小文字）」の入力になります。
A ：「半角英字（大文字）」の入力になります。
a ：「半角英字（小文字）」の入力になります。
1 ：「半角数字」の入力になります。

● ダイヤルキーの入力モードは、［文字］キーを押した後、（カーソル）キーの左右でも切り替えられます。

ダイヤルキーの割り当てについて

ダイヤルキーには複数の文字や記号が割り当てられており、押す回数によって表示が切り替わります。

<table>
<tr><th>キー</th><th>かな漢字変換</th><th>カナ
［全角／半角］※1</th><th>英大文字
［全角／半角］※1</th><th>英小文字
［全角／半角］※1</th><th>半角数字</th></tr>
<tr><td>1</td><td>あいうえお
ぁぃぅぇぉ</td><td>アイウエオ
ァィゥェォ</td><td>．／＿＠１</td><td>．／＿＠１</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>かきくけこ</td><td>カキクケコ</td><td>ＡＢＣａｂｃ２</td><td>ａｂｃ２</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>さしすせそ</td><td>サシスセソ</td><td>ＤＥＦｄｅｆ３</td><td>ｄｅｆ３</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>たちつてとっ</td><td>タチツテトッ</td><td>ＧＨＩｇｈｉ４</td><td>ｇｈｉ４</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>なにぬねの</td><td>ナニヌネノ</td><td>ＪＫＬｊｋｌ５</td><td>ｊｋｌ５</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>はひふへほ</td><td>ハヒフヘホ</td><td>ＭＮＯｍｎｏ６</td><td>ｍｎｏ６</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>まみむめも</td><td>マミムメモ</td><td>ＰＱＲＳｐｑｒｓ７</td><td>ｐｑｒｓ７</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>やゆよゃゅょ</td><td>ヤユヨャュョ</td><td>ＴＵＶｔｕｖ８</td><td>ｔｕｖ８</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>らりるれろ</td><td>ラリルレロ</td><td>ＷＸＹＺｗｘｙｚ９</td><td>ｗｘｙｚ９</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>わをん□（スペース）</td><td>ワヲン□（スペース）</td><td colspan="2">□（スペース）$%+<=>[]^'{|}0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>＊</td><td colspan="2">゛ ゜ ※2 ※3
↵（改行） ※4</td><td colspan="2">↵（改行）</td><td>＊</td></tr>
<tr><td>#</td><td>ー、。！？・</td><td>［全角］ー、。！？・
［半角］-､｡!?･˜()'":;¥&</td><td colspan="2">［全角］ー，．！？・
［半角］-,.!?˜()'":;¥&</td><td>#</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">・入力中の文字がある場合、文字を変換
・変換中以外ではカーソル上へ移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">・入力中の文字がある場合は、推測変換候補ウィンドウにカーソルが移動
・推測変換候補ウィンドウ内では、次の候補へ移動
・変換中以外ではカーソル下へ移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">カーソル左へ移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">カーソル右へ移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">決定</td></tr>
<tr><td>クリア</td><td colspan="5">カーソルの前（左側）の1文字を削除</td></tr>
<tr><td>文字</td><td colspan="5">入力モードの切り替え</td></tr>
</table>

※1：全角モードの場合は全角、半角モードの場合は半角の文字が入力されます。
全角と半角で入力が違うキーについては、［全角］または［半角］で違いを記載しています。

※2：か／さ／た行の入力中の文字がある場合は、濁音（濁点）の文字が表示されます。また、は行の場合は次にキーを押すと、濁音（濁点）／半濁音（半濁点）の文字が表示されます。
上記以外の文字がある場合や入力中の文字がある場合は、「゛」「゜」が1文字として表示されます。

※3：か／さ／た／は行以外で未確定の文字があるときは、「゛」「゜」を単独文字として入力します。

※4：未確定文字がない場合に改行します。

1 基本操作

文字入力

ダイヤルキーを使って文字を入力する

ここでは、ダイヤルキーを使った文字の入力方法について説明します。まずは、文字を入力する前にダイヤルキーの入力モードを確認します。

候補の語を表示して文字を入力する

文字を入力すると、入力した文字から推測される語句の候補を、推測変換候補ウィンドウに表示します（推測変換機能を有効にしている場合☞10-13ページ）。表示された変換候補から目的の語を選択して漢字やひらがな、数字、英字を入力することができます。キーを押す回数が少なくなるので便利です。

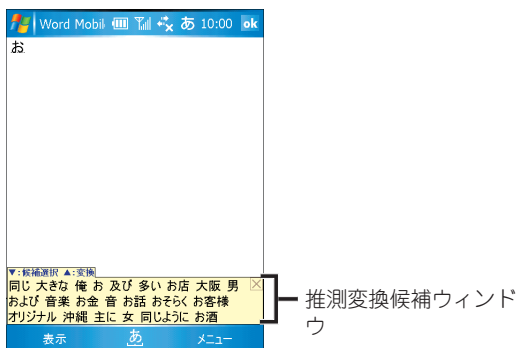
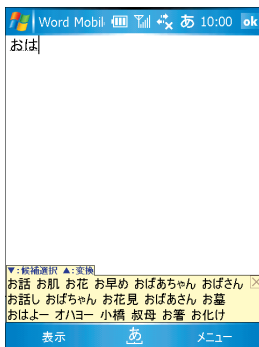
● 日本語入力のしかたをMicrosoft IMEに設定している場合（☞10-15ページ）、ダイヤルキーを使った文字の変換はできません。

1 **Word Mobileの新規画面を表示します（☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「Word Mobile」）。**

2 **入力モードがあになっていることを確認します。**

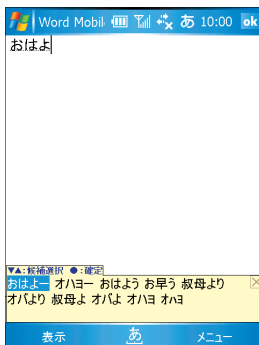
カなどになっているときは、画面（表示部）下の［文字］キーを押しあにします。

3 **ダイヤルキーを使って文字を入力します。**

ダイヤルキーの文字割り当ては前ページをご覧ください。
推測変換候補ウィンドウが表示されます。

1文字ずつ文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。

MEMO

- 同じ文字や同じ行の文字などを続けて入力する場合は、(カーソル)キーの右を押してから入力します。
  (例)「あいかぎ」と入力する。
  1 ◎ 1 1 2 ◎ 2 2 ※ キーを順に押します。

4 文字を入力していき、変換したい語が推測変換候補ウィンドウに表示されたら、(カーソル)キーの下を押します。

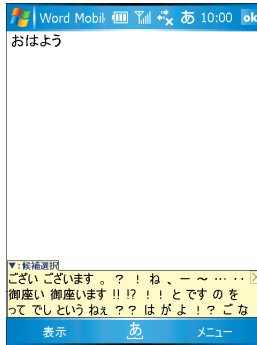
推測変換候補ウィンドウの変換候補を選択できるようになります。

MEMO

- ATOK設定で「推測変換を有効にする」のチェックを外している場合(☞10-13ページ)、文字を入力してから(カーソル)キーの下を押すと文字が変換されます。

1 基本操作

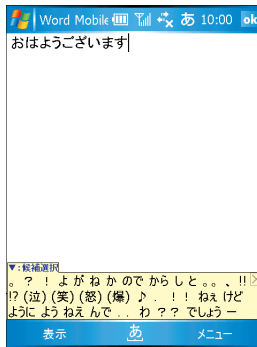
文字入力

カーソルキーの下または上で入力したい語を選択し、アクションキーを押します。

選択した変換候補が確定されます。

入力した文字が確定されると、その後に続く変換候補が表示されます。

推測変換候補ウィンドウの候補はカーソルキーの上下を使って選択します。

「おはよう」と入力して確定すると、推測変換候補ウィンドウに「ござい」などが表示されます。

続けて、推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補から変換を行っていくだけで、「おはようございます。」などの文章を入力することができます。

- 推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補をタップしても、語の入力ができます。
- 推測変換候補ウィンドウの右上にある☒をタップすると、推測変換候補ウィンドウの表示が消え、文字の入力が取り消されます。
- 変換候補として表示される語の文字種は変更することができます（☞10-13ページ）。
- 一度変換すると、変換した語が学習され、推測変換候補ウィンドウに優先して表示されます。

変換中の漢字を別の漢字にする

複数の文節の読みを入力して変換します。

(例)「新しい企画を提案する」を「新しい規格を提案する」に変換します。

1 **「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。**

2 **(カーソル)キーの上を押します。**

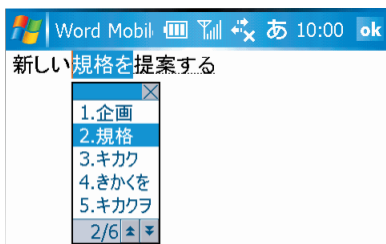
Word Mobil あ 10:00 ok
新しい企画を提案する

3 **(アクション)キーを押します。**

最初の文節(ここでは「新しい」)が確定され、カーソルが次の文節に移ります。

Word Mobil あ 10:00 ok
新しい企画を提案する

4 **(カーソル)キーの下または上を押します。**

(カーソル)キーの下または上を押すたびに、別の変換候補が表示されます。
入力したい語が表示されるまで、(カーソル)キーの下または上を数回押します。

5 **(アクション)キーを押します。**

カーソルが次の文節に移ります。

MEMO
- 続けて文字を変換する場合は手順**4**〜**5**を繰り返します。

6 **最後の文節で(アクション)キーを押します。**

最後の文節が確定されます。

文字を編集する

文字を追加する

1 **追加したい場所にカーソルを移動させます。**

▲▼◀▶キーまたはカーソルキーの上下左右でカーソルを移動させるか、文字を追加したい場所をタップします。

2 **文字を入力します。**

カーソルの位置に文字が追加されます。

文字を削除する

1 **削除したい文字の直後にカーソルを移動させます。**

複数の文字を削除したい場合は、画面をなぞって文字列を反転させます。キーボードを使っているときは、Shiftキーを押しながら▶キーまたは◀キーを押すと複数の文字を選択できます。

2 **BSキーまたはクリアキーを押します。**

・複数文字削除の場合は、反転していた範囲がすべて削除されます。
・1文字削除の場合は、カーソルの直前の文字が削除されます。

MEMO
- キーボード入力パネルのときは、←BSをタップします。
  手書き入力パネルでは、をタップします。

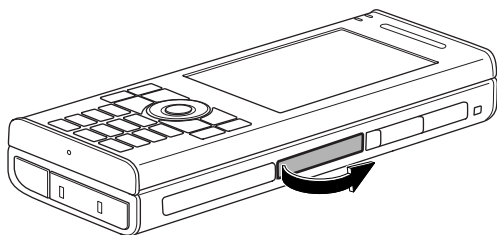
メモリカードを使ったりUSBホストとして使う

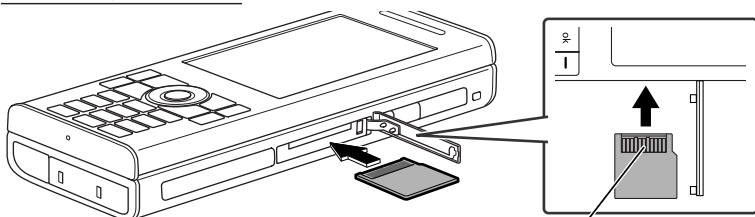
この製品には、市販のminiSDカードを取り付けることができます。

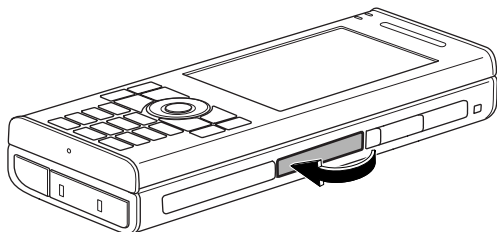
- 動作確認済みのminiSDカードについては、ホームページ(URL http://www.sharp.co.jp/ws/)をご覧ください。
- この製品ではメモリカードをフォーマットできません。
  パソコンでフォーマット(FAT)してください。
- メモリカードにファイルとして以下のものが保存できます。
  ・画像／音楽ファイル　・Word Mobile／Excel Mobileで作成したファイル
  ・ボイスメモ　・メールに添付されているファイル
  ・メモ　・バックアップファイル(☞9-3ページ)　など
- “予定表”、“連絡先”、メール本文、ライトメールは、メモリカードに保存できません。

カードを取り付ける

1 この製品の電源を切ります(☞1-12ページ)。

2 miniSDカードスロットのカバーを開きます。

カバーは、左側のみより開きます。右側よりは開きませんので、ご注意ください。また、カバーは開いたら水平方向に保ち、ひねったりしないようにしてください。

3 カードの端子面(金属面)が上を向くようにして、端子側から奥まで確実に挿入します。

端子面(金属面)を上にしてまっすぐに挿入する

4 カバーを閉じます。

5 PWR HLD キーを長く（約2〜3秒）押し、電源を入れます。

ご注意！

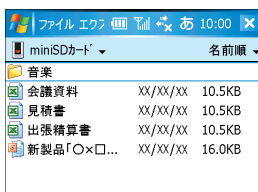
- **カードの端子部を指などで触れないでください。**
- **表裏をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。**
- **カードに強い力を加えないでください。**
- **カードは、スロットに確実に挿入してください。**
- **メモリカードは必ず端子面（金属面）を上にして、まっすぐ挿入してください。端子面（金属面）を下にして挿入したり、斜めに傾けたまま無理やり挿入すると、破損の原因になります。**
- **動作確認済みのカード以外は、使用しないでください。**
- **この製品を落とさないでください。破損したり故障の原因となります。**

- カードを取り付けているときは、取り付けていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、システムがカードをチェックするためです。

miniSDカードのファイルを確認する

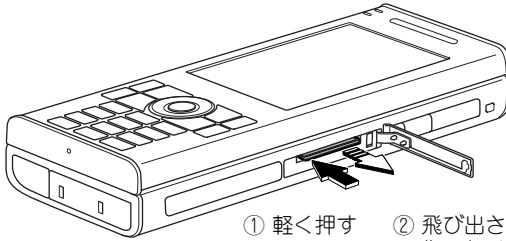
1 ファイルエクスプローラ画面（☞9-8ページ）を表示し、画面左上の「My Documents▼」などをタップします。

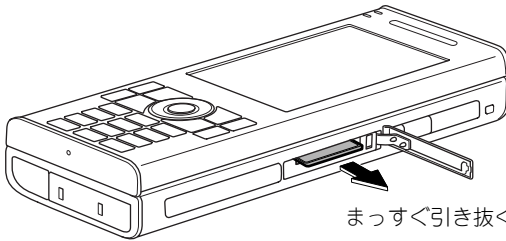
2 表示されたメニューから「miniSDカード」をタップします。

miniSDカード内のフォルダやファイルが表示されます。

カードを取り外す

1 この製品の電源を切ります（☞1-12ページ）。

☞1-12ページ

2 miniSDカードスロットのカバーを開きます。

3 カードの端を指で押し込みます。

4 スロットから外れたカードを抜き取り、カバーを閉じます。

5 [PWR HLD] キーを長く（約2〜3秒）押し、電源を入れます。

ご注意！

- カードスロットからカードを取り外すときは、カードが飛び出さないように、指で軽く押さえながら出してください。

ファイルやフォルダをコピーする

miniSDカードに保存しているファイルやフォルダを本体にコピーする

1 **miniSDカードを取り付け、ファイル エクスプローラ画面(☞9-8ページ)を表示して、「My Documents▼」などをタップし「 miniSDカード」をタップします。**

miniSDカード内のフォルダやファイルが表示されます。

2 **目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューをタップします。**

・コピーするときは[コピー]をタップします。
・移動するときは[切り取り]をタップします。

3 **画面左上の「 miniSDカード」にタップし、[マイデバイス]をタップします。**

本体側のファイルやフォルダなどが表示されます。

4 **貼り付け先または移動先のフォルダを開いた後、画面右下の[メニュー]－[編集]－[貼り付け]をタップします。**

手順**2**でコピー／移動したファイルが貼り付け／移動されます。

MEMO

- 手順**2**で、目的のファイルを選択して画面右下の[メニュー]－[編集]－[コピー]／[切り取り]をタップしてもコピー／移動できます。
- 手順**4**で、画面をタップしたままにして表示されたメニューから[貼り付け]をタップしても貼り付け／移動ができます。ただし、ファイルやフォルダが表示されている場所で画面をタップしたままにするとそのファイルやフォルダが対象となりますので、ご注意ください。
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- 「切り取り」したフォルダやファイルを貼り付けず、別のフォルダやファイルを「切り取り」すると、前の「切り取り」は解除されます。
- 本体に保存しているファイルやフォルダを別の階層にコピー／移動するときなどは、「My Documents▼」をタップして、フォルダを選んでください。
- コピー元と同じ階層に「貼り付け」するとファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されます。
- コピーをやめるときは、画面右下の[メニュー]－[編集]－[元に戻す　コピー]をタップして、元に戻します。

本体のファイルやフォルダをminiSDカードにコピー／移動する

1 前ページと同様にファイル エクスプローラ画面（☞9-8ページ）で本体メモリーを開きます。

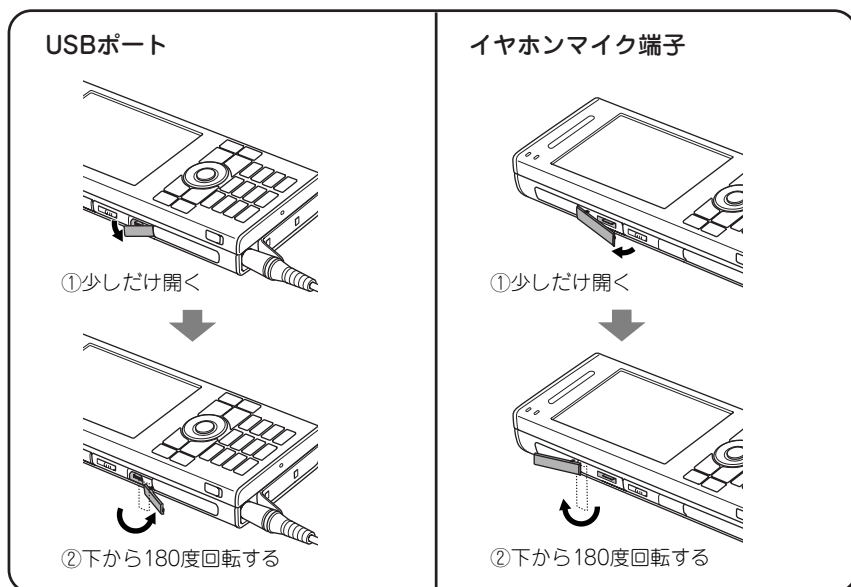
2 目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューの［コピー］または［切り取り］をタップします。

3 miniSDカード側に切り替え、画面右下の［メニュー］−［編集］−［貼り付け］をタップします。

手順**2**でコピー／移動したファイルが貼り付け／移動されます。

この製品をUSBホストとして使う

この製品は、USBホスト機能を持っています。
USBメモリやキーボードなどと接続し、利用することができます。
この製品に接続可能な機器については、ホームページ
（URL http://www.sharp.co.jp/ws/）をご覧ください。
また、USB周辺機器を接続する場合は、別途USBホストケーブルが必要です。

■USBポートカバーやイヤホンマイク端子カバーを開く

保存しているファイルや情報を検索する

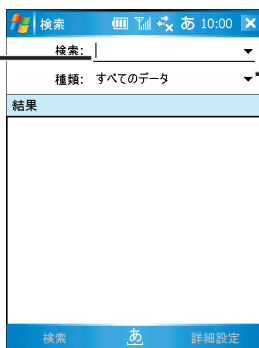
目的の情報をすばやく見つけ出せます。
ファイル名やファイル内に含まれる文字列を指定して検索します。

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“検索”にタップします。**
検索画面が表示されます。

3 **「検索」欄に検索したい語句を入力します。**

ファイル名や連絡先などのデータ内に含まれる文字列を入力します。
▼をタップすると、以前に検索した文字列が表示されます。再度同じ文字列で検索する場合に利用します。

検索 10:00
検索:
種類: すべてのデータ
結果
検索 あ 詳細設定

データの種類を選択して検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

4 **画面左下の 検索 にタップします。**
検索が開始され検索結果が表示されます。

5 **見たいファイルやデータをタップします。**
ファイルやデータが表示されます。

MEMO
- miniSDカードに保存されたファイルには、miniSDカードの記号“ ”が表示されます。

6 **検索画面に戻るときは、 や ok にタップします。**

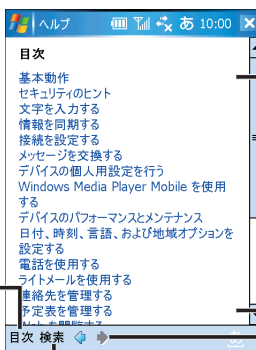
ご注意!
- ファイルやデータによっては、その内に含まれる文字列が検索されないものもあります。

この製品の使いかたを調べる（ヘルプ）

この製品に内蔵されているプログラムの操作方法はヘルプで確認できます。

1 **スタートメニューの“ヘルプ”にタップします。**

そのときに表示されているプログラムのヘルプ画面が表示されます。

2 **見たい項目をタップします。**

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、パソコンで見るPDF形式の電子マニュアルです。
以下のマニュアルは、オンラインマニュアルとして付属のCD-ROMに収録されています。

Officeアプリケーション ・Excel Mobile ・Word Mobile ・PowerPoint Mobile	**Picsel PDF Viewer** **USBモデムドライバのインストール**

オンラインマニュアルをお読みになるには、パソコンにAdobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerがインストールされている必要があります(Adobe Acrobat Reader5.0以上を推奨)。
Adobe Readerは付属のCD-ROMからインストールできます(ActiveSyncをインストール(☞8-4ページ)した後に表示された画面で「PCに新しいプログラムを追加する」をクリックしてください)。

1 ActiveSyncをインストール(☞8-4ページ)したパソコンに、付属のCD-ROMをセットします。

画面にメニューが表示されます。

2 画面内の「その他の資料を参照する」をクリックし、ご覧になるマニュアルの「PDFファイルを開く」をクリックします。

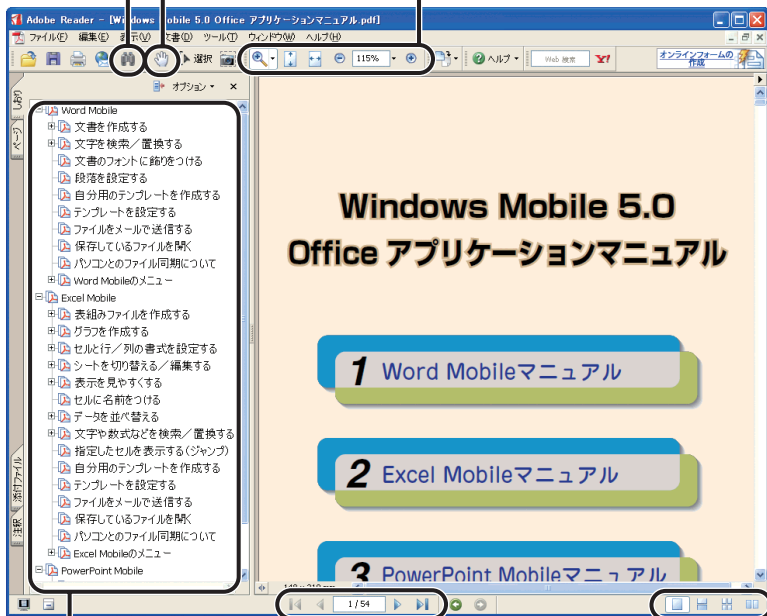
オンラインマニュアルが表示されます。

3 次のような方法などで、見たいページを表示します。

プログラムなどの説明全体を見るとき　：しおりを使うと便利です。
調べたい言葉があるとき　：検索を使うと便利です。
ページを順番に見るとき　：ページ移動のアイコンを使うと便利です。

検索
クリックして検索したい言葉を入力します。検索した言葉が含まれるページ（またはその一覧）が表示されます。

手のひらツール（移動）
クリックしてページをドラッグするとスクロールバーを使わずにページの移動ができます。斜め方向の移動に便利です。

拡大縮小
特定の部分を拡大するときは、🔍をクリックしてから拡大したい部分をドラッグして囲みます。

しおり
見出しをクリックすると、そのページへジャンプします。
⊞をクリックするとしおりに詳細な見出しが表示されます。

ページ移動
ページ番号を入力し Enter キーを押すとそのページへジャンプします。
・⏮：最初のページへ
・⏭：最後のページへ
・◀：前のページへ
・▶：次のページへ

表示レイアウト
単一ページ表示、連続表示、見開き表示など、ページの表示レイアウトを変更できます。

- お使いのAdobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerのバージョンによって、アイコンの形状や表示位置が異なります。アイコンにカーソルを合わせると、そのアイコンの機能が表示されます。
- くわしい使いかたは、Adobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerのヘルプをご覧ください。

2 インターネットやメールを使うための準備

オンラインサインアップを行って接続の設定を行う

この製品では、以下の方法でインターネットに接続してメールの送受信(☞4-4、4-35ページ)やホームページの閲覧(☞5-2、5-11ページ)ができます。
・オンラインサインアップをしてウィルコムのサーバーから取得した情報を使って接続する(☞下記)
・加入しているプロバイダーの情報を使って接続する(☞2-20ページ)

オンラインサインアップについて
オンラインサインアップを行うと自動的に接続する設定が保存され、簡単にメールの送受信やホームページの閲覧を行うことができます。まだオンラインサインアップをされていないときは、以下の内容をご覧になりオンラインサインアップを行ってください。

加入しているプロバイダーについて
加入しているプロバイダーの情報を使う場合は、インターネットやメールサーバーに接続する設定が必要になります。2-20ページや2-6、2-13ページをご覧になり設定を行ってください。

オンラインサインアップする

オンラインサインアップを完了すると、すぐにホームページを閲覧したり、メールを送受信することができます。オンラインサインアップでは、次のようなことができます。
・Eメール(ウィルコム)のメールアドレスを取得します。
・インターネットに接続する設定やメールを送受信する設定(メールサーバーの設定)が自動的にこの製品に保存されます。

1 **スタート メニューの“オンライン サインアップ”にタップします。**
「接続中」のメッセージが表示され、センターに接続します。

ご注意！

- **再度オンラインサインアップを行うときは**
  一度オンラインサインアップを行うと、スタートメニューにオンラインサインアップが表示されなくなります。再度オンラインサインアップを行うときは、 スタート メニュー － “プログラム” － “オンラインサインアップ”にタップし、オンラインサインアップを行ってください。

2 表示された画面の指示にしたがって設定を行います。

メールアドレスについて

お好みのメールアドレスを入力して取得できます。
ここではユーザーネームのみを入力します。ドメインは自動的に設定されます。

△△は、センターが指定する文字が入ります。

ユーザーネームは、以下の制限の中でお客様がご自由に設定できます。

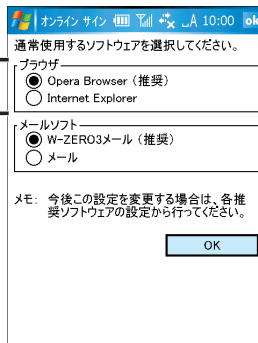
- 文字数：4文字以上20文字以下
- 文字種：半角英数字、「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）
- 1文字目は英字のみ使用できます。
- 英字は、すべて小文字として扱われます。

3 オンラインサインアップを完了します。

通常に使用するソフトウェアの選択画面が表示されます。

4 通常使用するブラウザやメールを設定する画面が表示されますので、いずれかを選択して OK をタップします。

オンラインサインアップで取得したメールアドレスやメールアカウントなどの情報は、自動的に“W-ZERO3メール”と“メール”（Outlook）の両方に設定されます。

Internet Explorer Mobile（☞5-2ページ）またはOpera Browser（☞5-11ページ）を選択します。また選択したブラウザは、 キーを長く押すと起動します。

W-ZERO3メールまたはメール（Outlook）を選択します。また選択したメールソフトは、 キーを長く押すと起動します。

再起動の確認画面で OK をタップします。

再起動されます。

- **同じユーザーネームが既に登録されている場合**
  設定したユーザーネームはご利用いただけません。別のユーザーネームを指定してください。
- **ライトEメールの設定は利用しないでください。**
  この製品はライトEメールに対応していないため、ライトEメールを着信すると「未対応着信あり」と表示されたり、Eメール（ウィルコム）の自動受信ができなくなります。オンラインサインアップの「詳細設定」-「9. その他の設定」で「◆ライトEメール」の項目はかならず「利用しない」にチェックを付けてください。
- **お知らせメール受付の選択について**
  受信したメールの最後にウィルコムからのお知らせを付けるか、付けないかを選択することができます。
- **メールの自動受信をしないようにするには**
  オンラインサインアップで「自動受信しない」または「新着メール通知」に設定します（「新着メール通知」に設定するとEメールが届いたことを通知するライトメールを受信します）。
  この製品の設定で「自動受信する」（☞W-ZERO3メールの場合は2-10ページ、メール（Outlook）の場合は4-51ページ）のチェックを付けていても、オンラインサインアップで「自動受信しない」や「新着メール通知」にすると自動受信はしません。

オンラインサインアップを完了すると設定される内容

オンラインサインアップを完了すると自動的に以下の情報が設定されます。

●インターネットに接続するための情報

「センタ名称設定」(☞2-10～11、2-16～17、2-27ページ)という名称とその中に接続設定「CLUB AIR-EDGE」(☞2-26ページ)が保存されます。
「センタ名称設定」は「CLUB AIR-EDGE」などの接続設定を管理するための名称です。
「CLUB AIR-EDGE」にはアクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワードが保存されます。

●メールを送受信するための情報

"W-ZERO3メール"、"メール(Outlook)"の両方に同じ情報が設定されます。
メールアカウントが保存されます(メールアカウント内には次の情報が保存されます)。メールアカウントは、お客様の電話番号(070XX……)になります。

・メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・サーバー情報(受信メールサーバー、送信メールサーバー)

ご注意!

● オンラインサインアップを完了して設定された「センタ名称設定」の名称や「CLUB AIR-EDGE」の内容、メールアカウントの内容は変更／削除しないでください。
「センタ名称設定」の名称や「CLUB AIR-EDGE」の内容、メールアカウントの内容を変更／削除すると、インターネットへの接続やメールの送受信ができなくなります。

● **インターネットへの接続方法の設定を確認するときは**
ネットワーク管理画面(☞2-27ページ)を表示して、「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」を確認してください。オンラインサインアップを行ったあとは、「センタ名称設定」が選択されています。

● **ウィルコムサーバーに接続するための設定を確認するときは**
「インターネット接続設定を変更する／削除する」(☞2-26ページ)をご覧になり各項目を表示して確認してください。

オンラインサインアップで設定した内容を確認／変更する

・オンラインサインアップで設定した内容を変更するときはオンラインサインアップを起動し、確認画面で［詳細設定］にタップしてセンターに接続します。センターに接続して表示された画面で確認や変更したい項目にタップします。設定を変更したあとは、画面下方にある［この内容で登録する］をタップしてください。

・メールアドレスを変更する場合はセンターに接続して表示された画面から「6. メールアドレス変更」にタップしてメールアドレスを変更してください。メールアドレスを変更した場合、変更前のアドレス宛のメールは届かなくなります。

“W-ZERO3メール”で加入している プロバイダーのメールを設定する

すでにご入会されているインターネットプロバイダーのメールに関する情報を設定する方法を説明します。この設定を行うと、すでにご入会されているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。

- オンラインサインアップで設定された接続情報を使ってメールの送受信ができます。
  プロバイダーによっては、プロバイダーへの接続情報の設定が必要です（☞2-20ページ）。設定が必要かどうかは、プロバイダーにお問合せください。

この製品に設定するメールの情報を確認する

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。

・電子メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・受信メールサーバー　・送信メールサーバー

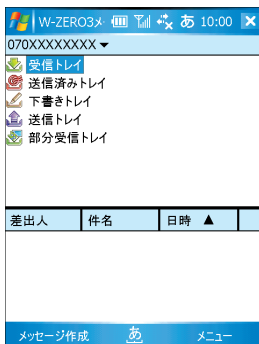
※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。

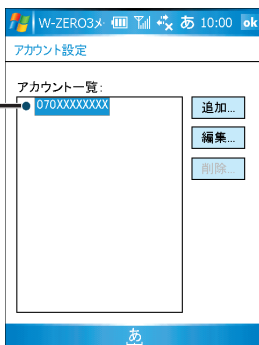
・“メール（Outlook）”の設定を行うときは、2-13ページをご覧になり設定してください。

送受信するためのアカウントを設定する

アカウントは10個まで設定できます。

1 “W-ZERO3メール”を起動します。

「受信トレイ」一覧画面などが表示されます。
オンラインサインアップを行う前に、“W-ZERO3メール”を起動するとアカウント設定（アカウント一覧）画面が表示されます。まず、手順**2**以降を行い、アカウントを設定してください。アカウントを設定すると「受信トレイ」一覧画面などが表示されます。

2 画面右下の メニュー － その他 － アカウント設定 にタップします。

アカウント設定（アカウント一覧）画面が表示されます。

3 追加 をタップします。

アカウント入力画面が表示されます。

4 設定するアカウントの名前を入力し、次へまたはokにタップします。

5 基本設定を入力し、詳細設定タブにタップします。

① メールの送信者として相手に表示する名前を入力します。

② メールアドレスを入力します。

③ 自分の名前やメールアドレスなどを登録しておくと、送信メールの本文に追加できます。くわしくは、2-11ページをご覧ください。

④ メールを受信したり送信するためのサーバー情報を入力します。

⑤ メールサーバーに接続するための情報を入力します。パスワードを保存しておくときは、「パスワードの保存」にチェックを付けます。

受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーについて

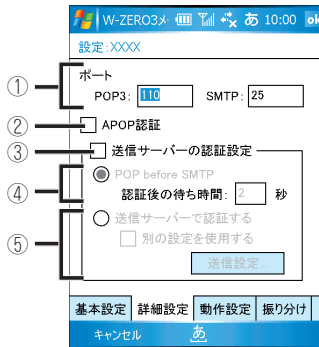
入会しているプロバイダーによっては、受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーがそれぞれ別になっているプロバイダーと、同じになっているプロバイダーがあります。

・別々になっているプロバイダーは、受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーの両方を入力します。

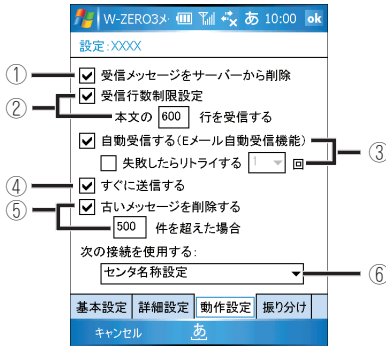
・メールサーバーが同じになっている（1つになっている）ときは、両方に同じものを入力します。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mailアカウント名、メールアカウント、 メールボックス名、メールボックスアカウント名、 Mailアカウント
パスワード	Mailパスワード、メールパスワード、初期パスワード
受信(POP3)	POPサーバー、受信メールサーバー、メールサーバー
送信(SMTP)	SMTPサーバー、送信メールサーバー

6 詳細設定を入力し、動作設定タブにタップします。

設定画面の動作設定タブが表示されます。

①	メールサーバーのポート番号を入力します。通常は変更する必要はありません。
②	APOP認証を行うときは、チェックを付けます。
③	④または⑤の設定を行う場合、チェックを付けます。
④	POP before SMTPを行うときは、チェックを付け、認証後の待ち時間を入力します。
⑤	加入しているプロバイダーによってはメール送信時にユーザー名(ユーザーID)とパスワードが必要な場合があります。このような場合にチェックを付けます。 ユーザー名とパスワードが前ページ手順**5**の⑤と同じ場合は、「送信メールサーバーで認証する」にだけチェックを付けます。ユーザー名とパスワードが違う場合は、「別の設定を使用する」にもチェックを付け、送信設定をタップしてユーザー名とパスワードを入力します。 この設定が必要かどうかは、加入しているプロバイダーにお尋ねください。

7 動作設定を入力し、ok をタップします。

メールの送受信は、「次の接続を使用する」欄に表示されている名称に保存されている接続先の設定を使ってインターネットに接続します。この接続先の設定が異なっているとメールの送受信はできませんのでご注意ください。次ページのメモをご覧になり、接続先の選択を行ってください。

① この製品で受信したメールをサーバーから削除するときは、チェックを付けます。

② 受信するメールを、本文の指定した行数のみ受信(部分受信)するときはチェックを付け、行数を入力します(☞4-14ページ)。
※送信側のメールソフトによっては、指定した行数どおり受信できないことがあります。

③ Eメール(ウィルコム)アカウントの場合に有効になります。
Eメール(ウィルコム)を自動受信するときはチェックを付け、自動受信できなかったときに再度自動受信を行う回数を指定します。

④ メールを作成し、送信をタップしてすぐに送信するときはチェックを付けます。
チェックを外した状態で、送信をタップすると送信トレイに入ります。送信トレイに入ったメールはまだ送信されていません。送信トレイに入ったメールは、送信トレイ一覧画面などで、メニュー－送受信－送信または送受信をタップします。

⑤ メールの保存件数が指定した件数を超えたときに、古いメールから自動的に削除するにはチェックを付けます。

⑥ 接続を切り替えます。次ページのメモをご覧になり、選択します。

ご注意!

- ②の指定した行数のみ受信(部分受信)にチェックを付けてさらに①のサーバーから削除にチェックを付けている場合、部分受信したメールはサーバーから削除され全文受信ができなくなります。
②にチェックを付けたときは①のチェックを外すようにしてください。

● **接続を選択する**

お使いの状態にあわせて接続を選択してください。

・「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了したときの設定でメールを送受信するときに選択します。

・「インターネット設定」や「社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。

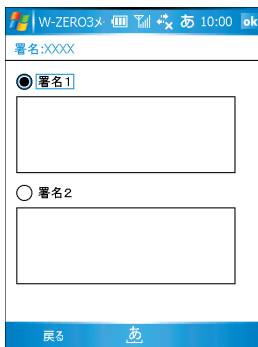
・ご自分で新規に接続／接続設定を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。

※この取扱説明書では、「インターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「インターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「社内ネットワーク設定」を選択してください。

■署名を作成する

メール作成時、メール本文に自分の名前やメールアドレスなどの文章（署名）を自動的に入れることができます。

1 2-8ページの手順5で③の「署名を使用する」にチェックを付け、署名 にタップします。

署名の設定画面が表示されます。

2 署名1または署名2を選択します。

選択した署名の内容が、メール本文に入ります。

3 署名を入力し、ok にタップします。

設定画面の 基本設定 タブが表示されます。

2 インターネットやメールの準備

プロバイダー（W-ZERO3メール）

アカウントを修正／削除する

アカウントを修正する

1 “W-ZERO3メール”を起動します。

「受信トレイ」一覧画面などが表示されます。

2 画面右下の[メニュー]－[その他]－[アカウント設定]にタップします。

アカウント設定画面が表示されます。

3 修正するアカウントを選択し、[編集]にタップします。

4 2-8～10ページの各タブで修正します。

5 修正を終えた後、[ok]にタップします。

- アカウント名の修正はできません。
- Eメール（ウィルコム）のアカウントは「電話番号」が表示されます。このアカウントは、Eメール（ウィルコム）を受信するために必要です。情報を変更しないでください。

アカウントを削除する

作成したアカウントを削除するときは、上記「アカウントを修正する」の手順**2**の画面でアカウントを選択し、[削除]にタップします。

ご注意！

- アカウントを削除すると、そのアカウント内のメールはすべて削除されます。

“メール(Outlook)”で加入しているプロバイダーのメールを設定する

すでにご入会されているインターネットプロバイダーのメールに関する情報を設定する方法を説明します。この設定を行うと、すでにご入会されているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。

● オンラインサインアップで設定された接続情報を使ってメールの送受信ができます。
プロバイダーによっては、プロバイダーへの接続情報の設定が必要です(☞2-20ページ)。設定が必要かどうかは、プロバイダーにお問合せください。

この製品に設定するメールの情報を確認する

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。

・電子メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード

・受信メールサーバー　・送信メールサーバー

※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。

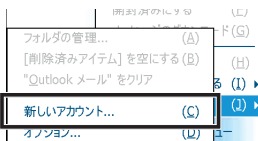
・“W-ZERO3メール”の設定を行うときは、2-6ページをご覧になり設定してください。

送受信するためのアカウントを設定する

アカウントは7つまで設定できます。

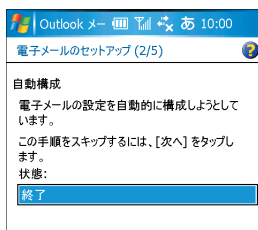
1 **“メール”を起動します。**

「受信トレイ」一覧画面などが表示されます。

2 **画面右下の メニュー ー ツール ー 新しいアカウント にタップします。**

電子メールのセットアップ画面が表示されます。

3 **お使いのメールアドレスを入力し、次へ にタップします。**

電子メールのセットアップ(2/5)画面が表示されます。

4 **この製品にすでに入っている接続設定を使ってインターネットへ接続を始めます。表示されたウィンドウから キャンセル にタップし、次へ にタップします。**

電子メールのセットアップ(3/5)画面が表示されます。

5 名前、ユーザー名、パスワードを入力し、次へ にタップします。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mailアカウント名、メールアカウント、 メールボックス名、メールボックスアカウント名、 Mailアカウント
パスワード	Mailパスワード、メールパスワード、 初期パスワード

電子メールのセットアップ(4/5)画面が表示されます。

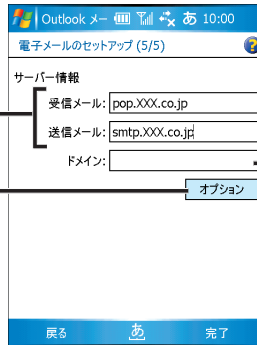
6 アカウントの種類(POP3またはIMAP4)を選択し、アカウントの名前を入力して、次へ にタップします。

アカウントの種類がわからないときは、プロバイダーにお問い合わせください。

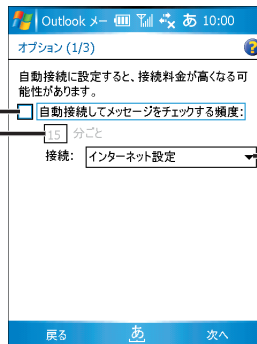
電子メールのセットアップ(5/5)画面が表示されます。

7 サーバー情報を入力し、オプション にタップします。

入会しているプロバイダーによっては、受信メール（サーバー）と送信メール（サーバー）がそれぞれ別になっているプロバイダーと、同じになっているプロバイダーがあります。

・別々になっているプロバイダーは、受信メール（サーバー）と送信メール（サーバー）の両方を入力します。
・メールサーバーが同じになっている（1つになっている）ときは、両方に同じものを入力します。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
受信メール	POPサーバー、受信メールサーバー、メールサーバー
送信メール	SMTPサーバー、送信メールサーバー

8 オプション（1/3）画面で、自動接続の設定とメールを送受信するための接続先を選択し、次へ をタップします。

メールの送受信はこの接続欄に表示されている名称に保存されている接続先の設定を使ってインターネットに接続します。この接続先の設定が異なっているとメールの送受信はできませんのでご注意ください。次ページのメモをご覧になり、接続先の選択を行ってください。

ご注意！

- 自動接続の設定をしてメールを定期的にチェックする場合、一度メールチェックを行った後は回線を切断せずインターネットに接続した状態のままになります。チェックを外し自動接続しメールチェックしないようにすることをおすすめします。

MEMO

- **接続を選択する**

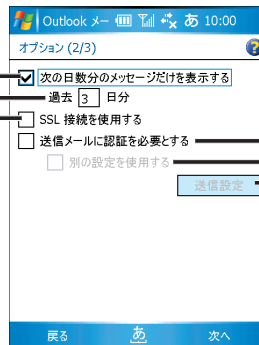
お使いの状態にあわせて接続を選択してください。

・「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了したときの設定でメールを送受信するときに選択します。

・「インターネット設定」や「社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。

・ご自分で新規に接続／接続設定を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。

※この取扱説明書では、「インターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「インターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「社内ネットワーク設定」を選択してください。

9 オプション(2/3)画面で、受信するメッセージの設定を行い、次へをタップします。

10 メールのヘッダーのみ取得するのか全文取得かを選択し、完了をタップします。

確認画面が表示されたときは、設定したアカウントのメールを今すぐ受信するときは はい 、しないときは いいえ をタップしてください。
設定が完了し、「受信トレイ」一覧画面または、オプション画面に戻ります。

MEMO

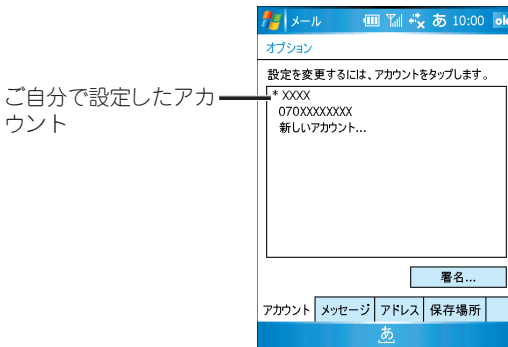
- **アカウントの設定を確認するときは**
  1 メニュー ー ツール ー オプション をタップします。
  オプション画面が表示されます。手順**6**で入力した名前がアカウントとして表示されます。
  2 アカウントにタップします。
  電子メールのセットアップ画面が表示されます。 次へ にタップして画面を切り替えて確認してください。
- **アカウントの設定を修正するときは**
  次ページをご覧になり修正してください。

アカウントを修正する／削除する

アカウントを修正する

1 “メール”を起動します。

2 画面右下の メニュー ー ツール ー オプション にタップします。

3 修正するアカウントにタップします。

電子メールのセットアップ（1/4）画面（☞2-14ページの手順**3**の画面）が表示されます。

4 次へ にタップして画面を切り替えて修正します。

2-14ページ以降の画面が表示されますので、くわしくは2-14～18ページの手順**3**～**10**をご覧ください。

5 修正を終えた後、完了 にタップします。

- Eメール（ウィルコム）のアカウントは「電話番号」が表示されます。このアカウントは、Eメール（ウィルコム）を受信するために必要です。名称の変更や情報を変更しないでください。

アカウントを削除する

作成したアカウントを削除するときは、上記「アカウントを修正する」の手順**3**の画面でアカウントをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 にタップします。

加入しているプロバイダーの接続設定をする

既に加入しているインターネットプロバイダーを使用して、インターネットに接続するための設定について説明します。
ここでは、基本的な設定のしかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

- 各項目に入力するときは、大文字・小文字・全角・半角は区別されますので、英数字や記号を入力する際は注意してください。
  また、数字の「0」(ゼロ)と英語の「O」(オー)、数字の「1」と英字の「l」などの区別も確認してください。

この製品に設定するプロバイダー情報を確認する

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。

・接続先アクセスポイントの電話番号
・ユーザー名
・パスワード
・プライマリDNS
・セカンダリDNS

※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。

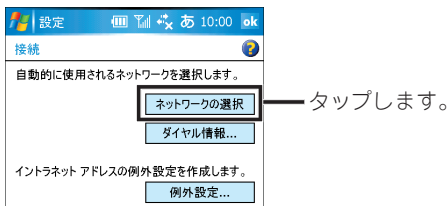
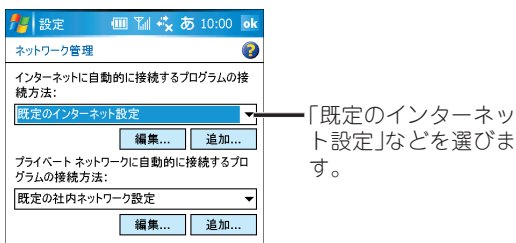
インターネットプロバイダーへの接続設定をする

1 スタート メニューの“設定”にタップします。

設定画面が表示されます。

2 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップし、詳細設定 タブにタップします。

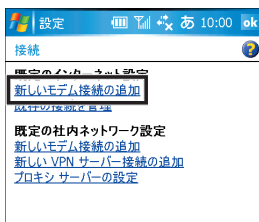
接続画面が表示されます。

3 「ネットワークの選択」にタップします。

4 インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法の▼にタップして、「既定のインターネット設定」などを選びます。

MEMO

- **ご自分で接続方法を作るときは**
  追加をタップします。追加をタップすると接続方法の名前を入力する画面が表示されます(すでに名前には「ISP名」などが入っています)。必要に応じて名前を変更し ok をタップしてネットワーク管理画面に戻ります。
- オンラインサインアップ(☞2-2ページ)を行った後、ご自分でご入会しているプロバイダーの情報を設定するときは、「既定のインターネット設定」ではなく「センタ名称設定」になっています。

5 ok にタップします。

接続画面に戻ります。

6 設定 タブにタップし「新しいモデム接続の追加」にタップします。

新しい接続画面が表示されます。

7 接続名を入力し、さらに「モデムの選択」欄を「W-SIM」にして、次へ をタップします。

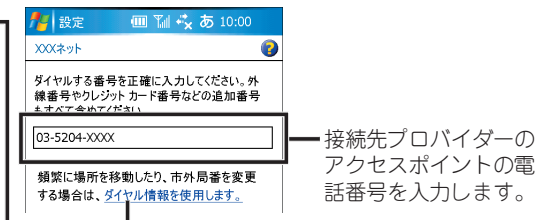
ご注意！

- 「モデムの選択」欄は「W-SIM」を選択してください。これ以外のものを選択しても接続できません。

8 接続先のアクセスポイントの電話番号を入力し、次へ にタップします。

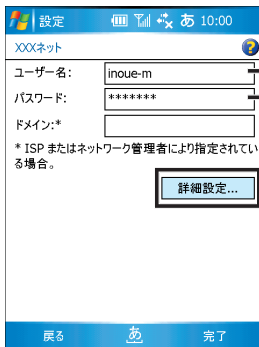
設定　あ 10:00
XXXネット
ダイヤルする番号を正確に入力してください。外線番号やクレジット カード番号などの追加番号もすべて含めてください。
03-5204-XXXX
頻繁に場所を移動したり、市外局番を変更する場合は、ダイヤル情報を使用します。

タップしないでください。
ダイヤル情報を設定すると通信ができなくなります。

接続先プロバイダーのアクセスポイントの電話番号を入力します。

ご注意！

- **「ダイヤル情報を使用します。」をタップしないでください。**
  この製品ではダイヤル情報を使用しません、タップすると設定が保存され、通信ができなくなります。

- ご利用の通信速度、通信手段により、アクセスポイントの電話番号の後に記号(##4や##7など)の入力が必要となります。
  詳しくは、ご利用のプロバイダーにご確認ください。
- インターネット接続時に分計発信を行う場合は、アクセスポイントの電話番号+記号(##4や##7など)の後に追加します。
  例）通常発信の場合：03-5204-XXXX##4
  　　分計発信の場合：03-5204-XXXX##4, 01

9 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、詳細設定 にタップします。

MEMO

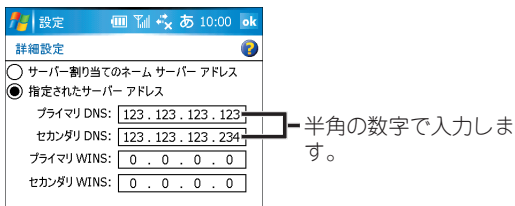
- 「ユーザー名」、「パスワード」を入力しておくと便利ですが、この製品を紛失した場合、他人にメールを読まれたり、通信料金を請求されたりするおそれがあります。
  接続するたびに「ユーザー名」、「パスワード」を入力したいときは、「ユーザー名」、「パスワード」欄を空欄にしておきます。
- 「ユーザー名」や「パスワード」をまちがえて入力すると、プロバイダーに接続できません。よく確かめて入力してください。
- 「ユーザー名」、「パスワード」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	PPPログイン名、ログイン名、ユーザー名、アカウント、アカウントID、接続ID、ID番号、接続アカウント、ユーザーID ダイヤルアップログイン名、認証ID、
パスワード	PPPパスワード、パスワード、接続パスワード、認証パスワード、ダイヤルアップパスワード、初期パスワード、IDパスワード

10 TCP／IP タブにタップします。

「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」にチェックが付いていることを確認します。

11 サーバー タブにタップし、サーバーの設定を行います。

・DNSサーバーを自動的に取得する場合は「サーバー割り当てのネームサーバーアドレス」を選択します。
・DNSサーバーを入力する場合は「指定されたサーバーアドレス」を選択し、プライマリDNS、セカンダリDNSを入力します。

- セカンダリDNSサーバーがないプロバイダーの場合は、「セカンダリDNS」の欄は空欄にします。
- 「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
プライマリDNS	ネームサーバー1、Domain Name Server（1）、ドメインネームサーバー、DNSサーバー、DNS、プライマリDNSサーバー
セカンダリDNS	ネームサーバー2、Domain Name Server（2）、セカンダリDNSサーバー

12 ok にタップします。

手順**9**の「ユーザー名／パスワードの入力」画面に戻ります。

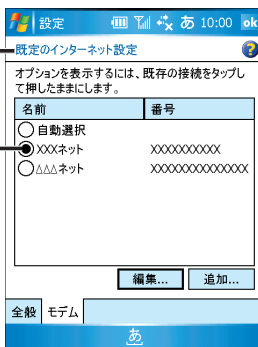
13 画面右下の 完了 にタップします。

- **2-21ページの手順4で複数の接続設定を作った場合**
  次ページの手順**14**〜**16**を行ってください（接続設定の選択を行ってください）。
- **2-21ページの手順4で 追加 をタップし、ご自分で接続方法を作りその中に１つの接続設定を作った場合**
  この手順で終了です。

14「既存の接続を管理」にタップします。

作成した設定が表示されます。

15 作成した設定のラジオボタンにチェックを付けます。

チェックが付いている設定に接続します。

MEMO

- 加入しているプロバイダーの設定をしたあとEメール(ウィルコム)を受信するときは、接続(設定 タブ)画面で表示される名称を「センタ名称設定」に変更する必要があります。変更方法は、2-21ページの手順**4**で「センタ名称設定」を選択します。

16 ok をタップします。

インターネット接続設定を変更する／削除する

インターネット接続設定を変更する

1 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。

2 「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」をタップしたときは、「センタ名称設定」画面内に「CLUB AIR-EDGE」が表示されます。

3 変更する接続名を選択し、 編集 にタップします。

接続名やモデムを選択する画面（☞2-22ページの手順**7**）が表示されます。

4 次へ にタップして画面を切り替えて設定内容を変更します。

2-22ページ以降の画面が表示されますので、くわしくは2-22～24ページの手順**7**～**11**をご覧になり内容を変更します。

MEMO

- 「パスワード」の項目は「＊」が表示されており、実際に設定したパスワードとは違う文字数になっています。

インターネット接続設定を削除する

1 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。

2 「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

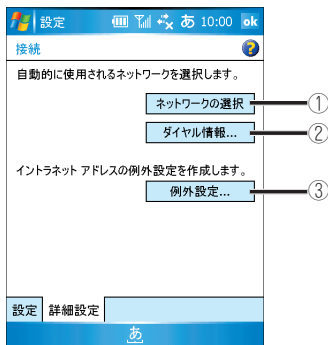
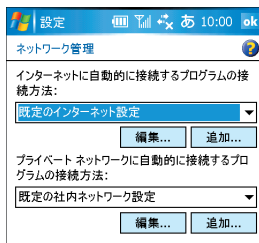
「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」画面が表示されます。

3 削除する接続名をタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 にタップします。

ご注意！

- 削除の取り消しはできません。接続設定は削除されます。

インターネットへの接続方法を切り替える

スタートー設定ー接続タブー接続ー詳細設定タブでは、新しいネットワークを作成したり、イントラネットアドレスの例外設定ができます。

① ネットワークを選択します。
タップするとネットワーク管理画面が表示されます。
オンラインサインアップを行うと「センタ名称設定」が自動的に作成されて表示されます。
オンラインサインアップで取得した情報を使ってインターネットに接続する場合、この設定は変更しないでください。変更するとインターネットに接続できなくなり、ホームページの閲覧やメールの送受信ができなくなります。
この設定を削除した場合などは、もう一度オンラインサインアップをしてください。

編集：表示されている接続名称の中に作成した接続設定の編集／作成ができます。
追加：新しい接続名称を作成します。

② この製品ではダイヤル情報は使用しません。ここをタップしてダイヤル情報画面に移り設定をしないでください。
※このダイヤル情報画面は、新規の接続作成画面（☞2-22ページ）で「ダイヤル情報を使用します」をタップしたときと同じ画面です。

③ イントラネットアドレスでピリオド(.)が使用されている例外アドレスを設定します。

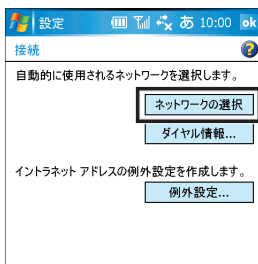
お使いの環境にあわせてインターネットの接続設定をする

社内ネットワークなど、インターネットの接続設定をお使いの環境にあわせて設定することができます。

社内ネットワークへの接続設定をする

ダイヤルアップ接続用アクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワードおよびTCP／IP設定に関する情報などをネットワーク管理者に確認してください。

1 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップし、 詳細設定 タブにタップします。

2 「ネットワークの選択」にタップします。

3 プライベートネットワークに自動的に接続するプログラムの接続方法の▼にタップして、「既定の社内ネットワーク設定」を選びます。

4 ok にタップします。

接続画面に戻ります。

5 設定 タブにタップし「新しいモデム接続の追加」にタップします。

新しい接続画面が表示されます。

以降は、「加入しているプロバイダーの接続設定をする」(☞2-22～24ページ)の手順**7**～**13**と同じ操作をして、社内ネットワークに接続する設定をしてください。

社内ネットワーク接続設定を変更する

1 **設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。**

2 **「既定の社内ネットワーク設定」の「既存の接続を管理」にタップします。**

「既定の社内ネットワーク設定」画面が表示されます。

3 **変更する接続名を選択し、 編集 にタップします。**

4 **設定内容を変更します。**

画面右下の 次へ にタップすると、電話番号の入力画面などに移ります。

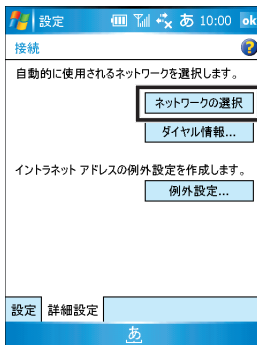
MEMO

- 「パスワード」の項目は「＊」が表示されており、実際に設定したパスワードとは違う文字数になっています。
- **社内ネットワーク接続設定を削除する**
  手順**3**で削除する接続名をタップしたままにし、 削除 にタップします。
  なお削除の取り消しはできません。

VPNサーバーへの接続設定をする

TCP／IP設定およびVPNサーバーのホスト名／IPアドレスなどの情報をネットワーク管理者に確認してください。

1 **設定画面で 接続 タブの“接続”にタップし、 詳細設定 タブにタップします。**

2 **「ネットワークの選択」にタップします。**

3 **インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法の▼にタップして、「既定の社内ネットワーク設定」を選びます。**

4 **ok にタップします。**

接続画面に戻ります。

5 **設定 タブにタップし「新しいVPNサーバー接続の追加」にタップします。**

新しい接続画面が表示されます。

6 **名前およびホスト名またはIPアドレスを入力し、画面右下の 次へ にタップします。**

VPNの種類でIPSec／L2TPを選択した場合は、手順**7**に進んでください。
PPTPを選択した場合は、手順**8**に進んでください。

7 **IPSec／L2TPの接続の認証方法を選択し、画面右下の 次へ にタップします。**

8 「ユーザー名」、「パスワード」などを入力します。

ユーザー名やパスワードについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

9 詳細設定 にタップし、TCP/IP、サーバーの設定を行い ok にタップします。

10 画面右下の 完了 にタップします。

接続画面に戻ります。

11 ok にタップします。

VPNサーバーに接続する

1 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「既定の社内ネットワーク設定」画面が表示されます。

3 VPN タブにタップします。

4 作成した接続設定にタップしたままにして表示されたメニューから 接続 にタップします。

VPNサーバーに接続します。

MEMO

- 手順**2**で「既定の社内ネットワーク設定」の「VPNサーバーの編集」にタップしても手順**3**の画面が表示されます。

VPNサーバー接続設定を変更する／削除する

1 設定画面で 接続 タブの"接続"にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「既定の社内ネットワーク設定画面」が表示されます。

3 VPN タブにタップします。

4
- 変更するときは、変更するVPNを選択し、画面右下の 編集 にタップして、設定内容を変更します。
- 削除するときは、削除するVPN接続名をタップしたままにし、削除 にタップします。

ご注意！
- 削除の取り消しはできません。接続設定は削除されます。

プロキシサーバーを設定する

プロキシサーバーの設定をします。

1 設定画面で 接続 タブの"接続"にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「プロキシサーバーの設定」にタップします。

MEMO
- 既に設定されている場合は、「プロキシサーバーの編集」にタップします。

3 表示された画面で、「このネットワークをインターネットに接続する」にチェックを付けます。

4 さらに「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」にチェックを付け、プロキシサーバーを入力します。
必要に応じて、 詳細設定 にタップし、HTTPプロキシサーバーのポートやユーザー名、パスワードを入力します。

プロキシサーバーなどについては、社内のネットワーク管理者におたずねください。

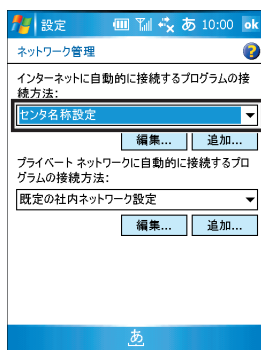
メールの送受信やインターネットへの接続がうまくいかないときは

メールの送受信やインターネットに接続できない場合、インターネットに接続する方法が正しく設定されていないことが考えられます。
以下の画面で、設定されている接続方法を確認してください。

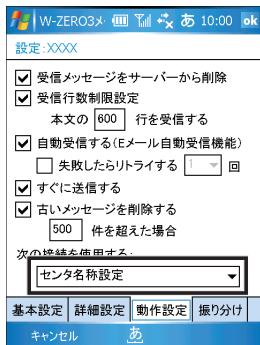
● ウィルコムのメールを自動受信するときは、インターネットに接続する方法を「センタ名称設定」に設定する必要があります。

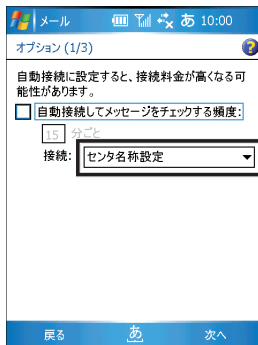
■ネットワーク設定

◇ ネットワーク管理画面 ◇

「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」欄に表示されている設定を確認してください(☞2-21ページ)。

■メールソフトの設定

◇ W-ZERO3メール ◇

「次の接続を使用する」欄に表示されている設定を確認してください(☞2-10ページ)。

◇ メール ◇

メールのオプション(1/3)画面「接続」欄に表示されている設定を確認してください(☞2-16ページ)。

■タップして表示されるメニューについて

・「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了したときの設定でメールを送受信するときに選択します。
・「インターネット設定」や「社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。
・ご自分で新規に接続/接続設定を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。

※この取扱説明書では、「インターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「インターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「社内ネットワーク設定」を選択してください。

3 電話

電話 3-2

電話／メールの着信音やマナーモードなどの設定をする 3-24

ウィルコムのサービスを利用する 3-50

電話のかけかた、受けかたなどについて説明します。

電話をかける

ダイヤルキーを押して電話番号を入力し、電話をかけます。

1 この製品の電源を入れます。

2 キーを押します。

“電話”が起動し、ダイヤル画面が表示されます。

3 ダイヤルキーを押して、電話番号を入力します。

押した電話番号が画面上に表示されます。

● ポーズの使いかたについてくわしくは、3-12ページをご覧ください。

4 キーを押します。または画面左下の発信にタップします。

電話番号が点滅して相手に電話がかかります。相手がでたら、話しをします。

5 通話を終えるときは、PWR HLD キーを押します。

電話が切れます。
しばらくすると、Today画面(待ち受け画面)に移ります。再度、電話をかけるときは キーを押します。

- 電話を切るときは PWR HLD キーを押してください。✕ にタップしても(画面を閉じても)電話は切れません。

MEMO

- 入力できる番号の桁数は32桁までです。
- 一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。市外局番を入力せずに電話をかけても、電話はかかりません。
- PHS/携帯電話に電話をかけるときは、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
- ご購入時、自分の電話番号は相手に通知するように設定されています。
  この設定を変えたり(通知しないようにしたり)、その通話だけ通知しないようにできます。設定の変更については3-36ページ、ある相手だけ通知しないようにする方法は3-16ページをご覧ください。
- 通話中、バックライトはあらかじめ設定している時間(☞10-17ページ)で最小輝度になり、そのあと約10秒後に液晶表示とバックライトが消灯します(通話は継続します)。
- 入力途中で番号を間違えたときは、クリア キーを押すか、クリアにタップすると、最後の番号(右端の番号)を削除します。
- 入力途中の番号を最初から入力したいときは、PWR HLD キーを押し、一度、Today画面(待ち受け画面)に戻った後、ダイヤルキーを押します。
- Today画面(待ち受け画面)でダイヤルキーを押しても番号の入力はできます。

電話を受ける

かかってきた電話に出ます。

1 **電話がかかってきたら、着信音が鳴り、青色の着信ランプが点滅します。**

・設定によっては音は鳴らず、バイブレータによって電話がかかってきたことを知らせます。
　また、青色のランプを点滅する／しないを設定できます（☞3-32ページ）。
・相手が発信者番号を通知しているときは電話番号が表示されます。また、“連絡先”（☞6-18ページ）に登録しているときは、名前／顔写真も表示されます。
・着信中に着信音の音量を変えられます。音量の変更は、3-24ページをご覧ください。
・着信中、［マナー］キーを長く押すとマナーモードのオン／オフを切り替えることができます。
・発信者番号通知をしていないときは、以下の左側の文字が表示されます。
　「ユーザ非通知」　：相手が電話番号を通知していません。
　「通知不可能」　　：相手が通知できないエリアや電話機からの電話です。
　「公衆電話発信」　：公衆電話からの電話です。

2 **［通話］キーを押し、相手と話しをします。**

・エニーキーアンサー（☞ 3-37ページ）の設定をオンにしていると、［通話］キー以外のキーを押しても電話を取ることができ、相手と話しができます。画面にタップしても電話を取ることができます（ただし、タイトルバーとメニューバーにタップしても電話は取れません）。
・通話中に相手の声の大きさを変えるには、この製品の右側面にある音量調節キーを押します。VOL（＋）で大きくなり、VOL（－）で小さくなります。くわしくは、3-13ページをご覧ください。

3 相手と話しが終わったら、PWR HLD キーを押します。

- かかってきた電話にすぐに出られないときは、PWR HLD キーを押すと保留応答の状態にできます。この場合、「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」の応答メッセージが流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
  保留応答中に電話に出るときは キーを押します。また、電話を切るときは PWR HLD キーを押します。
- 電話がかかってきたときに縦横表示切替キーを押すと、伝言メモ機能がはたらきメッセージが流れます（相手のメッセージを録音する／しないは、伝言メモの設定（☞3-14ページ）にしたがいます）。
- **電話に出ることができなかったときは**
  Today画面（待ち受け画面）に「不在着信：X件」と表示されます。この文字にタップすると、着信履歴画面が表示されます。また、ダイヤル画面で（カーソル）キーの左を押すと着信履歴画面が表示されます。
- この製品では、電話を切ったときに自動的にウィルコムの留守番電話サービスにメッセージがあるか確認をします。メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます（☞ 3-50～51ページ）。
  ウィルコムの留守番電話サービスを利用するときは、あらかじめウィルコムサービスセンターへの申し込みが必要です。

通話中に保留する

通話中、話しを保留できます。保留中は、お互いの声は聞こえません。
保留中はメロディが流れます。

1 画面左下の キー表示 にタップし、保留 にタップします。

保留中はメロディが流れます。

保留中は、保留解除 に変わります。

2 保留を解除するときは、保留解除 にタップします。

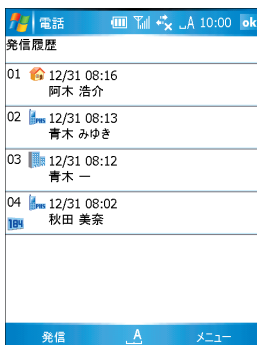
相手と通話できます。

一度かけた番号に電話をかける（リダイヤル・発信履歴を利用する）

一度かけた電話番号に再度、電話をかけます。

"電話"のダイヤル画面で、(カーソル)キーの右を押します。

発信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかけた番号から表示されます。

(カーソル)キーの上下を使って、見えていない電話番号を表示して選択します。

2 履歴画面で相手の名前または電話番号を選択し、[発信] キーを押します。または画面左下の[発信]にタップします。

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。
履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るには ok にタップします。

MEMO

- 発信履歴は最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます（同一の相手（電話番号）への発信の場合は、20件以下のときでも一番新しい履歴だけを表示します）。
- 発信履歴画面では、履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[1件削除]にタップします。
  [全件削除]にタップすると、発信履歴すべてを削除します。
- 発信履歴を利用して電話をかけるときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞3-36ページ）の設定にしたがいます。
- Today画面（待ち受け画面）で、(カーソル)キーの右を押しても発信履歴画面が表示されます。

かかってきた番号に電話をかける(着信履歴を利用する)

かかってきた電話番号に電話をかけます。

1 “電話”のダイヤル画面で、(カーソル)キーの左を押します。

着信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかかってきた番号から表示されます。

2 履歴画面で相手の名前または電話番号を選択し、[☎] キーを押します。または画面左下の[発信]にタップします。

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。
履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るには ok にタップします。

MEMO

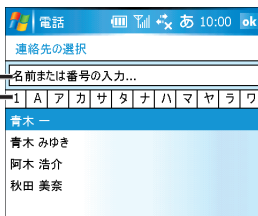
- 着信履歴は最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます。
- 着信履歴画面では、履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[1件削除]にタップします。
  [全件削除]にタップすると、着信履歴すべてを削除します。
- 着信履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知(☞3-36ページ)の設定にしたがいます。
- Today画面(待ち受け画面)で、(カーソル)キーの左を押しても着信履歴画面が表示されます。

“連絡先”の電話番号を使って電話をかける

“連絡先”に登録している電話番号を利用して電話をかけます。

1 “電話”のダイヤル画面で、画面左下の 連絡先参照 にタップします。

連絡先に登録している名前がリスト表示されます。

50音タブにタップ、または名前の読みを入力して相手を探します。

- リスト表示には、電話番号は表示されません。
- 連絡先に多くの人を登録しているときは、50音タブにタップ、または名前の読みを入力して目的の相手を探します。

2 連絡先の選択画面で、電話をかける相手にタップします。

3 電話番号選択画面が表示されます。

4 電話番号にタップします。

または、(カーソル)キーの上下を使って電話番号を選択（反転）し、[発信] キーを押します。

電話番号にタップしたときは、確認画面が表示されますので、 はい にタップします。
発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- “連絡先”を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞3-36ページ）の設定にしたがいます。

ライトメールの送信履歴／受信履歴から電話をかける

ライトメールを使って送信した宛先（電話番号）や受信したライトメールの送信者に電話をかけます。

1 **“電話”のダイヤル画面で、（カーソル）キーの上、または下を押します。**

（カーソル）キーの上：送信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に送信した番号から表示されます。

（カーソル）キーの下：受信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に受信した番号から表示されます。

送信履歴画面

受信履歴画面

2 **履歴画面で電話番号を選択し、［発信キー］キーを押します。または画面左下の［発信］にタップします。**

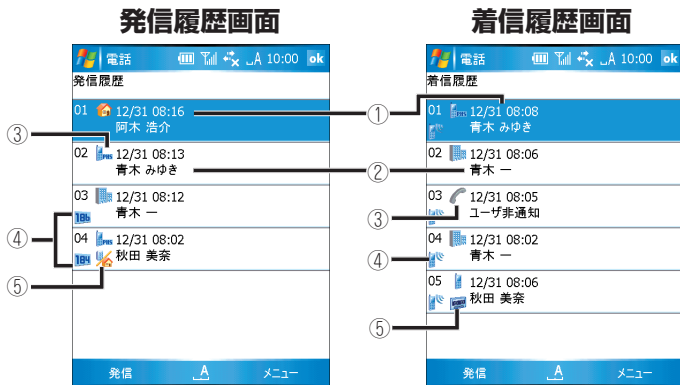
発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- 送信履歴、受信履歴共に最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます（同一の相手（電話番号）への送信の場合は、20件以下のときでも一番新しい履歴だけを表示します）。
- 送信履歴、受信履歴共に履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の［メニュー］－［1件削除］にタップします。
  ［全件削除］にタップすると、履歴すべてを削除します。
- この履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞3-36ページ）の設定にしたがいます。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面について

ここでは、発信履歴／着信履歴画面、送信履歴／受信履歴画面について説明します。

発信／着信履歴画面について

① 発信履歴画面では発信した日時、着信履歴画面では着信した日時が表示されます。

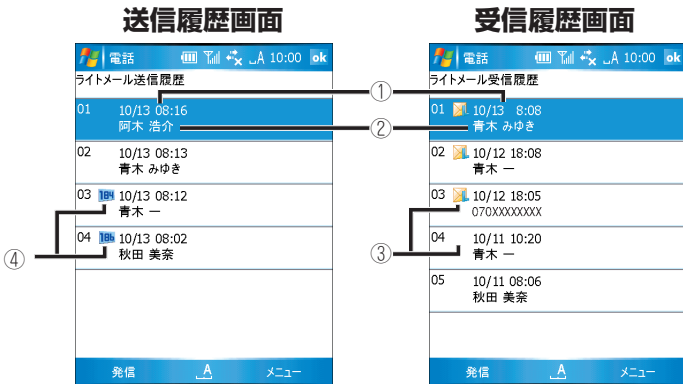
② 発信履歴画面では発信した相手（電話番号）、着信履歴画面では着信した相手（電話番号）が表示されます。
“連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。
着信時、3-4ページの手順**1**に記載しているように、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。

③ “連絡先”にその電話番号を登録しているときは、その番号に対応したアイコンが表示されます。
：携帯電話　：勤務先電話
：自宅電話　：PHS
：連絡先に登録していない相手と非通知の相手

④ 発信履歴画面では、非通知発信／通知発信をしたことを示すアイコン（184／186）が表示されます。
着信履歴画面では、不在着信の相手であることを示すアイコン（）が表示されます。

⑤ 発信履歴画面では、分計発信したことを示すアイコン（）が表示されます。
着信履歴画面では、伝言メモで対応した相手であることを示すアイコン（）が表示されます。

※ 発信／着信履歴画面で［メニュー］－［電話番号のコピー］をタップすると、選択している電話番号をコピーできます。
コピーした電話番号は着信拒否設定画面（［拒否番号］タブ）（☞3-43～44ページ）で、［メニュー］－［貼り付け］をタップして利用できます。

ライトメール送信／受信履歴画面について

送信履歴画面　　**受信履歴画面**

① 送信履歴画面では送信した日時、受信履歴画面では受信した日時が表示されます。

② 送信履歴画面では送信した相手（電話番号）、受信履歴画面では受信した相手（電話番号）が表示されます。
“連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。
受信時、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。

③ アイコンあり：未読メールを示します。
アイコンなし：既読メールを示します。

④ ：非通知発信したことを示すアイコンです。
：通知発信したことを示すアイコンです。

メニューは、発信履歴画面や着信履歴画面と同様です。3-23ページをご覧ください。

発信中、ポーズを使う

各種プッシュホンサービスを利用するときなど、かける電話番号の後ろに「P」（ポーズ）とサービスで利用する番号を入力して利用できます。
また、“連絡先”の電話番号に「電話番号」＋「P」（ポーズ）＋「サービス番号など」（例えば、03XXXXXXXXP12XX）と登録して、利用できます（☞6-19ページ）。
「P」は、全角半角、大文字小文字いずれもポーズとして働きます。

ダイヤル画面で利用する

1 ダイヤル画面で「電話番号」、ポーズ、「サービス番号など」入力します。

ポーズにタップすると、画面上には「P」が表示されます。

2 キーを押します。

「P」の前の番号までが発信され、電話がかかります。

3 相手先とつながった後、再度 キーを押します。

「P」より右の番号がトーン信号で発信されます。

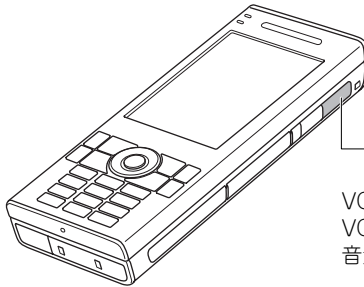
MEMO

- ポーズ（「P」）は複数入力できます。複数のポーズ（「P」）が入っているとき、最初のポーズまでを発信して止まります。 キーを押すと次のポーズまでを発信し2つ目のポーズで止まります。再度、 キーを押すと次のポーズまでを発信します。以降同様に動作します。

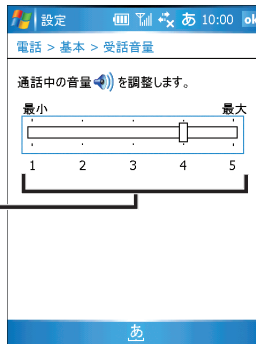
相手の声の大きさ(受話音量)を変える

通話中、相手の声の大きさを5段階に調節できます。以下の方法で調節します。

ご注意！
- 音量を上げるときは、1段階ずつ上げてください。
- 相手に話す自分の声の大きさは変えられません。

●通話中に、この製品の右側面にある音量調節キーを押す。

- **(カーソル)キーの上下でも音量を変えることができます。**
  - ・(カーソル)キーの上：音が大きくなります。
  - ・(カーソル)キーの下：音が小さくなります。

●電話画面(基本タブ)の受話音量で変える。

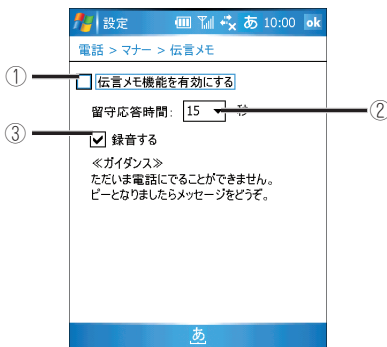
電話画面(基本タブ)の受話音量で、受話音量を調節します。
電話画面(基本タブ)の受話音量は、スタートメニューの "設定"にタップし、個人用タブの "電話"にタップして基本タブの "受話音量"にタップすると表示されます。

伝言メモ

電話に出られないときなどに相手からのメッセージをこの製品に録音してあとで聞けるように設定できます。

伝言メモを設定する

1 **スタート メニューの “設定”にタップし、個人用 タブの “電話”の マナー タブにタップします。**

2 **“伝言メモ”にタップします。**

伝言メモ画面が表示されます。

① チェックを付けると、伝言メモ機能が有効になります。

② 電話がかかってきて呼び出しが始まり伝言メモ機能に切り替わるまでの時間を設定します。

③ チェックを付けると「ただいま電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。
チェックを外すと、「ただいま電話にでることができません。しばらくたってからおかけ直し下さい。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません）。
※伝言メモを録音できる件数や録音時間は次ページの「MEMO」をご覧ください。

3 **ok にタップします。**

- 伝言メモの録音件数、録音時間
  ・録音件数：5件
  ・録音時間：1件につき最大約15秒
  録音件数が5件のとき伝言メモ機能が働くと、相手にはアナウンスのみ流れます。録音はできません。
- この伝言メモは、ウィルコムが提供している留守番電話サービスとは異なります。この製品の伝言メモとウィルコムの留守番電話サービスの両方を利用しているときは、呼び出し時間が短い方が優先されます。伝言メモの呼び出し時間の設定は前ページを、ウィルコムの留守番電話サービスの呼び出しの設定は3-50～51ページをご覧ください。
- **伝言メモを解除するには**
  前ページの伝言メモ画面で、「伝言メモ機能を有効にする」のチェックを外します。

伝言メモを聞く

伝言メモで録音メッセージを受けたときは、Today画面（待ち受け画面）の下にアイコンが表示されます（アイコンは、伝言メモ画面に録音メッセージがあるときに表示されます）。

1 **キーを押し電話のダイヤル画面を表示します。**

2 **画面右下の メニュー － 伝言メモ にタップします。**

伝言メモ画面が表示されます。
アイコンは、録音メッセージがあることを示します。

- Today画面（待ち受け画面）で、画面下部にアイコンが表示されているときは、アイコンにタップしても伝言メモ画面が表示されます。

3 **再生したいメッセージがあるものを選択し、画面左下の 再生 または画面右下の メニュー － 再生 にタップします。**

録音されたメッセージが受話口から流れます。

- 録音されたメッセージを消去するときは、消去するメッセージを選択して メニュー － 消去 にタップします。表示された確認画面で はい にタップします。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

電話をかけるとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、3-2ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-36ページをご覧ください。

1 ダイヤルキーを押して電話番号を入力します。

2 画面右下の［メニュー］－［通話］－［184発信］にタップします。

この場合、自分の電話番号を通知せずに電話をかけます。
分計発信するときは、［184分計発信］にタップします。

3 通話を終えるときは、［PWR HLD］キーを押します。

電話が切れます。

MEMO

- 通常、自分の電話番号を通知しない状態のときに一度だけ通知するときは、上記の手順**2**で［メニュー］－［通話］－［186発信］にタップすると、自分の電話番号を通知します。
  また、分計発信するときは、［186分計発信］にタップします。

パワーサーチを行う

待ち受け中や通話中、一番電波の強い基地局を選択できます。

1 ダイヤル画面で、画面右下の［メニュー］－［パワーサーチ］にタップします。

2 パワーサーチが始まります。

パワーサーチ終了後、元の画面に戻ります。

MEMO

- パワーサーチを行っても、場所によっては電波状態が変わらないことがあります。
- 通話中のパワーサーチの回数は、一度の通話で3回までです（通話中のパワーサーチの操作は、画面左下の［キー表示］にタップしてから、画面右下の［メニュー］－［パワーサーチ］にタップします）。

ご注意！

- パワーサーチ実行中は、キーを押したりしないでください。

通話中にトーン信号(プッシュ信号)を送る

ダイヤルキーを使って、トーン信号（プッシュ信号）を送ることができます。
銀行の残高照会などのプッシュホンサービスを利用できます。

1 相手先に電話をかけます。

2 通話中に、画面左下の［キー表示］にタップします。

3 ダイヤルを押すと、数字が画面上に表示され同時にその数字のトーン信号（プッシュ信号）が送られます。

国際電話をかける

ウィルコムの国際電話サービスをご利用いただくことにより、国際電話をかけられます（事前のお申し込みは不要です）。

この製品から海外へかける

例）アメリカの「212-XXX-XXXX」へかける場合

[0][1][0]と国番号に続いて相手の電話番号を押します。

[0][1][0] － [1] － [2][1][2] － [X][X][X]-[X][X][X][X]

- [1]：アメリカの国番号
- [2][1][2]：ニューヨークの地域番号
- [X][X][X]-[X][X][X][X]：相手の電話番号

- 通話料については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- 申込手数料、月額料金は不要です。

海外からこの製品へかける

例）アメリカからこの製品（070-XXXX-XXXX）へかける場合

1 **以下の電話番号を押します。**

[0][0][1] － [8][1] － [7][0]-[X][X][X][X]-[X][X][X][X]

- [0][0][1]：アクセス番号※
- [8][1]：日本の国番号
- [7][0]-[X][X][X][X]-[X][X][X][X]：先頭の「0」を除いた電話番号

※アクセス番号は、国によって違います。

自分の電話番号を見る

この製品に設定されている電話番号を表示します。

1 ダイヤル画面で、画面右下の[メニュー]－[自局番号表示]にタップします。

MEMO

- 通話中は、画面左下の[キー表示]をタップし、画面右下の[メニュー]－[自局番号表示]にタップしても表示されます。
- 画面右下の[メニュー]－[設定]－“自番号”にタップしても表示されます。
- ダイヤル画面または通話中の画面で、(アクション)キー（(カーソル)キーの中央のキー☞1-2ページ）を押しても表示されます。
- ダイヤル画面または通話中の画面で、(Fn)キーを押しながら(0)（ゼロ）キーを押しても表示されます（(0)（ゼロ）キーはキーボード最上段の右から3つ目のキーです）。

2 画面に自分の電話番号とオンラインサインアップで登録したメールアドレスが表示されます。

MEMO

- 画面右下の[コピー]をタップし、[電話番号をコピー]を選択すると自分の電話番号をコピーし、[メールアドレスをコピー]を選択するとメールアドレスをコピーします。
  コピーした内容は別のプログラムで貼りつけることができます。

3 [ok]にタップすると、元の画面に戻ります。

かかってきた番号／かけた番号を“連絡先”に登録する

かかってきた電話番号やかけた電話番号は、着信履歴や発信履歴として新しいものからそれぞれ20件ずつ残っています。この着信履歴や発信履歴の電話番号を“連絡先”に登録し活用できます。

1 ダイヤル画面で、(カーソル)キーの左、または右を押します。

着信履歴画面または発信履歴画面が表示されます。

- Today画面（待ち受け画面）で、(カーソル)キーの左右を押しても着信履歴画面／発信履歴画面が表示されます。

2 着信履歴画面または発信履歴画面で、登録する電話番号を(カーソル)キーの上下を使って選択（反転）します。

3 画面右下の［メニュー］－［連絡先に登録］にタップし、［新規登録］または［追加登録］にタップします。

※［追加登録］にタップした場合は、電話番号を追加したい“連絡先”にタップし、手順**4**に移ります。

4 電話番号の種別（PHSや携帯電話、勤務先電話など）を選択し、okまたは画面右下の［決定］にタップします。

選択した種別に電話番号が登録されます。たとえば、PHSを選択すると、PHSの項目に電話番号が入ります。

ご注意！

- 手順**3**で［追加登録］をタップした場合、すでに電話番号が入っている「電話番号の種別」を選択すると、手順**2**で選択した電話番号に置き換わります。追加登録するときは「電話番号の種別」の選択に注意してください。

5 “連絡先”の新規入力画面または編集画面になりますので、各項目にタップして、情報を入力（☞6-18ページ）します。

6 入力が終わったら、okにタップします。

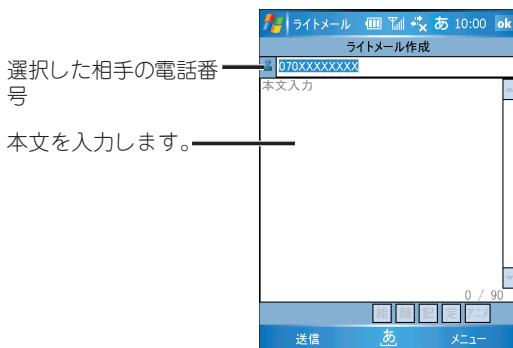
手順**2**で選択した電話番号が入った連絡先のデータが保存されます。

発信履歴や着信履歴を使ってライトメールを作る

電話をかけた相手や電話をうけた相手の電話番号を使って、ライトメールを作成できます。
ここでは、発信履歴画面を使って、ライトメールを作成する方法を説明します。着信履歴画面を使った場合も同じようにできます。

1 **3-6ページと同様にして、発信履歴画面を表示します。**

2 **送信する相手を選択（反転）し、画面右下の メニュー － ライトメール作成 にタップします。**

選択した相手の電話番号が入った“ライトメール”の新規作成画面が表示されます。

3 **本文を入力し、画面左下の 送信 にタップします。**

ライトメールが送信されます。

- ライトメール送信履歴画面や受信履歴画面からもライトメールを作成できます。ライトメール送信履歴画面／受信履歴画面で、画面右下の メニュー － ライトメール作成 にタップします。以降、上記の手順**3**を行いライトメールを送信します。
- “ライトメール”を起動し、ライトメールの作成もできます。くわしくは、4-61ページをご覧ください。
- “連絡先”からもライトメールを作成できます。くわしくは、6-24ページをご覧ください。

電話のメニュー

ダイヤル画面のメニュー

ライトメール作成	新規ライトメールを作成する（☞4-61ページ）。
パワーサーチ	一番電波の強い基地局を選択する（☞3-17ページ）。
自局番号表示	この製品に設定されている電話番号を表示する（☞3-19ページ）。
伝言メモ	録音している伝言メモをリスト表示する（☞3-14ページ）。
設定	電話設定画面を表示する（☞3-25ページ）。

ダイヤル画面（ダイヤル入力時）のメニュー

連絡先に登録	新規登録	表示している番号を新たに“連絡先”に登録する。
	追加登録	表示している番号を登録している“連絡先”のデータに追加で登録する。
ライトメール作成		入力された電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞4-61ページ）。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-53ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-53ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-53ページ）。
クリア		最後に入力した番号（右端の番号）を削除する。

通話画面のメニュー（キー表示中）

保留	通話を保留する（☞3-5ページ）。保留中は、保留解除になる。
パワーサーチ	一番電波の強い基地局を選択する（☞3-17ページ）。
自局番号表示	この製品に設定されている電話番号を表示する（☞3-19ページ）。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面のメニュー

ライトメール作成		選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞4-61ページ）。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-53ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービス（☞3-53ページ）を利用して電話をかける。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービス（☞3-53ページ）を利用して電話をかける。
連絡先に登録	新規登録	選択している電話番号を新たに“連絡先”に登録する（☞3-20ページ）。
	追加登録	選択している電話番号を登録している“連絡先”のデータに追加で登録する（☞3-20ページ）。
伝言メモ再生		着信履歴画面で選択している電話番号に伝言メモが録音されている場合に、その伝言メモを聞ける。
1件削除		選択している履歴を削除する。
全件削除		各履歴画面で表示されている履歴をすべて削除する。
電話番号のコピー		選択している履歴の電話番号をコピーする。

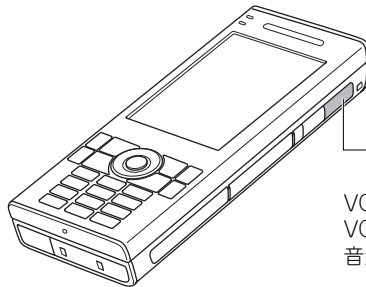
連絡先（電話番号選択）画面のメニュー

ライトメール作成		選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞4-61ページ）。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-53ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービス（☞3-53ページ）を利用して電話をかける。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービス（☞3-53ページ）を利用して電話をかける。

電話／メールの着信音やマナーモードなどの設定をする

着信音の音量を調節する

電話／ライトメール／メールの着信音の音量を変えるには、以下のような方法があります。

●通話中以外、この製品の右側にある音量調節キーを押す。

MEMO ●通話中にこのキーを押すと、相手の声の大きさが変わります。

●タイトルバーの にタップし、ボリュームを調節する。

ダイヤル画面を表示しているときは、タイトルバーに が表示されます。

●着信音量画面で変える。

着信音量画面の表示方法は、下記のメモをご覧ください。

● 呼出やバイブ設定画面の表示方法について

1 スタート メニューの“設定”にタップし、設定画面で 個人用 タブにタップします。

2 “電話”にタップし、呼出 タブにタップします。

3 各アイコンをタップすると、画面が表示されます。

4 設定が終われば、ok にタップします。

着信音のメロディを変える

着信音のメロディを変更できます。また、この製品に保存している音楽ファイルを着信音にできます(☞次ページ)。

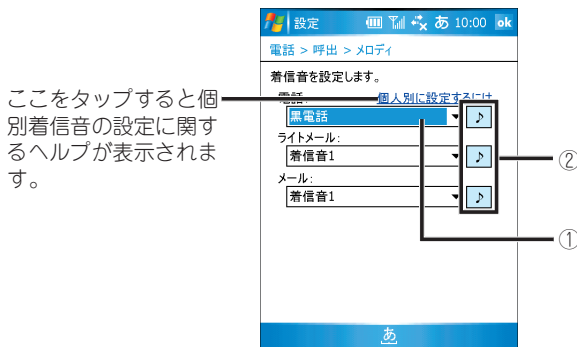
メロディを変える

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出 タブをタップし、“メロディ”をタップします。**

電話、ライトメール、メールそれぞれに着信音のメロディを設定します。

---

① 着信音のメロディを選択します。
「黒電話」、「着信音1」などは、この製品に入っているメロディです。♪にタップするとメロディを再生します。途中で止めるには■にタップします。
「《ファイル参照》」を選択すると音楽ファイル選択画面が表示されますので、この製品に保存している音楽ファイルを選択できます(☞次ページ)。

② メロディを再生します。再生中は■になりますので、■にタップすると停止します。

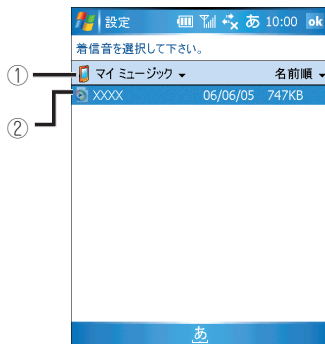
---

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

MEMO

- “連絡先”に登録しているデータを使って個別の着信音を設定できます。くわしくは3-29ページをご覧ください。

音楽ファイルを選択する

前ページで、「《ファイル参照》」を選択すると、この製品に保存している音楽ファイルを着信音として選択できます。

① フォルダを指定します。
保存しているファイルが表示されないときは、そのファイルが入っているフォルダを確認してください。

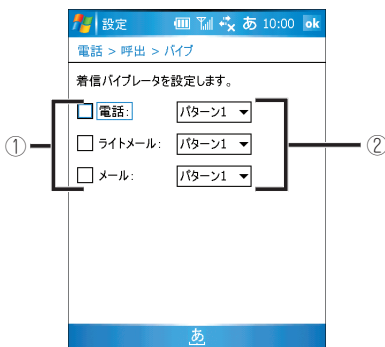
② ①で指定されたフォルダ内の音楽ファイルがリスト表示されます。
このリストから、着信音にしたいファイルにタップします。
タップすると自動的に前ページの画面に戻ります。再生するときは、前ページの♪にタップし、停止するときは■にタップします。
※ miniSDカードに保存している音楽ファイルを選択した場合、確認画面が表示され、はいをタップします。選択した音楽ファイルが本体メモリにコピーされ、その音楽ファイルが選択されます。

バイブレータの設定をする

バイブレータの設定ができます。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出タブをタップし、“バイブ”をタップします。**

① 電話着信時、ライトメール受信時、メール受信時それぞれに、バイブレータのオン／オフを設定します。
チェックをつけるとバイブレータはオンになり、チェックを外すとオフになります。

② バイブレータのパターンを設定します。

3 **設定が終われば、okにタップします。**

個別着信音を設定する

連絡先に登録しているデータに個別の着信音を設定できます。

個別着信音を設定する

1 “連絡先”を起動し、着信音を設定したい相手のデータを表示(詳細表示)します。

2 メニュー ー 個別着信音の設定 をタップします。

個別着信音の設定画面が表示されます。

3 リストから着信音を選択します。

MEMO

- リストに表示されている以外の着信音を選択するときは、ファイル選択をタップしフォルダを切り替えて選択します。miniSDカードの音楽ファイルを選択すると、その音楽ファイルが本体メモリにコピーされ、選択されます。
- 1件のデータに複数の電話番号を登録していても、各電話番号に個別着信音を設定することはできません。着信音は1件のデータに対して設定されます。
  手順**1**で複数の電話番号が表示されているとき、電話番号を選択し手順**2**～**3**を行っても電話番号に対して着信音が設定されるのではなく、1件のデータに着信音が設定されます。

4 okをタップします。

設定している個別着信音を解除する

1 “連絡先”を起動し、着信音を設定しているデータを表示(詳細表示)します。

2 メニュー ー 個別着信音の設定 をタップします。

個別着信音の設定画面が表示されます。

3 リストから 個別着信音設定なし を選択し、okをタップします。

詳細画面に戻り、個別着信音が解除されます。

この場合、着信時には、“メロディ”(☞3-26ページ)で設定している着信音が鳴ります。

インターネット接続中などデータ通信中に着信する

パケット方式でデータ通信中(ホームページ閲覧中やメール送受信中、またはパソコンに接続してこの製品をモデムとして使用中)、着信したときに自動的に回線を切断して呼び出しするようにできます。
ただし、この設定はパケット方式でデータ通信中のみ有効です。
パケット方式は、4X/2X/1Xパケット方式またはフレックスチェンジ方式でパケット方式になっているときです。
64kPIAFS(ベストエフォート/ギャランティ)方式や32kPIAFS方式でデータ通信中は、着信しません。
ご加入のサービスをご確認いただき、この設定が利用できるかどうか確認ください。
なお、この設定をすると、ファイルのダウンロード中など通信途中でも着信すると自動的に回線を切断しますので、ご利用の際には注意してください。

1 **スタート メニューの“設定”をタップし、“電話”をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **基本 タブで“データ通信”をタップします。**

① パケット方式でデータ通信中に着信があったとき、データ通信を切断し着信するかどうかを設定します。ONにすると自動的に回線を切断して着信します。OFFにすると着信しません(回線はつながったままです)。

② 64kPIAFSで接続するとき、ベストエフォート方式で通信するのかギャランティ方式で通信するのかを設定します。

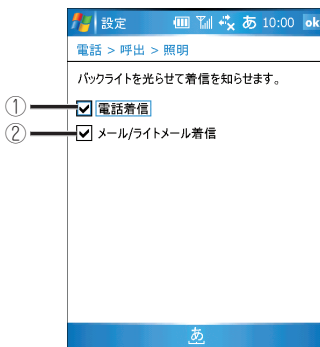
3 **okをタップします。**

着信時、照明(バックライト、キーボード)を点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時、画面のバックライトを点灯したりキーボードやダイヤルキーなどのバックライトを点灯するようにします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出 タブをタップし、“照明”をタップします。**

① 電話着信時、バックライトを点灯する／しないを設定します。バックライトが点灯したとき、キーボードやダイヤルキーなどのバックライトも点灯します。

② メール／ライトメール受信時、バックライトを点灯する／しないを設定します。バックライトが点灯したとき、キーボードやダイヤルキーなどのバックライトも点灯します。

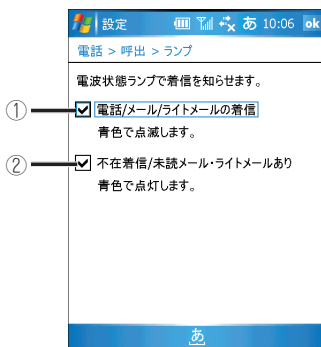
3 **設定が終われば、ok にタップします。**

電話着信／メール受信時、ランプを点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時や不在着信／未読メールがあったときに電波状態ランプ(☞1-2ページ)を青色に点滅または点灯します。
この設定をすると、電波強度の状態を示しているランプが一時的に電話着信／メール受信や不在着信／未読メールありを示すランプになります。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出 タブをタップし、“ランプ”をタップします。**

① 電話着信時やメール／ライトメール受信時、(電波状態)ランプを点滅する／しないを設定します(青色に点滅)。

② 不在着信があったときやメール／ライトメールを受信し未読のメールがあるときに点灯します(青色に点灯)。

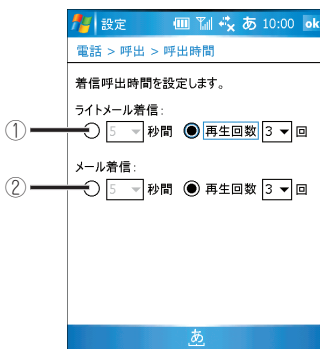
3 **設定が終われば、okにタップします。**

メール受信時、着信音などによる呼び出し時間を設定する

メールやライトメール受信時に、受信したことを知らせる着信音やバイブレータなどの時間を設定します。
設定した時間を越えると、着信音やバイブレータなどは停止します。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出 タブをタップし、“呼出時間”をタップします。**

① ライトメール受信時、呼び出し時間を設定するのか、“メロディ”(☞3-26ページ)で設定した音を何回再生するのかを設定します。
設定した時間または回数だけ呼び出しを行います。

② ①と同様にメール受信時の呼び出し時間または再生回数を設定します。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

3 電話

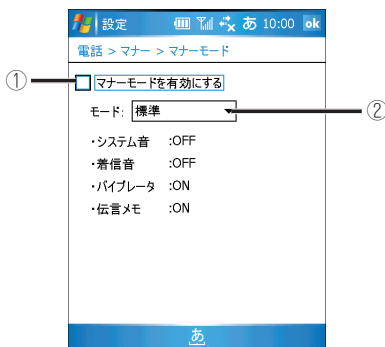
着信音などの設定

マナーモードを設定する

マナーモードの設定を行います。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **マナー タブをタップし、“マナーモード”をタップします。**

① マナーモードにする／しないを設定します。

② マナーモードにしたときのモードの種類を選択します。

・標準

システム音※1：OFF、着信音：OFF、バイブレータ：ON、伝言メモ：ON※3

・サイレント

システム音※1：OFF、着信音：OFF、バイブレータ：OFF、伝言メモ：ON※3

・おやすみ

システム音※1：ON、着信音：OFF、バイブレータ：OFF、伝言メモ：ON※3

・オリジナル

システム音、着信音※2、バイブレータ、伝言メモ※3の設定ができます。

※1 システム音とは、画面タップやアラーム、音楽などスピーカーから出力する再生音です。

※2 システム音がONのときのみ、着信音の設定（ON/OFF）ができます。

※3 伝言メモがONのときは、伝言メモの設定（☞3-14ページ）にしたがいます。

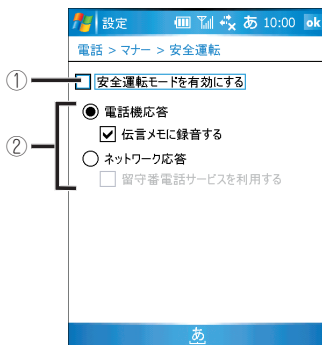
3 **設定が終われば、ok にタップします。**

安全運転モードの設定をする

車を運転中などで電話にでることができない場合、安全運転モードにできます。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **マナータブをタップし、“安全運転”をタップします。**

① 安全運転モードにする／しないを設定します。

② 電話機応答、ネットワーク応答のどちらかを選択します（安全運転モードを有効にして（①にチェックを付けて）設定します）。

- ・電話機応答：この製品が応答します。
  - ・「伝言メモに録音する」にチェックを付けると
    この製品の伝言メモが応答し、「ただいま運転中のため、電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます（伝言メモが5件以内の場合）。
  - ・チェックを付けないと
    「ただいま運転中のため、電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません。）
- ・ネットワーク応答：ウィルコムのネットワークが応答します。
  - ・「留守番電話サービスを利用する」にチェックを付けていた場合
    ウィルコムのネットワーク応答留守番電話サービスが応答し、相手のメッセージを録音します。
  - ・チェックを付けないと
    ネットワークが応答しアナウンスが流れます。
    メッセージの録音はありません。

3 **設定が終われば、okにタップします。**

発信者番号通知などを設定する

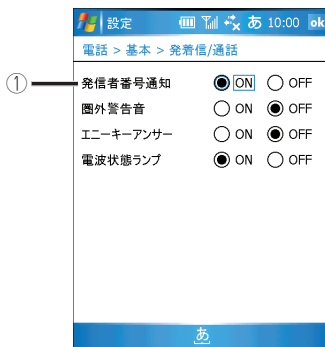
発信者番号の通知、圏外警告音、エニーキーアンサーなどの設定をします。

発信者番号通知を設定する

電話をかけたとき発信者番号(自分の電話番号)を通知する／通知しないを設定します。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **基本タブをタップし、“発着信／通話”をタップします。**

① 発信者番号(自分の電話番号)を通知する／通知しない(非通知)の設定をします。
「ON」　：発信者番号を通知します。
「OFF」：発信者番号を通知しません(非通知)。

※圏外警告音、エニーキーアンサーなどについては次ページをご覧ください。

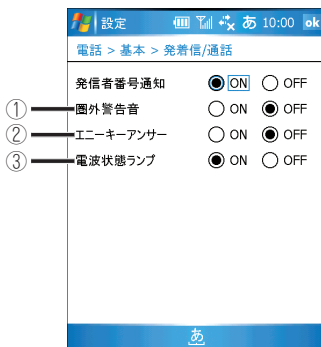
3 **設定が終われば、okにタップします。**

圏外警告音、エニーキーアンサー、電波状態ランプを設定する

圏外警告音、エニーキーアンサー、電波状態ランプの設定をします。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **基本タブをタップし、“発着信／通話”をタップします。**

① 圏外警告音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

② エニーキーアンサーの設定をします。
エニーキーアンサーを「ON」にすると、着信時、PWR HLDキー以外のキーやキーボードのキーを押しても電話が取れます。
たとえば、着信時、ok キーを押したりキーボードのⒶキーを押すと、電話が取れます（相手と話しができます）。

③ 電波状態ランプを点灯する／しないを設定します。電波状態ランプを「ON」にすると、ランプの色で電波強度が分かります（☞1-3ページ）。

3 **設定が終われば、okにタップします。**

セキュリティをかける

通話／通信機能制限、PINロック、着信拒否、位置情報通知を行うためには（各設定画面を表示するためには）、暗証番号を入力しロックを解除する必要があります。
ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字0（ゼロ）が4つ）になっています。この暗証番号は変更することができます（☞3-41ページ）。

ご注意！
● この暗証番号は絶対に忘れないようにしてください。この暗証番号を忘れると、W-SIMを使った機能（電話、メール、ライトメール、インターネット、データ通信など）ができなくなります。
万一のために、暗証番号は控えておいてください。

通話／通信機能を制限する

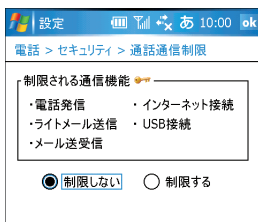
通話や通信機能を制限します。この機能を設定すると、以下のことができなくなります。

- 電話をかける
- ライトメールの送信
- メールの送受信
- インターネット接続
- USB接続（ActiveSyncを使った同期、この製品をモデムとして使用）

■通話／通信機能を制限（ロック）する

1 **［スタート］メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップします。**
電話設定画面が表示されます。

2 **［セキュリティ］タブをタップし、“通話通信制限”をタップします。**

3 **暗証番号入力画面が表示されますので、暗証番号を入力します。**
ご購入時、この暗証番号は「0000」（半角数字0（ゼロ）が4つ）です。「0000」を入力します。
入力した暗証番号が正しいと次の手順の画面が表示されます。

4 表示された画面で、「制限する」にチェックを付け、okをタップします。

これでロックがかかり、Today画面(待ち受け画面)にが表示されます(☞1-18ページ)。

■制限(ロック)を解除する

1 前ページの手順1〜3を行い表示された画面で「制限しない」にチェックを付けます。

2 okにタップします。

ロックが解除されます。

W-SIMをロックする

■W-SIMをロックする

PINコードを設定するとW-SIMをロックして、PINコードを入力しないと通話、ライトメールの送信/受信、インターネット接続ができなくなります。※PINコードは、ご自分で設定できます。

通話/通信機能の制限では電話着信やライトメールの受信はできますが、W-SIMをロックすると電話を受けたりライトメールの受信もできなくなります。

PINコードやPUKコードについては、次ページのメモをご覧ください。

1 スタートメニューの“設定”にタップし、“電話”にタップしセキュリティタブにタップします。

2 “W-SIMロック”をタップし、表示された暗証番号画面で暗証番号を入力します。

ご購入時、この暗証番号は「0000」(半角数字0(ゼロ)が4つ)です。

入力した暗証番号が正しいと、W-SIMロック設定画面が表示されます。

3 W-SIMロック設定画面で、PINコードを入力します。入力できるPINコードは4桁〜16桁の数字です。確認のために、「確認」欄に同じPINコードを入力します。

4 設定にタップし、表示された画面でokにタップします。

5 **表示されたW-SIMロック設定画面で、ok にタップします。さらに、セキュリティ設定画面でok にタップします。**

6 **PWR HLD キーを長く押し電源を切ります。**

W-SIMがロックされ、次回、電源を入れたときから通信／電話機能が使えなくなります。次から PWR HLD キーを長く押し電源を入れると、PINコード入力画面が表示されるようになります。

7 **電源を入れるとPINコード入力画面が表示され、（手順3で入力した）PINコードを入力し、画面右下の 入力完了 にタップします。**

W-SIMのロックが一時的に解除され（一時解除）、通信／電話機能を使えるようになります。 PWR HLD キーを長く押し電源を切ると、再度、W-SIMがロックされます。

PINコードを入力せずに、画面左下の キャンセル にタップするとこの製品の"予定表"などのPIM機能のみ使うことができます。このようなときに電話やライトメールなどを行うには、 キーを押して表示されたPINコード入力画面で、PINコードを入力してW-SIMのロックを一時解除してください。

PINコードの入力を10回間違ったときについては、次ページのご注意をご覧ください。

MEMO

- **PINコード／PUKコードとは**

  PINコードは、盗難などによって他人にこの製品の電話／ライトメールなどを使われないようにするために、W-SIMをロックする暗証番号です。

  PINコードを忘れると通信／電話機能が使えなくなりますので、絶対に忘れないようにしてください。

  PINコードを忘れたときは、次ページのご注意に記載しているようにPUKコードを入力します。このPUKコードはロックしたW-SIMを解除するためのコードです。PUKコードの入手方法は、W-SIMの箱に付属の取扱説明書をご覧ください。

■ロックを解除する（完全解除）

電源を切っても、W-SIMがロックされないようにします。

1 **前ページの手順1～2と同様にして、W-SIMロック設定画面を表示します。**

2 **表示された画面で、PINコードを入力し 解除 にタップします。**

ロックが解除され、通信／電話機能を使えます。

電源を切り、次に電源を入れてもPINコード入力画面は表示されずW-SIMの機能を使えます。

■PINコードを変更する

W-SIM一時解除中(☞3-39ページ)などPINコードが設定されているときに、PINコードを変更できます。

1 **3-39ページのW-SIMをロックするの手順1～2と同様にして、W-SIMロック設定画面を表示します。**

2 **PINコード変更 にタップします。**

3 **「現在のPINコード」欄に現在のPINコードを入力します。そして、「新しいPINコード」欄に新しいPINコードを入力し、さらに「確認」欄に新しいPINコードを再度入力します。**

4 **変更 ボタンにタップします。**

PINコードが変更されます。

ご注意！

- ロックを解除するときなど、間違ったPINコードを10回入力するとPUKコードの入力が必要となりますので、PINコードを忘れないようにしてください。このPUKコードの入手方法は、W-SIMの箱に付属の取扱説明書に記載していますので、そちらをご覧になりPUKコードを入手し入力してください。

W-SIMの暗証番号を変更する

ご購入時に設定されている暗証番号(「0000」(半角数字0(ゼロ)4つ))を別の暗証番号に変更できます。

1 **電話設定画面(セキュリティ タブ)を表示し、 暗証番号変更 ボタンをタップします。**

2 **「W-SIMの暗証番号変更」画面で「現在の暗証番号」に現在の暗証番号を入力します。**

ご購入時、この暗証番号は「0000」(半角数字0(ゼロ)4つ)です。

3 **「新しい暗証番号」の欄に新しい暗証番号を入力し、さらに確認欄に同じ暗証番号を入力します。**

4 **確認メッセージが表示され、 OK をタップすると暗証番号が変わります。**

着信制限をする

非通知の番号や指定した電話番号からの着信を拒否する設定をします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップし、セキュリティ タブにタップします。**

2 **“着信拒否”にタップします。**

3 **表示された画面でW-SIMの暗証番号を入力します。**

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字0（ゼロ）が4つ）です。「0000」を入力します。
入力した暗証番号が正しいと、着信拒否設定画面（設定 タブ）が表示されます。

① 着信拒否を設定します。それぞれの項目を「ON」にすると着信拒否します。
- ・ユーザ非通知拒否（電話番号を非通知にしている電話）
- ・通知不可能拒否（相手が通知できないエリアや電話機）
- ・公衆電話発信拒否（公衆電話からの電話）
- ・指定番号拒否（②で指定した電話番号からの電話）

② ①の指定番号拒否を「ON」にしたときに、着信拒否する電話番号を設定します（☞次ページ）。

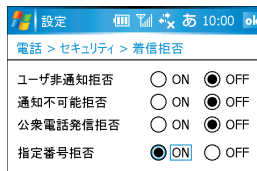
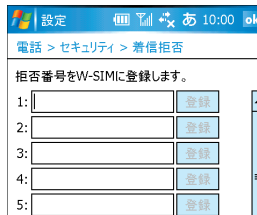
4 **設定が終われば、okにタップします。**

着信拒否をする／着信拒否を解除する

特定の電話番号に対して、着信拒否を設定できます。
着信拒否する電話番号を設定すると、その相手(電話番号)が電話をかけると、相手には話し中になります。
登録できる電話番号は10件です。

着信拒否をする

1 **前ページと同様にして、着信拒否設定画面(設定タブ)を表示します。**

2 **指定番号拒否を「ON」にチェックを付けます。**

3 **拒否番号タブをタップします。**
着信拒否設定画面(拒否番号タブ)が表示されます。

4 **いずれかの方法で着信拒否したい電話番号を入力します。**
・直接、入力項目に電話番号を入力します。
・着信／発信履歴画面で電話番号をコピーしているときは、画面右下のメニュー－貼り付けをタップし、電話番号を入力します。

5 **登録をタップします。**
手順**4**で入力した電話番号が着信拒否電話番号として登録されます。

6 **okをタップします。**

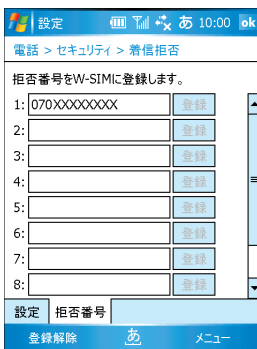
着信拒否を解除する

■一時的に着信拒否を解除する

一時的に着信拒否を解除するときは、着信拒否設定画面（設定タブ）で「指定番号拒否」を「OFF」にします。

■設定している着信拒否の電話番号を削除し、着信拒否を解除する

1 着信拒否設定画面（拒否番号タブ）を表示します。

2 着信拒否を解除する電話番号の欄にカーソルを移します。

3 画面左下の登録解除をタップします。

4 表示された画面でOKをタップします。

5 カーソル位置の電話番号が消え、着信拒否を解除します。

● 別の方法で着信拒否を解除する

1 解除する電話番号を削除します。

2 電話番号欄の右に解除ボタンが表示されますので、解除ボタンをタップします。

3 表示された画面でOKをタップします。
削除した電話番号の着信拒否を解除しました。

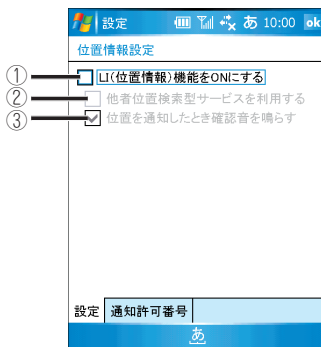
位置情報を通知する

位置情報通知機能とは、この製品が受信している複数の基地局の基地局情報をセンターに通知する機能です。
ウィルコム位置検索サービスなどの位置情報通知サービスへ申し込む(有料)と、この機能を利用して位置情報サービスなどを受けることができます。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップし、セキュリティ タブにタップします。**

2 **“位置情報”をタップし、表示された暗証番号画面でW-SIMの暗証番号を入力します。**

ご購入時、暗証番号は「0000」(半角数字0(ゼロ)が4つ)です。「0000」を入力します。

3 **位置情報設定画面(設定 タブ)で、位置情報の通知などを設定します。**

① LI(位置情報通知)機能のオン/オフを設定します。
チェックを付けると、LI機能がオンになります。

② 登録した通知許可番号(☞次ページ)から位置情報送出の要求があったときに、位置情報を通知する/しないを設定します。
チェックを付けると位置情報を通知します。

③ 位置情報を通知したときに、確認音を鳴らす/鳴らさないを設定します。
チェックを付けると確認音が鳴ります。

通知許可番号とパスワードを登録する

前ページの手順**3**の画面で通話許可番号タブにタップし、この製品から送出した位置情報を受け取る番号(通知許可番号)とパスワードを設定します(5つまで設定できます)。

それぞれの入力欄に通知許可番号と通知許可パスワードを入力し登録をタップします。

※通知許可パスワードは8桁までです。

登録した通知許可番号を削除するときは、その通知許可番号を消去し、解除をタップし、表示された確認画面でOKをタップします。

電話帳のデータを読み込む／書き込む

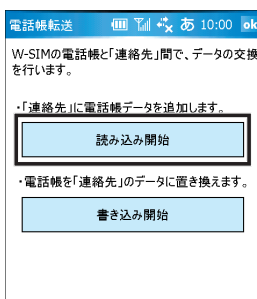
他の商品でW-SIMに保存した電話帳のデータをこの製品に読み込みます。
また、この製品の“連絡先”に保存しているデータをW-SIMに書き込みます。

1 電話帳のデータが入ったW-SIMを取り付けます(☞11-10ページ)。

2 スタート メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップし、その他 タブにタップします。

3 “電話帳転送”にタップし、転送ツールを起動 にタップします。

■ 読み込む

1 読み込み開始 にタップします。

W-SIMの電話帳のデータが、この製品の“連絡先”に読み込まれます。

■書き込む

1 書き込み開始 にタップします。

W-SIMに書き込むときは、W-SIMに保存していた電話帳のデータをすべて消去してから“連絡先”のデータを書き込みます。

書き込めるデータ件数は最大700件です。ただし、1件のデータ内容が多い場合は700件を書き込めないこともあります。

700件以上ある場合は、“連絡先”のリストでフリガナに入力している文字の順(※)で先頭から700件までを書き込みます。

※ 数字→アルファベット→カナ(50音)の順

4 確認画面で OK にタップします。

データの読み込みまたは書き込みが行われます。

5 表示された画面で ok にタップします。

● W-SIMに書き込める“連絡先”の項目
W-SIMにデータを書き込むとき、書き込める“連絡先”の項目は以下の項目です。
※1 フリガナの項目は必要です。フリガナがないデータはW-SIMに書き込むことができません。
※2 書き込める電話番号の項目(PHS、携帯電話、自宅電話など)は、最大3項目です。
下記の1つ目のご注意もご覧ください。

・名前	・フリガナ	・自宅住所	・Webページ
・電子メール	・電子メール2	・電子メール3	・誕生日
・PHS	・携帯電話	・自宅電話	・勤務先電話
・自宅FAX	・自宅電話2	・メモ	

また、PHSや携帯電話などの電話番号の項目は、“連絡先”とW-SIMとの間で以下の関係になっています(最大3項目まで書き込み／読み込みができます)。

“連絡先”		W-SIMの種別
① PHS	⟷	PHS
② 携帯電話	⟷	携帯
③ 自宅電話	⟷	自宅
④ 勤務先電話	⟷	会社
⑤ 自宅FAX	⟷	FAX
⑥ 自宅電話2	⟷	種別無し

ご注意!

● PHS／携帯電話／自宅電話／勤務先電話／自宅FAX／自宅電話2の項目に番号を入力していても、W-SIMに書き込める項目は最大3項目です(優先順位は上記の①②③・・・の順になります)。
4つ目以降はW-SIMに書き込むことはできませんので、ご注意ください。
● (W-SIMを装着できる)他の電話機からこの製品に電話番号を読み込む場合、他の電話機で電話番号1～3を同じ種別にして電話番号を登録していると、最初の1つ目しか読み込めません。
例えば、電話番号1/2/3の種別を「PHS」にして電話番号を登録していると、1つ目のPHS番号しか“連絡先”のPHSに読み込めません。

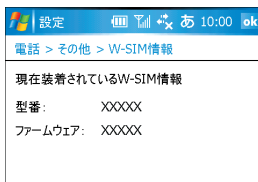
W-SIMのバージョン情報を表示する

この製品に挿入されているW-SIMのバージョン情報を確認できます。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“電話”にタップし、その他タブにタップします。**

2 **“W-SIM情報”にタップします。**

W-SIMバージョン情報確認画面が表示されます。

設定 あ 10:00 ok
電話 > その他 > W-SIM情報
現在装着されているW-SIM情報
型番: XXXXX
ファームウェア: XXXXX

3 **確認が終われば、okにタップします。**

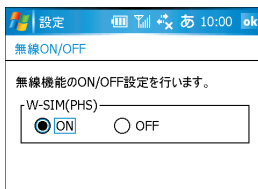
無線機能(W-SIM)をオン／オフする

この製品に装着されているW-SIMの機能のオン／オフを設定します。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、接続タブにタップして、“無線ON/OFF”にタップします。**

無線ON/OFF画面が表示されます。

2 **「OFF」または「ON」にチェックをつけます。**

OFFにチェックを付けると無線機能(W-SIM)がオフになり、電話やメール送受信などができなくなります。

3 **okをタップします。**

ウィルコムのサービスを利用する

次のウィルコムのサービスを利用できます。

留守番電話サービス

・メッセージを確認する
・メッセージを聞く
・留守番電話サービスの設定を変更する

着信転送サービス

料金分計サービス

・料金分計で電話をかける

留守番電話サービスを使う

この製品の電源をオフにしているとき、すぐに電話に出られないとき、エリア外にいるときなどにウィルコムの「留守番電話センター」がメッセージを預かります。
このサービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です。

留守番電話サービスについて

・メッセージの最大録音時間　：1件につき約60秒
・メッセージの最大保存件数　：20件
・メッセージの保存期間　　　：約73時間

このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・登録手数料 ：無料
・月額料　　 ：有料

メッセージを確認する

留守番電話サービスにメッセージがあるか確認します。

1 **“電話”を起動します。**

2 **[1] [4] [1] [通話] にタップします。**

3 **数秒後、「ツー」という音を確認し、[PWR HLD] キーを押します。**

メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます。

● この製品では、上記以外の方法として電話を切ったときに自動的に留守番電話サービスにメッセージがあるか自動的に確認をします。メッセージがあるときは、「センター留守電あり」と表示されます。

メッセージを聞く

メッセージを聞きます。

1 **[＊] [9] [3] [1] [通話] にタップします。**

留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

● **プッシュ信号が出せる一般電話や公衆電話からメッセージを聞くとき**
0077-780-931に電話をかけ、ガイダンスにしたがって操作します。このときお使いのこの製品の電話番号と留守番電話サービスの暗証番号が必要です。

● 手順**1**で [＊] [9] [3] [1] の代わりに [＊] [9] [3] [1] [1] にタップしてもメッセージを聞くことができます。このときは、録音されたメッセージを聞く前に、発信者の電話番号をガイダンスで聞くことができます。ただし、発信者の電話機によっては電話番号を聞くことができない場合もあります。

ご注意！

● 留守番電話サービスでは、ライトメールを受け取ることはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する

留守番電話サービスの設定を変更できます。

・受付時間 ： 5:00〜24:00（年中無休）

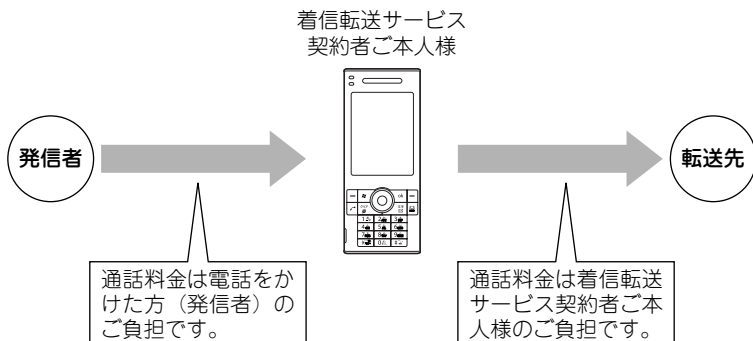
1 **[1] [4] [3] [通話] にタップします。**

留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

● 一般電話や公衆電話からも「0077-776」に電話をかけ、設定の変更ができます。

着信転送サービスを使う

着信転送サービスは、この製品の電源をオフにしているときやエリア外にいるときなどに、かかってきた電話を指定した他の電話に転送するサービスです。
転送先は他のウィルコムの電話や一般電話、携帯電話などから選択できます。
このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・申込　：不要
・月額料：無料

MEMO

- このサービスは、留守番電話サービスと同時に利用できません。
- 海外への転送は対応していません。
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。
- 「留守番電話サービスの設定を変更する」（☞ 前ページ）と同じ番号に電話をかけ、設定を変更できます。

料金分計サービスを使う

料金分計サービスは、通話料金の請求先を2箇所に分けるサービスです。ビジネス関係とプライベート関係などの使い分けができます。
料金分計サービスを使わないときはご契約者(主計先)へ通話料金の請求、料金分計サービスを使うときはあらかじめ登録した分計先へ通話料金の請求となります。
このサービスは有料です。また、このサービスを使うにはあらかじめ契約が必要です。くわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・月額手数料　：有料

料金分計で電話をかける

1 **"電話"を起動します。**

2 **電話番号を入力します。**

3 **画面右下の メニュー － 通話 － 分計発信 にタップします。**
電話がかかります。

4 **通話を終えるときは、[PWR HLD]キーを押します。**
電話が切れます。
この通話にかかった料金は登録した分計先へ請求されます。

MEMO
- 料金分計は、上記の手順を毎回行います。
- 手順**3**で、電話番号の通知／非通知の設定によって、184分計発信または186分計発信を選択できます。
  たとえば、自分の電話番号を通知する設定にしている場合、手順**3**での メニュー － 通話 － 184分計発信 にタップすると、自分の電話番号を通知せず、さらに料金分計されます。

4 メール

メールの概要 4-2

W-ZERO3メール 4-3

メール（Outlook） 4-32

ライトメール 4-60

メールの概要

インターネットを経由して、パソコンやウィルコムの電話機などとメールを送信／受信します。画像データなどを添付できます。メールをご利用になるには、オンラインサインアップが必要になります。また、すでにインターネットプロバイダーにご入会されているときは、そのプロバイダーの情報を使ってメールができます。この製品で利用できるメールには、次の2つがあります。

・W-ZERO3メール ☞次ページ
・メール（Outlook） ☞4-32ページ

2種類のメールの違いについて

W-ZERO3メールとメール（Outlook）は、以下の仕様が異なります。

		W-ZERO3メール	メール（Outlook）
オンラインサインアップで取得したメールアカウントの設定		○	○
送信	すぐに送信する	○	×
	送信後、自動切断する	○	×
受信	定期的に受信する	×	○
	自動的に受信する	○※1	○※1
	サーバーからメールを削除する設定	○	×※2
その他	ゴミ箱（「削除済みアイテム」フォルダ）へ移動する	×	○
	メールの保護	○	×
	フォルダの構造（多階層）	×	○
	自動振り分け設定	○	×
	ActiveSyncでのパソコンのOutlookと同期する	×	○

※1　オンラインサインアップで取得したアカウント（Eメール（ウィルコム））のみ。
※2「削除済みアイテム」フォルダから削除した後、メールの送受信を行うとサーバーから削除されます。
Eメール（ウィルコム）の場合は、サーバーからメールを削除する設定があります（☞4-51ページ）。

ご注意！

● HTMLメールの送受信はできません。
● 携帯電話などから送られてきた絵文字には対応していません。
● 絵文字が含まれるメールを受信したときは絵文字が他の記号などに置き換わる場合があります。また、受信したメールの種類によっては、本文ではなく添付ファイルとして受信します（添付ファイルの内容は表示できません）。
● 通話中にメールの送受信をすることはできません。

W-ZERO3メール

Eメール(ウィルコム)とプロバイダーのメールアカウントの違いについて

使用されるメールアカウントによって、以下の設定や仕様が異なります。

アカウント	Eメール（ウィルコム）アカウント	プロバイダーのメールアカウント
接続先	ウィルコム	・ウィルコム ・プロバイダー（☞2-20ページ）
サーバー	ウィルコム	加入のプロバイダー （☞2-20ページ）
接続の設定	オンラインサインアップ （☞2-2ページ）	プロバイダーの設定 （☞2-20ページ）
メールの自動受信	サーバーにメールが届くと、自動的に受信される※1 （☞4-9ページ）	無
サーバーから削除する／しないの設定	有 （☞2-10ページ）	有
送受信の容量制限	1MBまで（添付ファイル含む）	3MBまで（添付ファイル含む）※3
Today画面の表示（未読メッセージなしのとき）	「未読Eメール（ウィルコム）はありません」 （☞1-15ページ）	「未読メッセージはありません」 （☞1-15ページ）
アカウントの表示	電話番号（変更不可）※2 （☞2-5ページ）	任意で設定可能 （☞2-6ページ）

※1：以下の状態では、自動受信されない場合があります。
- ・インターネットに接続中
- ・ActiveSyncによる同期中
- ・通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など

※2：Eメール（ウィルコム）の設定を変更や削除してしまったときは、再度オンラインサインアップを行うと同じメールアドレスなどの情報を再設定することができます。

※3：加入しているプロバイダーのメールサーバーの設定が3MB未満のときは、プロバイダーの設定に準じます。

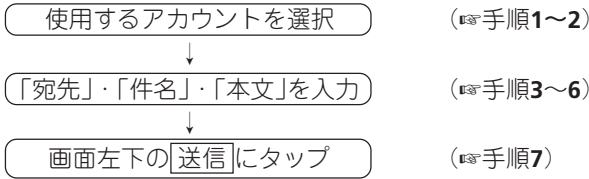
メールを作って送る

メールを作って送信します。

メールを送るまでの流れ

（☞手順**1〜2**）

（☞手順**3〜6**）

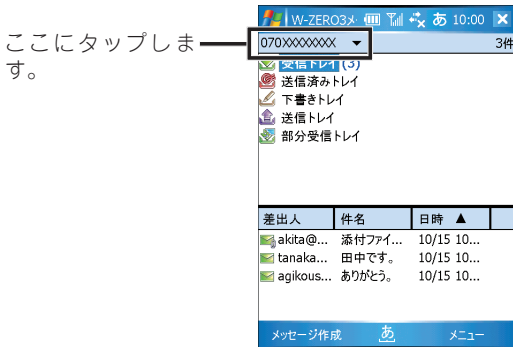
（☞手順**7**）

1 "W-ZERO3メール"を起動します。

「受信トレイ」一覧画面が表示されます。

オンラインサインアップを行う前に、W-ZERO3メールを起動すると、メールアカウントを設定する画面が表示されます。オンラインサインアップを行う場合は、2-2ページをご覧ください。加入しているプロバイダーのアカウントを設定する場合は、2-6ページをご覧ください。

2 メールを送りたいアカウントを選択します。

画面右下の メニュー ー アカウント切替 にタップしてもアカウントを切り替えることができます。（☞4-12ページ）

アカウントを複数設定している場合にこの操作を行います。

ここにタップします。

3 画面左下の［メッセージ作成］にタップします。

新規メールの作成画面が表示されます。

4 宛先を入力します。

宛先欄にカーソルがあることを確認し、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

・宛先に直接、ダイヤルキーやキーボードを使って入力します。

・この製品の“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用して、宛先を入力します（あらかじめ“連絡先”に相手の名前やメールアドレスを登録しておきます）。くわしくは、次ページの「宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する」をご覧ください。

※メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン（；）または半角のコンマ（,）で区切って入力します。

MEMO

● アカウント設定時、設定画面（［基本設定］タブ）で署名を作成し、「署名を使用する」にチェックをつけていると、新規作成画面で自動的に署名が入力されます。チェックをつけていないときは、画面右下の［メニュー］－［その他］－［署名挿入］にタップすると署名を入力することができます。
署名についてくわしくは、2-11ページをご覧ください。

● 「CC：」や「BCC：」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。
「BCC：」に入れたアドレスは、BCC：で受信した人以外から見えないように配信されます。

5 「件名」欄にタップし、件名を入力します。

6 「本文」欄にタップし、本文を入力します。

7 **画面左下の 送信 にタップします。**

インターネットに接続し、メールを送信します。
正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok にタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

MEMO
- 送信したメールは、「送信済みトレイ」に保存されます。
- 送信中画面の 中止 または画面左下の 中止 をタップするとメールの送信が中止されます。送信を中止したメールは、「送信トレイ」に保存されます。

宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する

1 **新規メールの作成画面で宛先にカーソルがあることを確認します。**

2 **画面右下の メニュー － 連絡先参照 にタップします。または、宛先をタップして表示されたメニューから 連絡先を開く にタップします。**

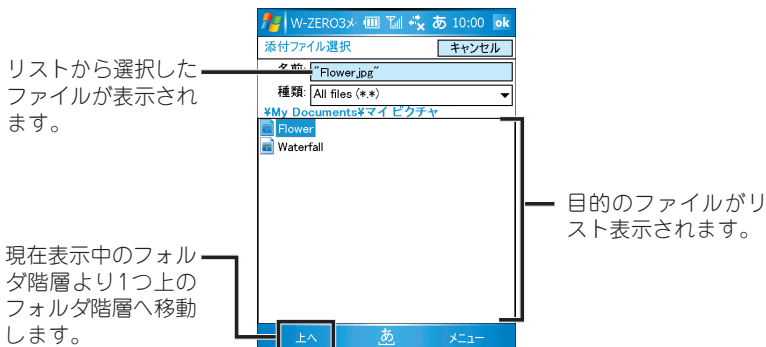
3 **メールアドレスを入力している“連絡先”が一覧表示されますので、宛先にしたい連絡先にタップします。**

MEMO
- メールアドレスを入力している“連絡先”が1件のみの場合は、自動的にそのメールアドレスが入力されます。

画像ファイルなどを添付してメールを送る

メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

1 **4-4～5ページの手順1～6の方法で、メールを作成します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［その他］－［添付ファイル挿入］にタップし、表示された画面でフォルダを切り替え、添付するファイルをタップします。**

3 **画面右上の ok をタップします。**

メールの新規作成画面に戻り、添付欄にXXXX.jpgなど添付したファイルが表示されます。
続けて添付ファイルを追加するときは、手順**2**～**3**を繰り返します。

4 **画面左下の［送信］にタップします。**

インターネットに接続し、メールを送信します。
正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok にタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

MEMO
- 添付ファイルをやめるときは、添付をやめるファイルをタップし、［削除］をタップします。
- miniSDカードに保存されているファイルを添付して送信するときは、miniSDカードを取り付けたまま送信してください。
- 送信したメールは、「送信済みトレイ」に保存されます。

まとめてメールを送る

送信トレイに未送信メールを保存しておき、あとでまとめて送信できます。
※まとめてメールを送信するときは、アカウント設定時、設定画面(動作設定タブ)で「すぐに送信する」のチェックを外しておいてください。アカウントの設定についてくわしくは2-7ページをご覧ください。

1 4-4〜5ページの手順1〜6の方法でメールを作成し、画面左下の送信にタップします。

アカウント設定画面の「すぐに送信する」のチェックを外しているので、送信されずに「送信トレイ」フォルダに保存されます。

2 引き続き別のメールを作成し、画面左下の送信にタップします。

作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されていきます。

3 画面右下のメニュー－送受信－送信、または送受信にタップします。

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールをすべて送信します。
送受信にタップしたときは、引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。
正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok にタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

メールを「下書きトレイ」に保存する

メールを途中まで作成してあとで追加／修正したいときなどは、いったん「下書きトレイ」に保存してあとで追加／修正し送信することができます。

1 4-4〜5ページの手順1〜6の方法で、メールを作成します。

2 画面右上の ok をタップし、メッセージ画面ではいをタップします。

作成したメールは、「下書きトレイ」フォルダに保存されます。
あとで追加／修正するときは、このメールを表示し内容を変更します。そして、送信操作(☞4-6ページ)を行うと送信できます。
アカウント設定画面(動作設定タブ)で「すぐに送信する」のチェックを外していると「送信トレイ」フォルダに保存されますので、上記のメニュー－送受信－送信をタップします。

メールを受信する

自分宛のメールを受信します(メールを受信すると、自動的に回線を切断します)。
メール受信には、自動受信と手動受信があります(自動受信は" オンラインサインアップで取得したEメール(ウィルコム)アカウント"のみ)。設定しているアカウントによって受信方法が異なりますので、以下をご覧になりメールを受信してください。
また、メールを受信時、メールの一部を受信/全部(全体)を受信する2つの設定があります(☞4-14ページ)。
ご購入時の設定は、メール全部(全体)を受信するようになっています。一部を受信した後、メール全体を受信するときは4-15ページをご覧ください。

Eメール(ウィルコム)アカウント

・自動受信　　☞下記
・手動受信　　☞次ページ

プロバイダーのアカウント

・手動受信　　☞次ページ

自動受信【Eメール(ウィルコム)アカウントのみ】

Eメール(ウィルコム)アカウントは、メールがサーバーに届くと自動的にインターネットに接続してメールを受信し、受信が終わると自動的に切断します。
メールを受信すると着信音が鳴り、Today画面(待ち受け画面)に「未読メッセージ:○件」と表示されます。
受信したメールは、「受信トレイ」の中に入ります。

- **自動的にメールを受信しないようにするには**
  オンラインサインアップで「Eメール自動受信/新着メール通知」を「しない」または「新着メール通知」に設定します(「新着メール通知」に設定するとEメールが届いたことを通知するライトメールを受信します)。この製品のEメール(ウィルコム)アカウント設定画面(動作設定タブ)(☞2-10ページ)で「自動受信する」のチェックを付けていても、オンラインサインアップで「しない」や「新着メール通知」にすると自動受信はしません。
- 受信したメールは、サーバーから削除されます(ご購入時の設定)。
  受信後にサーバーからメールを削除しない設定(☞2-10ページ)へ変更できますが、サーバーから削除する設定にすることをおすすめします。

ご注意! 以下の状態では、自動受信されない場合があります。

- インターネットに接続中
- ActiveSyncによる同期中
- 通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など

※上記のような場合でも、Today画面(待ち受け画面)に、「センターにEメールが有ります」というメッセージが表示される場合があります。この場合、手動で受信してください(☞次ページ)。

手動受信【プロバイダー／Eメール(ウィルコム)アカウント】

手動でインターネットに接続して、受信後に自動で回線を切断します。
プロバイダーメールとEメール(ウィルコム)のどちらもこの方法で受信できます。
受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

1 **受信メール一覧画面などを表示します。**

2 **画面右下の[メニュー]－[アカウント切替]にタップし、メールを受信したいアカウントを選択します(☞4-12ページ)。**

3 **画面右下の[メニュー]－[送受信]－[受信]、または[送受信]にタップします。**

ネットワークに接続し、サーバーにある未受信のメールを受信します。受信が終わると自動的に回線を切断します。
受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

MEMO

- 複数のアカウントを設定しているとき、一度のメール受信で複数のアカウントのメールを受信することができます(☞下記)。
- 受信後にサーバーからメールを削除する設定(☞2-10ページ)にされることをおすすめします。
- 受信中画面の[中止]または画面左下の[中止]をタップするとメールの受信が中止されます。

複数のアカウントのメールを一度に手動受信する

複数のアカウントを設定しているとき、一度にそれらのアカウントのメールを受信(手動)することができます。

1 **画面右下の[メニュー]－[その他]－[オプション]をタップします。**

まとめて受信設定画面が表示されます。

2 **メールを受信するアカウントにチェックを付け、ok をタップします。**

3 **画面右下の[メニュー]－[送受信]－[まとめて受信]をタップします。**

インターネットに接続し、手順**2**でチェックを付けたアカウントのメールを受信し、受信が終わると自動的に回線を切断します。
受信したメールは各アカウントの「受信トレイ」に入ります。

受信メールを見る

受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

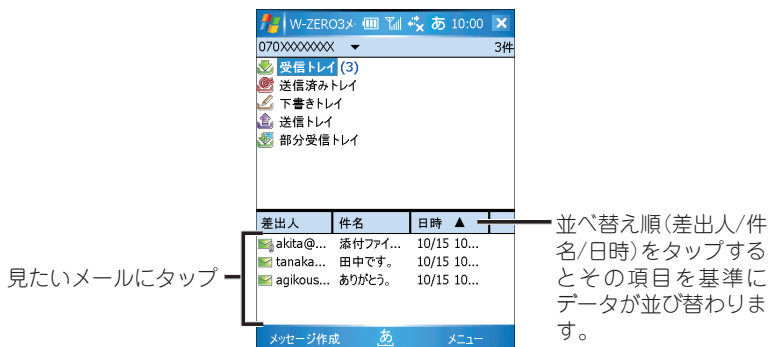
1 「受信トレイ」をタップします。

「受信トレイ」/「部分受信トレイ」一覧画面で表示されるアイコンについて

	未読メール	既読メール
全文取得されている場合		
全文取得され、添付ファイルがある場合		
全文または添付ファイルが取得されていない場合	（ ）※1	（ ）※1

※1　部分受信トレイで表示されるアイコン

2 見たいメールにタップします。

別のアカウントの受信メールを見るときは、画面右下の メニュー － アカウント切替 にタップし、アカウントを切り替えます（☞次ページ）。

● **メール本文のURL/Eメールアドレス/電話番号を利用する**
メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、Eメールの作成や連絡先への登録ができます。

1 URL/Eメールアドレス/電話番号をタップします。

2 表示されたメニューから実行したい項目をタップします。

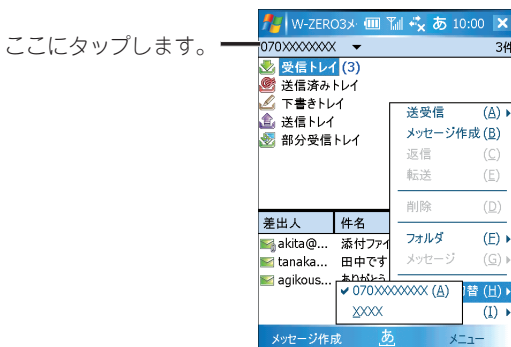
URLと認識する文字列	http://www.xxxx.co.jp など 「http://」や「https://」で始まる半角英数字の文字
Eメールアドレスと認識する文字列	○○○○@△△.pdx.ne.jp など 「@」があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合
電話番号として認識する文字列	070XXXXXXXX など 0で始まる10～32桁の数字、#、*などの記号 「tel:」または、「TEL:」に続く32桁までの数字、#・*などの記号

アカウントを切り替える

複数のアカウントを作成しているとき、受信メールなどは各アカウントの受信トレイに入ります。
たとえば、Eメール(ウィルコム)アカウントとプロバイダーメールのアカウントの両方を設定している場合、それぞれのアカウントに届いたメールはそれぞれの受信トレイに入ります。
これらのメールを見るときは、アカウントを切り替えて表示します。

「受信トレイ」一覧画面などを表示します。

アカウントを選択します。

画面右下の[メニュー]－[アカウント切替]にタップしてもアカウントを切り替えることができます。

ここにタップします。

宛先(メールアドレス)を“連絡先”に登録する

受信メールや送信メールのメールアドレス(差出人:/宛先:/Cc:/Bcc:)を“連絡先”に登録し活用できます。

受信メールの送信者(メールアドレス)を“連絡先”に登録する

1 受信トレイ画面で、連絡先に登録したい宛先のメールをタップします。

2 連絡先に登録したいメールアドレスをタップし、表示されたメニューから[連絡先に登録]−[新規登録]にタップします。

- メールアドレスが選択されているとき、画面右下の[メニュー]−[連絡先に登録]−[新規登録]にタップしても登録画面が表示されます。

3 メールアドレスを登録する項目として電子メール(電子メール2/電子メール3)を選択して、ok または画面右下の[決定]をタップします。

4 名前の項目に姓名などを入力します。

電子メール(電子メール2/電子メール3)の項目には、手順**2**で選択したメールアドレスが入っています。

5 ok にタップします。

確認メッセージが表示されますので ok にタップします。
手順**4**で入力した姓や名前で“連絡先”に登録されます。

送信メールの宛先(メールアドレス)を“連絡先”に登録する

1 送信済みトレイ画面などで、連絡先に登録したい宛先のメールをタップします。

2 連絡先に登録したいメールアドレスをタップし、表示されたメニューから[連絡先に登録]−[新規登録]にタップします。

3 **これ以降、前記と同様の操作を行い“連絡先”に登録します。**

- 手順**2**で［連絡先に登録］－［追加登録］をタップすると追加したい連絡先を選択して登録することができます。
- 受信トレイ画面で選んだメールのURLや電話番号にタップしても連絡先のWebページや電話番号の項目に登録することができます。また、以下の操作もできます。
  URL　　：ホームページに接続/ブックマークに登録
  電話番号：ライトメール作成/電話をかける

メールの一部／全部を受信する

メールを受信時、メールの一部を受信して、あとで全体を受信することができます。ご購入時の設定は、メール全部（全体）を受信するようになっています。
アカウント設定画面（［動作設定］タブ）（☞2-10ページ）で「受信メッセージをサーバーから削除」にチェックを付けている場合、部分受信をするとサーバーからメールが削除され全部受信ができません。部分受信を行う前に必ず「受信メッセージをサーバーから削除」のチェックを外しておいてください。

メールの一部を受信するように設定する

1 **アカウント設定画面（［動作設定］タブ）（☞2-10ページ）を表示します。**

2 **「受信行数制限設定」にチェックをつけ、受信する本文の行数を設定します。**

メールの全部を受信するときは、「受信行数制限設定」のチェックを外します（☞2-10ページ）。次のメール受信から、メールの全部を受信します。

MEMO

- 一部を受信したときと全部を受信したときの違いは、受信トレイなどのリストに表示されるアイコンで区別できます（☞4-11ページ）。
- 一部受信したメール、全部受信したメール共に「受信トレイ」に入ります。さらに「部分受信トレイ」では一部受信したメールだけを参照することができ、一部受信メールが何件あるか分かります。
- 一部受信にしている場合は、設定している受信行数によって、メール全体を受信することがあります。全体を受信したメールは「受信トレイ」にのみ表示されますが、加入しているプロバイダーのメールサーバーなどによっては、「部分受信トレイ」にも表示されます。
  また、部分受信したメールの全体を受信（☞次ページ）すると、前述の全体を受信したメールも再度受信します。

メールの全部（全体）を受信する

1 「部分受信」トレイ一覧画面で、全部を受信するメールを選択します。

2 画面右下の［メニュー］－［メッセージ］－［ダウンロード］をタップします。

3 自動的に回線に接続しメール全体を受信します。

受信した後、自動的に回線を切断します。
メール全体を受信したメールは、「部分受信トレイ」から消え参照されなくなります。

- 部分受信メールが複数件あるとき、アイコンをタップすると に変わり、［メニュー］－［メッセージ］－［チェックをダウンロード］をタップするとアイコンのメールのみ全体を受信できます。

添付ファイルを見る／保存する

メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

添付ファイルを見る

1 「受信トレイ」一覧画面などで、添付ファイルを取得したメールをタップします。

2 添付ファイルをタップし、表示されたメニューから［開く］にタップします。

確認メッセージが表示されます。
画面右下の［メニュー］－［添付ファイル］－［開く］にタップしても確認画面が表示されます。

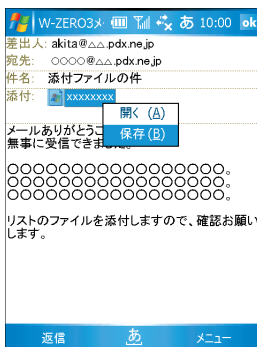
3 確認メッセージで［はい］にタップします。

MEMO

- 添付ファイルが正しく表示されない場合があります。
このようなときは一旦保存（☞次ページ）してから見るか、1-27ページをご覧になり、使用していないプログラムを終了してください。
※ファイルによってはすべてのプログラムを終了しても、正しく表示されない場合があります。

添付ファイルを保存する

1 **添付ファイルをタップし、表示されたメニューから[保存]にタップします。**

添付ファイル保存先選択画面が表示されます。
画面右下の[メニュー]－[添付ファイル]－[保存]にタップしても添付ファイル保存先選択画面が表示されます。

2 **ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

3 **画面右上の ok にタップします。**

ファイルが保存されます。

● 保存した添付ファイルは、“ファイルエクスプローラ”から開くことができます。くわしくは9-8ページをご覧ください。

4 **表示された確認画面で ok にタップします。**

メールを返信する／転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

メールを返信する

1 返信するメールを1件表示します。

2 画面左下の 返信 にタップします。

メールを送信してきた人のみに返信します。
全員へ返信するときは、1件表示で画面右下の メニュー － 全員へ返信 にタップします。
送信者を含めて全員に返信します。

3 返信内容を入力します。

4 画面左下の 送信 にタップします。

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok にタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

メールを転送する

1 転送するメールを1件表示します。

2 画面右下の メニュー － 転送 にタップします。

3 宛先を入力します。

4 画面左下の 送信 にタップします。

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok にタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

メールを削除する

メールを削除すると、この製品から完全に削除されます。
メールを削除するには、1件ずつ削除する方法とチェックを付け複数のメールをまとめて削除する方法、ご自分で作ったフォルダのメールをフォルダごと削除する方法の3つがあります。

ご注意！

- 以下の方法でメールを削除するとこの製品から削除され、見ることができなくなります。削除するときは、ご注意ください。

メールを1件だけ削除する

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、削除するメールを選択します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［削除］にタップします。**

3 **表示された確認画面で［はい］にタップします。**
手順**1**で選択したメールのみが削除されます。

- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［削除］を選択しても削除できます。

メールを複数件選択して削除する

1 **削除するメールのアイコンにタップして、チェックを付けます。**
チェックマーク☑が付きます。
複数のメールを選択することができます。

MEMO

- 削除するメールを選択して、画面左下の［チェック］をタップしてもチェックマーク☑が付きます。
この手順を繰り返し、削除するメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑にタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の［チェック］をタップします。

2 **画面右下の［メニュー］－［チェックを削除］をタップします。**

3 **表示された確認画面で［はい］にタップします。**
手順**1**で選択した（チェックを付けた）メールが削除されます。

自分で作ったフォルダとその中のメールをすべて削除する

1 **削除するフォルダ（ご自分で作ったフォルダ）を表示し、さらにそのフォルダを選択します。**

新規フォルダの作成は4-24ページをご覧ください。

2 **画面右下の［メニュー］－［削除］にタップします。**

3 **表示された確認画面で［はい］にタップします。**

手順**1**で選択したフォルダとその中に入っているメールがすべて削除されます。

● この方法で削除できるのはご自分で作ったフォルダだけです。「受信トレイ」や「送信済みトレイ」などは、削除できません。

サーバーに残っている受信済みメールを削除する

アカウント設定画面（［動作設定］タブ）（☞2-10ページ）で「受信メッセージをサーバーから削除」のチェックを外しておくと、メールを受信後もサーバーにメールが溜まっていきます。
このようなときは、この製品からサーバーに接続しサーバーに残っている受信済みのメールを削除します。

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、［メニュー］－［送受信］－［サーバーから削除］をタップします。**

インターネットに接続し、サーバーに残っている既読メールを削除します。
削除後、自動的に回線を切断します。

● この操作でサーバーから削除されるメールは、受信済みのメールのみです。まだ、受信していないメールは削除されません。

振り分け条件を設定しメールを振り分ける

振り分け条件を設定し、受信したメールを自動的に指定したフォルダに入れる(振り分ける)ことができます。
※振り分けができるのは、受信したメール(受信トレイに入るメール)だけです。

メールを自動で振り分ける

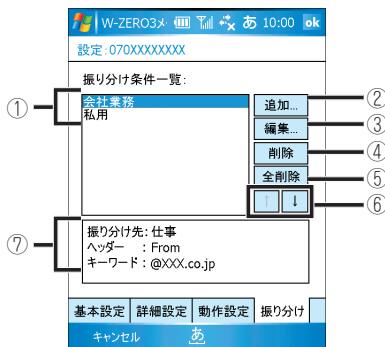
受信メールを設定した振り分け条件に従って、自動で指定したフォルダに入れる(振り分ける)ことができます。

1 **受信トレイの中にメールを振り分けるフォルダを作成します。フォルダの作成については、4-24ページをご覧ください。**

2 **受信トレイなどをタップし、画面右下の[メニュー]－[その他]－[アカウント設定]にタップします。**
アカウント設定画面が表示されます。

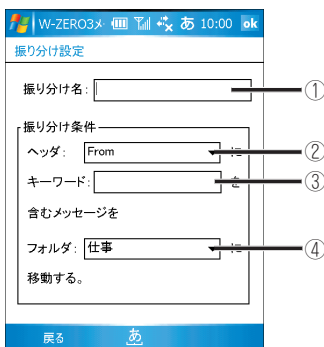
3 **メールを振り分ける条件を設定するアカウントを選択し、[編集]にタップします。**

MEMO
- 新しいアカウントにメールの振り分け条件を設定するときは、[追加]をタップし新規アカウントを設定(作成)します。アカウントの設定についてくわしくは、2-6ページをご覧ください。

4 **[振り分け]タブをタップします。**
振り分け条件一覧画面が表示されます。

①	振り分け条件を設定した、振り分け名が表示されます。リストの上部に表示されている振り分け名が優先されます。
②	振り分けの条件を追加します(☞下記)。
③	選択している振り分け条件を編集します。
④	選択している振り分け条件を削除します。
⑤	振り分け条件をすべて削除します。
⑥	①のリストで表示されている順番を変更します。振り分け名を選択し、↑や↓をタップし順番を変更します。
⑦	①で選択している振り分け条件の内容を表示します。

5 追加をタップします。

振り分け条件設定画面が表示されます。

6 振り分け名や振り分け条件を設定します。

①	振り分け条件の名前を入力します。
②	「キーワード」欄で入力した文字列を条件とするヘッダーを選択します。
③	「ヘッダ」欄で選択した項目に対して、条件として指定する文字列を入力します。
④	振り分け先となる受信トレイ内にあるフォルダを選択します。 選択したフォルダの中に、振り分けられたメールが入ります。

- ④で選択できるフォルダは1つだけです。
  複数のフォルダを選択することはできません。
- 振り分け先として指定するフォルダは、別の振り分け条件でも選択できます。
  たとえば、willcom@xxx.pdx.co.jpの振り分け先に「フォルダ1」を選択し、sharp@xxx.pdx.co.jpの振り分け先にも「フォルダ1」を選択できます。
  「フォルダ1」には、両方から送信されたメールが振り分けられます。

7 **ok にタップします。**

設定画面の 振り分け タブに戻ります。

8 **ok にタップします。**

メールを受信すると、設定した振り分け条件にしたがって振り分けられます。

メールを手動で振り分ける

振り分けしたいメールが保存されているフォルダを選択して、手動で振り分けすることができます。

1 **「受信トレイ」など振り分けしたいメールが保存されているフォルダを選択し、画面右下の メニュー ー フォルダ ー 振り分け実行 にタップします。**

振り分け条件を設定したフォルダにメールが振り分けられます。

- 振り分け条件を設定したフォルダの条件を変更して、再度振り分けすることもできます。

設定した振り分け条件を修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 **4-20ページの手順2〜4の方法で振り分け条件一覧画面を表示し、修正したい振り分け名をタップします。**

2 **編集 にタップし、修正したい振り分け条件（キーワードなど）を変更します。**

3 **ok にタップします。**

変更した内容を保存し、設定画面の 振り分け タブに戻ります。

設定した振り分け条件を削除する

設定した振り分け条件を削除します。

1つの設定を削除します（1件削除）

1 4-20ページの手順2～4の方法で振り分け条件一覧画面を表示し、削除したい振り分け名をタップします。

2 削除 にタップします。

3 確認画面で はい にタップします。
手順1で選択した振り分け設定が削除されます。
削除されるのは、振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

すべての設定を削除します（全削除）

1 4-20ページの手順2～4の方法で振り分け条件一覧画面を表示し、全削除 にタップします。

2 確認画面で はい にタップします。
すべての振り分け設定が削除されます。
削除されるのは、振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

通常使用するメールソフトに設定する

この製品には“W-ZERO3メール”と“メール（Outlook）”の2つのメールソフトが入っています。どちらかを通常使用するメールソフトに設定します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － その他 － オプション をタップし、表示された画面で、「通常使用するメールソフトに設定する」にチェックを付けたり外したりします。

- チェックを付けると、“W-ZERO3メール”が通常使用するメールソフトになり、メールの自動受信では、“W-ZERO3メール”が起動します。
- チェックを外すと“メール（Outlook）”が通常使用するメールソフトになります。

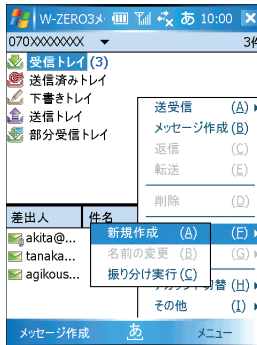
メールを整理する

新規にフォルダを作って、メールを関連した仕事ごとなどに整理できます。
新規にフォルダを作成できるのは、「受信トレイ」フォルダと「送信済みトレイ」フォルダ内のみです。

新規フォルダを作成する

まず、移動するためのフォルダを作成します。

1 **受信トレイなどを選択し、画面右下の メニュー ー フォルダ ー 新規作成 にタップします。**

ここでは「受信トレイ」フォルダの下に新規フォルダを作ります。

- 「受信トレイ」フォルダなどをタップしたままにして、表示されたメニューから フォルダの新規作成 にタップしても新規フォルダを作ります。

2 **フォルダ名を入力し、ok にタップします。**

入力した名前のフォルダが、手順**1**で選択したフォルダの下に表示されます。

メールを別のフォルダに移動する

受信したメールなどを新しく作ったフォルダに移動します。
メールを移動するには、フォルダ内のメールをまとめて(チェックを付けて)移動する方法と1件ずつ移動する方法があります。

■メールをまとめて別のフォルダに移動する

1 **別のフォルダに移動させるメールのアイコンにタップして、チェックを付けます。**

複数のメールを選択することができます。

MEMO

- 移動させるメールを選択して、画面左下の[チェック]をタップしてもチェックマークが付きます。
この手順を繰り返し、移動させるメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑にタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の[チェック]をタップします。

2 **画面右下の[メニュー]－[メッセージ]－[チェックを移動]をタップします。**

3 **表示された画面で、移動先のフォルダを選択(反転)し画面左下の[移動]にタップします。**

移動先のフォルダに移動します。

■メールを1件だけ別のフォルダに移動する

1 **別のフォルダに移動させるメールを選択します。**

2 **画面右下の[メニュー]－[メッセージ]－[移動]にタップします。**

3 **表示された画面で、移動先のフォルダを選択(反転)し画面左下の[移動]にタップします。**

MEMO

- 移動先のフォルダとして、別のアカウント内のフォルダを選択することはできません。
- 移動するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから[移動]にタップしても移動できます。

フォルダの名前を変更する

1 **名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前の変更 にタップします。**

フォルダ名の変更画面が表示されます。

MEMO

- 名前を変更したいフォルダをタップし、画面右下の メニュー － フォルダ － 名前の変更 をタップしても名前を変更できます。

2 **名前を変更して ok にタップします。**

「受信トレイ」や「送信済みトレイ」などのフォルダ名は変更できません。
名前を変更できるのは、新規に作成したフォルダのみです。

フォルダを削除する

フォルダを削除すると、そのフォルダ内のメールも削除されますのでご注意ください。

1 **削除したいフォルダをタップし、画面右下の メニュー － 削除 にタップします。**

確認画面が表示されます。

2 **はい にタップします。**

「受信トレイ」や「送信済みトレイ」などのフォルダは削除できません。削除できるのは、新規に作成したフォルダのみです。

メールを保護する／保護を解除する

受信したメールや送信したメールは受信トレイや送信済みトレイなどに入り、この製品に保存されます。
アカウントの設定（動作設定タブ）で保存するメールの件数に制限を設定（☞2-10ページ）した場合、この制限を超えてメールを受信したり送信すると古いメールから削除されます。
この保存メールの件数に制限を設定しているとき、削除したくないメールを保護設定することにより、制限を超えても削除されずに残すことができます。
また、未読のメールも削除されずに残ります。

ご注意！

- 保護メールと未読メールの件数が保存するメールの制限値（☞2-10ページ）を超えた場合は、メール受信ができなくなりますのでご注意ください。このようなときは、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。

メールを保護する

メールを保護するには、フォルダ内のメールをまとめて（チェックを付けて）保護する方法と1件ずつ保護する方法の2つがあります。

■メールをまとめて保護する

1 受信トレイ一覧画面または送信トレイ一覧画面を表示し、保護するメールのアイコンをタップして、チェックを付けます。

複数のメールを選択することができます。

MEMO

- 保護するメールを選択して、画面左下のチェックをタップしてもチェックマークが付きます。
  この手順を繰り返し、保護するメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑にタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下のチェックをタップします。

2 画面右下のメニュー－メッセージ－チェックを保護をタップします。

保護されたメールのアイコンがになり、が表示されます。

■メールを1件ずつ保護する

1 受信トレイ一覧画面または送信済みトレイ一覧画面を表示します。

2 **保護するメールを選択し、画面右下の メニュー － メッセージ － 保護 をタップします。**

保護されたメールのアイコンが になり、 が表示されます。

MEMO

- 1件表示しているときは、手順**2**で画面右下の メニュー － その他 － 保護 をタップします。

保護を解除する

1 **保護しているメールを選択します。複数件選択する場合は、メールのアイコンをタップしてチェックを付けます。**

2 **画面右下の メニュー － メッセージ － 保護解除 、または チェックを保護解除 をタップします。**

保護が解除され、メールのアイコンに表示されていた が消えます。

- 1件表示しているときは、手順**2**で画面右下の メニュー － その他 － 保護解除 をタップします。

保存メールの制限について

保存メールの制限は「受信トレイ」／「送信済みトレイ」／「部分受信トレイ」※が対象となり、「受信トレイ」と「送信済みトレイ」のメールの合計が制限値を超えると、送信した日時が一番古いメールから削除されます。

なお、「送信トレイ」、「下書きトレイ」は対象外です。

※部分受信メールは「受信トレイ」に入りますが、「部分受信トレイ」でも参照できるようになっています。すなわち、「受信トレイ」と「部分受信トレイ」の両方で同じ部分受信メールが表示されます。

制限値を超えて受信したり送信した場合

制限値を超えてメール受信または送信すると、保護メール（☞前ページ）と未読メールを除いて送信した日時が一番古いメールから削除されます。

最近受信して「受信トレイ」に入ったメールでも、送られた日時が古いと、そのメールは最近のメールではなく、古いメールとして扱われます。

たとえば、1週間程度メール受信を行わず今日になって受信したメールでも、送信されたのが1週間以上前のメールはその日時（送信された日時）のメールとして扱われます。受信した日時ではなく送信された日時に注意してください。

エクスポート(書き出し)／インポート(読み込み)する

メール本文や添付ファイルを書き出したり(エクスポート)、読み込んだり(インポート)できます。
エクスポートやインポートをするとEML形式をサポートしているパソコンのアプリケーションなどとファイルのやり取りができます。

■エクスポートする

メールの本文(添付ファイルを含む)を書き出します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで、エクスポートするメールを選択します。

- メールのアイコンにタップして(チェックを付けて)、複数選択することもできます。

2 画面右下の メニュー － その他 － エクスポート にタップします。

エクスポート画面が表示されます。

3 出力先を指定して画面右上の ok にタップします。

エクスポートが終わるとメッセージが表示されますので ok にタップします。

- 出力先の初期設定は¥My Documentsに設定されています。
- 出力先にminiSDカードを指定することもできます。

■インポートする

メールの本文(添付ファイルを含む)を読み込みます。

1 インポートデータを保存するトレイ(「受信トレイ」など)を選択して、画面右下の メニュー － その他 － インポート にタップします。

インポート元選択画面が表示されます。

2 インポートするデータを選択し、画面右上の ok にタップします。

インポートが終わるとメッセージが表示されますので ok にタップします。

3 インポートしたメールをタップします。

一覧画面のメニュー

送受信	受信	メールを受信する（☞4-10ページ）。
	送信	メールを送信する（☞4-6、4-7ページ）。
	送受信	メールの送信と受信を一度に行う（☞4-8、4-10ページ）。
	まとめて受信	複数のアカウントのメールを一度に受信する。受信するアカウントの選択は、まとめて受信設定で行う（☞4-10ページ）。
	サーバーから削除	サーバーに残っている既読のメールを削除する（☞4-19ページ）。
メッセージ作成		メールを作成する（☞4-4ページ）。
返信※1		メールを返信する（☞4-17ページ）。
転送※1		メールを転送する（☞4-17ページ）。
削除※1		メールを削除する（☞4-18ページ）。
フォルダ	新規作成	新規のフォルダを作成する（☞4-24ページ）。
	名前の変更	フォルダ名を変更する（☞4-26ページ）。
	振り分け実行	設定している条件にしたがって、振り分けを行う（☞4-22ページ）。
メッセージ	全員へ返信※1	全員へ返信する。
	ダウンロード※1	一部を受信したメールの全部（全体）を受信する。
	保護／保護解除※1	削除しないように、メールを保護する。／保護しているメールを保護解除する。
	移動※1	メールを別のフォルダに移動する。
	並び替え	差出人順、件名順、日付順で並び替える。
	全チェック	フォルダの中にあるメールの全件にチェックを付ける。
	全チェック解除	チェックが付いているメールすべてのチェックを外す。
アカウント切替		アカウントを複数設定している場合、アカウントを切り替える。
その他	振り分け設定一覧	表示しているアカウントの振り分け設定画面を表示する（☞4-20ページ）。
	アカウント設定	新規のアカウントを作成したり、作成しているアカウントの内容を確認／変更する（☞2-7ページ）。
	オプション	まとめて受信するとき、対象にするアカウントを選択する（☞4-10ページ）。
	インポート	メール本文を読み込みする（☞前ページ）。
	エクスポート	メール本文を書き出しする（☞前ページ）。

※1 アイコンをタップしチェックを付けた場合（☑アイコンが表示されている場合）、返信や転送などはチェックを返信、チェックを転送などになります。

詳細表示画面のメニュー

全員へ返信		全員へメールを返信する（☞4-17ページ）。
転送		メールを転送する（☞4-17ページ）。
連絡先に登録	新規登録	選択しているメールアドレスを連絡先に新規データとして登録する。
	追加登録	選択しているメールアドレスを連絡先にすでに登録しているデータに追加する。
範囲指定開始 範囲指定終了		範囲指定する。 範囲指定を開始する位置をタップして、範囲指定開始をタップした後、カーソルキーを使って範囲指定する。指定された部分は反転表示になる。範囲を指定した後、範囲指定終了をタップする。そして、メニュー－コピーで、反転した部分をコピーする。
コピー		範囲指定している部分をコピーする。
添付ファイル	開く	選択している添付ファイルを開く（☞4-15ページ）。
	保存	選択している添付ファイルを保存する（☞4-16ページ）。
振り分け設定		振り分け設定画面を表示する（☞4-20ページ）。
その他	ダウンロード	一部を受信したメールの全部（全体）を受信する。
	保護／保護解除	選択しているメールを保護する／保護しているメールを保護解除する（☞4-27ページ）。
	簡略表示	「宛先」、「Cc」、「件名」の各項目4行以上になっている場合（画面上の行数が4行以上になっている場合）、各項目を3行まで表示する。簡略表示にしている場合、このメニューはすべて表示になる。すべて表示をタップすると、各項目がすべて表示される。

新規作成画面のメニュー

連絡先参照		連絡先に登録しているメールアドレスを参照する。
連絡先に登録	新規登録	選択しているメールアドレスを連絡先に新規データとして登録する。
	追加登録	選択しているメールアドレスを連絡先にすでに登録しているデータに追加する。
範囲指定開始 範囲指定終了		範囲指定する。 範囲指定を開始する位置をタップして、範囲指定開始をタップした後、カーソルキーを使って範囲指定する。指定された部分は反転表示になる。範囲を指定した後、範囲指定終了をタップする。そして、メニュー－コピーで、反転した部分をコピーする。
切り取り		範囲指定している部分を切り取る。
コピー		範囲指定している部分をコピーする。
貼り付け		コピーおよび切り取った部分を貼り付ける。
削除		選択している部分を削除する。
その他	添付ファイル挿入	ファイルを添付する。
	添付ファイル削除	添付しているファイルを削除する。
	署名挿入	本文に署名を挿入する。

メール(Outlook)

Windows Mobile 5.0 “メール”の基本動作について

Windows Mobile 5.0の“メール”はメールの送受信を行うと、サーバーとの間で同期(※1)を行うように設計されています。
つまり、メール送受信時、この製品の“メール”内の「受信トレイ」(※2)／「削除済みアイテム」とサーバーを同じ状態に保つようになっています。

※1 この同期はActiveSync(☞8-2ページ)を使った同期とは異なります。
※2 「受信トレイ」のみ同期の対象になります。「受信トレイ」内に新規フォルダを作るとそのフォルダは同期の対象にはなりません。Eメール(ウィルコム)のメール受信では、「受信トレイ」内に「受信済みアイテム」フォルダができ、その中に受信メールが入り同期の対象にはなりません。

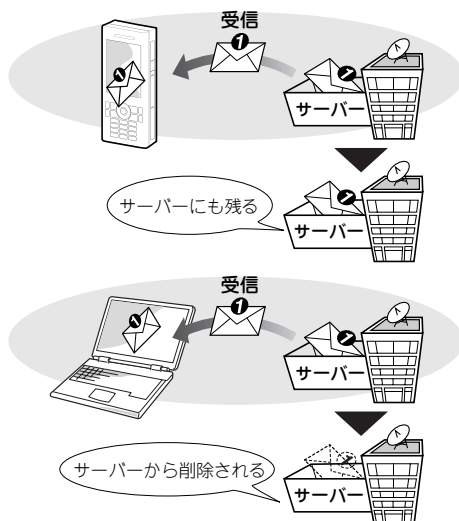
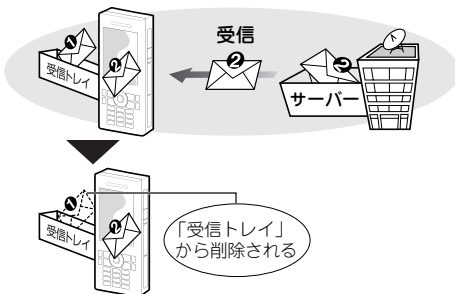
サーバーとの同期によって、次のようなことが起こります。
- この製品の「受信トレイ」のメールが削除される
  (「この製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき」(☞下記))
- サーバーからメールが削除される
  (「この製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき」(☞次ページ))

これらについて、以下から次ページに詳細を説明していますのでご覧ください。

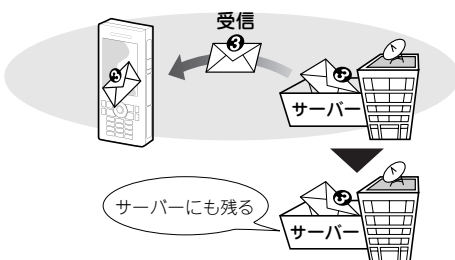
この製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき

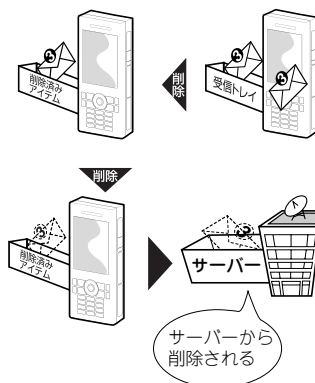
①この製品でプロバイダーのメールを受信します。

②パソコンで同じプロバイダーのメールを受信(パソコンの設定は、「メール受信時、サーバーからメールを削除する」)サーバーからメールが削除されます。

(次ページへ)

③この製品でプロバイダーのメールを送受信します。
サーバーとこの製品の間で同期が行われます。この製品には残っているがサーバーからは削除されているメールは同期がとられ、この製品の「受信トレイ」から削除されます。

● この同期はプロバイダーメール（☞4-37、42ページ）の送受信で行われます。

この製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき

①この製品でメールを受信します。

②この製品で受信メールを「削除済みアイテム」フォルダから削除します（☞4-50ページ）。

③この製品でメールを送受信します。
サーバーとこの製品の間で同期が行われます。サーバーには残っているが、この製品の「削除済みアイテム」フォルダから削除されたメールは同期がとられ、サーバーから削除されます。

● この同期は、プロバイダーメール／Eメールウィルコム（☞4-49ページ）の送受信で行われます。

Eメール(ウィルコム)とプロバイダーのメールアカウントの違いについて

使用されるメールアカウントによって、以下の設定や仕様が異なります。

アカウント	Eメール(ウィルコム)アカウント	プロバイダーのメールアカウント
接続先	ウィルコム	・ウィルコム ・プロバイダー(☞2-20ページ)
サーバー	ウィルコム	加入のプロバイダー (☞2-20ページ)
接続の設定	オンラインサインアップ (☞2-2ページ)	プロバイダーの設定 (☞2-20ページ)
メールの自動受信	サーバーにメールが届くと、自動的に受信される※1 (☞4-41ページ)	一定間隔でサーバーをチェックし、メールを受信※2 (☞2-16ページ)
サーバーから削除する／しないの設定	有 (☞4-51ページ)	無※5
送受信の容量制限	1MBまで(添付ファイル含む)	プロバイダーの設定に準じる
Today画面の表示(未読メッセージなしのとき)	「未読Eメール(ウィルコム)はありません」 (☞1-15ページ)	「未読メッセージはありません」 (☞1-15ページ)
アカウントの表示※3	電話番号(変更不可)※4 (☞2-5ページ)	任意で設定可能 (☞2-13ページ)
受信したメールが保存されるフォルダ	「受信トレイ」内の「受信済みアイテム」フォルダ	受信トレイ

※1：以下の状態では、自動受信されない場合があります。
・インターネットに接続中
・ActiveSyncによる同期中
・通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など

※2：一度サーバーのチェックを行うと、チェックのあと回線は自動的に切断されずインターネットに接続したままになり、回線を切断しないと電話の発信や着信ができなくなります。回線切断忘れを防止するためにも、この設定は使用しないようにすることをおすすめします。

※3：ご購入時、「Outlookメール」というアカウントがあります。このアカウントは、ActiveSyncを使ってパソコンと同期するためのものです。「Outlookメール」アカウントを使ってメールの送受信はできません。

※4：Eメール(ウィルコム)の設定を変更や削除してしまったときは、再度オンラインサインアップを行うと同じメールアドレスなどの情報を再設定することができます。

※5：サーバーからメールを削除するときは、「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを削除したのちメールの送受信を行います(☞前ページ)。

メールを作って送る

メールを作って送信します。

メールを送るまでの流れ

※送受信を行い、正常に送信されたことを確認してください。

1 **“メール”を起動します。**

「受信トレイ」一覧画面などが表示されます。

2 **画面右下の メニュー － 移動 にタップし、メールを送りたいアカウントを選択します。**

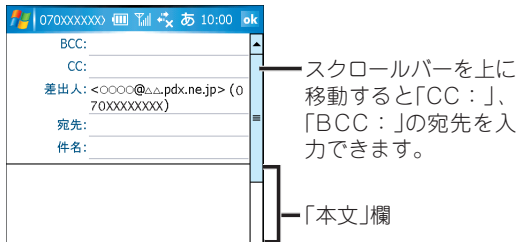
メールを他のフォルダに移動するときに使用します（☞4-53ページ）。

3 **画面左下の 新規 にタップします。**

新規メールの作成画面が表示されます。

手順2で選択したアカウント名が表示されます。

4 宛先を入力します。

宛先の項目にカーソルがあることを確認し、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

・宛先に直接、ダイヤルキーやキーボードを使って入力します。
・メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン（；）で区切って入力します。
・この製品の“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用して、宛先を入力することができます（あらかじめ“連絡先”に相手の名前やメールアドレスを登録しておきます）。くわしくは、次ページの「宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する」をご覧ください。

●「CC：」や「BCC：」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。「BCC：」に入れたアドレスは、BCC：で受信した人以外から見えないように配信されます。

5 「件名」欄にタップし、件名を入力します。

ご注意！

●送受信するメールの件名が全角で19文字以上になると件名が文字化けする場合があります。
件名は、全角18文字（半角36文字）までにしてお使いください。

6 「本文」欄にタップし、本文を入力します。

●よく使う文章をマイ テキストから選択して、入力できます。 画面右下の［メニュー］−［マイ テキスト］にタップするとマイ テキストに登録されている文章一覧が表示されます。
文章にタップすると、その文章が入力されます。
また、［マイ テキスト メッセージの編集］にタップし、メッセージを編集したり、新しいテキストを作成することができます（☞4-57ページ）。

7 画面左下の［送信］にタップします。

・作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。
・送信ではなく「下書き」フォルダに保存するときは、［ok］にタップし、確認メッセージで［はい］にタップするか、画面右下の［メニュー］−［下書きに保存］にタップします。

8 **画面右下の メニュー － 送受信 にタップします。**

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。

9 **ネットワークを切断します。**

タイトルバーの⇄にタップし、切断 をタップします。または、PWR/HLD キーを押します。

タイトルバーの⇄が⇄xになります。

PWR/HLD キーを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

MEMO

- 手順**7**の 送信 にタップしただけでは、メールは送信されません（送信トレイに保存されるだけです）。メールを送信するときは、必ず手順**8**の メニュー － 送受信 をタップしてください。

宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する

1 **新規メールの作成画面で宛先にカーソルがあることを確認します。**

2 **以下のどちらの方法で宛先を選択します。**

- **画面右下の メニュー － 受信者の追加 にタップします。**

  メールアドレスを入力している“連絡先”が一覧表示されますので、宛先にしたい連絡先にタップします。

- **宛先の項目に名前やメールアドレスの先頭の数文字を入力（1文字だけでも可能です）し、メニュー － 宛先の確認 にタップします。**

  “連絡先”に登録している名前やメールアドレスを検索して結果を表示しますので、目的の宛先にタップします。

  ※この方法を使うときは、あらかじめオプション画面（アドレス タブ）で、「送信先に設定する連絡するフィールド」が「すべての電子メールのフィールド」になっていることを確認してください（☞4-56ページ）。

4 メール

メール（Outlook）

画像ファイルなどを添付してメールを送る

メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

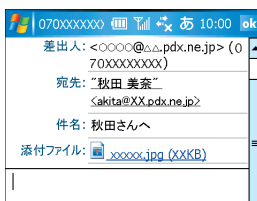
1 **4-35～36ページの手順1～6の方法で、メールを作成します。**

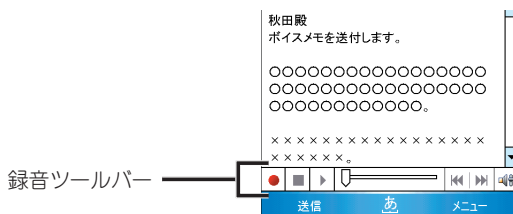
2 **画面右下の メニュー － 挿入 にタップし、表示されたメニューから 画像 、 ボイスメモ 、 ファイル のいずれかにタップします。**

■画像を添付する場合

1 マイ ピクチャフォルダ内の画像ファイルが表示されます。
フォルダを切り替えるときは、「マイ ピクチャ」にタップし、表示されたメニューから別のフォルダにタップします。

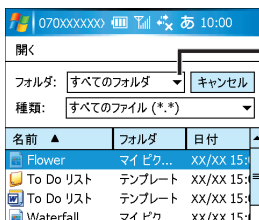
2 画像にタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル：xxxxx.jpg（xxKB）」などが表示されます。

■ボイスメモを添付する場合

1 メール新規作成画面の下部に録音ツールバーが表示されます。

2 [●] ボタンにタップすると録音が始まります。

3 この製品のマイク（送話口）に自分の声などを録音します。

4 [■] ボタンにタップすると録音が終了し、録音したファイルが自動的に添付されます（「添付ファイル：xxxxx.wav（xxKB）」など）。

■ファイルを添付する場合

1 ファイル選択画面が表示されます。

2 リストから目的のファイルにタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル：xxxxx.XLS（xxKB）」などが表示されます。

3 画面左下の 送信 にタップします。

・作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。

・送信ではなく「下書き」フォルダに保存するときは、 ok にタップし、確認メッセージで はい にタップします。

4 画面右下の メニュー ― 送受信 にタップします。

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にメールサーバーにある未読メールを受信します。

5 ネットワークを切断します。

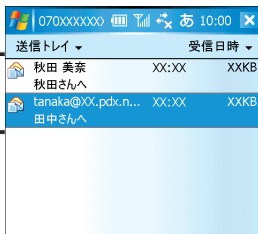
タイトルバーのにタップし、 切断 をタップします。または、 PWR HLD キーを押します。

タイトルバーのがになります。

PWR HLD キーを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

まとめてメールを送る

送信トレイに未送信メールを保存しておき、あとでまとめて送信できます。

1 4-35～36ページの手順1～6の方法でメールを作成し、画面左下の 送信 にタップします。

作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。

2 引き続き別のメールを作成し、画面左下の 送信 にタップします。

作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されていきます。

3 画面右下の メニュー ー 送受信 にタップします。

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールをすべて送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。

4 ネットワークを切断します。

タイトルバーの にタップし、切断 をタップします。または、PWR HLD キーを押します。

タイトルバーの が x になります。

PWR HLD キーを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

メールを受信する

メールを受信するには、自動的に接続して受信する方法と手動で接続して受信する方法の2つがあります。
設定できる受信方法や受信後のネットワーク切断方法など、アカウントごとに仕様が異なります。

<u>Eメール(ウィルコム)アカウント</u>

・自動受信&自動切断 (ご購入時の設定) ☞下記
・手動受信&手動切断 ☞次ページ

<u>プロバイダーのメールアカウント</u>

・手動受信&手動切断 (ご購入時の設定) ☞次ページ

自動的に受信して自動的に切断する【Eメール(ウィルコム)のみ】

Eメール(ウィルコム)は、メールが届くと自動的にインターネットに接続してメールを受信し、受信が終わると自動的に切断します。
メールを受信すると着信音が鳴り、Today画面(待ち受け画面)に「未読メッセージ:○件」と表示されます。
受信したメールは、「受信トレイ」の中の「受信済みアイテム」フォルダに入ります。

- メールの自動受信をしないようにするには
  オンラインサインアップで「自動受信しない」または「新着メール通知」に設定します(「新着メール通知」に設定するとEメールが届いたことを通知するライトメールを受信します)。
  この製品のEメール(ウィルコム)設定画面(☞4-51ページ)で「自動受信する」のチェックを付けていても、オンラインサインアップで「自動受信しない」や「新着メール通知」にすると自動受信はしません。
- Eメール(ウィルコム)は、受信後にサーバーからメールを削除します(ご購入時の設定)。
  サーバーから削除しない設定へ変更するときは、4-51ページをご覧ください。

ご注意!

- **以下の状態では、自動受信されない場合があります。**
  ・インターネットに接続中
  ・ActiveSyncによる同期中
  ・通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など
  ※上記のような場合でも、「センターにEメールが有ります」というメッセージが表示される場合があります。この場合、手動で受信してください(☞次ページ)。

手動で受信して手動で切断する【プロバイダーのメール/Eメール(ウィルコム)】

プロバイダーのメールアカウントは、次の方法で手動でインターネットに接続して、受信後に手動で切断します。また、Eメール(ウィルコム)アカウントもこの方法で受信できます。
・プロバイダーのメールの場合、受信したメールは「受信トレイ」に入ります。
・Eメール(ウィルコム)メールの場合、受信したメールは「受信トレイ」の中の「受信済みアイテム」フォルダに入ります。

MEMO
● プロバイダーのメールは、受信後もサーバーに残ります。サーバーから削除するときは4-49ページをご覧ください(サーバーから削除しない設定はありません)。
● Eメール(ウィルコム)の受信方法を、手動受信&手動切断に変更するときは、Eメール(ウィルコム)設定画面で、「自動受信する」のチェックを外します(☞4-51ページ)。

1 "メール"を起動します。

2 画面右下の[メニュー]ー[移動]にタップし、メールを受信したいアカウントを選択します。

3 画面右下の[メニュー]ー[送受信]にタップします。

ネットワークに接続され、センター(サーバー)にある未受信のメールが受信されます。
※プロバイダーのメールの場合、受信したメールは「受信トレイ」に入ります。サーバー上のメールの削除については、4-49ページをご覧ください。
Eメール(ウィルコム)を受信した場合は、「受信トレイ」の中の「受信済みアイテム」フォルダに入ります。

4 ネットワークを切断します。

タイトルバーの⇄にタップし、[切断]をタップします。または、[PWR HLD]キーを押します。
タイトルバーの⇄が⇄xになります。
[PWR HLD]キーを押した場合は、Today画面(待ち受け画面)に戻ります。

● **一定間隔で送受信を行ってメールを受信することもできます。**
以下の手順**1**、**2**の設定を行うと、一定間隔で“メール”を起動して自動的にネットワークに接続し、センター(サーバー)にある未受信のメールを受信します。
※この方法は一定間隔でメールが受信されますが、一度、ネットワークに接続した後はネットワークから切断されないため、充電池が消耗したり、電話などの着信ができない状態になりますので、この設定は使わないことをおすすめします。

1 **「アカウントを修正する／削除する」(☞2-19ページ)をご覧になり、オプション(1／3)画面(☞2-16ページ)で、「自動接続してメッセージをチェックする頻度」にチェックを付けます。**

2 **「分ごと」欄に、何分間隔で行うかを入力して設定します。**

ご注意!

● **「受信トレイ」に入ったメールが消えるときは、以下のことが考えられます。**
・この製品とパソコンなどで同じメールを受信しているとき(パソコンの設定はメール受信時にサーバーからメールを削除するようにしている)この製品では、メールの送受信をするとサーバーとこの製品の間で同期を行います。4-32～33ページで説明しているようにパソコンなどで同じメールを受信しサーバーから削除した後、次にこの製品を使ってメール送受信するとこの製品の「受信トレイ」のメールは削除されます。
「受信トレイ」に入っているメールを消したくないときは、「受信トレイ」から別のフォルダに移してください(☞4-53ページ)。
・「次の日数分のメッセージだけを表示する」設定にしているとき「アカウントを修正する／削除する」(☞2-19ページ)の電子メールのセットアップ(4/4)画面まで進み、[オプション]をタップしてオプション(2/3)画面で、「次の日数分のメッセージだけを表示する」にチェックをつけていると、設定した日数分のメッセージしか表示されません。チェックを外すか、日数を変更してください。

受信メールを見る

受信したメールは次のフォルダに入ります。

・Eメール（ウィルコム）　：「受信トレイ」の中の「受信済みアイテム」フォルダ
・プロバイダーのメール　：「受信トレイ」

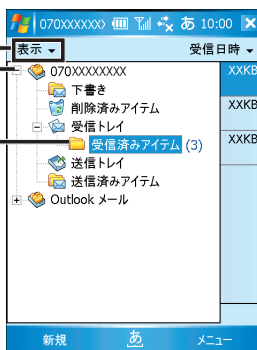
「受信トレイ」一覧画面などで表示されるアイコンについて

	未読メール	既読メール
全文取得されている場合		
全文取得され、添付ファイルがある場合		
全文または添付ファイルが取得されていない場合		
次に送受信を行って全文または添付ファイルを取得する場合		

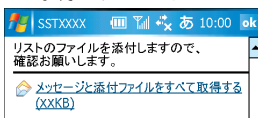
1 **画面左上の「送信トレイ」などにタップし、「受信済みアイテム」や「受信トレイ」を選択します（「受信済みアイテム」などの選択は下記メモをご覧ください）。**

タップすると、メッセージの並べ替え順の項目が表示されます。並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

MEMO

● 別のアカウントの受信メールを見るときは、以下のようにします。

2 **見たいメールにタップします。**

メールの詳細が表示されます。

● プロバイダーのメールで、メールの詳細画面最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信したメッセージが途中で切れているか、添付ファイルがあることを知らせています。

※ Eメール(ウィルコム)は、ご購入時の設定は、「メッセージの全文を取得する」(☞2-18ページ)になっています。この設定は変更しないでください。

ご注意！

● Eメール(ウィルコム)の場合は、「サーバーから削除する」設定(☞4-51ページ)にしていると、「アカウントを修正する／削除する」(☞2-19ページ)の電子メールのセットアップ(4/4)画面まで進み、オプションをタップしてオプション(3/3)画面(☞2-18ページ)で、「メッセージヘッダーのみ取得する」にしてもサーバーからメールを削除します。「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されても次回の送受信ですべての取得は行われませんので、ご購入時の設定「メッセージの全文を取得する」にしてください。

メール(メッセージ)の全文／添付ファイルを取得する

1 「受信トレイ」一覧画面で、続きのメッセージや添付ファイルを取得したいメール(メッセージ)をタップしたままにし、表示されたメニューからメッセージのダウンロードをタップします。

選択したメール(メッセージ)に が表示されます。

MEMO

● メールの詳細画面最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」をタップ、またはタップしたままにして、表示されたメニューからメッセージのダウンロードをタップして、「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」に変更し、okにタップします(「受信トレイ」一覧画面で選択したメッセージに が表示されます)。
次回接続して電子メールを受信するときに、メール(メッセージ)と添付ファイルがダウンロードされます。

2 画面右下の メニュー – 送受信 にタップします。

手順1で が表示されたメッセージの全文と添付ファイルがダウンロードされます。

添付ファイルがダウンロードされると、 が表示され添付ファイルがダウンロードされたことを知らせます。

3 ネットワークを切断します。

タイトルバーの にタップし、切断 をタップします。または、PWR HLD キーを押します。

タイトルバーの が x になります。

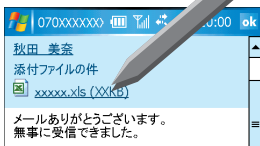
PWR HLD キーを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

添付ファイルを見る／保存する

メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

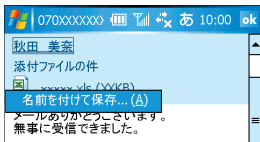
添付ファイルを見る

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、添付ファイルを取得したメールをタップします。**

2 **添付ファイルをタップします。**

MEMO

- 手順**2**で添付ファイルにタップしても、正しく表示されない場合があります。このようなときは一旦保存(☞下記)してから見るか、1-27ページをご覧になり、使用していないプログラムを終了してください。
  ※ファイルによってはすべてのプログラムを終了しても、正しく表示されない場合があります。

添付ファイルを保存する

1 **添付ファイルをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前を付けて保存 にタップします。**

2 **ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

3 **保存 にタップします。**

指定されたフォルダ、場所に保存されます。
格納場所として「メインメモリ」を選択された場合は、「My Documents」フォルダの選択されたフォルダに保存されます。

MEMO

- 保存した添付ファイルは、“ファイルエクスプローラ”から開くことができます。くわしくは、9-8ページをご覧ください。

メールを返信する／転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

1 **「受信済みアイテム」や「受信トレイ」一覧画面などで、返信または転送するメールをタップします。**

2 **画面右下の［メニュー］－［返信］、［全員へ返信］または［転送］にタップします。**

- ［返信］を選択した場合：メールを送信してきた人のみに返信します。
- ［全員へ返信］を選択した場合：送信者も含めて全員に返信します。
- ［転送］を選択した場合：元のメッセージを含めて、指定した宛先へ送信します。

MEMO

- **返信または全員へ返信する場合**
  「受信トレイ」一覧画面などで、返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［返信］または［全員へ返信］にタップしても返信できます。
- **転送する場合**
  「受信トレイ」一覧画面などで、転送するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［転送］にタップしても転送できます。

3 **返信内容の入力または転送先（宛先）／転送内容を入力します。**

4 **画面左下の［送信］にタップします。**

- メールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。
- ［送信］ではなくokにタップすると、「下書き」フォルダに保存されます。

5 **画面右下の［メニュー］－［送受信］にタップします。**

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、サーバーにある未読メールを受信します。

6 **ネットワークを切断します。**

タイトルバーの⇄にタップし、［切断］をタップします。または、［PWR HLD］キーを押します。
タイトルバーの⇄が⇄xになります。
［PWR HLD］キーを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

メールを削除する

「受信済みアイテム」フォルダや「受信トレイ」などで削除し、「削除済みアイテム」フォルダに移ったメールを削除すると、この製品から完全に削除されます。また、「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを削除するとき、すべて削除する方法と1件ずつ削除する方法があります。
「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすぐに空にしたり、接続または切断するときに空にするなどの設定ができます（☞4-57ページ）。

ご注意！
- 「削除済みアイテム」フォルダから削除すると、次回のメール送受信によってサーバーと同期が行われサーバーに残っていたメールも削除されます。

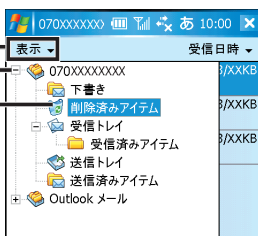
受信メールを削除する（「削除済みアイテム」フォルダに移す）

1 **「受信済みアイテム」や「受信トレイ」一覧画面などで削除するメールを選択し、画面右下の メニュー ー 削除 にタップします。**
削除したメールは、「削除済みアイテム」フォルダに移ります。

この操作では「削除済みアイテム」フォルダに移っただけで、この製品からは削除されていません。この製品から削除するときは、「「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する」（☞次ページ）の操作を行います。

- 「受信トレイ」一覧画面で削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 にタップしても削除できます（「削除済みアイテム」フォルダに移ります）。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する

1 「削除済みアイテム」フォルダを表示します。

「削除済みアイテム」フォルダ内が表示されます。

2 画面右下の メニュー − ツール − [削除済みアイテム]を空にする にタップします。

3 表示された確認画面で はい にタップします。

手順**1**で選択したアカウント内の「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールが削除されます。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを1件だけ削除する

1 「削除済みアイテム」フォルダを表示し、削除するメールを選択します。

2 画面右下の メニュー − 削除 にタップします。

3 表示された確認画面で はい にタップします。

手順**1**で選択したメールのみ削除されます。

MEMO

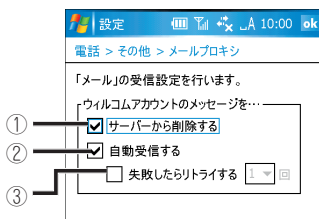
- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 を選択しても削除できます。

ウィルコムのサーバーにあるメールを削除する

Eメール（ウィルコム）のメールを受信したとき、ウィルコムのサーバーからメールを削除する／しないを設定します。
削除しないように設定すると、サーバーにメールがたまっていきますので、削除する設定にすることをおすすめします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話”にタップして その他 タブで“メールプロキシ”にタップします。**

Eメール（ウィルコム）設定画面が表示されます。

2 **受信サーバーからメールを削除する／しないなどを設定します。**

① チェックを付ける：Eメール（ウィルコム）のメールを受信したとき、ウィルコムのサーバーからメールを削除します（ご購入時は、チェックが付いています）。
　チェックを外す：Eメール（ウィルコム）のメールを受信してもメールは削除されません。
　チェックを外したままにしておくとメールが溜まっていきますのでチェックを付けるか、「メールを削除する」（☞4-49ページ）をご覧になり定期的にサーバーから削除されることをおすすめします。

② チェックを付けると、自動受信（☞4-41ページ）します。

③ 自動受信に失敗したときに、リトライ（再受信）する回数を設定します。この設定は、②にチェックを付けた後、③のチェックを付け回数を設定します。③のチェックが付いていないとリトライしません。

MEMO

- 上記のメール設定画面は、Eメール（ウィルコム）に対するものです。プロバイダーのメールをサーバーから削除する設定はありません。プロバイダーのメールをサーバーから削除するときは、「削除済みアイテム」フォルダから削除したのちメール送受信を行います（☞4-49ページ）。

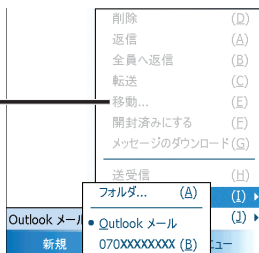
3 **設定が終われば ok にタップします。**

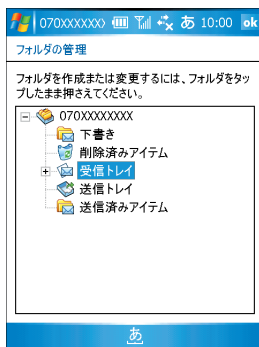
メールを整理する

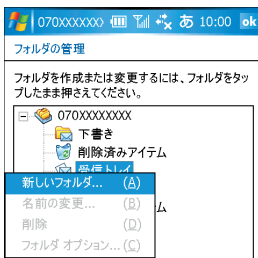
新規にフォルダを作って、受信メールを関連した仕事ごとなどに振り分けて整理できます。

新規フォルダを作成する

まず、振り分けるためのフォルダを作成します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで画面右下の メニュー − 移動 にタップし、フォルダを作る「アカウント」を選択します。

2 画面右下の メニュー − ツール − フォルダの管理 にタップします。

フォルダの管理画面が表示されます。

3 **「フォルダの管理」画面内のフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 新しいフォルダ にタップします。**

「受信トレイ」フォルダの下に新規フォルダを作るときは、「受信トレイ」フォルダをタップしたままにします。

●「受信トレイ」フォルダや「送信トレイ」フォルダと同じ階層にフォルダを作るときは、アカウント名をタップしたままにします。

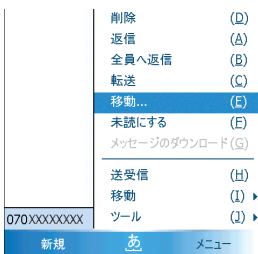
4 **「新しいフォルダ」画面でフォルダの名前を入力し、 ok にタップします。**

入力した名前のフォルダが、手順**3**で選択した(タップしたままにした)フォルダの下に表示されます。フォルダの中にフォルダを作成すると、+が表示されます。

+にタップすると中のフォルダが見えます。

メールを別のフォルダに移動する

受信したメールなどを新しく作ったフォルダに移動します。

1 **「受信トレイ」一覧画面などで移動するメールを選択し、画面右下の メニュー − 移動 にタップします。**

アカウントを切り替えるときに使用します(☞4-35、前ページ)。

2 **移動画面で、移動先のフォルダを選択(反転)し、ok にタップします。**

移動先のフォルダに移動します。
移動先のフォルダとして、別のアカウント内のフォルダを選択することはできません。

MEMO

● 移動するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから[移動]にタップしても移動できます。

フォルダの名前を変更する

1 **画面右下の[メニュー]—[ツール]—[フォルダの管理]にタップし、「フォルダの管理」画面を表示させます。**

2 **名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから[名前の変更]にタップします。**

フォルダ名の変更画面が表示されます。

3 **名前を変更して ok にタップします。**

・既定のフォルダの名前は変更できません。
　名前を変更できるのは、新規に作成したフォルダのみです。
・Eメール(ウィルコム)の「受信済みアイテム」フォルダの名前は変更しないでください。

フォルダを削除する

1 **画面右下の[メニュー]—[ツール]—[フォルダの管理]にタップし、「フォルダの管理」画面を表示させます。**

2 **削除したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから[削除]にタップします。**

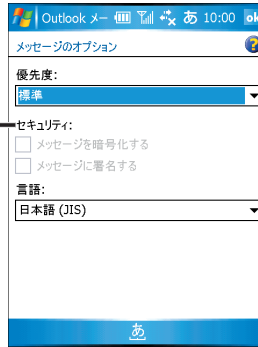
削除したフォルダが「削除済みアイテム」フォルダに移動します。

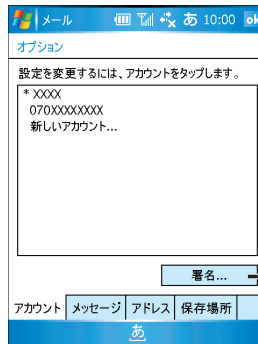
・既定のフォルダは削除できません。
　削除できるのは、新規に作成したフォルダのみです。
　この操作では「削除済みアイテム」フォルダに移っただけで、この製品からは削除されていません。
・**「削除済みアイテム」フォルダ内のフォルダを削除するときは**

1 削除したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから[削除]にタップします。

2 表示された確認画面で[はい]にタップします。

メッセージのオプション設定について

メールの新規作成画面などで、画面右下の[メニュー]－[メッセージのオプション]にタップします。
設定が終わったら ok をタップしてください。

署名を作成する

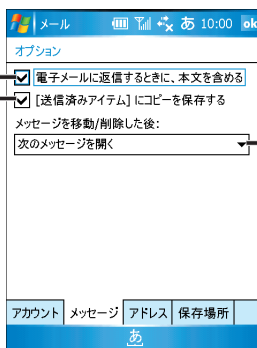
「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の[メニュー]－[ツール]－[オプション]－[アカウント]タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

署名を作成する

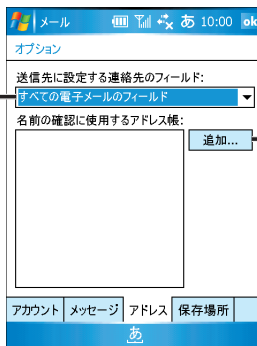
1 [署名]をタップします。
署名画面が表示されます。

2 署名に使用するアカウントを選択し、「このアカウントで署名を使用する」にチェックを付けます。

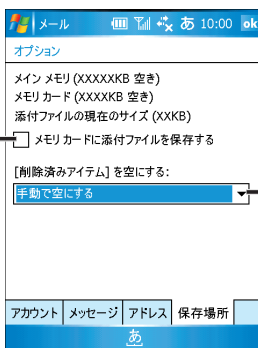
3 署名を入力し、ok にタップします。
オプション設定の[アカウント]タブに戻ります。

返信や送信時の動作を設定する

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の[メニュー]－[ツール]－[オプション]－[メッセージ]タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

連絡先のメールアドレスを宛先に使用する設定をする

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の[メニュー]－[ツール]－[オプション]－[アドレス]タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

添付ファイルの作業先や削除済みアイテムの削除方法を設定する

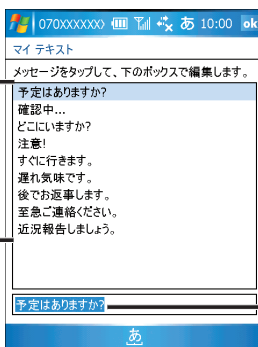
「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプション］－［保存場所］タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

ご注意！

- 「メモリカードに添付ファイルを保存する」にチェックしても、miniSDカードに保存されたファイルは“メール”以外（ファイルエクスプローラなど）から開けません。またこのファイルを削除したり、miniSDカードを取りはずすと、添付ファイルが開けなくなります。

マイテキストメッセージを編集する

新規メール作成画面の「本文」欄の入力で画面右下の［メニュー］－［マイテキスト］－［マイテキスト　メッセージの編集］をタップします。
編集が終わったら ok をタップしてください。

4
メール

メール（Outlook）

メールのメニュー

新規作成／返信／転送画面のメニュー

受信者の追加		連絡先に登録しているメールアドレスを入力する（☞4-37ページ）。
挿入	画像	画像を添付ファイルとして添付する（☞4-38ページ）。
	ボイス メモ	録音したファイルを添付ファイルとして添付する（☞4-38ページ）。
	ファイル	ファイルを添付ファイルとして添付する（☞4-38ページ）。
マイ テキスト		よく使う文書を入力する（☞4-36ページ）。
宛先の確認		宛先を確認する。
下書きに保存		下書きに保存する（☞4-36ページ）。
メッセージの取り消し		メールの作成を取り消す。
メッセージのオプション		メッセージのオプションを設定する（☞4-55ページ）。

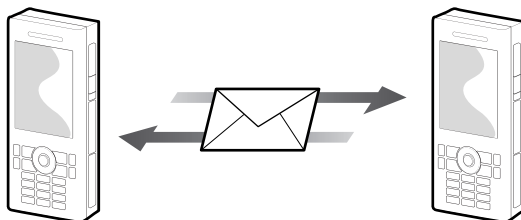
「受信トレイ」／「送信トレイ」／「下書き」／「送信済みアイテム」／「削除済みアイテム」フォルダのメニュー

削除		メールを削除する（☞4-49ページ）。	
返信		メールを送信してきた人のみに返信する（☞4-48ページ）。	
全員へ返信		メールを全員に返信する（☞4-48ページ）。	
転送		メールを転送する（☞4-48ページ）。	
移動		メールを他のフォルダに移動する（☞4-53ページ）。	
開封済みにする／未読にする		未読メールを開封済みに、開封済みメールを未読にする。	
メッセージのダウンロード		メッセージの全文／添付ファイルを取得する（☞4-45ページ）。	
送受信／送受信の停止		メールの送受信をする。／メールの送受信を停止する。	
移動		アカウントを切り替える。	
ツール	並べ替え	メッセージの種類	メッセージの種類別で表示する。
		差出人	差出人順で表示する。
		受信日時	受信日時順で表示する。
		件名	件名順で表示する。
	フォルダの管理	フォルダを作成／変更する（☞4-52、4-54ページ）。	
	[削除済みアイテム]を空にする	「削除済みアイテム」フォルダ内のすべてを削除する（☞4-50ページ）。	
	クリア	選択中のアカウントの「受信トレイ」、「送信済みアイテム」フォルダ内のメッセージをすべて削除する。	
	新しいアカウント	新しいアカウントを設定する（☞2-14ページ）。	
	オプション	オプション設定画面を表示する（☞4-55ページ）。	

受信メール詳細画面のメニュー

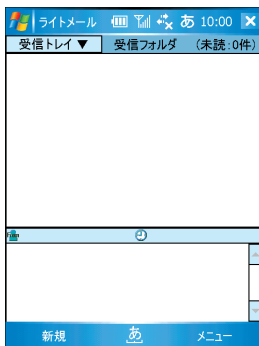
削除	メールを削除する（☞4-49ページ）。
返信	メールを送信してきた人のみに返信する（☞4-48ページ）。
全員へ返信	メールを全員に返信する（☞4-48ページ）。
転送	メールを転送する（☞4-48ページ）。
移動	メールを他のフォルダに移動する（☞4-53ページ）。
未読にする	開封済みメールを未読メールにする。
メッセージのダウンロード	メッセージの全文／添付ファイルを取得する（☞4-45ページ）。
連絡先に保存	連絡先にメールアドレスを保存する。
送受信	メールの送受信をする。
言語	言語を切り替える。

ライトメール

ライトメール対応機種どうしでメールのやりとりができます。
ライトメールは、本文が全角45文字（半角90文字）までのメールを送信できます。
ライトメールは、インターネットを経由しないで相手の電話番号を宛先に指定します。

ライトメールを作って送る

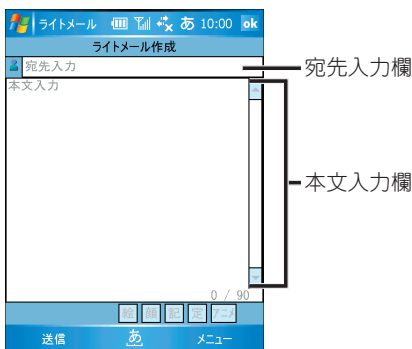
ライトメールを作って送ります。

1 スタートメニューの“ライトメール”にタップします。

“ライトメール”が起動します。

MEMO

- ご購入時、ライトメールの画面は2分割されています。これを3分割にして、フォルダを表示することができます(「受信トレイ」/「送信トレイ」のフォルダ部、リスト表示部、ライトメール本文)。表示の切り替えについては、4-67ページをご覧ください。
  ここでは、2分割画面を例に説明します。

2 画面左下の新規にタップします。

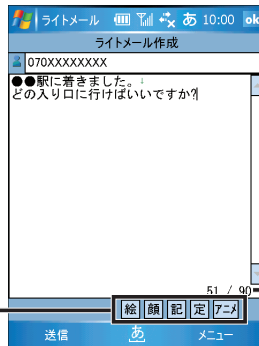
新規作成画面が表示されます。

3 宛先入力欄にタップしてカーソルを表示し、ダイヤルキーなどで電話番号(宛先)を入力します。

“連絡先”に登録している電話番号やライトメール送信履歴/受信履歴などを宛先として利用できます。これらについては、4-73〜75ページをご覧ください。

4 本文入力欄にタップしてカーソルを移動し、本文を入力します。

入力できる文字数は全角45文字（半角90文字）です。画面右下に、入力した文字数を表示します。

タップすると絵文字などを入力するボードが表示されます。

絵 ：絵文字が入力できます。
顔 ：顔文字が入力できます。
記 ：記号が入力できます。
定 ：定型文が入力できます。
アニメ ：アニメーション絵文字が入力できます。
（☞4-76ページ）

入力した文字数を表示します。
分母の90は、半角90文字のことです。全角1文字を入力すると、2つ数字が増えます。

5 本文の入力が終わったら、画面左下の 送信 にタップします。

メールが送信されます。送信したメールは送信済フォルダに入ります。

- 相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「再送信しますか？」と表示されます。この画面で はい にタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「再送信しますか？」と表示されますので、 いいえ にタップし送信待フォルダに入れます。あとでこのメールを再送信する方法については4-71ページをご覧ください。
- 通話／通信機能を制限（☞3-38ページ）しているときは、ライトメールの送信はできません。
- メールの作成を途中で止めるときは、画面右下の メニュー － 編集中止 にタップします（画面右上の ok にタップしても同様の操作になります）。表示されたメッセージで はい にタップすると下書きフォルダに保存されます。ここで いいえ にタップすると作成中のメールは保存されません。

- 入力できる宛先（電話番号）は、1つだけです。複数の相手を宛先にできません。
- ライトメールでは分計発信はできません。
- ライトメールを送信するとご購入時は相手に自分の電話番号を通知するように設定されています。この設定を変える（常に通知しないようにする）には、3-36ページをご覧になり設定を変更してください。
  また、1回だけ電話番号を通知しないようにするときは、画面右下の メニュー － 184送信 にタップします。
- ライトメール作成中に電話がかかってきたとき、その電話に出て終話のあとはToday画面（待ち受け画面）に戻りますが、作成中の状態を保持しています。

受信したライトメールを読む

1 ライトメールを受信すると、着信音が鳴ります。

また、Today画面(待ち受け画面)に「未読ライトメール：X件」と表示され未読のライトメールがあることが分かります(☞1-15ページ)。

2 Today画面(待ち受け画面)の「未読ライトメール：X件」にタップして、“ライトメール”を起動します。

3 読みたいメールを選択します。

ライトメールの本文が画面下部に表示されます。

4 別のライトメールを読むときは、別のメールにタップします。

- **メール本文のURL/Eメールアドレス/電話番号を利用する**

  メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、Eメールの作成や連絡先への登録ができます。

  1 URL/Eメールアドレス/電話番号をタップします。

  2 表示されたメニューから実行したい項目をタップします。

URLと認識する文字列	http://www.xxxx.co.jp など 「http://」や「https://」で始まる半角英数字の文字
Eメールアドレスと認識する文字列	○○○○@△△.pdx.ne.jp など 「@」があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合
電話番号として認識する文字列	070XXXXXXXX など 0で始まる10～32桁の数字、#、*などの記号 「tel:」または、「TEL:」に続く32桁までの数字、#・*などの記号

作成中のライトメールを下書きとして保存する

作りかけたメールを送信せずにいったん保存し、あとで追加や修正し送信できます。

メールを下書きとして保存する

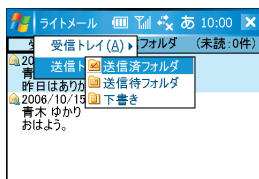
1 **4-61～62ページの手順1～4と同様にメールを作ります。**

2 **画面右下の メニュー ー 編集中止 にタップします。**

MEMO
- 画面右上の ok にタップしても同様の操作になります。

3 **表示された確認画面で、 はい にタップします。**
いいえ にタップすると、保存されません。
作りかけていたメールが下書きフォルダに入ります。このメールは送信されずに、下書きメールとして保存されます。
また、 キャンセル にタップすると、メール作成画面に戻ります。

下書きとして保存しているメールに追加や修正し送信する

1 **下書きフォルダを選択します。**
下書きフォルダに入っているメールが表示されます。

2 **編集するメールにタップし、画面右下の メニュー ー 編集 にタップします。**

3 **メール本文の追加や修正をします。**

4 **画面左下の 送信 にタップします。**
メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

保存できるライトメールの件数

この製品に保存できるライトメールには、次のような制限があります。

保存できる件数

・受信ライトメール：最大200件まで保存できます。
・送信ライトメール：最大100件まで保存できます。
※送信ライトメールは、送信済みメール、送信待ちメール、下書きメールすべての合計が最大100件です。

最大件数を超えて受信したり送信した場合

・最大件数を超えて受信すると、保護ライトメール（※）を除いて一番古い既読ライトメールから削除され、既読ライトメールがなくなると一番古い未読ライトメールから自動的に削除されていきます。
このようなときは、未読メールを読み既読メールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
・送信時も最大件数を超えて送信すると、未送信メールと保護ライトメール（※）を除き、一番古いメールから自動的に削除されます。
ただし、未送信メールが50件、保護メールが50件など（保存件数が最大で削除されないメールのみの状態）では、新規メールの作成はできません。このようなときは、未送信メールを送信して送信済みのメールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
※削除したくないメールがあるときは保護し、削除されないように設定できます。保護の設定については次ページをご覧ください。

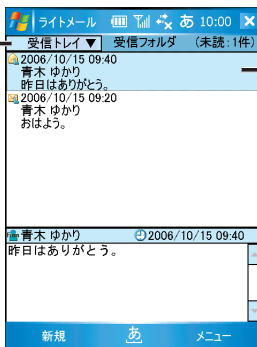
ライトメールを保護する／保護を解除する

受信したライトメールや送信したライトメールは受信フォルダや送信済フォルダなどに入り、この製品に保存されます。
しかし、保存されるライトメールの件数には制限があり、この制限を超えてライトメールを受信したり送信すると古いライトメールから削除されます（この制限については、前ページをご覧ください）。
削除したくないライトメールは保護設定することにより、削除されずにフォルダに残ります。

保護する

1 **受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。**

2 **保護するライトメールを選択し、画面右下の メニュー － 保護 にタップします。**

保護されたライトメールには、が表示されます。

- 3分割画面（次ページ）では、手順**2**で保護するライトメールを必ず選択してください。手順**1**の受信トレイや送信トレイなどが選択された状態では、メニュー－保護は表示されません。

保護を解除する

1 **保護しているメール（ が表示されているメール）を選択します。**

2 **画面右下の メニュー － 保護 にタップします。**

保護が解除され、が消えます。

2分割画面と3分割画面を切り替える

ご購入時、ライトメールの画面は2分割されています。これを3分割にしてフォルダを表示することができます。

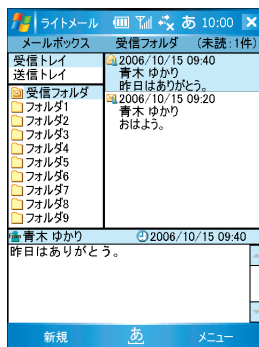
1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示し、画面右下の メニュー － 設定 にタップします。**

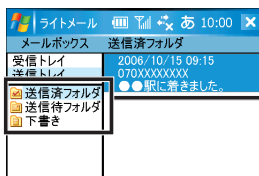
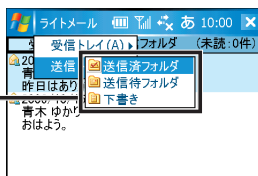
2 **その他設定 タブにタップし、「表示設定」の項目を 2分割画面 または 3分割画面 に切り替えます。**

3 **ok にタップします。**

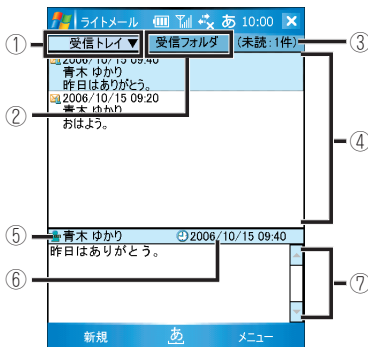
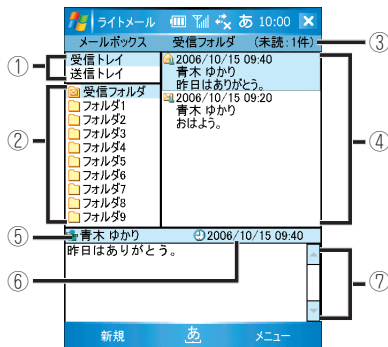
画面が切り替わります。

2分割画面

3分割画面

3分割画面でフォルダを切り替える

1 **3分割画面で 送信トレイ などにタップし、 送信済フォルダ などにタップします。**

2分割画面のとき

ライトメールの画面について

ここでは、ライトメールの画面について説明します。

受信トレイ画面

① 2分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。
3分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。
切り替え方法は、前ページの「3分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② 2分割画面：前ページの「3分割画面でフォルダを切り替える」で選択したフォルダが表示されます。
3分割画面：受信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内の未読メール件数が表示されます。

④ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。
リスト表示は、各メールを3行で表示するモードと1行で表示するモードがあります。④でメールを選択しているとき（フォーカスがある状態）、画面右下の メニュー － 行数切替 － 1行表示 または 3行表示 を選択し、切り替えます。
また並び順を受信した順、差出人（電話番号）にできます。メニュー － 並び替え － 受信順 または 差出人順 を選択します。

⑤ 送信者の電話番号を表示します。
- "連絡先"に送信者の電話番号があるときは、その名前を表示します。
- 相手が電話番号を通知していないときは、「非通知」と表示されます。
- 相手が通知できないエリアや電話機からのときは、「通知不可能」と表示されます。
- 公衆電話からのときは、「公衆電話発信」と表示されます。

⑥ 受信日時を表示します。

⑦ 受信したライトメールの本文を表示します。

送信トレイ画面

① 2分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。
3分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。
切り替え方法は、4-67ページの「3分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② 2分割画面：4-67ページの「3分割画面でフォルダを切り替える」で選択したフォルダが表示されます。
3分割画面：送信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。
リスト表示は、各メールを3行で表示するモードと1行で表示するモードがあります。③でメールを選択しているとき（フォーカスがある状態）、画面右下の［メニュー］－［行数切替］－［1行表示］または［3行表示］を選択し、切り替えます。
また並び順を送信した順、宛先（電話番号）にできます。［メニュー］－［並び替え］－［送信順］または［宛先順］を選択します。

④ ③で選択しているメールの宛先（電話番号）を表示します。
“連絡先”に宛先の電話番号があるときは、その名前を表示します。

⑤ 送信した日時を表示します。
下書きメールの場合は、下書きフォルダに保存した日時を表示します。
送信待メールの場合は、送信できずに送信待フォルダに保存した日時を表示します。

⑥ ライトメール本文を表示します。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

ライトメールを送信したとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にしたりできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、4-61ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます（この設定は電話と共通です）。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-36ページをご覧ください。

1 ライトメールを作成します（☞4-61ページ）。

2 画面右下の［メニュー］－［184送信］にタップします。

この場合、自分の電話番号を通知せずにライトメールを送信します。

MEMO

- **手順2の［184送信］、［186送信］について**
  ［184送信］：相手に自分の電話番号を通知しません。
  ［186送信］：非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知します。
- ライトメールでは分計発信はできません。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などでライトメールを送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

メールを選択して送信する

1 **送信トレイ画面を表示します。**

2 **送信待フォルダを選択し、送信待フォルダ内のメールを表示します。**

3 **送信するメールを選択（反転）します。**

4 **画面右下の［メニュー］－［送信］にタップします。**

メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

MEMO

- 手順**3**でメールの宛先や本文にタップすると、手順**4**では画面左下の［送信］にタップしメールを送信します。
- 手順**3**で送信するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから［送信］を選択してもメールが送信されます。

メールを一括送信する

送信待フォルダに入っているメールを一括して送ることができます。

1 **送信待フォルダを選択します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［一括送信］にタップします。**

メールが順番に送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

メールを返信する／転送する

メールを返信する

受信したライトメールを返信します。

1 **受信トレイ画面を表示し、返信するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［返信］にタップします。**

MEMO
- 返信するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから［返信］を選択してもメール作成画面が表示されます。

3 **メール作成画面が表示されます。**

宛先には手順**1**で選択したメールの送信者（電話番号）が表示され、本文には、受信したときの本文が表示されています。

4 **本文を追加／修正して、画面左下の［送信］にタップします。**

メールを送信します。

メールを転送する

受信したライトメールを別の人に転送します。

1 **受信トレイ画面を表示し、転送するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［転送］にタップします。**

MEMO
- 転送するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから［転送］を選択してもメール作成画面が表示されます。

3 **メール作成画面が表示されます。**

本文には、受信メールの本文が表示されています。

4 **宛先を入力します。**

5 **本文を追加／修正して、画面左下の［送信］にタップします。**

メールを送信します。

送信時、宛先に受信履歴／送信履歴／連絡先を利用する

ライトメールおよびチャットモード時、受信ライトメールの送信者(電話番号)や一度送信した宛先(電話番号)、"連絡先"に登録している電話番号を宛先に利用できます。

ライトメールの受信履歴を利用する

受信したライトメールの送信者の電話番号を宛先として利用できます。

1 **ライトメール(☞4-61ページ)およびチャットモード(☞4-83ページ)の新規作成画面を表示します。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の［メニュー］－［引用］－［ライトメール受信履歴］にタップします。**

履歴画面が表示されます。

3 **目的の宛先にタップします。**

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降ライトメールは4-62ページ、チャットモードは4-83ページと同様に本文を入力し送信します。

MEMO
- 手順**2**で、宛先入力欄にタップしたままにして、ポップアップメニューから［引用］－［ライトメール受信履歴］にタップしても履歴画面が表示されます。

ライトメールの送信履歴を利用する

一度送信したライトメールの宛先(電話番号)を再度、宛先として利用できます。

1 **新規作成画面を表示します。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の[メニュー]－[引用]－[ライトメール送信履歴]にタップします。**

履歴画面が表示されます。

3 **目的の宛先にタップします。**

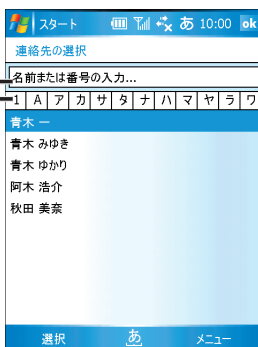
新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

“連絡先”に登録している電話番号を利用する

“連絡先”に登録している電話番号を宛先として利用できます。

1 **新規作成画面を表示します。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の[メニュー]－[引用]－[連絡先]にタップします。**

連絡先に登録している名前がリスト表示されます。

MEMO

- リスト表示には、電話番号は表示されません。
- 連絡先に多くの人を登録しているときは、50音タブにタップ、または名前の読みを入力して目的の相手を探します。

3 **連絡先の選択画面で、メールを送信する相手にタップします。**

4 電話番号選択画面が表示されます。

・手順**3**で選択した相手にPHSや携帯電話など複数の電話番号を登録している場合は、その複数の電話番号が表示されます。
・手順**3**で選択した相手に登録している電話番号が1つのときもこの画面に移ります。

5 目的の電話番号にタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

電話着信履歴／電話発信履歴を利用する

1 新規作成画面で、宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の[メニュー]－[引用]－[電話着信履歴]または[電話発信履歴]にタップします。

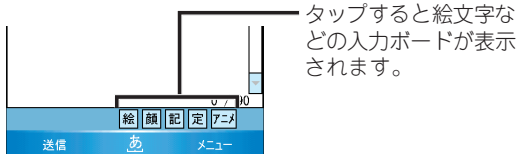
2 表示された履歴画面で、目的の宛先にタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

絵文字などを入力する

この製品に入っている記号、顔文字、絵文字などを入力できます。

1 **本文にカーソルがあることを確認し、画面下部の[絵]などにタップします。**

タップすると絵文字などの入力ボードが表示されます。

2 **表示された入力ボードから入力したい文字を2回タップします。続けてタップすると連続して入力できます。**

入力したい文字にカーソルを合わせ画面右下の[選択]にタップしても絵文字などが入力されます（続けて[選択]にタップしても連続して絵文字などが入力されます）。

- 入力を止めるときは、画面左下の[閉じる]にタップします。
- 手順**1**で画面右下の[メニュー]－[特殊文字入力]－[絵文字]などをタップしても入力ボードが表示されます。
- コード入力をするときは、画面右下の[メニュー]－[特殊文字入力]－[コード入力]をタップし、表示された画面にシフトJISコード（☞11-11ページ）を入力して[入力]をタップします。
- 定型文の編集はできません。
- アニメーション絵文字は、アニメーション絵文字対応機種どうしでやり取りできます。
- チャットモードではアニメーション絵文字は、使えません。

連絡先などから引用する

1 本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の[メニュー]－[引用]－[連絡先]などにタップします。

2 表示された連絡先の選択画面からいずれかをタップします。

3 引用する項目（名前や電話番号など）にタップすると、この項目が入力されます。

- 手順**1**で[プロフィール]を選択すると、自局電話番号またはEメールアドレスを引用できます。

ライトメールの電話番号を“連絡先”に登録する

受信メールの送信者（電話番号）や送信したメールの宛先（電話番号）を“連絡先”に登録し活用できます。

受信メールの送信者（電話番号）を“連絡先”に登録する

1 受信トレイ画面で、送信者（電話番号）にタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 表示されたポップアップメニューの[連絡先に登録]－[新規登録]にタップします。

受信トレイ画面で送信者（電話番号）にタップし、画面右下の[メニュー]－[連絡先に登録]－[新規登録]にタップしても電話番号の新規登録画面が表示されます。

3 電話番号を登録する項目としてPHSを選択してokまたは画面右下の[決定]をタップします。

4 名前の項目に姓や名前などを入力します。

PHSの項目には、手順**2**で選択した電話番号が入っています。

5 **ok**にタップします。

手順**4**で入力した姓や名前で“連絡先”が登録されます。

● 手順**2**で[連絡先に登録]－[追加登録]をタップすると追加したい連絡先を選択して電話番号を登録することができます。

送信メールの宛先(電話番号)を“連絡先”に登録する

1 **送信トレイ画面で、宛先(電話番号)にタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューの[連絡先に登録]－[新規登録]にタップします。**

送信トレイ画面で宛先(電話番号)にタップし、画面右下の[メニュー]－[連絡先に登録]－[新規登録]にタップしても電話番号の新規登録画面が表示されます。

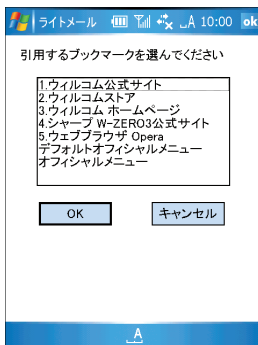
3 **これ以降、前記と同様の操作を行い“連絡先”に登録します。**

● 手順**2**で[連絡先に登録]－[追加登録]をタップすると追加したい連絡先を選択して電話番号を登録することができます。

ブックマークを引用する

現在設定している Web ブラウザのブックマークを引用することができます。

1 ライトメールの本文入力時、画面右下の メニュー ー 引用 ー ブックマーク にタップします。

2 引用するブックマークを選択し、OK をタップします。

MEMO

- Internet Explorer MobileおよびOpera Browser以外のWebブラウザを設定している場合は、「現在、通常使用するソフトウェアとして設定されているブラウザでは、ブックマークを引用できません」のメッセージが表示され引用できません。

ブックマークに登録する

メール本文中のＵＲＬを現在設定しているWebブラウザのブックマーク（お気に入り）に登録することができます。

■Opera Browserを設定している場合

1 受信トレイ一覧画面などでブックマークに登録するメールを選択します。

2 メール本文中のURLをタップし、表示されたメニューから ブックマークに登録 をタップします。

Opera Browserのブックマークに登録されます。
登録が終了すると「ブックマークに登録しました」のメッセージが表示されますので ok をタップしてください。

● Opera Browserを起動中は、「Opera Browser を終了してからブックマークに登録してください」のメッセージが表示されブックマークには登録されません。

■Internet Explorer Mobileを設定している場合

1 **受信トレイ一覧画面などでお気に入りへ登録するメールを選択します。**

2 **メール本文中のURLをタップし、表示されたメニューから ブックマークに登録 をタップします。**

Internet Explorer Mobileのお気に入りに登録されます。
登録が終了すると「お気に入りに登録しました」のメッセージが表示されますので ok をタップしてください。

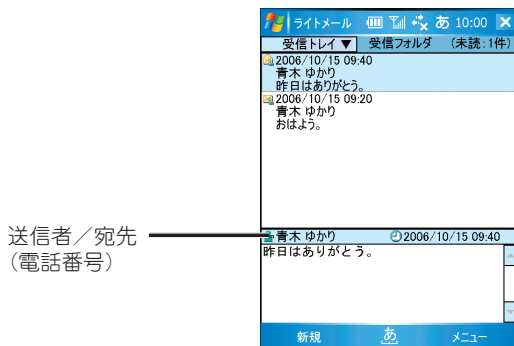
● 同じURLを登録しようとすると、「同じブックマークファイルが存在します上書きしてよろしいですか？」のメッセージが表示されます。

ご注意!

● Internet Explorer MobileおよびOpera Browser以外のWebブラウザを設定している場合「現在、通常使用するソフトウェアとして設定されているブラウザでは、ブックマークに登録できません」のメッセージが表示され登録できません。

送信者や宛先の電話番号を使って電話をかける

受信メールの送信者（電話番号）や送信メールの宛先（電話番号）を使って、電話をかけられます。

1 受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。

2 送信者／宛先（電話番号）にタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

3 表示されたポップアップメニューから［通話］－［発信］にタップします。

4 確認画面で［はい］にタップします。

電話がかかります。
確認画面で［いいえ］にタップすると、ダイヤル画面になり［×］にタップすると手順**1**の画面に戻ります。

MEMO

- 通常の電話をかけるときと同様に、手順**3**で［発信］の代わりに［184発信］や［184分計発信］などを選択できます。
  ［184発信］や［184分計発信］などについては、3-16ページのメモをご覧ください。

5 通話を終えるときは、［PWR HLD］キーを押します。

電話が切れます。

4 メール

ライトメール

ライトメールを削除する

受信メールや送信済みメールなどを削除できます。メールの削除には、1件削除、選択削除、全件削除があります。

1件ずつ削除する／全てのメールを削除する

1 **1件ずつ削除　：削除するメールを選択します。**
全て削除　　　：メールを削除するフォルダを選択します。

2 **1件ずつ削除　：画面右下の［メニュー］－［削除］－［1件削除］にタップします。**
全て削除　　　：画面右下の［メニュー］－［削除］－［全件削除］にタップします。

3 **確認画面で［はい］にタップします。**
1件ずつ削除　：手順**1**で選択したメールが削除されます。
全て削除　　　：フォルダのメールが全て削除されます。

MEMO
- 1件ずつ削除する場合は、削除するメールを選択してから、手順**2**に移ってください。3分割画面では、フォルダを選択している状態で手順**2**を行うと［1件削除］は表示されません。

選択したメールを削除する

1 **受信トレイ画面などでメールを選択した状態にして、画面右下の［メニュー］－［削除］－［選択削除］にタップします。**

2 **確認画面で ok にタップします。**

3 **リストから削除するメールにタップします。**
複数のメールを選択できます。
選択を解除するときは、画面右下の［中止］にタップします。

4 **画面左下の［実行］にタップします。**

5 **確認画面で［はい］にタップします。**
手順**3**で選択したメールが削除されます。

チャットモードでやり取りする

チャットモードでやり取りすると1対1のチャットをやっているような画面でライトメールができます。

ご注意！
● DXメール（ウィルコムのショートメッセージサービス）のチャット通信とは異なります。

チャットモードでメッセージを作成する

1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面で画面右下の［メニュー］－［チャット開始］－［新規］にタップします。**

チャットモードの新規画面が表示されます。

2 **チャット相手の宛先（電話番号）を入力します。**

“連絡先”に登録している電話番号やライトメール送信履歴／受信履歴などを宛先として利用できます。これらについては、4-73～75ページをご覧ください。

MEMO
● 入力できる宛先（電話番号）は、1つだけです。複数の相手を宛先にできません。

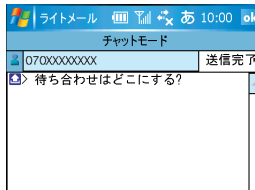
3 **本文入力欄にタップし、本文を入力します。**

入力できる文字数は全角45文字（半角90文字）です。

入力した文字数を表示します。分母の90は、半角90文字のことです。全角1文字を入力すると、2つ数字が増えます。

4 メール

ライトメール

4 本文の入力が終わったら、送信ボタンにタップ、または画面左下の送信にタップします。

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

5 チャットモードを止めるときは、画面右下のメニュー－中止にタップします（画面右上の ok にタップしても同様の操作になります）。

- 相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「再送信しますか？」と表示されます。この画面ではいにタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「再送信しますか？」と表示されますので、いいえにタップし送信待フォルダに入れます。あとで再送信する方法については4-87ページをご覧ください。
- 通話／通信機能を制限（☞3-38ページ）しているときは、チャットモードでの送信はできません。

■送信済のメールを確認しながらメッセージを作成する

1 送信トレイ画面の送信済フォルダで、引用するメールを選択し、画面右下のメニュー－チャット開始－引用にタップします。

チャットモードの引用画面が表示されます。

2 チャット相手の宛先（電話番号）を入力します。

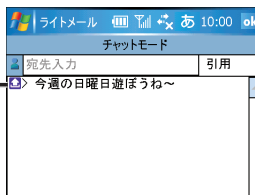
3 **本文を入力します（☞4-83ページ）。**

- 引用するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［チャット開始］－［引用］にタップしてもチャットモードの引用画面が表示されます。
- 入力できる宛先（電話番号）は、1つだけです。複数の相手を宛先にできません。

4 **［送信］ボタンにタップ、または画面左下の［送信］にタップします。**

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

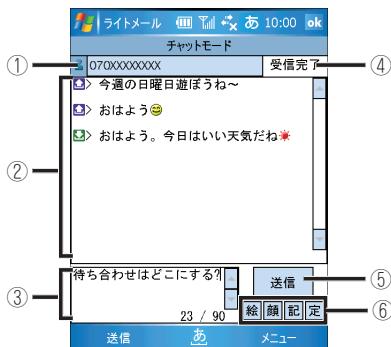
チャットモードで返信する

1 **受信トレイ画面で返信するメールを選択し、画面右下の［メニュー］－［チャット開始］－［返信］にタップします。**

チャットモードの返信画面が表示されます。（受信したメールの本文がメッセージとして表示されます。）

- 返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［チャット開始］－［返信］にタップしてもチャットモードの返信画面が表示されます。
- 宛先（電話番号）は変更できません。

2 **返信（本）文の入力が終わったら、［送信］ボタンにタップ、または画面左下の［送信］にタップします。**

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

チャットモード画面について

① **宛先(電話番号)表示欄**

新規画面：相手の宛先(電話番号)を入力します。
引用画面：本文を引用して送信する相手の宛先(電話番号)を入力します。
返信画面：選択したメールの送信者(電話番号)が表示されます。連絡先に登録されている内容によって(「ニックネーム」→「名前」→「電話番号」)の優先順で表示されます。(変更することはできません。)

② **やりとり表示欄**

返信／引用画面：選択したメールの本文が表示されます。
以降は以下のように表示されます。
(自分を表すアイコン) ：>メッセージ
(相手を表すアイコン) ：>メッセージ

③ **本文入力欄**

①で表示されている相手に送るメッセージを入力します。

④**現在の状態表示**

新規　：チャットモードの新規画面のとき
引用　：チャットモードの引用画面のとき
返信　：チャットモードの返信画面のとき
送信中　：チャットモードで送信中
送信完了　：チャットモードで送信したとき
送信失敗　：チャットモードで送信に失敗したとき
受信完了　：①で表示されている相手から、受信したとき

⑤ **送信ボタン**

①で表示されている宛先(電話番号)に③で入力したメッセージが送信されます。

⑥ **絵文字などの入力ボタン**

絵文字などの入力ボードが表示され、記号、顔文字、絵文字などが入力できます(☞4-76ページ)。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などで送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。
この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

1 送信トレイ画面を表示します。

2 送信待フォルダを選択(反転)し、送信するメールを選択(反転)します。

3 画面右下の[メニュー]−[チャット開始]−[引用]にタップします。

4 チャット相手の宛先(電話番号)を入力し、[送信]にタップします。

MEMO

- チャットモード中に電話がかかってきたとき、その電話に出て終話のあとはToday画面(待ち受け画面)に戻りますが、作成中の状態を保持しています。
- チャットモード中のライトメール受信について
  チャット相手から受信　　：やりとり表示欄に表示されます。
  チャット相手以外から受信：「新着メールが届きました」のメッセージが表示されます。
- アニメーション絵文字は使えません。

受信したライトメールを振り分ける

受信したメールを受信フォルダだけでなく、送信者（電話番号）を指定してその送信者（電話番号）のメールを受信フォルダ、またはフォルダ1〜9に入れる（振り分ける）ことができます。

振り分けの設定をする

始めに、受信したメールを振り分けるための振り分け条件を設定します。

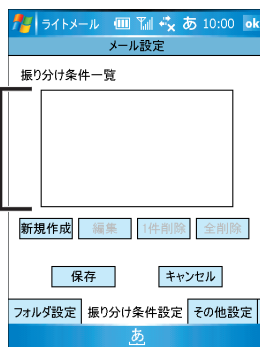
1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

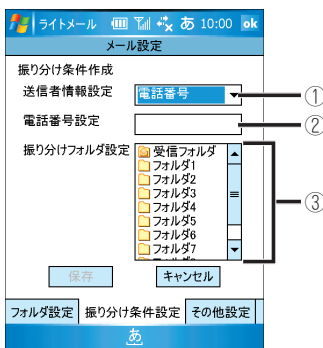
2 **受信トレイ画面では受信フォルダなど、送信トレイ画面では送信済フォルダなどを選択します（フォルダが反転している状態にします）。**

3 **画面右下の［メニュー］−［設定］にタップします。**

メール設定画面が表示されます。

4 **メール設定画面で、［振り分け条件設定］タブにタップします。**

メール設定画面（［振り分け条件設定］タブ）が表示されます。

5 新規作成 にタップし、振り分け条件を作成します。

振り分け条件作成画面が表示されます。

①「すべての送信者」または「電話番号」を選択します。
- 「電話番号」を選択すると、②に入力した電話番号が対象となり、③で選んだフォルダの中にその電話番号のライトメールが振り分けられます。
- 「すべての送信者」を選択すると、すべての送信者が対象となり、③で選んだフォルダの中に送信者すべてのライトメールが入ります。

② 電話番号(送信者)を入力します。この電話番号の人から送信されたメールを振り分けますので、入力する番号を間違えないでください。

③ 振り分け先となるフォルダを選択します(タップして反転します)。選択したフォルダの中に、振り分けられたメールが入ります。

- ③で選択できるフォルダは1つだけです。複数のフォルダを選択できません。
- ある電話番号の振り分け先に指定したフォルダは、別の電話番号の振り分け先にも選択できます。たとえば、070-XXX-XXXXの振り分け先に「フォルダ1」を選択し、070-YYY-YYYYの振り分け先にも「フォルダ1」を選択できます。「フォルダ1」には、070-XXX-XXXXと070-YYY-YYYYの両方から送信されたメールが振り分けられます。

6 保存 にタップします。

メール設定画面(振り分け条件設定 タブ)に戻り、手順**5**で入力した電話番号などがリストに表示されます。
"連絡先"にその電話番号が登録されているときは、その電話番号の人の名前が表示されます。

7 メール設定画面(振り分け条件設定 タブ)で 保存 にタップします。

8 ライトメールを受信します。

作成した振り分け条件にしたがって、受信メールが振り分けられます。

設定した振り分けを修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 メール設定画面（振り分け条件設定タブ）（☞4-88ページ）で、編集したい条件（電話番号など）を選択し、編集にタップします。

2 表示された画面で、電話番号を編集したり振り分け先を変更するなどして、保存にタップします。

3 メール設定画面（振り分け条件設定タブ）で保存にタップします。

設定した振り分けを削除する

設定した振り分け条件を削除します。

1つの設定を削除します（1件削除）

1 設定画面（振り分け条件設定タブ）で、削除したい電話番号などを選択し、1件削除にタップします。

2 確認画面ではいにタップします。

手順**1**で選択した振り分け設定が削除されます。

削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

すべての設定を削除します（全削除）

1 設定画面（振り分け条件設定タブ）で、全削除にタップします。

2 確認画面ではいにタップします。

すべての振り分け設定が削除されます。

削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

各種設定を行う

ライトメールの設定を行います。

1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

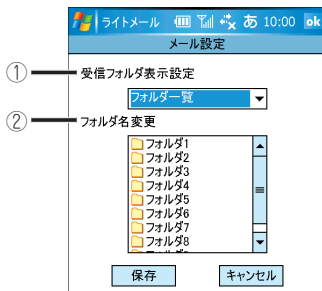
2 **受信トレイ画面では受信フォルダ、送信トレイ画面では送信済フォルダを選択します（フォルダが反転している状態にします）。**

3 **画面右下の メニュー ー 設定 にタップします。**

設定画面が表示されます。

4 **フォルダの設定や振り分けの条件設定などを行います。**

◇ フォルダ設定 タブ ◇

フォルダの表示方法や受信トレイのフォルダ1～9の名前を変更します。

① 受信トレイ画面の表示方法を設定します。

・フォルダ一覧：フォルダリストには、受信フォルダやフォルダ1～9が表示され、フォルダ単位でメールを表示します。

・全受信メール：受信したメールをすべて表示します。フォルダリストには、「全受信メール」と表示されます。

② フォルダ名を変更します。

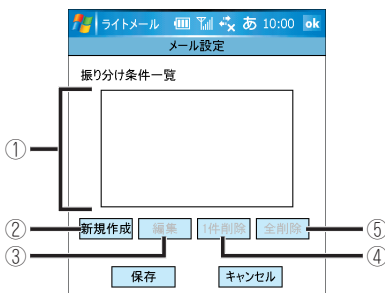
※「受信フォルダ」の名前だけは変更できません。

名前を変更するフォルダにタップします。

フォルダ名変更画面が表示されますので、名前を変更し OK にタップします。 キャンセル にタップすると、フォルダ名は変更されません。

このフォルダ名は、4-89ページの振り分け条件設定に用意されているフォルダ1～9です。このフォルダ名を変更すると、受信トレイ画面で表示されるフォルダ名や4-89ページの画面（メール設定画面（ 振り分け条件設定 タブ））に表示されるフォルダ名も変更されます。

◇ 振り分け条件設定 タブ ◇

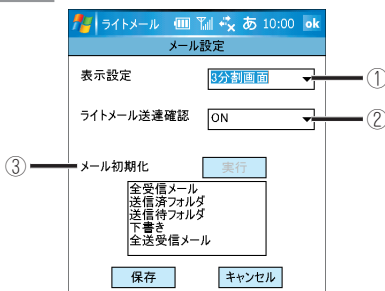
受信したメールを振り分けます。設定方法などの操作については、4-88ページをご覧ください。

① 設定した振り分け条件(電話番号または名前(※)とフォルダ名)がリスト表示されます。
※"連絡先"に電話番号が登録されているときは、その電話番号の名前が表示されます。

② 新規に振り分けを設定します。くわしくは、4-89ページをご覧ください。

③ 設定した振り分けを編集します(☞4-90ページ)。

④ 設定した振り分けを1件削除します(☞4-90ページ)。

⑤ 設定した振り分けすべてを削除します(☞4-90ページ)。

◇ その他設定 タブ ◇

① 2分割画面と3分割画面を切り替えます(☞4-67ページ)。

② ライトメール送信時に送信済の確認音を鳴らす/鳴らさないを選択します。
・「ON」: 確認音を鳴らします。 ・「OFF」: 確認音は鳴りません。

③ 受信フォルダや送信済フォルダなどに入っているメールを削除します。
フォルダのリストからいずれかのフォルダを選択(反転)し、実行にタップします。

5 設定が終われば、okにタップします。

ライトメールのメニュー

受信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

返信		選択しているライトメールを返信する(☞4-72ページ)。
転送		選択しているライトメールを転送する(☞4-72ページ)。
チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する(☞4-83ページ)。
	返信	チャットモードの返信画面を表示する(☞4-85ページ)。
並び替え		受信順、差出人順に並び替える(☞4-68ページ)。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える(☞4-68ページ)。
削除	1件削除	選択しているライトメールを削除する(☞4-82ページ)。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する(☞4-82ページ)。
	全件削除※	選択したフォルダに入っているライトメールをすべて削除する(☞4-82ページ)。
移動		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。 移動 にタップし、確認画面で ok にタップする。 次に、移動したいライトメールを選択して、画面左下の 実行 にタップする。表示された移動画面で移動先のフォルダにタップし、OK にタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護/保護解除する(☞4-66ページ)。
設定※		設定画面を表示する(☞4-91ページ)。

※ 2分割画面時に表示されます。

送信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

編集		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
送信		選択しているライトメールを送信する。
一括送信※		送信トレイ内の送信待ちフォルダのメールを一括して送信する(☞4-71ページ)。
チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する(☞4-83ページ)。
	引用	チャットモードの引用画面を表示する(☞4-84ページ)。
並び替え		送信順、宛先順に並び替える(☞4-69ページ)。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える(☞4-69ページ)。
削除	1件削除	選択しているライトメールを削除する(☞4-82ページ)。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する(☞4-82ページ)。
	全件削除	選択したフォルダに入っているライトメールをすべて削除する(☞4-82ページ)。
保護		選択しているライトメールを保護/保護解除する(☞4-66ページ)。
設定※		設定画面を表示する(☞4-91ページ)。

※ 2分割画面時に表示されます。

送信メール本文選択時

メール作成		選択している宛先でライトメールを作成する（☞4-61ページ）。
通話	発信	表示されている電話番号に電話をかける。
	184発信	電話番号を通知せずに選択している番号に電話をかける。
	186発信	電話番号を通知して選択している番号に電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-53ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-53ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-53ページ）。
チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する（☞4-83ページ）。
	引用	チャットモードの引用画面を表示する（☞4-84ページ）。
連絡先に登録	新規登録	連絡先に電話番号などを新規登録する（☞4-77〜78ページ）。
	追加登録	連絡先に電話番号などを追加登録する（☞4-77〜78ページ）。
編集		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
全文コピー		本文をコピーする。コピー後、ライトメール新規作成画面で貼り付けることができる。“連絡先”など他のプログラムでも貼り付けはできるが絵文字などは□などになり貼り付けられない。
削除		選択しているライトメールを削除する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する（☞4-66ページ）。

受信メール本文選択時

メール作成		選択している宛先でライトメールを作成する(☞4-61ページ)。
通話	発信	選択している電話番号に電話をかける。
	184発信	電話番号を通知せずに選択している番号に電話をかける。
	186発信	電話番号を通知して選択している番号に電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-53ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける(☞3-53ページ)。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける(☞3-53ページ)。
チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する。
	返信	チャットモードの返信画面を表示する。
連絡先に登録	新規登録	連絡先に電話番号などを新規登録する。
	追加登録	連絡先に電話番号などを追加登録する。
転送		選択しているライトメールを転送します。
削除		選択しているライトメールを削除します。
移動		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。移動にタップし、表示された移動画面で移動先のフォルダにタップし、OKにタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護/保護解除する(☞4-66ページ)。
全文コピー		本文をコピーする。コピー後、ライトメール新規作成画面で貼り付けることができる。"連絡先"など他のプログラムでも貼り付けはできるが絵文字などは□などになり貼り付けられない。

メール作成／編集時

全文コピー※1		入力している本文すべてをコピーする。
貼り付け※1		コピーしている内容を貼り付ける。
カット※1		選択している内容をカットする。
特殊文字入力※1	記号	記号を入力するボードを表示する。
	顔文字	顔文字を入力するボードを表示する。
	絵文字	絵文字を入力するボードを表示する。
	コード入力	コードから文字を入力するボードを表示する（コード表☞11-11ページ）。
	定型文	定型文を入力するボードを表示する（定型文の編集はできません）。
	アニメ絵文字	アニメーション絵文字を入力するボードを表示する（☞4-62ページ）。
引用※2	連絡先	“連絡先”に保存している電話番号を引用する。
	電話着信履歴	かかってきた電話番号（着信履歴）を引用する。
	電話発信履歴	かけた電話番号（発信履歴）を引用する。
	ライトメール受信履歴	受信したライトメールの履歴を引用する。
	ライトメール送信履歴	送信したライトメールの履歴を引用する。
引用※1	連絡先	連絡先に保存しているデータ（名前や電話番号など）を利用する。
	プロフィール	自局電話番号またはメールアドレス（☞3-19ページ）を利用する。
	ブックマーク	現在設定しているWebブラウザのブックマークを利用する。
編集中止		ライトメールの作成や編集を中止する。
184送信		電話番号を通知せずにライトメールを送信する。
186送信		電話番号を通知してライトメールを送信する。

※1　カーソルが本文にあるときに表示されるメニューです。
※2　カーソルが宛先欄にあるときに表示されるメニューです。

「受信トレイ」、「送信トレイ」選択時(3分割画面に設定時のみ)

チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する。
	返信※1	チャットモードの返信画面を表示する。
	引用※2	チャットモードの引用画面を表示する。
表示切替※1		受信トレイの中のフォルダを表示するとき、「全受信メール」表示フォルダを切り替える。
一括送信※2		送信トレイ内の送信待ちフォルダのメールを一括して送信する(☞4-71ページ)。
メール全削除		受信トレイ内の1つのフォルダまたは送信トレイ内の1つのフォルダに入っているライトメールをすべて削除する(☞4-82ページ)。
フォルダ名変更※1		受信トレイの中にある「フォルダ1」〜「フォルダ9」のフォルダ名を変更する(☞4-91ページ)。
設定		設定画面を表示する(☞4-91ページ)。

※1 「受信トレイ」選択時に表示されます。
※2 「送信トレイ」選択時に表示されます。

チャットメール作成／編集時

特殊文字入力※1	記号	記号を入力するボードを表示する。
	顔文字	顔文字を入力するボードを表示する。
	絵文字	絵文字を入力するボードを表示する。
	コード入力	コードから文字を入力するボードを表示する(コード表☞11-11ページ)。
	定型文	定型文を入力するボードを表示する（定型文の編集はできません）。
引用※2	連絡先	“連絡先”に保存している電話番号を引用する。
	電話着信履歴	かかってきた電話番号（着信履歴）を引用する。
	電話発信履歴	かけた電話番号（発信履歴）を引用する。
	ライトメール受信履歴	受信したライトメールの履歴を引用する。
	ライトメール送信履歴	送信したライトメールの履歴を引用する。
引用※1	連絡先	連絡先に保存しているデータ（名前や電話番号など）を利用する。
	プロフィール	自局電話番号またはメールアドレス（☞3-19ページ）を利用する。
	ブックマーク	現在設定しているWebブラウザのブックマークを利用する。
中止		チャットメールの作成や編集を中止する。

※1 カーソルが本文にあるときに表示されるメニューです。
※2 カーソルが宛先欄にあるときに表示されるメニューです。

5 インターネット

ホームページを見る（Internet Explorer Mobile）　5-2

ホームページを見る（Opera Browser）　5-11

ホームページを見る（Internet Explorer Mobile）

Internet Explorer Mobileを使って、ホームページの閲覧ができます。
ホームページを見るためには、インターネット接続の設定が必要です。まだ、設定されていない場合は、下記の「接続の準備」をご覧になり設定してください。
ここでは、Internet Explorer Mobileの基本的な使いかたについて説明します。
あわせてヘルプもご覧ください。

接続の準備

ホームページを見る前、インターネットに接続する準備ができているか確認します。

・オンラインサインアップ（☞2-2〜5ページ）を行います。（オンラインサインアップを行うことで、接続情報が自動的に設定されています）。
・ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは、2-20ページをご覧になり設定を行ってください。

● Internet Explorer Mobileは、パソコンなどで広く使われているWebブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。

ホームページを見る

1 “Internet Explorer”を起動します。

2 アドレスバーにURLを入力し、(移動ボタン)をタップします。

あらかじめ接続設定されている場合は、接続を開始し、入力したURLのホームページに移動します。
接続が完了すると、タイトルバーに が表示されます。

MEMO

- 接続途中で接続を切断するときは、画面左下の 中止 をタップしてから切断してください。
- 「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、 OK をタップしてください。

ご注意！

- 通話中はホームページを見ることはできません。電話を切った後、Internet Explorer Mobileを起動してください。
- ホームページがうまく表示されないときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除してください。
  キャッシュの削除は、画面右下の メニュー － ツール － オプション － メモリ タブから ファイルを削除 をタップします。

3 ネットワークを切断します。

タイトルバーの にタップし、 切断 をタップします。または、PWR HLD キーを押します。

Internet Explorer Mobileの画面について

閲覧しているホームページのURLが表示されます。
また、閲覧したいホームページのURLを入力し、をタップすると、入力したURLのホームページが閲覧できます。

戻る をタップすると直前に表示していたホームページに戻ります。
中止 が表示されているときにタップすると開いているページの表示を中止します。
お気に入り が表示されているときにタップするとお気に入りに登録したリンク先一覧が表示されます。

タップすると、アドレスバーで指定されたURLのホームページへ移動します。

リンク先にタップすると、そのホームページへ移動します。

タップすると、メニューが表示されます（☞5-10ページ）。

MEMO

- ページを画面に表示する方法を変更することができます。
表示方法の変更方法は、画面右下の メニュー ー 表示 をタップして選択します。全画面表示を元にもどすときは、画面をタップしたままにし「全画面表示」のチェックを外します。

ネットワークを切断する

1 タイトルバーの にタップし、切断 をタップします。または、PWR HLD キーを押します。

タイトルバーの が x になります。
PWR HLD キーを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

ご注意！

- 通信中に着信があると通信を切断して着信する設定にしている場合（☞3-30ページ）、通信中に着信（電話がかかってくる）と通信が切断されます。ファイルのダウンロードなどを行っている途中でも通信が切断されますので、通信を切断したくないときは3-30ページをご覧になり、設定を確認したあと、インターネットに接続してください。
- こちらから電話をかけるときは、インターネットから切断した後に電話をかけてください。インターネット接続中、こちらから電話をかけることはできません。

お気に入りを使用する

何度も見たいホームページはお気に入りに登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するとき便利です。
またそのホームページを、起動時に接続するページとして設定することができます(☞5-9ページ)。

お気に入りに追加する

1 **お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **お気に入りに追加 にタップします。**

お気に入りの追加画面が表示されます。

MEMO

- お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面右下の メニュー ― お気に入りに追加 をタップしてもお気に入りの追加画面が表示されます。

3 **名前を確認または変更し、追加 をタップします。**

お気に入りのページを見る

1 **ホームページが表示されている画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから お気に入り をタップします。**

お気に入り画面が表示されます。

MEMO

- ホームページを表示しているときに、画面左下の お気に入り または画面右下の メニュー ― お気に入り をタップしてもお気に入り画面が表示されます。

2 **お気に入り画面の 開く タブをタップし、目的のページをタップします。**

目的のページが表示されます。

お気に入りにフォルダを追加する

1 画面右下の[メニュー]－[お気に入り]－[追加／削除]タブをタップし、[新しいフォルダ]にタップします。

2 名前を確認または変更し、[追加]にタップします。

お気に入りから削除する

1 画面右下の[メニュー]－[お気に入り]－[追加／削除]タブをタップし、削除したいお気に入りのページを選択します。

2 [削除]をタップします。

削除の確認画面が表示されます。

3 [はい]にタップします。

MEMO

- フォルダを削除するときは、削除したいフォルダを選択して、[削除]をタップします。

履歴を使ってホームページを表示する

一度表示したホームページのURLは履歴として残っています。この履歴を利用して、一度開いたホームページをすぐに表示できます。

1 ホームページを表示中に[メニュー]－[履歴]をタップします。

履歴画面が表示されます。

2 履歴画面でページタイトルのリストから表示したいタイトルをタップします。

そのページが表示されます。

MEMO

- 履歴画面で画面左上の[ページタイトル]をタップし表示されたメニューから[アドレス]をタップすると履歴画面のリストがURLに変わります。
- 履歴を削除する方法は、5-9ページをご覧ください。

ホームページの画像を保存する／テキストをコピーする

ホームページの画像を保存したり、テキストをコピーしたりできます。

ご注意！
- Webページの保存はできません。

ホームページの画像を保存する

1 **保存したいホームページの画像をタップしたままにし、ポップアップメニューから［イメージの保存］をタップします。**
ダウンロード画面が表示されます。

2 **［はい］にタップします。**
「My Documents」の下の「My Pictures」フォルダに保存されます。

MEMO
- **「My Pictures」フォルダ以外に画像を保存したいときは**
  1 **ダウンロード画面で［名前を付けて保存］にタップします。**
  ダウンロード先画面が表示されます。
  2 **名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

  3 **［保存］にタップします。**

ホームページのテキストをコピーする

1 **コピーしたいテキストが表示されているホームページの画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから［すべてのテキストを選択］をタップします。**

2 **もう一度ホームページの画面をタップしたままにし、［コピー］をタップします。**

MEMO
- 手順**1**は、画面右下の［メニュー］－［編集］－［すべてのテキストを選択］をタップしても選択できます。
- 手順**2**は、画面右下の［メニュー］－［編集］－［コピー］でもコピーできます。

ファイルをダウンロードして保存する

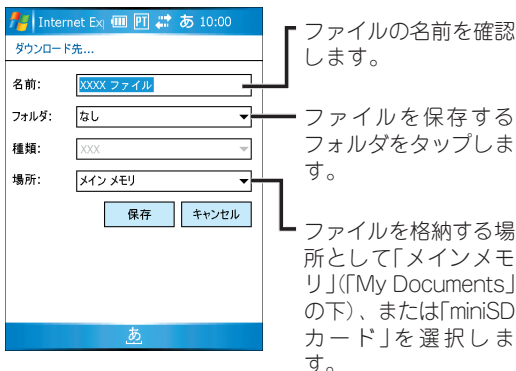
1 保存するファイルが組み込まれているホームページから ダウンロード などをタップして、ファイルをダウンロードします。

2 名前を付けて保存 をタップします。

ダウンロード先画面が表示されます。

MEMO

- はい をタップすると「My Documents」フォルダに保存されます。

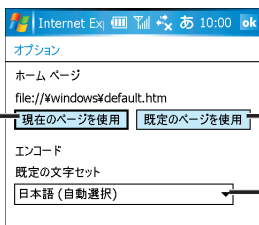
3 名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

4 保存 にタップします。

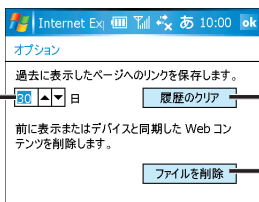
プログラムファイルなどをダウンロードすると、ダウンロード後、インストールが始まることがあります。このようなときは、画面に表示される内容にしたがって操作してください。

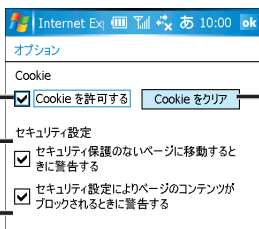
MEMO

- Javaアプリケーション(ゲームなど)をダウンロードして楽しむこともできます。

表示しているページをホームページ(起動時のページ)に設定する

画面右下の メニュー ─ ツール ─ オプション ─ 全般 タブで表示しているページを“Internet Explorer Mobile”を起動したときに最初に表示されるページに設定できます。設定が終わったら ok をタップしてください。

キャッシュや履歴を削除する

画面右下の メニュー ─ ツール ─ オプション ─ メモリ タブでキャッシュの削除や履歴の削除ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

Cookieやセキュリティの設定をする

画面右下の メニュー ─ ツール ─ オプション ─ セキュリティ タブでCookieの設定や消去、セキュリティの設定ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

Internet Explorer Mobileのメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">ホーム</td><td>「ホームページ」として設定されているページに戻る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">お気に入り</td><td>お気に入りに登録したリンク先一覧（お気に入り画面）を表示する。
移動したいリンク先をタップすると、そのホームページへ移動する（☞5-5ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">お気に入りに追加</td><td>表示中のホームページをお気に入りに追加する（☞5-5ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">次へ</td><td>「戻る」でページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進む。</td></tr>
<tr><td colspan="2">最新の情報に更新</td><td>再読み込みを行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">履歴</td><td>過去に表示したリンク先の一覧を表示する。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">表示</td><td>一列に表示する</td><td>画面の幅と同じ幅に合わせて、コンテンツを表示する。</td></tr>
<tr><td>画面に合わせる</td><td>各コンテンツを小さくして、できるだけ画面の横幅におさまるように表示する。</td></tr>
<tr><td>表示調整しない</td><td>パソコンと同じようなレイアウトになる。縦方向と横方向へスクロールして、見えていない部分を表示する。</td></tr>
<tr><td>全画面表示</td><td>表示範囲を全画面にする。元の画面に戻すには、画面をタップしたままにし、「全画面表示」のチェックを外す。</td></tr>
<tr><td>画像を表示する</td><td>画像を表示する。チェックを外すと画像は表示しない。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ズーム</td><td>文字サイズを設定する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ツール</td><td>リンクを送る</td><td>タップすると表示しているホームページのURLを載せた新規メール（Outlook）を作成する。</td></tr>
<tr><td>プロパティ</td><td>表示しているホームページの情報を表示する。</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td>オプション設定画面を表示する（☞前ページ）。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">編集</td><td>切り取り</td><td>文字を切り取る。</td></tr>
<tr><td>コピー</td><td>文字をコピーする。</td></tr>
<tr><td>貼り付け</td><td>コピーおよび切り取った文字を貼り付ける。</td></tr>
<tr><td>すべてのテキストを選択</td><td>すべての文字を選択する。</td></tr>
</table>

ホームページを見る (Opera Browser)

Opera Browserを使って、ホームページの閲覧ができます。
ホームページを見るためには、インターネット接続の設定が必要です。また、設定されていない場合は、下記の「接続の準備」をご覧になり設定してください。

接続の準備
ホームページを見る前、インターネットに接続する準備ができているか確認します。
オンラインサインアップ(☞2-2～5ページ)を行います。(オンラインサインアップを行うことで、接続情報が自動的に設定されています。)
ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは、2-20ページをご覧になり設定を行ってください。

● Opera Browserは、パソコンなどで広く使われているWebブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。

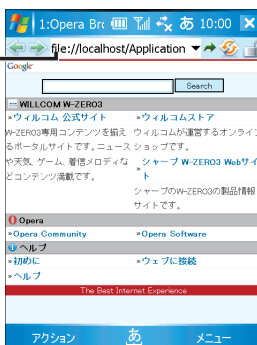
ホームページを見る

1 “Opera Browser”を起動します。

スタート メニューを表示し“Opera Browser”を選択、または、プログラム画面を表示し“Opera Browser”を選択します。
Opera Browserが起動します。

アドレスバー

5 インターネット

Opera Browser

2 アドレスバーにURLを入力し、➡（移動ボタン）をタップします。

あらかじめ最初に表示するページを設定（☞5-19ページ）しているときは、接続を開始し、設定したURLのホームページに移動します。
接続が完了すると、タイトルバーに⇄が表示されます。

MEMO
- 「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、OKをタップしてください。

ご注意！
- 通話中はインターネットに接続してホームページを見ることはできません。電話を切った後、Opera Browserを起動してください。
- ホームページがうまく表示されないときは、Opera Browserのキャッシュを削除してください。
  キャッシュの削除は、画面右下のメニュー—ツール—設定—履歴タブからキャッシュ削除をタップし、確認画面ではいにタップします。

3 ネットワークを切断します。

タイトルバーの⇄をタップし、切断をタップします。または、PWR HLDキーを押します。

Opera Browserの画面について

直前に表示していたホームページに戻ります。

ページを戻したとき戻す直前に表示していたホームページに進む

表示しているホームページを戻したり、ブックマークを表示するメニューが表示されます（☞5-21ページ）。

閲覧しているホームページのURLが表示されます。また、閲覧したいホームページのURLを入力し、➡をタップすると、入力したURLのホームページが閲覧できます。

各種メニューが表示されます（☞5-22ページ）。

MEMO
- 表示しているホームページの文字の最小サイズを設定できます。
  画面右下のメニュー—ツール—設定—一般設定タブで、「最小フォントサイズ」欄▼をタップし、表示されたメニューからサイズを選択します。

ネットワークを切断する

1 タイトルバーの[icon]をタップし、切断をタップします。または、[PWR/HLD]キーを押します。

タイトルバーの[icon]が[icon]になります。

[PWR/HLD]キーを押した場合は、Today画面(待ち受け画面)に戻ります。

ご注意!

- 通信中(パケット方式)に着信があると通信を切断して着信する設定にしている場合(☞3-30ページ)、通信中(パケット方式)に着信(電話がかかってくる)と通信が切断されます。ファイルのダウンロードなどを行っている途中でも通信が切断されますので、通信を切断したくないときは3-30ページをご覧になり、設定を確認したあと、インターネットに接続してください。
- こちらから電話をかけるときは、インターネットから切断した後に電話をかけてください。インターネット接続中、こちらから電話をかけることはできません。

ホームページの表示を切り替える

ホームページを拡大/縮小表示したり、画面幅に合わせたり、フルスクリーンで表示する設定をします。

ホームページを拡大/縮小して表示する

表示しているホームページを拡大または、縮小して表示します。

1 ホームページ表示中、画面右下のメニュー-ディスプレイ-拡大・縮小を選択し、表示されたメニューから拡大/縮小率を選びます。

選択した比率でホームページが表示されます。

ホームページを画面幅に合わせて表示/画面幅をこえて表示する

表示しているホームページを画面幅に合わせて表示したり、合わせないで表示します。

1 ホームページ表示中、画面右下のメニュー-ディスプレイ-画面幅で表示を選択します。

この製品の画面幅に収まるようにホームページを表示します。

2 画面右下のメニュー-ディスプレイ-PCモードを選択します。

ホームページの設定どおりにページを表示します。

フルスクリーンでホームページを表示する

画面からタイトルバーなどを消して、フルスクリーンでホームページを表示します。

1 **ホームページを表示している状態で、画面右下の メニュー － ディスプレイ － フルスクリーン表示 を選択します。**

ホームページがフルスクリーンで表示されます。

2 **画面をタップしたままにして表示されるメニューから フルスクリーン表示 を選択します。**

元の画面に戻ります。

MEMO

- 手順**1**で、画面をタップしたままにして表示されるメニューから フルスクリーン表示 を選択してもフルスクリーンに切り替わります。

ホームページの画像を表示する／表示しない

ホームページを表示するとき、そのページ内の画像を表示しないようにできます。画像を表示しないようにするとホームページを表示するまでの時間が短くなります。

1 **画面右下の メニュー － ディスプレイ － 画像を表示 をタップします。**

画像を表示 の左側のチェックが外れ、画像が表示されなくなります。

2 **ホームページを表示すると、画像がないホームページが表示されます。**

MEMO

- **画像を表示するときは**

  再度、画面右下の メニュー － ディスプレイ － 画像を表示 をタップします。

  画像を表示 の左側にチェックが付き、ホームページ内の画像を表示するようになります。

複数のホームページを表示してページを切り替える

表示しているページとは別のページを表示し、複数のホームページを簡単に切り替えることができます。

1 **ホームページ表示中、画面右下の［メニュー］－［タブ操作］－［新しいタブ］を選択します。**

2 **アドレスバーにURLを入力し➡をタップします。または、画面左下の［アクション］－［ブックマーク／履歴］にタップし、さらに［ブックマーク］または［履歴］をタップし表示されたリストの名称をタップします。**

目的のホームページが表示されます。

ホームページの名称が表示され、タップするとそのホームページに切り替わります。

3 **画面上のホームページ名称をタップしてホームページを切り替えます。**

画面右下の［メニュー］－［タブ操作］－［次のタブ］をタップしても次のホームページに切り替えることができます。

MEMO

- **表示しているホームページを閉じるときは**
  画面右下の［メニュー］－［タブ操作］－［タブを閉じる］を選択します。

ブックマークを使用する

何度も見たいホームページはブックマークとして登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するときに便利です。

ブックマークに追加する

1 **ブックマークに追加したいホームページを表示しているときに、画面左下の アクション － ページをブックマークに追加 を選択します。**

2 **表示された画面で、ホームページの名前とアドレスを確認し、ok をタップします。**

フォルダを指定するときは、フォルダ欄の◀▶をタップしてフォルダ名を表示します。フォルダの作成については次ページをご覧ください。

ブックマークに追加されます。

ブックマークのページを表示する

1 **ホームページを表示しているときに、画面左下の アクション － ブックマーク／履歴 を選択します。**

- ホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにして表示されるメニューから ブックマーク／履歴 を選択して表示することもできます。

2 **ブックマーク にタップします。**

ブックマークに登録しているホームページの名前やフォルダがリスト表示されます。

MEMO

- **ブックマーク／履歴画面を消してホームページ表示画面に戻るには**、画面右下の キャンセル をタップします。
- 手順**2**で 履歴 にタップすると履歴のリストが表示されます。
- **1つ上の状態に戻るとき（1つ上の階層に戻るとき）**は、ok をタップするか 📁 をタップします。
- 履歴を削除するときは、5-19ページをご覧になり削除してください。

3 フォルダを開くなどしてリストから目的のホームページの名前をタップします。

目的のホームページが表示されます。

ブックマークを編集する

追加したブックマークを編集したり、関係しているホームページを１つのフォルダにまとめることができます。

■フォルダを作成し、フォルダにブックマークを移動してまとめる

1 画面右下の［メニュー］－［ツール］－［ブックマークの編集］を選択します。

ブックマーク編集画面を表示します。

2 ブックマーク編集画面で画面右下の［メニュー］－［フォルダ作成］を選択します。

3 表示された画面で、名前の項目にフォルダ名を入力し、ok をタップします。

ブックマーク編集画面に戻り、入力した名前のフォルダが表示されます。

4 フォルダにブックマークを移動してまとめます。

目的のブックマークを選択して画面右下の［メニュー］－［編集］にタップします。

5 フォルダ欄の◀▶にタップして作成したフォルダ名を表示し ok にタップします。

ブックマークがフォルダに入ります。

- ブックマークに登録したいホームページをフォルダに入れるときは
  1. ブックマークに登録したいホームページを表示している時に画面左下の［アクション］－［ページをブックマークに追加］にタップします。
  2. フォルダ欄の◀▶にタップしてフォルダ名を表示し ok をタップします。

■ブックマーク編集画面を閉じる

1 ブックマーク編集画面で画面右下の［メニュー］－［閉じる］を選択します。

ブックマーク編集画面が閉じ、前の画面に戻ります。

■ブックマークを新規作成する

1 ブックマーク編集画面を表示します。

2 画面右下の[メニュー]－[新規作成]を選択します。

3 表示された画面で名前とホームページアドレス(URL)を入力して、ブックマークを保存するフォルダを選択して、ok にタップします。

■ブックマークを編集／削除する

1 ブックマーク編集画面を表示します。

2 編集または、削除するブックマークを選択し、画面右下の[メニュー]－[編集]または[削除]を選択します。

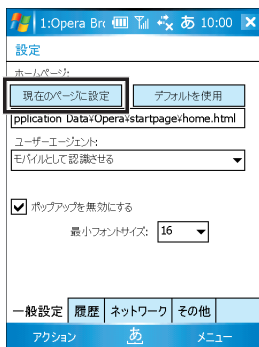
3
- 編集を選択したときは、表示された画面で名前、ホームページアドレス(URL)を修正して ok にタップします。
  ブックマークが編集されます。
- 削除を選択したときは、表示された確認画面で[はい]を選択します。
  ブックマークが削除されます。

ファイルをダウンロードして保存する

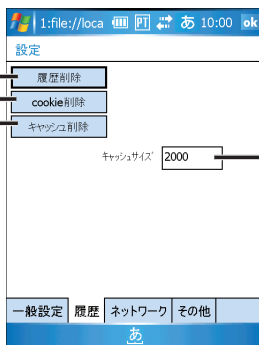
1 保存するファイルが組み込まれているホームページから[ダウンロード]などをタップして、ファイルをダウンロードします。
画面に表示される内容にしたがって操作します。

2 表示された保存画面で名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択し、[保存]にタップします。
ファイルのダウンロード画面が表示されダウンロードが始まります。
この製品で動作するソフトウェアの場合、インストール方法などは、ホームページに掲載されている説明をご覧ください。

表示しているページをホームページ(起動時のページ)に設定する

“Opera Browser”を起動したときに最初に表示されるページを設定します。起動時に表示するホームページを表示した状態で、画面右下の メニュー ー ツール ー 設定 ー 一般設定 タブで、 現在のページに設定 をタップします。設定が終わったら ok にタップします。

●ご購入時の設定に戻すときは、 デフォルトを使用 をタップします。

キャッシュ／cookie／履歴を削除する

画面右下の メニュー ー ツール ー 設定 ー 履歴 タブで、 キャッシュ削除 、 cookie削除 、 履歴削除 のいずれかをタップします。

Opera Browserを通常使うブラウザに設定する

通常使うブラウザとして“Internet Explorer Mobile”から“Opera Browser”に変更します。

1 **画面右下の メニュー ー ツール ー 設定 ー その他 タブで「Operaを標準ブラウザに設定」のチェックを付けます。**

ポップアップを無効にする

1 **画面右下の メニュー ー ツール ー 設定 ー 一般設定 タブで「ポップアップを無効にする」のチェックを付けます。**

プロキシサーバーやセキュリティプロトコルを設定する

1 **画面右下の メニュー ー ツール ー 設定 ー ネットワーク タブでプロキシサーバーやセキュリティプロトコルの設定を行います。**

- **プロキシサーバーを設定するときは**
  「HTTP」や「HTTPS」にチェックを付けサーバーを入力します。
- **セキュリティプロトコルを設定するときは**
  「SSL2を有効にする」などにチェックを付けます。

JavaScript/アニメーションGIF/プラグインを有効にする

1 **画面右下の メニュー ー ツール ー 設定 ー その他 タブで、「JavaScript」、「アニメーションの表示」、「プラグインを有効にする」のチェックを付けます。**

・「JavaScript」を有効すると、ホームページに埋め込まれているJavaScriptを認識し表示します。
・「アニメーション」を有効にすると、アニメーションGIFを表示します。
・「プラグイン」を有効にすると、Opera Browserに追加されているプラグインを実行できます。

Opera Browserのメニュー

■アクション

ブックマーク／履歴	直接URLを入力してホームページを表示したり、ブックマークや履歴からホームページを表示する（☞5-16ページ）。
ページをブックマークに追加	開いているホームページをブックマークに追加する（☞5-16ページ）。
中止	開いている途中のホームページの読み込みを中止する。
戻る	直前に表示していたホームページに戻る。
進む	次のホームページを表示する。戻る でページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進む。
更新	再読み込みを行う。
最上部に移動	表示しているホームページの先頭を表示する。

■メニュー

タブ操作	**新しいタブ**	新しい（別の）ホームページを開く（☞5-15ページ）。
	次のタブ	ホームページを複数表示しているとき、次の画面（ホームページ）を表示する（☞5-15ページ）。
	タブを閉じる	表示している画面を閉じる（☞5-15ページ）。
	タブ一覧	開いている画面のホームページ名をリスト表示する。リストから表示したいホームページの名前を選択し画面左下の OK にタップして、選択したホームページを表示する。
ディスプレイ	**拡大・縮小**	ホームページを拡大／縮小して表示する（☞5-13ページ）。
	フルスクリーン表示	ホームページをフルスクリーンで表示する。元の画面に戻すには、画面にタップしたままにして表示されたメニューから フルスクリーン表示 をタップする（☞5-14ページ）。
	画像を表示	表示するホームページにある画像ファイルを表示するかどうかを設定する。チェックが付いているときは、画像を読み込み表示する。チェックを外した（画像を読み込まない設定にした）方が、早くホームページを表示できる（☞5-14ページ）。
	PCモード	表示するホームページをホームページの設定どおりに表示する（☞5-13ページ）。
	画面幅で表示	表示するホームページを画面の横幅に合わせてホームページを表示する（☞5-13ページ）。
	エンコード	表示するホームページに合った言語を選択する。
	縦横切り替え	横表示でホームページをするかどうかを設定する。チェックが付いているときは、横表示でホームページを表示する。
ツール	**ブックマークの編集**	登録しているブックマークを編集する（☞5-17ページ）。
	ダウンロード履歴	ファイルなどをダウンロードした場合、その履歴を表示する。
	設定	起動時に表示するホームページの設定やキャッシュ／cookie／履歴の削除やJavaScript／アニメーション表示の設定などを行う（☞5-19〜20ページ）。
	ページ情報を表示	表示しているホームページのURLなどを表示する。
	ヘルプ	ヘルプを表示する。
	Operaについて	Opera Browserの著作権などの情報を表示する。
終了		Opera Browserを終了する。

6 PIM機能

予定表 6-2

連絡先 6-18

仕事 6-28

メモ 6-39

予定表

スケジュールを管理します。

・月間表示や週間表示、1日表示、詳細画面などから、スケジュールを多角的に確認できます。
・大切な予定を忘れないようにアラームを通知できます。
・その日の予定はToday画面で確認できます。
・毎週や毎月など決まった間隔で入る予定は、定期的な予定として簡単に入力できます。

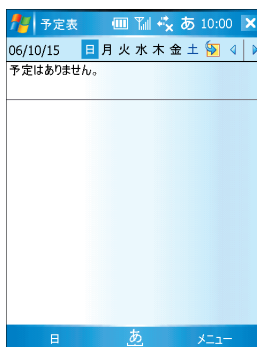
予定表の使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

● パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使って予定表のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

予定を入れる(新規作成)

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

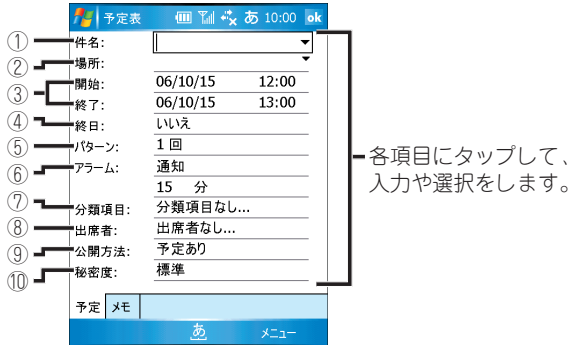
2 **プログラム画面で“予定表”にタップします。**

予定一覧画面などが表示されます。

3 画面右下の メニュー － 新しい予定 にタップします。

予定の新規入力画面が表示されます。

4 各項目にタップして、件名、場所、開始／終了時刻などを入力／選択します。

---

① **件名**

直接入力するか、▼にタップして一覧から選びます。

---

② **場所**

タップして直接入力します。または▼にタップすると、過去に入力した場所が一覧で表示されるので、その中から選びます。

---

③ **開始／終了**

「開始」と「終了」の日付と時刻を設定します。

・日付：日付にタップして表示されるカレンダーから日を選びます。

・時刻：時刻にタップして直接編集するか、▼にタップして選びます。

---

④ **終日**

終日の予定（開始時刻や終了時刻を設定しない予定）か、開始／終了時刻がある予定かを設定します。

・「はい」　：その予定は終日になり、開始と終了の時刻が非表示になります。

・「いいえ」：開始／終了時刻を設定できます。

---

⑤ **パターン**

入力中の予定を1回だけとするのか、または毎週や毎月など定期的な予定にするのかを設定します。

「1回」にすると、設定日だけの予定となります。

予定の間隔（パターン）を編集するときは、「<パターンの編集>」にタップします（☞6-10ページ）。

---

⑥ **アラーム**
アラームの設定をします。
・「通知」　：アラームが通知されます。
・「なし」　：アラームは通知されません。
「通知」にしたときは、「15」と「分」にタップし予定の何分／何時間前などにアラームを通知するかを設定します。

アラーム音を鳴らないようにするには：
1 **スタート メニューの“設定”－“音と通知”－ 通知 タブにタップします。**
2 **「イベント」欄で「アラーム」を選択します。**
3 **「音を鳴らす」のチェックを外し、okにタップします。**

⑦ **分類項目**
入力中の予定に「会社関係（取引先）」などの分類項目を設定して、グループ化します。分類項目を設定しておくと、必要な予定をすばやく検索（フィルタ）できます（☞1-31ページ）。

⑧ **出席者**
メールアドレスが登録されている連絡先のリストが表示されます。
入力した予定を選択した連絡先へ送信できます。

⑨ **公開方法**
予定を公開するときの表示を選びます。
ActiveSyncを使ってパソコンと同期し、パソコン上でワークグループ内の予定表を共有するときに利用します。

⑩ **秘密度**
「標準」、「個人」、「プライベート」、「社外秘」から選びます。

● 予定にメモを追加したいときは、 メモ タブにタップして入力します。

入力が終わったら、okにタップします。

予定を確認する

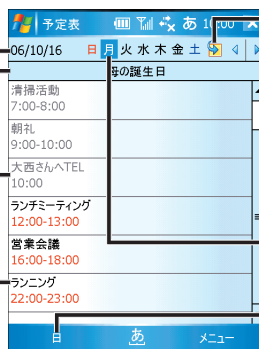
入力した予定は、月間表示、週間表示、1日表示などから多角的に確認できます。
予定表には、次の表示画面があります。

・予定一覧表示 ：1日の予定を一覧で表示します（☞下記）。
・１日（日）表示：1日の予定をタイムテーブルで表示します（☞6-6ページ）。
・週間（週）表示 ：1週間分の予定をグラフで表示します（☞6-7ページ）。
・月間（月）表示 ：1ヶ月分の予定をカレンダー上にマークで表示します（☞6-8ページ）。
・年間（年）表示 ：1年分のカレンダーを表示します（☞6-8ページ）。

1 **スタート メニューの “予定表”にタップします。**

消していないアラーム通知画面（☞1-31ページ）があるとき、Today画面左下に アラーム と表示されます。

2 **画面右下の メニュー － 表示 － 予定一覧 ／ 日 ／ 週 ／ 月 ／ 年 にタップして、表示を切り替えます。**

◇ 予定一覧表示 ◇

◇ 1日(日)表示 ◇

- 1日表示では、スタイラスペンを使って予定を異なる時間帯へ移動できます。

  1 予定の前にある青いバーをタップして、予定を選択します。

  2 予定の前にある青いバーをタップしたままにして、ポップアップメニューが表示される前に変更したい時間帯へ移動します。

- 時間帯をなぞってから、タップしたままにして、ポップアップメニューから 新しい予定 にタップすると、開始／終了時刻が自動的に入った新規入力画面が表示されます。

◇ 週間(週)表示 ◇

週間予定がグラフで表示されます。

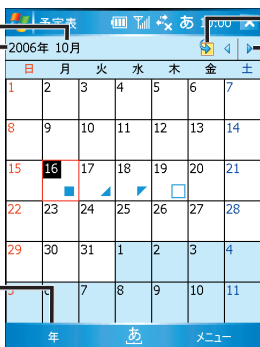
MEMO

- 週間予定の表示形式は、画面右下の メニュー ー オプション から変更できます(☞6-13ページ)。
- 予定を入力したい日の時間帯をなぞってから、タップしたままにして、ポップアップメニューから 新しい予定 にタップすると、開始／終了時刻が自動的に入った新規入力画面が表示されます。

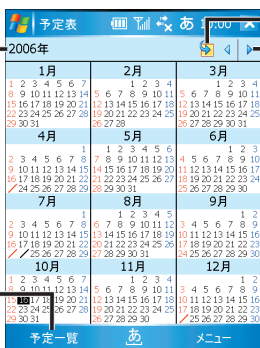
6 PIM機能

予定表

◇ 月間（月）表示 ◇

日付にタップすると、当日の1日表示画面になります。

- ◤：午前に予定が入っていることを示します。
- ◢：午後に予定が入っていることを示します。
- ■：午前／午後の両方に予定が入っていることを示します。
- □：終日の予定が入っていることを示します。

◇ 年間（年）表示 ◇

日付にタップすると1日表示、月にタップすると月間表示になります。

3 1件ごとの予定を確認したいときは、予定一覧表示や1日表示などで予定にタップします。

予定の詳細が表示されます。

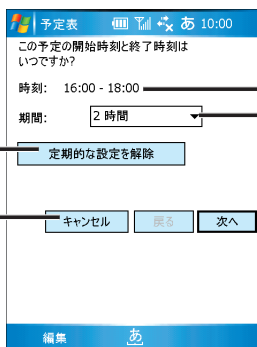
定期的な予定を入れる(パターンの編集)

予定の間隔(パターン)を編集して、定期的な予定を簡単に入れられます。
予定の入力については、6-2ページをご覧ください。

1 **予定の入力画面で「パターン」欄(☞6-3ページ)にタップし、表示されたメニューから ＜パターンの編集＞ にタップします。**

パターンの編集画面が表示されます。

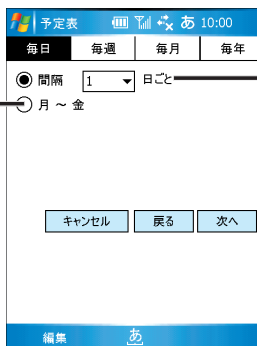
2 **開始/終了時刻を設定し、 次へ にタップします。**

タップすると、繰り返す予定の入力がキャンセルされ、入力画面に戻ります。
定期的な設定を解除:
「パターン」は「1回」になります。
キャンセル:
「パターン」はこの画面を表示する前の状態に戻ります。

数字にタップすると、開始と終了時刻を設定する時計画面が表示されます。時刻を設定して ok にタップするとこの画面に戻ります。

終了時刻だけを変更するときは、期間の▼にタップまたは直接入力して、開始時刻から終了時刻までの時間を設定します。

3 **画面上部にある 毎日 や 毎週 などにタップして、表示された画面で予定の間隔を設定します。**

◇ 毎 日 ◇

月曜日から金曜日の毎日に設定するときに選択します。

何日ごとなど、決まった日数間隔の予定は、「間隔」にタップして日数を設定します。
▼にタップして日数を選択、または枠内に直接入力します。
「1日ごと」にすると毎日の予定になります。

◇ 毎 週 ◇

予定をいれる曜日にタップして選択します（複数選択できます）。
何週ごとにするのか、▼にタップして選択、または枠内に直接入力します。
「1週ごと」にすると、毎週の予定になります。
予定表
毎日
毎週
毎月
毎年
間隔
週ごと
日
月
火
水
木
金
土
キャンセル
戻る
次へ
編集

◇ 毎 月 ◇

月の決まった日の予定は「日」を選択します。▼にタップして選択または枠に直接入力します。
「1か月ごと」にすると、毎月の予定になります。
月の決まった曜日の予定は「曜日」を選択します。
▼にタップして何週目の何曜日などを選択します。
予定表
毎日
毎週
毎月
毎年
日
か月ごとの
曜日
第 3
月曜日
キャンセル
戻る
次へ
編集

◇ 毎 年 ◇

毎年決まった月日の予定は「日付」にタップして日を設定します。
母の日など、月と曜日が決まっている予定は「曜日」を選択します。
▼にタップして月と曜日などを選択します。
予定表
毎日
毎週
毎月
毎年
日付
10月
16
曜日
第 3
月曜日
キャンセル
戻る
次へ
編集

4 次へ にタップします。

「定期的なパターンの開始日と終了日の設定」画面が表示されます。

5 開始日と終了条件を設定します。

6 終了 にタップします。

予定の入力画面に戻ります。
件名など、その他の必要な項目を入力して ok にタップすると、設定した定期的な予定が入力されます。

● 定期的な予定をすべて修正するとき

1 予定一覧画面などで、定期的な予定をタップして詳細画面を表示します。
2 画面左下の 編集 にタップし、確認画面で いいえ にタップします。
3 予定の編集をし、ok にタップします。

● 定期的な予定をすべて削除するとき

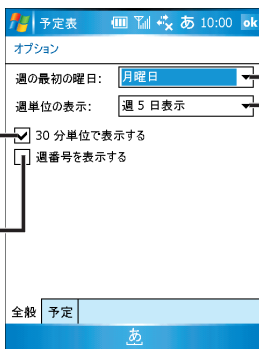
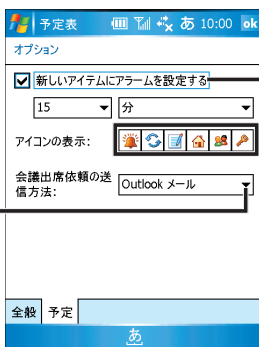
1 予定一覧画面などで、定期的な予定のひとつをタップしたままにして、ポップアップメニューから 予定の削除 を選択します。
2 確認画面で はい にタップします。

表示形式を設定する

週の始まりを月曜日にしたり、時間帯の表示を30分単位にするなど、画面の表示形式を変更できます。

予定の各表示画面で、画面右下の メニュー ー オプション にタップします。

オプション画面が表示されます。

◇ 全般 タブ ◇

◇ 予定 タブ ◇

入力した予定を変更する／削除する

予定を変更する

1 **予定一覧画面などで、変更したい予定にタップします。**
予定の詳細が表示されます。

2 **画面左下の［編集］にタップします。**

MEMO
- 予定のメモを変更したいときは、［メモ］タブにタップして変更します。
- 定期的な(パターンを設定した)予定のときは、確認画面が表示されます。選択した予定だけを変更するときは［はい］、定期的な予定をすべて変更するときは［いいえ］にタップしてください。

3 **変更が終わったら、ok にタップします。**

予定を削除する

1 **予定一覧画面などで、削除する予定をタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから［予定の削除］にタップします。**

3 **確認画面で［はい］にタップします。**

MEMO
- 次の方法でも削除できます。
  - ・一覧画面で削除したい予定を選択し、画面右下の［メニュー］―［予定の削除］をタップします。
  - ・削除したい予定の詳細画面で、画面右下の［メニュー］―［削除］をタップします。
- 定期的な(パターンを設定した)予定のときは、確認画面が表示されます。定期的な予定をすべて削除するときは［はい］、選択した予定だけを削除するときは［いいえ］にタップします。

会議出席依頼をメールで送信する

この機能は“メール”のみ利用できます。“W-ZERO3メール”では利用できません。

Microsoft OutlookやMicrosoft Outlook Mobileのユーザーへ会議出席依頼を送信される場合は、パソコンと同期して送信しますので、表示形式を設定するの予定タブ(☞6-13ページ)をご覧になり会議出席依頼の送信方法をOutlookに設定しておいてください。

また、プロバイダーのメールを使って送信される場合もそれぞれ送信されるアカウントに設定しておいてください。

1 会議出席依頼を送信するためには、出席者のメールアドレスをプログラムの「連絡先」へ登録しておく必要があります。まだの方は登録しておいてください。

2 予定一覧画面などから会議出席依頼を送信する予定をタップし、画面左下の編集にタップします。

3 「出席者」にタップします。

メールアドレスが登録されている連絡先のリストが表示されます。

4 リストから会議の出席依頼を送信する相手にタップします。

MEMO

- 出席者を追加するときは、画面左下の追加をタップします。
- 追加した送信先を削除するときは、削除する送信先にタップしてから画面右下の削除をタップします。
- 新しい(連絡先に登録していない)出席者を追加するときは、画面左下の追加にタップしてから、画面右下のメニュー－新しい連絡先にタップします。

5 okにタップします。

予定の編集画面に、「出席者」欄に追加した送信先が表示されます。

6 okにタップします。

7 確認画面ではいにタップします。

会議の出席依頼が自動的に作成され、メールの「送信トレイ」フォルダに保存されます。

Microsoft OutlookやMicrosoft Outlook Mobileのユーザーへ会議出席依頼を送信される場合

パソコンとの連携(☞8-2ページ)をご覧になり、ActiveSyncでメールを同期します。

プロバイダーのメールを使って送信される場合

メール(☞4-35ページ)をご覧になり、送受信をタップして送信します。

祝日を設定する

ActiveSyncを使ってパソコン側のMicrosoft Outlookと同期することによって、予定表に祝日を設定できます。

1 パソコン側のMicrosoft Outlookに祝日を追加します。

祝日の追加については、パソコンのMicrosoft Outlookにあるヘルプをご覧ください。

2 ActiveSyncで予定表を同期します。

予定表に祝日が追加されます。

- パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。
- ActiveSyncを使ってパソコンと同期するときは、あらかじめ同期する項目や期間の設定をご確認ください。

一覧画面のメニュー

新しい予定		新規作成画面を開く。
予定の削除		選択している予定を完全に削除する。
表示	予定一覧	予定一覧画面を表示する。
	日	日単位で予定を表示する。
	週	週単位で予定を表示する。
	月	月単位で予定を表示する。
	年	年単位で表示する。
編集	切り取り	選択した予定データを切り取る。
	コピー	選択した予定データをコピーする。
	貼り付け	クリップボードにあるデータを、予定表に貼り付ける。
オプション		全般タブ：カレンダーの表示形式を設定する。 予定タブ： ・「新しいアイテムにアラームを設定する」にチェックがあるときは、設定した時間のアラームが新規作成画面で自動的に入力される。 ・「アイコンの表示」でアイコンをタップして設定すると、予定に設定した内容に沿って、それぞれのアイコンが一覧画面などに表示される（アイコンをタップしたままにすると、その名前が表示される）。 ・「会議出席依頼の送信方法」は、会議出席依頼を送信する方法を選択する。
フィルタ※	すべての予定	すべての予定を予定一覧画面に表示する。
	分類項目なし	分類項目を「分類項目なし」で作成した予定を、予定一覧画面に表示する。

※フィルタのメニューには、予定で設定した分類項目が表示されます。

- 予定をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。
- Today画面で予定を表示しているときは、近い将来の予定が表示されます。

連絡先

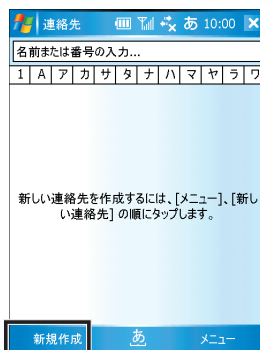
住所や電話番号、メールアドレスなどを管理します。電話をかけたり、メールを送るときに使うと便利です。
連絡先の使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

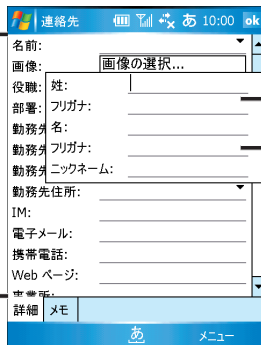
- パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使って連絡先のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。
- 連絡先に登録しているデータを使って電話の個別着信音の設定ができます（☞3-29ページ）。

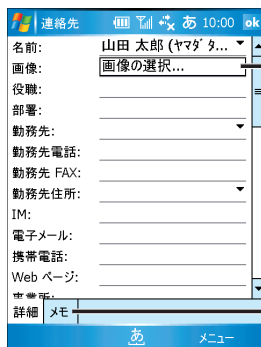
連絡先を登録する（新規作成）

1 **Today画面右下の［連絡先］、または［スタート］メニューの“連絡先”にタップします。**

連絡先の一覧画面が表示されます。

2 **画面左下の［新規作成］にタップします。**

名前の入力画面が表示されます。

- 画面右下の［メニュー］－［新しい連絡先］をタップしても、新規入力画面が表示されます。

3 名前から入力します。

4 入力したい項目にタップし、その他の情報を入力していきます。

- 「名前」、「勤務先」、「勤務先住所」、「自宅住所」、「その他の住所」は、項目にタップすると入力画面がポップアップ表示されます。
- 設定した画像は、連絡先の概要で表示されます（☞次ページ）。
- 「分類項目」を設定しておくと、設定した分類項目を含む連絡先だけをフィルタ表示できます（☞1-31ページ）。

5 入力が終わったら、okにタップします。

入力した連絡先が追加されます。

MEMO

- 電話番号入力欄に電話番号と「P」（アルファベットのP、全角半角／大文字小文字いずれも可）を入力すると、3-12ページで説明している「発信中、ポーズを使う」ができます。
  たとえば、電話番号に03XXXXXXXXP12XXと入力し保存したのち、「連絡先から電話をかける」（☞6-23ページ）を行うと、Pの前の「03XXXXXXXX」までを発信して止まります。［通話］キーを押すと、残りの「12XX」を発信します。

連絡先を表示する

1 Today画面右下の 連絡先 にタップします。

連絡先の一覧画面が表示されます。
一覧画面には、名前のほかに、電話番号やメールアドレスがひとつ表示されます。

検索したい「姓」または「名」のフリガナや電話番号を入力すると、一覧画面に表示されている連絡先を検索して表示します。
検索結果の画面でにタップすると一覧画面に戻ります。
※フリガナは、ひらがなでもカタカナでも検索できます。

一覧に表示されている連絡先の項目が1文字で表示されます。「社」(勤務先電話)、「家」(自宅電話)、「携」(携帯電話)、「P」(PHS)、「E」(電子メール)などです。

タップすると、連絡先の概要(詳細)が表示されます。

- ひとつの連絡先に、複数の電話番号やメールアドレスを設定しているときは、一覧に表示する内容を選べます(☞次ページ)。
- 電話番号の検索対象は一覧画面に表示されている番号だけになります。

2 詳細を表示したい連絡先にタップします。

タップした連絡先の概要が表示されます。

連絡先などをタップすると編集画面が表示されます。

設定した画像が表示されます。

メモを確認するときは メモ タブをタップします。

- 一覧に表示する項目にメールアドレスが選択(反転)されているときは画面左下に 電子メール が表示されます。

3 確認が終わったら、ok にタップします。

一覧画面に戻ります。

一覧に表示する電話番号やメールアドレスを変更する

ひとつの連絡先に複数の電話番号やメールアドレスを入力しているときは、一覧画面に表示する項目を変更できます。

1 **一覧画面で(カーソル)キーの上や下を押して、表示項目を変更したい連絡先を反転させます。**

2 **(カーソル)キーの左や右を押して、目的の項目を表示させます。**

MEMO

● 携帯電話の番号を入力するとSMSも自動的に表示されますが、この製品はSMSに対応しておりません。

特定した会社の連絡先を一覧表示する

名前順で表示されている連絡先を、勤務先別に一覧表示できます。

1 **一覧画面で画面右下の[メニュー]－[表示方法]－[勤務先]にタップします。**

勤務先別に一覧表示されます。

● 名前順に戻すときは、画面右下の[メニュー]－[表示方法]－[名前]にタップします。

一覧画面の表示設定を変更する

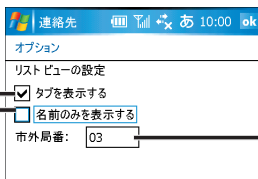
一覧画面に表示されている50音タブを非表示にしたり、名前だけの表示にしたりできます。

1 **一覧画面で画面右下の[メニュー]－[オプション]にタップします。**

オプション設定画面が表示されます。

チェックを外すと、一覧画面で50音タブが非表示になります。

チェックをつけると、一覧画面には名前だけが表示されます。

連絡先 10:00 ok
オプション
リスト ビューの設定
タブを表示する
名前のみを表示する
市外局番: 03

設定した番号が、市外局番として入力画面で自動的に入力されます。

2 **設定が終わったら、okにタップします。**

設定が反映された一覧画面が表示されます。

連絡先に写真をつける／削除する

連絡先ごとに写真や画像を設定できます。画像を登録した相手から電話がかかってきたときに着信画面に画像を表示します。
設定する写真などは保存している画像から選ぶか、その場で内蔵のカメラを使って撮影します。

写真や画像をつける

1　入力画面で「画像」欄にタップします。

画像の選択画面で「マイ ピクチャ」フォルダに保存されている画像が表示されます。

2　設定したい画像にタップします。

画像が設定され、入力画面の「画像」欄に「画像の変更」と表示されます。

3　okにタップします。

カメラで撮った写真をつける

1　入力画面で「画像」欄にタップします。

2　画像の選択画面で カメラ にタップします。

カメラが起動し画像が画面に表示されます。

3　（アクション）キーを押して撮影します。

しばらくすると撮影した画像が画面に表示されます。

4　画面左下の 選択 にタップします。

画像が設定され、入力画面の「画像」欄に「画像の変更」と表示されます。
撮影しなおすときは画面右下の 再試行 にタップします。

5 ok にタップします。

MEMO
- 撮影した画像は「マイピクチャ」フォルダに保存されます。
- 撮影の方法について、詳しくは「静止画(画像)を撮影する」(☞7-4ページ)をご覧ください。

設定した写真や画像を削除する

1 **一覧画面で、写真や画像を削除したい連絡先にタップします。**
連絡先の概要が表示されます。

2 **画像にタップします。**
連絡先の編集画面が表示されます。

3 **画面右下の［メニュー］－［画像の削除］にタップします。**

4 **確認画面で［はい］にタップします。**

5 ok にタップします。

MEMO
- 上記手順では連絡先に設定した画像を削除しますが、実際の画像は削除されません。

連絡先から電話をかける

1 **一覧画面のとき：電話をかけたい連絡先をタップしたままにして、［電話をかける］にタップします。**
詳細画面のとき：画面右下の［メニュー］－［電話をかける］にタップします。
電話番号を選択する画面が表示されます。

MEMO
- 一覧画面／詳細画面で［通話］キーを押しても電話番号を選択する画面が表示されます。
- 一覧画面で電話をかけたい連絡先を選択し、画面右下の［メニュー］－［電話をかける］にタップしても、電話番号を選択する画面が表示されます。

6
PIM機能
連絡先

2 **電話をかける番号にタップまたは（カーソル）キーで電話番号を選択し［電話］キーを押し、確認画面で［はい］にタップします。**

発信画面で電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

連絡先からメールを作成する

この機能は“メール”のみ利用できます。“W-ZERO3メール”では利用できません。

1 **一覧画面でメールを送りたい連絡先をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **［電子メールの送信］または［ライトメール作成］にタップします。**

3 **メールのとき　　　　：アカウントの選択画面が表示されたときは、送るメールのアカウントを選択します。**
ライトメールのとき：電話番号選択画面でライトメールの送信先を選択します。

連絡先のメールアドレス／電話番号が入った、メールやライトメール作成画面が表示されます。

4 **メッセージなどを入力したら［ok］にタップします。**

5 **確認画面で［はい］にタップします。**

作成したメールが、“メール”または“ライトメール”の下書き（フォルダ）に保存されます。

MEMO

- メールについてくわしくは4-32ページ、ライトメールについてくわしくは4-60ページをご覧ください。
- 手順**1**で詳細画面を表示し、［メニュー］－［ライトメール作成］をタップしてもライトメールの作成ができます。

ご注意！

- ライトメールに対応していない電話機へライトメールを送信したときは、相手に電話がかかります。

連絡先を修正／削除する

連絡先を修正する

1 **一覧画面で、修正する連絡先にタップします。**

連絡先の概要が表示されます。

2 **修正したい連絡先の項目（電話番号や住所など）にタップして修正します。**

3 **okにタップします。**

MEMO

● 手順**2**で画面右下の［メニュー］－［編集］にタップしても修正できます。

連絡先を削除する

1 **一覧画面で、削除する連絡先をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **［連絡先の削除］にタップします。**

3 **確認画面で［はい］にタップします。**

MEMO

● 次の方法でも削除できます。

・一覧画面で削除したい連絡先を選択し、画面右下の［メニュー］－［連絡先の削除］にタップします。

・削除したい連絡先の概要画面で、画面右下の［メニュー］－［削除］にタップします。

連絡先のメニュー

一覧画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">新しい連絡先</td><td>新規作成画面を開く。</td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先のコピー</td><td>選択している連絡先をコピーして追加する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先の削除</td><td>選択している連絡先を削除する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td>・「タブを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面で50音のタブが表示される。
・「名前のみを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に名前だけが表示される。
・「市外局番」に設定した番号が、市外局番として入力画面で自動的に入力される。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表示方法</td><td>名前</td><td>名前順に表示する。</td></tr>
<tr><td>勤務先</td><td>会社ごとに表示する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">フィルタ※</td><td>すべての連絡先</td><td>すべての連絡先を表示する。</td></tr>
<tr><td>最近表示したアイテム</td><td>最近表示した連絡先を表示する。</td></tr>
<tr><td>分類項目なし</td><td>分類項目を設定していない（分類項目なしの）連絡先を表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ライトメール作成</td><td>ライトメール送信先の電話番号を選択してメールを作成する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話をかける</td><td>ダイヤルする電話番号を選択して電話をかける。</td></tr>
</table>

※フィルタのメニューには、連絡先で設定した分類項目が表示されます。

● 一覧画面で連絡先をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。電子メールアドレスを登録しているときは、ポップアップメニューから 電子メールの送信 にタップしてメールを作成できます。

編集画面のメニュー

画像の削除	設定した画像を削除する。
元に戻す	ひとつ前の状態に戻す。
やり直す	直前の操作を繰り返す。
切り取り	選択した文字列などを切り取る。
コピー	選択した文字列などをコピーする。
貼り付け	クリップボードにある文字列などを、指定したポイントに貼り付ける。
クリア	範囲指定した文字列などを消す。
すべて選択	選択している項目の全ての文字列を範囲指定する。

概要（詳細表示）画面のメニュー

編集	表示している連絡先を編集する。
SMSメッセージの送信（メモタブ）	この製品はこの機能に対応しておりません。
連絡先のビーム（メモタブ）	この製品はこの機能に対応しておりません。
削除	表示している連絡先を削除する。
ズーム（メモタブ）	表示の大きさを設定する。75%～300%まで5段階。
ライトメール作成（概要タブ）	ライトメール送信先の電話番号を選択してメールを作成する。
電話をかける（概要タブ）	ダイヤルする電話番号を選択して電話をかける。
個別着信音の設定（概要タブ）	連絡先のデータに対して、個別の着信音を設定する（☞3-29ページ）。

仕事

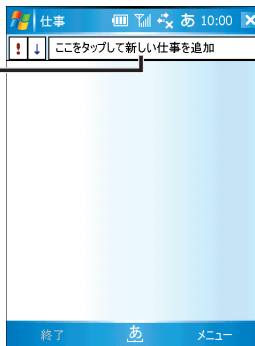
やらなければいけない用件の進捗状況などを管理します。
仕事の使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

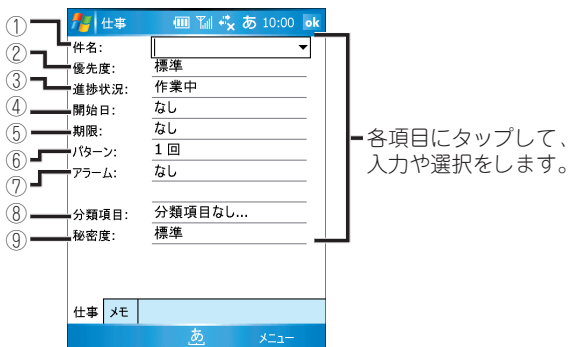
- パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使って仕事のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

仕事に優先度をつけて保存する(新規作成)

1 **スタートメニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面の“仕事”にタップします。**
仕事の一覧画面が表示されます。

3 **画面右下のメニュー－新しい仕事にタップします。**
仕事の新規入力画面が表示されます。

4 各項目にタップして、件名、優先度、開始日などを入力／選択します。

---

① **件名**
直接入力するか、▼にタップして一覧から選びます。

---

② **優先度**
優先度(「高」、「標準」、「低」)を選びます。

---

③ **進捗状況**
「作業中」または「終了」を選びます。

---

④ **開始日**
タップして、表示されたカレンダーから開始日を選びます。

---

⑤ **期限**
タップして、表示されたカレンダーから期限日を選びます。

---

⑥ **パターン**
入力中の仕事を1回だけとするのか、または毎週や毎月などの定期的な仕事にするのかを設定します。「1回」にすると、1回だけの仕事となります。
仕事の間隔(パターン)を編集するときは、「<パターンの編集>」にタップします(☞6-32ページ)。

---

⑦ **アラーム**
アラームの設定をします。
・「通知」:アラームが通知されます。
・「なし」:アラームは通知されません。
「通知」にしたときは、日付や時間にタップしてアラームを通知する日時を設定します。

アラーム音を鳴らないようにするには:

1 **[スタート]メニューの“設定”－“音と通知”－[通知]タブにタップします。**

2 **「イベント」欄で「アラーム」を選択します。**

3 **「音を鳴らす」のチェックを外し、ok にタップします。**

---

⑧ **分類項目**

入力中の仕事に「会社関係(取引先)」などの分類項目を設定して、グループ化します。分類項目を設定しておくと、必要なデータをすばやく検索(フィルタ)できます(☞1-31ページ)。

⑨ **秘密度**

「標準」、「個人」、「プライベート」、「社外秘」から選びます。

● 仕事にメモを追加したいときは、メモタブにタップして入力します。

5 **入力が終わったら、** **にタップします。**

仕事を一覧表示する

1 **スタート** **メニューの “プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面の “仕事”にタップします。**

仕事の一覧画面が表示されます。
期限が過ぎた仕事は、赤字で表示されます。

MEMO

- 仕事を選択し、画面左下の 終了 または 作業中 にタップしてもチェックをつけたりはずしたりできます。
- 画面右下の メニュー － オプション にタップし、「仕事入力バーを表示する」のチェックをはずすと、仕事入力バーが非表示になります（☞6-36ページ）。
- 画面右下の メニュー － オプション にタップし、「開始日と期限を表示する」にチェックをつけると、2行の表示になります。

定期的な仕事を入力する（パターンの編集）

週報や毎月の進捗レポート提出などの定期的な仕事を、仕事の間隔（パターン）を編集してまとめて入力できます。
仕事の入力については、6-28ページをご覧ください。

1 入力画面で「パターン」欄にタップし、表示されたメニューの「<パターンの編集>」にタップします。

パターンの編集画面が表示されます。

2 開始日や期限などを入力して、次へにタップします。

3 画面上部にある毎日や毎週などにタップして、表示された画面で仕事の間隔を設定します。

◇毎 日◇

◇毎 週◇

何週ごとにするのか▼にタップして選択または枠内に直接入力します。
「１週ごと」にすると毎週の仕事になります。

仕事をいれる曜日にタップして選択します（複数選択できます）。

◇毎 月◇

月の決まった日の仕事は「日」を選択します。▼にタップして選択または枠に直接入力します。
「１か月ごと」にすると、毎月の仕事になります。

月の決まった曜日の仕事は「曜日」を選択します。▼にタップして何週目の何曜日などを選択します。

◇毎 年◇

毎年決まった月日の仕事は「日付」にタップして日を設定します。

月と曜日が決まっている仕事は「曜日」を選択します。▼にタップして月と曜日などを選択します。

4 次へ にタップします。

「定期的なパターンの開始日と終了日の設定」画面が表示されます。

5 開始日と終了条件を設定します。

定期的な仕事に期限があるときは、「終了日」または「反復回数」を選択します。

終了日：
設定日まで定期的な仕事を作成します。

反復回数：
設定した回数だけ仕事を作成します。

▼にタップして、表示されたミニカレンダーから日を選択、または直接入力します。

▼にタップして選択または直接入力します。

6 終了 にタップします。

仕事の入力画面に戻ります。

件名など、その他の必要な項目を入力して ok にタップすると、設定した定期的な仕事が入力されます。

● **定期的な仕事を修正するとき**

1 一覧画面などで、修正したい定期的な仕事をタップして詳細画面を表示します。

2 画面左下の 編集 にタップして修正します。

定期的な仕事が一度に修正されます。

● **定期的な仕事をすべて削除するとき**

1 一覧画面などで、定期的な仕事をタップしたままにしてポップアップメニューから 仕事の削除 を選択します。

2 確認画面で はい にタップします。

作業中の仕事／終了した仕事を表示する(フィルタ)

作業中の仕事だけ、または終了した仕事だけを一覧表示できます。

1 一覧画面で、画面右下の[メニュー]－[フィルタ]にタップします。

2 [作業中の仕事]または[終了した仕事]にタップします。

タップしたメニューにチェックがつきます。
作業中の仕事だけ、または終了した仕事だけが一覧表示されます。

MEMO

- すべての仕事を表示するときは、もう一度手順**1**と**2**を行います。
  手順**2**でメニューにつけたチェックが外れて、すべての仕事が表示されます。
- 分類項目でフィルタ表示しているときは、その中で作業中の仕事、終了した仕事が表示されます。分類項目については、1-29ページをご覧ください。

仕事を並べ替える

入力している仕事を条件別に並べ替えできます。

1 一覧画面で、画面右下の[メニュー]－[並べ替え]にタップします。

2 並べ替える条件(状態、優先度、件名、開始日、期限)にタップします。

- ・状態　：“作業中の仕事”、“終了した仕事”別に表示されます。
- ・優先度：仕事に設定している優先度別に表示されます。
- ・件名　：仕事の件名別に表示されます。
- ・開始日：仕事に設定している開始日順に表示されます。
- ・期限　：仕事に設定している期限日順に表示されます。

MEMO

- 並べ替えられた順を逆に(例えば、優先度の高→低を低→高に)変えたいときは、もう一度手順**1**と**2**を行います。

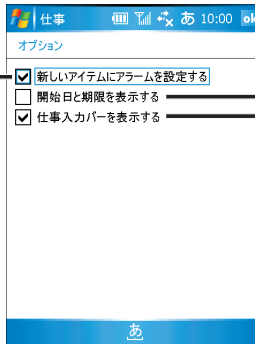
オプションの設定をする

一覧画面で表示する内容を変更できます。

1 **一覧画面で、画面右下の メニュー － オプション にタップします。**

オプション画面が表示されます。

仕事 10:00 ok
オプション
新しいアイテムにアラームを設定する
開始日と期限を表示する
仕事入力バーを表示する
あ

チェックをつけると、新規入力画面で開始日と期限日を入力すると「アラーム」欄が自動的に「通知」に設定されます。

チェックをつけると、一覧画面に開始日と期限日が表示されます（2行表示されます）。

チェックを外すと、仕事入力バーが非表示になります（☞6-31ページ）。

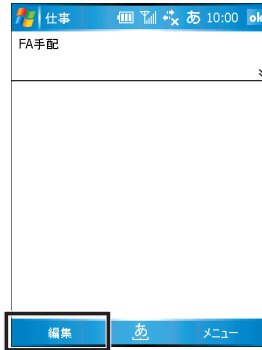
2 **設定する項目にチェックをつけます。**

3 **設定が終わったら、 ok にタップします。**

仕事を修正／削除する

仕事を修正する

1 一覧画面で、修正する仕事にタップします。

仕事の詳細が表示されます。

2 画面左下の 編集 にタップします。

3 修正が終わったら、ok にタップします。

- 仕事のメモを変更したいときは、メモ タブにタップして変更します。

仕事を削除する

1 一覧画面で、削除する仕事をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから 仕事の削除 にタップします。

3 確認画面で はい にタップします。

MEMO

- 次の方法でも削除できます。
  - ・一覧画面で削除したい仕事を選択し、画面右下の メニュー － 仕事の削除 をタップします。
  - ・削除したい仕事の詳細画面で、画面右下の メニュー － 削除 をタップします。
- 定期的な（パターンを設定した）仕事のときは、確認画面が表示されます。定期的な仕事をすべて削除するときは はい、選択した仕事だけを削除するときは いいえ にタップします。

仕事のメニュー

一覧画面のメニュー

新しい仕事		新規入力画面を開く。
仕事の削除		選択している仕事を完全に削除する。
編集	**切り取り**	選択したデータを切り取る。
	コピー	選択したデータをコピーする。
	貼り付け	クリップボードにあるデータを、仕事に貼り付ける。
オプション		・「新しいアイテムにアラームを設定する」にチェックがあるときは、新規入力画面で、開始日と期限日を入力すると「アラーム欄」が自動的に「通知」に設定される。 ・「開始日と期限を表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に開始日と期限が表示される。 ・「仕事入力バーを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に入力バーが表示される。
並べ替え	**状態**	終了した仕事、作業中の仕事に分けて表示する。
	優先度	仕事を優先度順で表示する。
	件名	仕事を件名順で表示する。
	開始日	仕事を開始日順で表示する。
	期限	仕事を期限日順で表示する。
フィルタ※	**すべての仕事**	すべての仕事を表示する。
	最近表示したアイテム	最近表示した仕事を表示する。
	分類項目なし	分類項目を設定していない（分類項目なしの）仕事を表示する。
	作業中の仕事 **終了した仕事**	フィルタ表示（上記）した仕事の中から、さらに「作業中の仕事」または「終了した仕事」だけを表示する。

※フィルタのメニューには、仕事で設定した分類項目が表示されます。

- 一覧画面などで仕事をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。優先度もポップアップメニューから変更できます。
- Today画面（待ち受け画面）に、作業中や期限切れなどの仕事件数を表示できます（☞10-4ページ）。

メモ

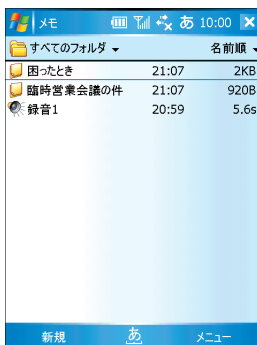
手書きした文字やイラスト、録音した自分の声などを保存できます。
メモの使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

- パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使ってメモと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

メモを書く（新規作成）

1 スタート メニューの“プログラム”にタップします。

2 プログラム画面で“メモ”にタップします。

メモの一覧画面が表示されます。

MEMO

- メモのファイルがないときは、新規入力画面が表示されます。

3 画面左下の 新規 にタップします。

メモの新規入力画面が表示されます。

4 文字を入力します。

・罫線あり（手書き）の画面のときはスタイラスペンを使って、画面に文字を手書きできます。
・キーボードや入力パネルからも文字を入力できます。
・画面をタップしたままにして、表示されたポップアップメニューから 日付の挿入 を選ぶと、日付が挿入できます。

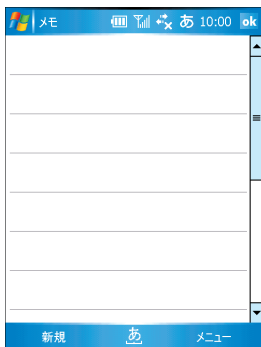
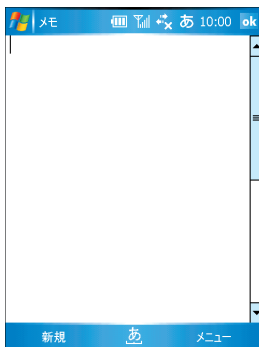
● 文字の入力方法について、くわしくは「文字入力のしかた」（☞1-33ページ）をご覧ください。

5 入力が終わったら、ok にタップします。

作成したメモが一覧画面に追加されます。

● 手書きしたメモのファイル名は「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。キーボードや文字入力パネルから入力したメモのファイル名は、最初の行に書かれている文字がファイル名となります。
● 3本以上の罫線にまたがって手書きした文字は、描画として扱われます。

入力画面のモードについて

罫線あり（手書き）の画面
・スタイラスペンで手書き入力
・キーボード／入力パネルから入力

罫線なしの画面
・キーボード／入力パネルから入力
（手書き入力はできません）

罫線あり／なしの画面を切り替えるには、入力画面で画面右下の［メニュー］－［描画］にタップします。
画面のズームは、画面右下の［メニュー］－［ズーム］にタップして倍率を選択します。

●手書きした文字を編集するときは、画面右下の［メニュー］－［描画］にタップして、チェックを外してから、罫線なしの画面で手書き文字をなぞって選択します。なぞって選択した手書き文字は、画面右下の［メニュー］から、コピー／貼り付け／切り取りなどの編集ができます。

メモを一覧表示する

1 **［スタート］メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“メモ”にタップします。**

メモの一覧画面が表示されます。

① フォルダの切り替え

タップするとすべてのフォルダが一覧で表示され、フォルダを切り替えられます。また、「追加／削除」を選択するとフォルダを新規作成したり、名前の変更や削除ができます。

② 並べ替え

タップすると並べ替え順の項目が表示されます。

並べ替えの項目をタップすると、その項目を基準にメモが並び替わります。

③ メモファイル

タップするとメモの内容が表示されます。

④ 音声ファイル

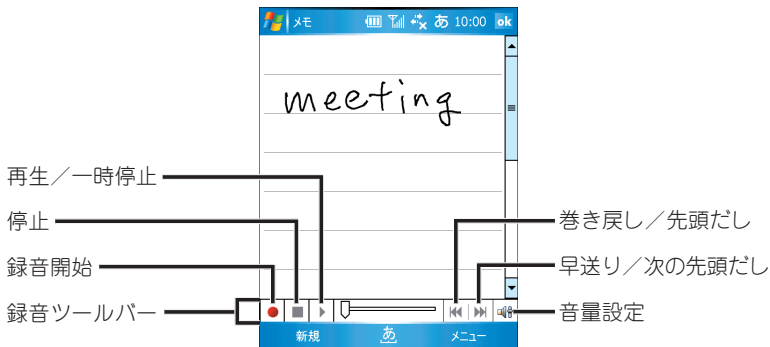
タップすると音声が再生されます。

マナーモードで「標準」、「サイレント」を選択しているときは、システム音がOFFになっています。この状態では音が出ません。マナーモードを解除してください。

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声だけであっても（メモファイル）のアイコンで表示されます。
  「メモ」の入力画面以外で録音した音声はのアイコンで表示されます。

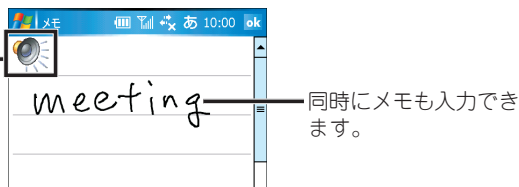
録音する

1 入力画面で、画面右下の［メニュー］ー［録音ツール バーの表示］にタップして、チェックをつけます。

録音ツールバーが表示されます。

2 ●にタップすると録音が始まります。

本体の下側にあるマイク(☞1-2ページ)に向かって自分の声などを録音します。

3 ■にタップすると録音が終了します。

入力画面で録音したときは、録音が終了すると画面に🔊が表示されます。
削除するときは🔊をなぞってから、タップしたままにして表示されたポップアップメニューから［クリア］にタップします。

4 okにタップします。

１つのメモファイルとして登録されます。

MEMO

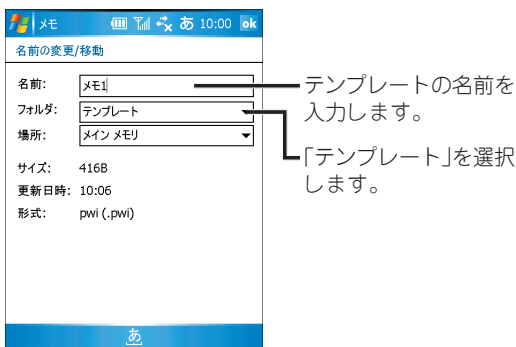
- 録音ツールバーを消すときは、画面右下の［メニュー］ー［録音ツール バーの表示］にタップして、チェックを外します。
- 録音した音声などを再生するときは、🔊にタップします。本体裏面のスピーカー(☞1-6ページ)から音が出ます。
- メモの入力画面から録音した音声は、音声だけでもメモファイルとして保存されます(一覧画面では、📄(メモファイル)のアイコンで表示されます)。
- メモの一覧画面から録音すると、１つの音声ファイルとして保存されます(一覧画面では、🔊(音声ファイル)のアイコンで表示されます)。
- 録音ツールバーから音量を変更すると、この製品全体の音量も変更されます。音量を大きくすると、着信音などの音量も大きくなります。

自分用のテンプレートを作成する

1 テンプレートにしたいメモを作成します。

2 一覧画面で、テンプレートにしたいメモをタップしたままにします。

3 ポップアップメニューから、名前の変更／移動にタップします。

「名前の変更／移動」画面が表示されます。

● 画面右下のメニュー－名前の変更／移動にタップしても名前の変更／移動画面が表示されます。

4 「名前」欄に、作成したテンプレートにつける名前を入力します。

5 「フォルダ」欄の▼をタップして、「テンプレート」を選択します。

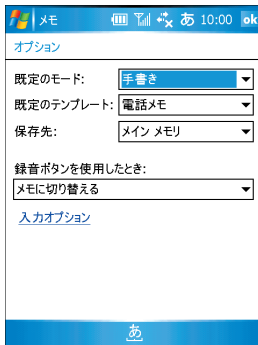
6 okにタップします。

作成したテンプレートが保存されます。

テンプレートを設定する

よく使うテンプレートを新規入力画面でいつも表示されるように設定できます。

1 一覧画面で、画面右下の［メニュー］－［オプション］にタップします。

オプション画面が表示されます。

2 「既定のモード」欄で▼をタップして、「手書き」または「入力」を選びます。

3 「既定のテンプレート」欄で▼をタップして、設定したいテンプレートを選びます。

4 保存先などを選択して、okにタップします。

メモの一覧画面に戻ります。

設定後は、画面左下の［新規］にタップすると、選択したテンプレートの入力画面が表示されるようになります。

- テンプレートを表示させないようにするには、上記の手順**3**で「白紙のメモ」を選びます。

6 PIM機能

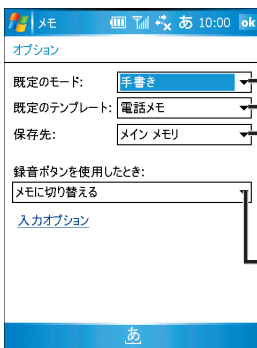
メモ

オプションを設定する

新規入力画面のモードなどを設定します。

1 **一覧画面で、画面右下の メニュー ー オプション にタップします。**

オプション画面が表示されます。

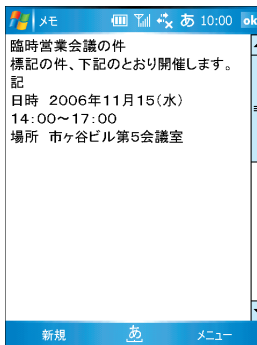
2 **それぞれの設定をします。**

MEMO

● 「入力オプション」にタップすると、スタート メニューの“設定”ー“入力”と同じ設定ができます。

3 **設定が終わったら、ok にタップします。**

メモを修正する

1 一覧画面で、修正するメモにタップします。

メモの詳細が表示されます。

2 メモを修正します。

3 okにタップします。

メモを削除する

1 一覧画面で、削除するメモをタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 削除にタップします。

3 確認画面ではいにタップします。

MEMO

- 削除したいメモを選択し、画面右下のメニュー－削除にタップしても削除できます。

メモのメニュー

一覧画面のメニュー

録音ツール バーの表示	録音ツールバーを表示／非表示する。
名前の変更／移動	メモのファイル名や保存先のフォルダなどを変更して保存する。
削除	選択しているメモを削除する。
コピー作成	選択しているメモをコピーして追加する。
すべて選択	一覧画面のメモをすべて選択する。
送信	一覧画面で選択しているメモを添付ファイルで送信する。
オプション	·「既定のモード」 設定したモードが新規入力画面で表示される。 ·「既定のテンプレート」 設定したテンプレートが新規入力画面に表示される。 ·「保存先」 設定した場所に、作成したメモが保存される。 ·「録音ボタンを使用したとき」 この製品はこの機能に対応しておりません。

編集画面のメニュー

録音ツール バーの表示		録音ツールバーを表示／非表示する。
描画		手書き画面（罫線あり）を表示／非表示する。
元に戻す		ひとつ前の状態に戻す。
やり直し		「元に戻す」で行った操作を取り消します。
切り取り		選択した文字列や図形を切り取る。
コピー		選択した文字列や図形をコピーする。
貼り付け		クリップボードにある文字列や図形を、指定したポイントに貼り付ける。
編集	**クリア**	範囲指定した文字列や図形、音声（ ）を消す。
	すべて選択	メモ全体の文字列などを範囲指定する。
ズーム		表示の大きさを設定する。75%～300%まで5段階。
ツール	**名前の変更／移動**	作成済みのメモを開いているとき、メモの名前や保存先を変更して保存する。
	削除	編集中のメモを完全に削除する。
	送信	メモを添付ファイルで送信する。

7　映像と音楽

画像とビデオ　7-2

音楽や映像を楽しむ（Windows Media Player 10 Mobile）　7-18

画像とビデオ

静止画(画像)やビデオ(動画)の撮影および画像の編集ができます。
ここでは、画像とビデオの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。
QRコードなどの読み取りについては、7-15ページをご覧ください。

カメラをご使用になる前に

この製品は、有効画素数131万画素のカメラを搭載し、静止画(画像)や動画(ビデオ)の撮影ができます。

撮影サイズ/保存形式や保存場所について

撮影した静止画(画像)や動画(ビデオ)は、以下の保存形式で保存されます。

モード	撮影サイズ	保存形式	保存場所
静止モード	320×240ドット(QVGA) 640×480ドット(VGA) 1280×1024ドット(SXGA)	JPEG	マイピクチャフォルダ またはminiSDカード
ビデオモード	160×120ドット 320×240ドット(QVGA)	Windows Media Video(WMV)	マイピクチャフォルダ またはminiSDカード

ご注意!

● miniSDカードに保存するときは、DCIMフォルダの中にファイルが保存されます。一般的なデジタルカメラとは保存場所が異なります。

撮影可能距離

・このカメラの撮影可能距離は、約80cm~無限遠(接写モードでは約8cm)です。

カメラ撮影中の撮影音について

・カメラ撮影時には、シャッター音(静止画撮影時)や撮影開始音(動画撮影時)が鳴ります。
マナーモードやその他のモード設定にかかわらず、撮影時のシャッター音、撮影開始音は鳴ります。

カメラ利用時に着信/アラーム動作があると

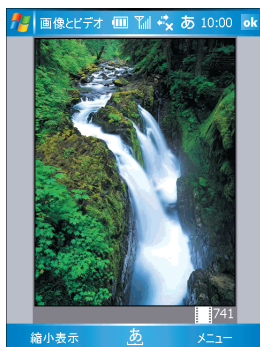
・撮影中に着信/アラーム動作があると、撮影を終了します。
撮影した静止画/動画は、保存されます。

スタンバイ画面について

・カメラ起動中に、約5分間何も操作しないでいると画面にスタンバイと表示されます。スタンバイと表示されたときは、画面をタップしてください。

カメラ利用時のご注意

・撮影前に内蔵カメラのレンズカバーが汚れていないかご確認ください。
レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
・手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。
この製品が動かないようにしっかり持って撮影してください。
・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
・この製品を温かい場所に長時間置いたあとで、撮影したり画像を保存したときは画質が劣化することがあります。
・カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
・カメラで太陽などの光源を直接見ないようにしてください。
・横方向、縦方向どちらに構えても撮影することができますが、保存される画像の表示方向(縦横)は構えた方向ではなく画面設定(☞10-30ページ)で設定されている向きとなります。

縦表示設定時

横表示設定時

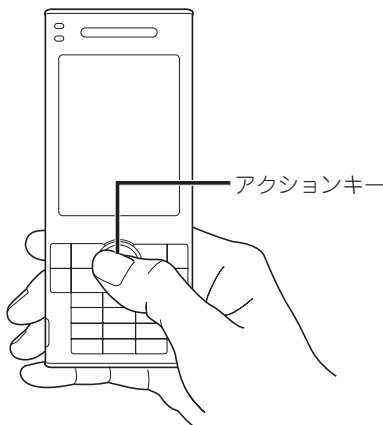
ご注意! ●横表示にしている場合、ファインダーの画像表示は遅くなります。

静止画(画像)を撮影する

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“画像とビデオ”にタップし、“カメラ”をタップ、または画面右下の メニュー ー カメラ をタップします。**

ビデオモード(撮影画面の右下にが表示)で撮影されていた場合は、画面右下の メニュー ー 静止モード にタップしてください。
静止モード(画像撮影)画面が表示されます(撮影画面の右下にが表示)。

3 **画面にレンズからの画像が表示されます。**
被写体にレンズを向け、(アクション)キーまたは(Enter)キーを押します。

シャッター音が鳴り、撮影した画像が「マイ ピクチャ」フォルダに保存されます。
また、画面には撮影した画像が表示された状態になります。

4 **続いて撮影するときは、画面左下の カメラ にタップします。**

- (アクション)キー、または(Enter)キーを押しても続けて撮影することができます。

5 **撮影を終了するときは、okをタップします。**

MEMO

- 撮影時、画像の明るさやサイズを変更できます。画面右下の メニュー にタップし、 明るさ や 解像度 にタップして明るさやサイズを変更します(☞7-14ページ)。

連続して撮影する

1 静止モード(画像撮影)画面で、画面右下の[メニュー]－[モード]－[連写]にタップします。

2 被写体にレンズを向け、(アクション)キーまたは(Enter)キーを押します。

5回連続して撮影されます。

- 連写モードでは、1枚目のシャッターを押すと、あとは一定の間隔(約5秒間隔)で残りの回数分が撮影されます。この間隔は、起動しているプログラムの数や撮影した画像の保存場所の設定によって変わります。

3 撮影を終了するときは、okをタップします。

タイマーモードで撮影する

1 静止モード(画像撮影)画面で、画面右下の[メニュー]－[モード]－[タイマー]にタップします。

2 被写体にレンズを向け、(アクション)キーまたは(Enter)キーを押します。

タイマーが動作し、5秒後に撮影されます。

3 撮影を終了するときは、okをタップします。

- タイマー動作中に(アクション)キーまたは(Enter)キーを押すと、その時点で撮影されます。

撮影した静止画(画像)を確認する

1 **プログラム画面で“画像とビデオ”にタップします。静止モード(画像撮影)画面のときは、画面左下の[縮小表示]にタップします。**

画像とビデオ画面(「マイ ピクチャ」フォルダに保存された静止画(画像)の一覧)が表示されます。

タップすると、どのフォルダにある静止画を一覧で表示したいか指定できます。

タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準に画像が並び替わります。

フォルダ内の画像がサムネイル表示されます。

2 **確認したい静止画(画像)を選択し、画面左下の[表示]にタップします。**

画面全体に拡大され、詳細画面が表示されます。

● 確認したい静止画をタップしても画面全体に拡大表示されます。

3 **画面右上のokにタップすると一覧に戻ります。**

画像をスライドショーで表示する

複数の画像を連続して表示するスライドショー表示ができます。

1 **画像とビデオ画面右下の[メニュー]—[スライドショーの再生]にタップします。**

スライドショーを終了するときは、画面にタップしスライドショーツールバー( )を表示し、にタップします。
スライドショーツールバーでスライドショーの終了や一時停止( )、表示の回転( )などの操作ができます。

MEMO

● **スライドショーでの表示を最適化できます。**

1 **画像とビデオ画面右下の[メニュー]—[オプション]—[スライドショー]タブにタップします。**

2 **「スライドショーで表示を最適化する対象」を設定します(☞7-11ページ)。**

画像をメールに添付して送る

画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。
このときのメールソフトは“メール(Outlook)”です。“W-ZERO3メール”から送信することはできません。

1 画像とビデオ画面で電子メールの添付ファイルとして送信したい画像をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 送信 にタップします。

画像を添付ファイルとした新規メールの作成画面が表示されます。
「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。

MEMO

- 添付ファイルとして送信したい画像を選択し、画面右下の メニュー － 送信 にタップしても画像を添付ファイルとした新規メールの作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、本文などを入力します。

メールの送信についてくわしくは、「メールを作って送る」(☞4-35ページ)をご覧ください。

画像を「Today」画面の背景に設定する

画像を「Today」画面の背景として設定できます。くわしくは10-4ページをご覧ください。

撮影した静止画(画像)を編集する

撮影した画像をトリミング(切り抜き)したり、明るさ／コントラストのレベルを調整するなど編集することができます。

1 **画像とビデオ画面で編集したい画像を選択し、画面左下の 表示 にタップします。**

2 **画面右下の メニュー － 編集 にタップして画像を編集します。**

■画像をトリミング(切り抜き)する

1 **画面右下の メニュー － トリミング にタップします。**

2 **切り抜きしたい部分にドラッグします。**

3 **切り抜きしたい領域内をタップします。**

トリミングをやめるときは、画面右下の メニュー － 元に戻す にタップします。

4 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の メニュー － 名前を付けて保存 にタップし、ファイル名を確認し ok にタップします。**

■明るさ／コントラストのレベルを調整する

1 **画面右下の メニュー － 自動修正 にタップします。**

明るさ／コントラストのレベル調整をやめるときは、画面右下の メニュー － 元に戻す にタップします。

2 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の メニュー － 名前を付けて保存 にタップし、ファイル名を確認し ok にタップします。**

MEMO

- 画面左下の 回転 にタップすると、90度ずつ画像を回転します。
- 直前の編集操作を元に戻すには、画面右下の メニュー － 元に戻す にタップします。
- すべての編集操作をやめて元に戻すには、画面右下の メニュー － 前回保存したときの状態に戻す にタップします。

動画(ビデオ)を撮影する

1 画像とビデオ画面で、「カメラ」をタップします。

静止モード(撮影画面の右下に■が表示)で撮影されていた場合は、画面右下の[メニュー]−[ビデオ]にタップしてください。
ビデオモード(動画撮影)画面が表示されます(撮影画面の右下に が表示)。 画像の明るさを変更するときは、画面右下の[メニュー]にタップし、[明るさ]にタップして明るさを選択します。

2 被写体にレンズを向け、(アクション)キーまたは(Enter)キーを押します。

撮影開始音が鳴り、録画が開始されます。

3 もう一度、(アクション)キーまたは(Enter)キーを押して録画を停止します。

撮影した動画は、「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

4 撮影を終了するときは、okをタップします。

MEMO

- **ビデオには、マイク(送話口)に向かって自分の声も録音できます。**
  音声を録音するときは、以下の設定をします。
  1. **画像とビデオ画面右下の[メニュー]−[オプション]−[ビデオ]タブをタップします。**
  2. **「ビデオファイルの収録時にオーディオを含める。」にチェックをつけます(☞7-12ページ)。**

撮影した動画(ビデオ)を確認する

1 画像とビデオ画面で、確認したい“ ”動画(ビデオ)を選択し、画面左下の[再生]にタップするとWindows Media Player 10 Mobile が起動して再生されます。

Windows Media Player 10 Mobileの操作についてくわしくは、7-21ページをご覧ください。

MEMO

- マナーモードで「標準」、「サイレント」を選択しているときは、システム音がOFFになっています。この状態では音が出ません。マナーモードを解除(☞3-34ページ)してください。

7 映像と音楽

画像とビデオ

画像やビデオを整理する

新規フォルダを作成する

新しくフォルダを作って画像やビデオを整理できます。

1 **画像とビデオ画面右下の メニュー ー 編集 ー 新しいフォルダ にタップします。**

新しいフォルダが作成されます。

ファイルやフォルダを移動させる

1 **移動させるファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから 切り取り にタップします。**

MEMO

- 移動させるファイルやフォルダを選択し、画面右下の メニュー ー 編集 ー 切り取り にタップしても切り取りができます。

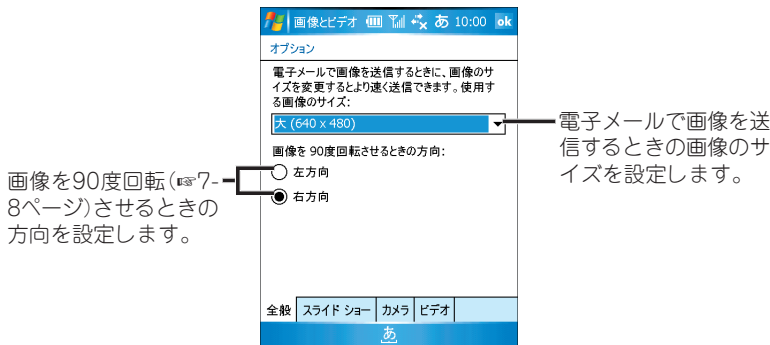
3 **移動先のフォルダにタップし、フォルダを開きます。**

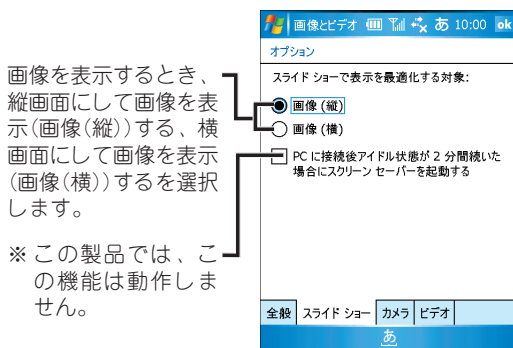
4 **メニュー ー 編集 ー 貼り付け にタップします。**

MEMO

- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- **削除するときは**
  上記の手順**2**で 削除 にタップし、確認画面で はい にタップします。
  動画（ビデオ）ファイルを削除するときに「ファイルの削除エラー」が表示された場合、そのファイルはWindows Media Player 10 Mobileで使用されているため削除できません。
  Windows Media Player 10 Mobile を終了してから（☞7-21ページ）、再度、動画（ビデオ）ファイルを削除してください。
- **ファイルをコピーするときは**
  上記の手順**2**で コピー にタップします。
- **ファイルの名前を変更するときは**
  1 **名前を変更したいファイルを選択し、画面右下の メニュー ー プロパティ にタップします。**
  2 **プロパティ画面の「名前」欄の名前を変更し ok にタップします。**

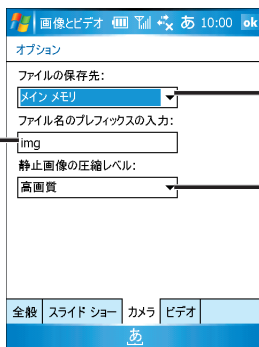
メールに添付するときのサイズを設定する

画像とビデオ画面右下の メニュー ー オプション ー 全般 タブで、メールに添付するときのサイズの設定や編集画面で画像を回転させる方向の設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。
このメールソフトは“メール(Outlook)”です。“W-ZERO3メール”から送信することはできません。

スライドショーの設定をする

画像とビデオ画面右下の メニュー ー オプション ー スライドショー タブで、スライドショーの設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

撮影した画像の保存場所やファイル名の付け方を設定する

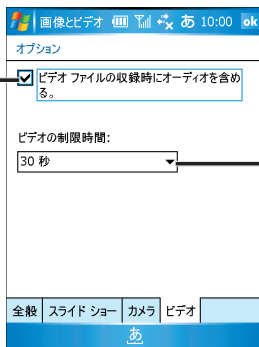
画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［オプション］－［カメラ］タブで、画像の保存場所やファイル名の付けかた、圧縮レベルの設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

画像とビデオ 10:00 ok
オプション
ファイルの保存先：
メイン メモリ
ファイル名のプレフィックスの入力：
img
静止画像の圧縮レベル：
高画質
全般 スライド ショー カメラ ビデオ

画像を撮影したとき自動的に付く連番の前のファイル名を指定します。

画像を格納する場所として「メインメモリ」、または、「miniSDカード」を選択します。

静止画像の圧縮レベルを設定します。

録音やビデオ撮影時間を設定する

画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［オプション］－［ビデオ］タブで、マイク（送話口）に向かって話している声などを録音できるようにしたりビデオ撮影時間の設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

画像とビデオのメニュー

画像とビデオ画面のメニュー

カメラ		静止モードにする（☞7-4ページ）。
送信		選択した画像またはビデオを添付した新規メール（“メール”）を作成する（☞7-7ページ）。
連絡先に保存		連絡先の画像情報に選択した画像を設定する。
削除		選択した画像またはビデオを削除する。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから削除にタップしても削除ができる。
編集	切り取り	画像またはビデオを切り取る。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから 切り取り をタップしても切り取りができる。
	コピー	画像またはビデオをコピーする。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューからコピーをタップしてもコピーができる。
	貼り付け	コピーおよび切り取った画像またはビデオを貼り付ける。
	新しいフォルダ	画像やビデオを整理するための新しいフォルダを作成する（☞7-10ページ）。
プロパティ		選択した画像またはビデオの情報を表示する。また、名前の変更ができる。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する（☞7-6ページ）。
［Today］の背景に設定する		選択した画像をToday画面（待ち受け画面）の背景として設定する（☞7-7ページ）。
オプション		オプション設定画面を表示する（☞7-11～12ページ）。

詳細画面のメニュー

ズーム		タップすると、ナビゲーション用のサブウィンドウを表示して、画像の拡大／縮小、表示領域の移動をする。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する（☞7-6ページ）。
［Today］の背景に設定する		表示している画像をToday画面（待ち受け画面）の背景として設定する（☞7-7ページ）。
保存	連絡先に保存	連絡先の画像情報に表示している画像を設定する。
	名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。
編集		編集画面になる（☞7-8ページ）。
プロパティ		選択した画像またはビデオの情報を表示する。 また、名前の変更ができる。
オプション		オプション設定画面を表示する（☞7-11～12ページ）。

静止モード(画像撮影)画面のメニュー

ビデオ		ビデオ(動画撮影)モードにする(☞7-9ページ)。
モード	標準	標準モードで撮影する。
	連写	連写モードで撮影する(☞7-5ページ)。
	タイマー	タイマーモードで撮影する(☞7-5ページ)。
明るさ		明るさを調整する。+側を選択すると画像が明るくなっていき、-側を選択すると暗くなっていく。
解像度	320×240	撮影サイズを320×240ドットにする。
	640×480	撮影サイズを640×480ドットにする。
	1280×1024	撮影サイズを1280×1024ドットにする。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞7-11~12ページ)。

ビデオモード(動画撮影)画面のメニュー

静止モード		静止(画像撮影)モードにする(☞7-4ページ)。
明るさ		明るさを調整する。+側を選択すると画像が明るくなっていき、-側を選択すると暗くなっていく。
画質	160×120	撮影サイズを160×120ドットにする。
	320×240	撮影サイズを320×240ドットにする。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞7-11~12ページ)。

編集画面のメニュー

トリミング	画像を切り抜きする。
自動修正	画像の明るさやコントラストを自動で調整する。
元に戻す	トリミングや自動修正した画像を、元に戻す。
前回保存したときの状態に戻す	トリミングや画像回転などの編集を行った後、変更する前の状態(前回保存したときの状態)に戻す。
名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。

バーコードリーダを利用する

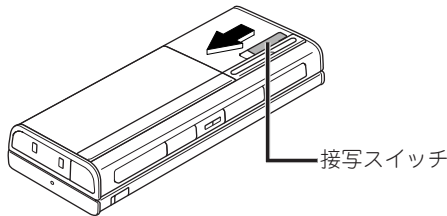
内蔵カメラを使ってバーコード(QRコードやJANコード)を読み取ることができます。読み取った内容をもとに電話をかけたり、連絡先への登録、メール送信、ブックマーク登録などができます。

ご注意！
● バーコードのサイズや種類によっては読み取れないことがあります。

バーコードを読み取る

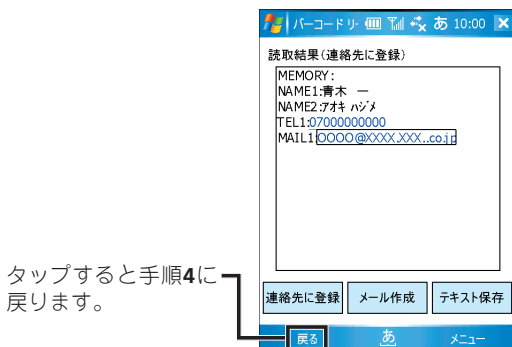
1 スタート メニューの“プログラム”にタップします。

2 プログラム画面で“バーコードリーダ”をタップします。
画面に「カメラを接写モードにしてください。」としばらく表示されます。

3 本体裏側の撮影モードを接写モード()にします。

4 読み取りエリア(ファインダー)の中央に読み取るバーコードを表示します。
バーコードが正面になるようにして、焦点距離は約8cm(目安)にします。

5 アクションキーを押します。

MEMO
● バーコードを読み取るときは、必ず撮影モードを にしてください。
 にしないとバーコードを読み取れません。
● バーコードを印刷している紙面が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。
また、バーコードの周囲に空白部分がない場合も読み取れないことがあります。
● 読み取るときは、ピントが合っていることを確認してからアクションキーを押してください。
● 読み取りに失敗すると「バーコードを読み取りできませんでした。」と表示されます。ok をタップし、手順**4**からやり直してください。

6 読み取ったバーコードが認識され、電話番号やURL、メールアドレスなどが表示されます。

タップすると手順**4**に戻ります。

7 画面下のボタンをタップします。

・ 連絡先に登録 ：表示している内容を連絡先に登録します。
・ メール作成 ：表示している内容を本文に挿入して新規メール作成画面を表示します。
・ テキスト保存 ：表示している内容をテキストデータとして保存します。

※認識したバーコードによって、連絡先に登録 は表示されないことがあります。

MEMO

- 連絡先に登録 などのボタンは、画面右下のメニューをタップし表示されたメニューから 連絡先に登録 、メール作成 、テキスト保存 を選択しても行えます。
- **画面に表示されたメールアドレス、電話番号などにタップすると**メニューが表示されます。
各メニューを選択したときの動作については、次ページをご覧ください。
メニューを選択したときと手順**6**でボタンをタップしたときとでは動作が異なります。
- バーコードによっては、手順**6**で表示される画面のボタンが 連絡先に登録 、メール連携 などになることがあります。メール連携 をタップすると宛先、タイトルなどが入った新規メール作成画面が表示されます。

■電話番号をタップしたとき

ライトメール作成		宛先に電話番号が入ったライトメールの新規作成画面が表示されます。
連絡先に登録	新規登録	表示された画面で入力する項目を選択して、決定をタップすると、電話番号が入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して決定をタップすると、電話番号が入った編集画面が表示されます。
発信、184発信など		電話をかけます。また184発信を選択すると、電話番号を通知せずに電話をかけます。電話をかけることについては、電話の章をご覧ください。

■メールアドレスをタップしたとき

連絡先に登録	新規登録	表示された画面で入力する項目を選択して、決定をタップすると、メールアドレスが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して決定をタップすると、メールアドレスが入った編集画面が表示されます。
Eメール作成		通常使用するメールソフトが起動し、宛先にメールアドレスが入った新規のメール作成画面が表示されます。

■URLをタップしたとき

ホームページに接続		インターネットに接続し、そのホームページを表示します。
ブックマークに登録		ブックマークを登録します。
連絡先に登録	新規登録	URLが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップすると、URLが入った編集画面が表示されます。

音楽や映像を楽しむ（Windows Media Player 10 Mobile）

この製品やネットワーク上にあるビデオファイル、オーディオファイルを再生できます。

次のファイルを再生できます。

・オーディオファイル：MP3形式、Windows Media Audio（wma）形式
・ビデオファイル　　：Windows Media Video（wmv）形式
・ストリーミング　　：Advanced Streaming Format（asf）形式

ご注意！

- ファイルの種類やサイズによっては、再生できないことがあります。
- イヤホンマイクなどをご使用になる場合は、音量の設定に十分気をつけて再生してください。
  思わぬ大音量が出て耳を痛める原因となることがあります。
  本体右側面の音量調節キーを押して音量を変えてください。
- 音楽CDやインターネットホームページ上の著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

ここでは、Windows Media Player 10 Mobileの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

音楽や映像を楽しむには

この製品で音楽や映像を楽しむには、最初にオーディオファイルやビデオファイルなどをこの製品に保存します。
パソコンのWindows Media Player 10と同期するとオーディオファイルなどを同期しこの製品に保存できます（Windows Media Player 10と同期は、7-24ページをご覧ください）。
また、すでにお持ちのパソコンなどに再生できるファイルを保存されているときは、miniSDカードにそのファイルをコピーしてこの製品に取り付けて再生できます。miniSDカードに保存しているファイルを再生するときは、カードを取り付け後、ライブラリの更新（次ページのメモ）を行ってください。

音楽や映像を再生する

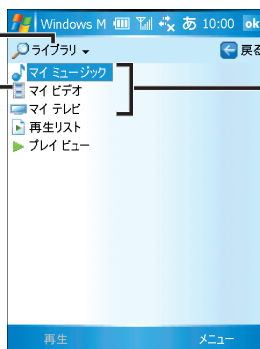
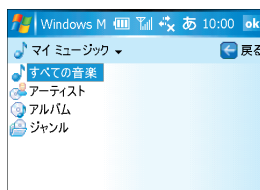
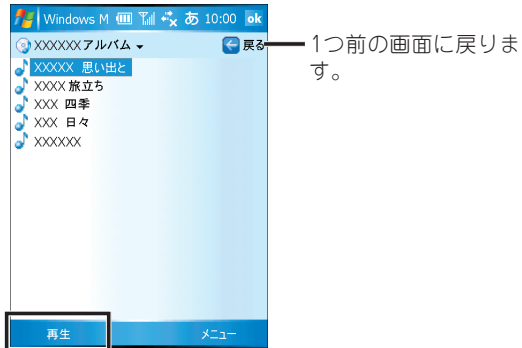
オーディオファイルやビデオファイルを選んで再生します。
また、ライブラリによってアーティストやジャンルなどの項目別に自動分類されたフォルダ(アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど)の中のファイルを順番に再生します。

1 **スタート メニューの“Windows Media”にタップします。**

ライブラリ画面が表示されます。
表示されないときは、画面右下の メニュー ー ライブラリ にタップしてください。

MEMO

● **ライブラリの更新**
再生ファイルを保存しているminiSDカードを取り付けた場合などは、ファイルが表示されないことがありますのでライブラリの更新を行ってください。ライブラリ画面で画面右下の メニュー ー ライブラリの更新 にタップします。

2 **再生したいファイルのカテゴリ(マイ ミュージック、マイ ビデオなど)をタップします。**

3 **カテゴリの中のフォルダ(すべての音楽、アーティスト、アルバム、ジャンルなど)をタップして、再生するファイルやフォルダを表示します。**

4 再生するファイルやフォルダ（すべての曲、アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択し、画面左下の 再生 にタップします。

再生画面が表示され、再生がはじまります。
フォルダ（アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択した場合は、フォルダの中のファイルが順番に再生されます。

プレイビュー画面を表示し、再生順の変更や再生リストからの削除などができます（☞7-22ページ）。

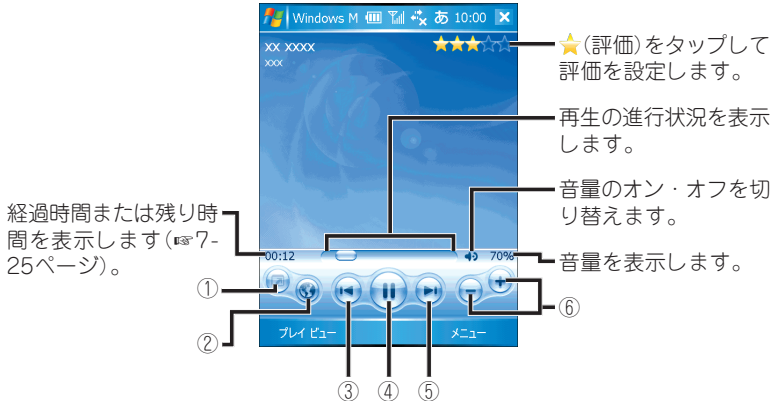
ランダム再生、連続再生の設定や再生中のファイル情報の表示などができます（☞7-28ページ）。

- 再生するファイルやフォルダにタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから 再生 にタップしても再生できます。
- パソコンなどから転送した新しいファイルがライブラリ画面に表示されない場合は、ライブラリの更新を行ってください。

  1 ライブラリ画面右下の メニュー ― ライブラリの更新 をタップします。

  2 ファイルの追加作業を待って画面右下の 終了 をタップします。
- マナーモードで「標準」、「サイレント」を選択しているときは、システム音がOFFになっています。この状態では音が出ません。マナーモードを解除してください。

5 キーを押して、Windows Media Player 10 Mobileを終了します。

再生画面について

① ビデオファイルを再生中にタップすると、全画面で表示します。
元に戻すには、画面のどこかをタップします。

② Windows Media.com Mobileのホームページを表示します。
前もって、インターネットに接続するための設定を行ってください。

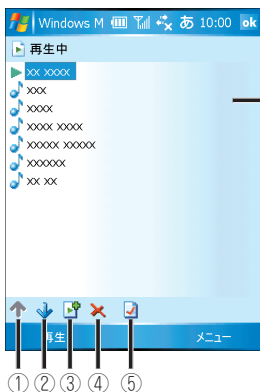
③ 再生中にタップするとファイルの先頭まで戻し再生します。
再生停止時にタップすると、1つ前のファイルへスキップします。

④ ファイルを一時停止します。
一時停止時は▶が表示され、タップすると再生を再開します。

⑤ 次のファイルへスキップします。

⑥ 現在この製品に設定しているボリューム(☞3-24ページ)を100%として、音量を調整します。
＋：音量を上げます。
－：音量を下げます。

プレイビュー画面(再生リスト)について

再生画面左下の［プレイビュー］にタップすると、再生するファイルをリスト表示します。再生するファイルの順番を変えたり、再生リストからファイルを削除できます。

① 選択したファイルを再生リストの上へ移動します。

② 選択したファイルを再生リストの下へ移動します。

③ ライブラリ画面に切り替えます。
ファイルやフォルダを追加するときは、ライブラリ画面で追加したいファイルやフォルダなどをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから［再生待ちに追加］をタップします。ライブラリ画面に切り替える前のプレイビュー画面の一番下に追加されます。

④ 選択したファイルを再生リストから削除します。

⑤ 選択したファイルの情報を表示します。

- プレイビュー画面で画面右下の［メニュー］―［プレイビューの消去］にタップすると、再生リストからすべてのファイルを消去します。

再生中に画面を消す

以下の手順でキーボードのキーや（カーソル）キーなどに設定を割り当てると、音楽再生中に画面を消すことができます。

1 **オプション画面(［ボタン］タブ)を表示し(☞7-27ページ)、画面を一番下までスクロールします。**

2 **［切り替え画面］をタップし、［割り当て］をタップします。**

3 **割り当てるキーボードのキーや(カーソル)キーなどを押し、ok をタップします。**

Windows Media Player 10を起動中に手順**3**で割り当てたキーを押すと画面が消えます。画面を表示するときはもう1度同じキーを押します。

ネットワーク上のファイルを再生する

インターネットやネットワーク上のファイルを再生します。
再生するには、インターネット接続の設定が必要です。まだ設定していない場合は、2-2ページをご覧になり設定してください。

1 **ライブラリ画面で、画面右下の メニュー － URLを開く にタップします。**

2 **「URL：」欄にネットワークアドレスを入力し、画面左下の OK をタップします。**

パソコンで作った再生リストを再生する

ライブラリ画面で「再生リスト」を選択して再生します。
"再生リスト"とは、お気に入りのファイルを集めたリストのことです。
例えばいろいろなアルバムにあるお気に入りのオーディオファイルを再生リストに登録して、お気に入りの音楽だけを再生できます。
再生リストは、パソコンのWindows Media Player 10で作成し、同期させてこの製品に取り込みます(☞次ページ)。

ランダム再生する

ファイルを順不同に再生します。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の メニュー －
ランダム再生／連続再生 － ランダム再生 にタップします。

連続再生する

プレイビュー画面に表示されている順に再生し、最後のファイルを再生した後は、最初に戻って再生します。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の メニュー －
ランダム再生／連続再生 － 連続再生 にタップします。

Windows Media Player 10と同期する

ActiveSyncをインストールし同期設定（☞8-10ページ）をしていると、パソコンのWindows Media Player 10とこの製品の間で音楽（オーディオ）ファイルを同期できます。また、ActiveSyncをインストールしていない場合は、8-2ページをご覧になりインストールしてください。

- ActiveSyncをインストールしていてもMediaを設定していないときは8-7ページのメモをご覧になり、設定を行ってください。

1 Windows Media Player 10を起動し、同期する音楽ファイルを取り込みます。

すでに、Windows Media Player 10に音楽ファイルを取り込んでいるときは、この手順は必要ありません。

2 パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続します。

しばらくするとActiveSyncが起動し、「連絡先」など設定しているプログラムの同期を行います。

3 Windows Media Player 10を起動して「同期」タブをクリックします。

4 画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。

同期が始まります。

5 同期完了後、パソコンからこの製品を取り外します。

Windows Media Player 10の操作についてくわしくは、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

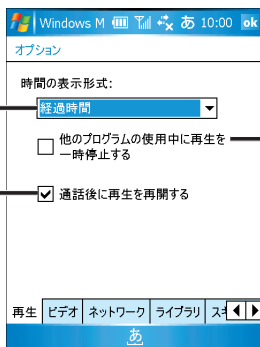
MEMO

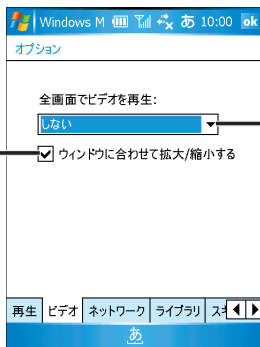
- Windows Media Player 10と自動的に同期するように設定した場合（8-8ページの手順**13**で「自動」を選択した場合）は、手順**2**を行った後、自動的に同期されます。音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが同期されます。1度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

ご注意！

- パソコンのWindows Media Player 10のファイルをこの製品に同期（転送）するときは、必ずWindows Media Player 10の「同期」機能をご使用ください。ファイルをドラッグアンドドロップで転送しないでください。
- Windows Media Player 10は、Windows XPが動作しているパソコンからのみ使用できます。Windows XP以外で動作するパソコンでは、Windows Media Player 9シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

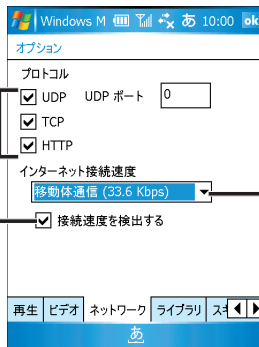
時間の表示形式、他のプログラムを使用中の再生方法などを設定する

再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［再生］タブで、時間の表示形式を変更したり、電話や他のプログラムを使用中の再生方法の設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

ビデオ再生時の画面設定をする

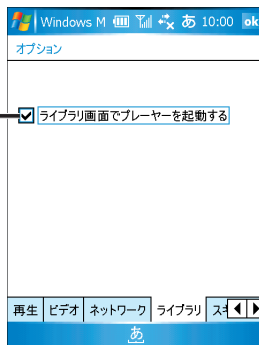
再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［ビデオ］タブで、ビデオ再生時の表示画面の設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

ネットワークプロトコルとインターネット接続速度を設定する

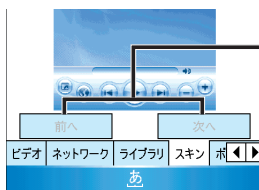
再生画面右下の メニュー ─ オプション ─ ネットワーク タブで、ネットワーク上のファイルを再生する（ストリーミング）ときの設定をします。
設定が終わったら ok にタップしてください。

ストリームを受信するときのプロトコルを指定します。
すべてのプロトコルを選択することをお勧めします。

再生が最適化されるように接続速度を自動的に設定させるときチェックをつけます。

インターネット接続速度を変更します。

起動時に表示させる画面を設定する

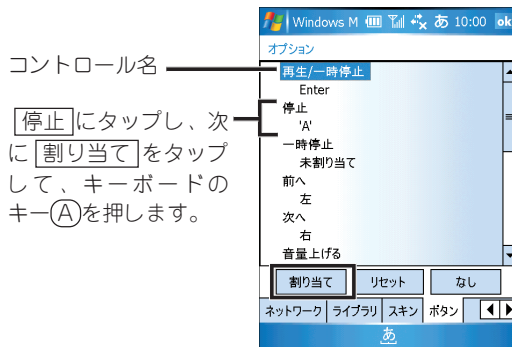
再生画面右下の メニュー ─ オプション ─ ライブラリ タブで、Windows Media Player 10 Mobileを起動したときの画面を設定します。
設定が終わったら ok にタップしてください。

再生画面の外観(スキン)を変更する

再生画面右下の メニュー － オプション － スキン タブで、再生画面の外観(スキン)を設定します。
設定が終わったら ok にタップしてください。

ダウンロード等により新しいスキンをこの製品に取り込むと 前へ または 次へ にタップして外観(スキン)の変更ができます。

キーボードのキーなどの割り当てを変更する

1 **再生画面右下の メニュー － オプション － ボタン タブで、変更したいコントロール名(再生／一時停止など)をタップします。**

2 **割り当て をタップし、「ボタンの割り当て」画面が表示中に、新しく割り当てるキーボードのキーや カーソル キーなどを押します。**

押したキーが表示されます。

MEMO

- ハードウェアのキーの割り当てを元に戻すときは、再度コントロール名をタップして リセット をタップします。
- ハードウェアのキーの割り当てをしないときは、コントロール名をタップして なし をタップします。
- クリア キーや ok キーなど、一部のキーには割り当てできないなどの制限があります。

3 **設定が終わったら ok にタップします。**

7 映像と音楽

Windows Media Player 10 Mobile

Windows Media Player 10 Mobileのメニュー

再生画面のメニュー

ライブラリ		ライブラリ画面に切り替わる。
再生／一時停止		再生を開始または一時停止する。
停止		再生を停止する。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生	ランダム再生する（☞7-23ページ）。
	連続再生	連続再生する（☞7-23ページ）。
全画面表示		ビデオファイルの再生中にタップすると、全画面表示になる。
オプション		オプション設定画面を表示する（☞7-25〜27ページ）。
プロパティ		現在再生中のファイルの情報を表示する。
バージョン情報		バージョン番号など、Windows Media Player 10 Mobileに関する情報を表示する。

プレイビュー画面のメニュー

ライブラリ		ライブラリ画面に切り替わる。
上へ		選択したファイルを再生リストの上へ移動する。
下へ		選択したファイルを再生リストの下へ移動する。
再生リストから削除		選択したファイルを再生リストから削除する。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生	再生リストのファイルをランダム再生する（☞7-23ページ）。
	連続再生	再生リストのファイルを連続再生する（☞7-23ページ）。
プレイビューの消去		すべての再生リスト（ファイル）を削除する。
エラーの詳細		再生時にエラーメッセージが表示されたときなどにタップでき、そのエラーの詳細を表示する。
プロパティ		選択したファイルの情報を表示する。

ライブラリ画面のメニュー

再生待ちに追加	プレイビュー再生リストの最後に追加する。
ライブラリから削除	選択したファイルをライブラリから削除する。
プレイビュー	プレイビュー画面に切り替わる。
ライブラリ	ライブラリを切り替える。
ライブラリの更新	ライブラリを更新（新しいファイルを追加）する。
ファイルを開く	ファイルを開く。
URLを開く	Windows Media.com Mobileなどのホームページから、ネットワーク上のファイルを再生する。
プロパティ	選択したファイルの情報を表示する。

8 パソコンとの連携

パソコンとの連携（ActiveSync） 8-2

データ通信 8-19

パソコンとの連携（ActiveSync）

ActiveSyncを使うと同期やファイルのコピーなど以下のことができます。

・パソコンのMicrosoft Outlookとこの製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、この製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。
・この製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーできます（☞8-12ページ）。
・Word MobileやExcel MobileのデータとパソコンのWordやExcelのデータを同期します（☞8-13ページ）。
・パソコンで表示したホームページのURLをこの製品に転送することができます（☞8-14ページ）。

ここでは、ActiveSyncの基本的な使いかたについて説明します。
ActiveSyncの設定や使用方法についてくわしくは、ActiveSyncのヘルプや、付属のCD-ROMの中にあるActiveSyncのReadme.docをご覧ください。

● パソコンのWordやExcelのデータをWord MobileやExcel Mobileのデータに変換したとき、Word MobileやExcel Mobileがサポートしていない書式や機能などは反映されません。

パソコンの動作環境について

インストールする前にパソコンの環境を確認します。

OS（ActiveSyncとUSBモデムドライバ共通）

・Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 1および2）
・Microsoft Windows XP Home（Service Pack 1および2）
・Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 4）

アプリケーション

・Microsoft Outlook 98以降
　受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要
・Microsoft Internet Explorer 5.01以降

ハードディスク空き容量

・ActiveSyncの場合：12～65MB

その他

・USBポート
・CD-ROMドライブ
・256色以上のVGAグラフィックスカードまたは互換性のあるビデオグラフィックスアダプタ
・キーボード
・Microsoft マウスまたは互換性のあるポインティングデバイス

オプション

・Microsoft Office 97、Microsoft Office 2000、Microsoft Office 2003、Microsoft Office XP
・音声用オーディオカード／スピーカー

●USBモデムドライバをインストールするときも、ActiveSyncと同じOSの環境（上記）です。

ご注意！

次のようなパソコンでの動作は保証できません。

・自作パソコン
・OSをアップグレードしたり入れ替えたパソコン
・ご自分で追加したUSBポートをお使いのとき
・USBハブなどを経由した接続のとき
・パソコンにこの製品以外のUSB機器が接続されているとき

ActiveSyncをインストールする

ActiveSyncをインストールする前にお読みください

ActiveSyncをインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。
確認した後、インストールを行ってください。

①Outlookをインストールして、使用状態(下記)にしてください。なお、Outlook Expressとは同期できません。
ActiveSyncをインストールした後でOutlookをインストール/使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlookをインストールして使用できる状態にしてください。

Outlookを使用状態にする
Outlookインストール後、Outlookの「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」チェックボックスを付けた後、Outlookに連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。
Outlook2000をお使いの場合は、パソコンの"Internet Explorer"を起動し、「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」を「Microsoft Office Outlook」にします。

②ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止/無効にしてください。
停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

③Intellisyncなど他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。

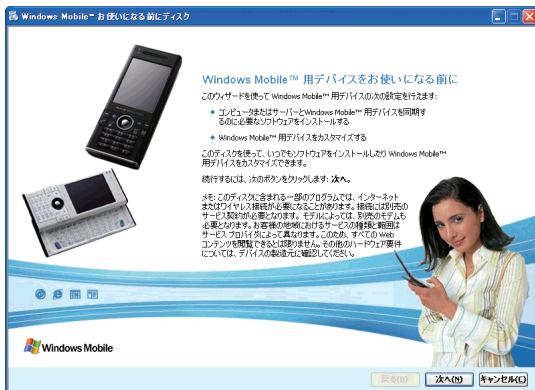
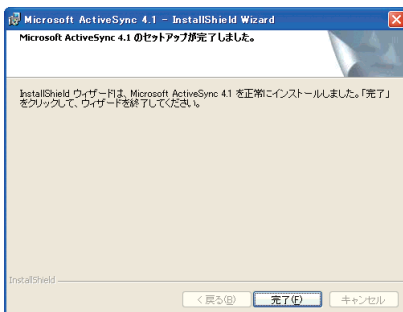
④Windows Media Playerと同期するときは、Windows Media Player 10をインストールしてください。
古いバージョンのWindows Media Playerとは同期できませんので、ご注意ください。

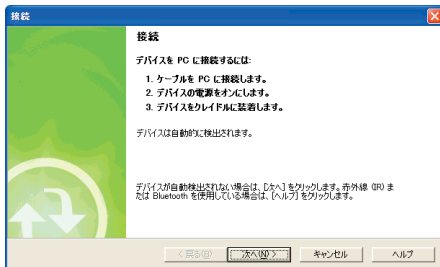
1 この製品の通信モードをActiveSyncができる設定にします。

1 スタート メニューの“設定”にタップし、接続 タブをタップします。

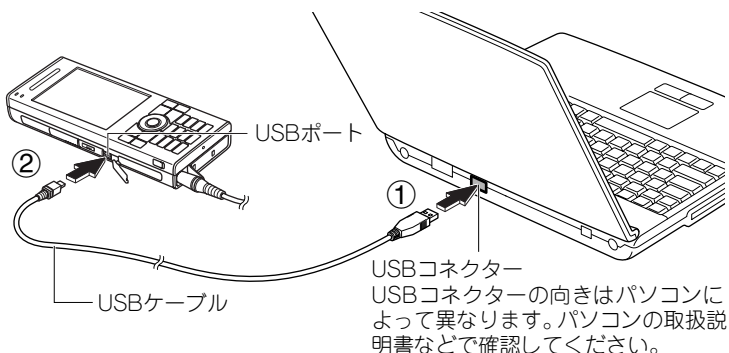
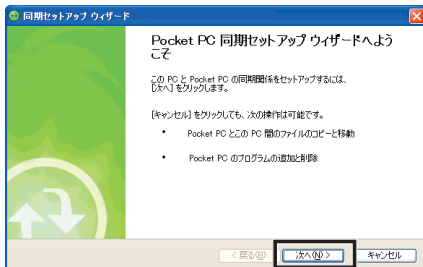
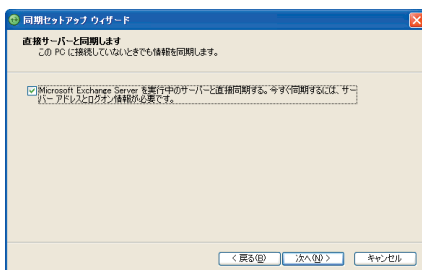
2 “ＵＳＢ接続”の ＵＳＢ接続 タブで「ＰＣと同期する。（ActiveSync）」にチェックを付けます。

3 この製品の電源が自動的に切れないように設定しておいてください（☞10-20ページ）。

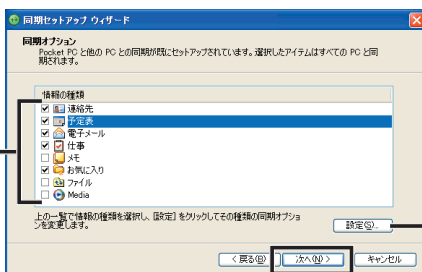
2 付属のGetting Started CDをパソコンにセットします。
しばらくすると、次の画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックし、下記の画面が表示されるまで画面の指示にしたがってインストールします。

4 [完了]をクリックし、パソコンの再起動を行う画面が表示されたときは[はい]をクリックし、再起動します。

5 再起動後、しばらくすると「接続」画面が表示されます。

6 上記画面が表示された状態で、①、②の順でパソコンとこの製品を付属のUSBケーブルを使って接続します。

ご注意!

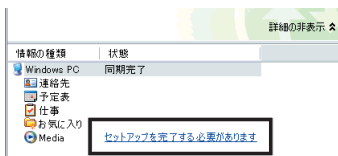
- USBケーブルは、パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、この製品にACアダプターを接続するか充電池の残量が十分であることを確認してください。

7 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

- **お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Serverに接続しているときは**
  前ページの手順**7**の後、「直接サーバーと同期します」画面（以下の画面）が表示されます。

・Microsoft Exchange Serverと直接同期しないときは、「Microsoft Exchange Serverを実行中のサーバーと直接同期する」のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

・Microsoft Exchange Serverと直接同期するときは、「Microsoft Exchange Serverを実行中のサーバーと直接同期する」のチェックを付け、［次へ］をクリックします。
次に表示された画面でサーバー情報やログオン情報などを設定し、［次へ］をクリックすると、手順**8**に進みます（手順**8**の画面ではExchange Serverとの同期が行われます）。入力する情報については、ネットワーク管理者にご確認ください。
また、ネットワーク環境によっては別の画面が表示されることもありますので、ネットワーク管理者にお尋ねになり、画面にしたがって操作してください。

8 「同期オプション」画面が表示されたら、同期する項目にチェックをつけて［次へ］をクリックします。

- 「ファイル」を選択すると「ファイルの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、［OK］をクリックしてください。この「ファイル」は、同期するためのものです（☞8-13ページ）。パソコンとこの製品のファイルをコピーするときは、ファイルのコピー（☞8-12ページ）を行います。
- Windows Media Player 10と音楽ファイルを同期するときは、Mediaの項目にチェックを付けセットアップを完了したあと手動で行います。
  Mediaを選択すると「メディアの同期」画面が表示されます。［OK］をクリックしてください。

9 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

しばらくすると自動的に同期が開始されます。同期が終了すると、「ActiveSync」画面内に「接続完了」が表示されます。

10 Windows Media Player 10と同期する場合（手順8でMediaにチェックを付けた場合）は、ActiveSync画面内のMediaの右横の「セットアップを完了する必要があります」をクリックします。

11 表示された確認画面で「はい」をクリックします。

Windows Media Player 10が起動します。

12 Windows Media Player 10で「同期」タブをクリックし「同期の設定」をクリックします。

13 表示された画面で、「手動」を選択し[完了]をクリックします。

14 画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。

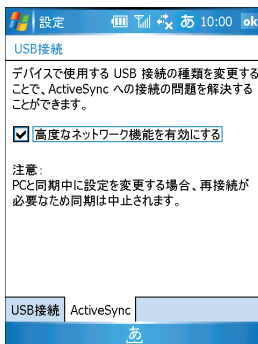
Windows Media Playerと同期が始まります。
ActiveSyncをインストールできないときや同期できないときは、8-16ページをご覧ください。

- 手順**13**で「自動」を選択すると音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが自動的にWindows Media Playerと同期しますので、「手動」を選択することをおすすめします。
  1度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。
- **ActiveSyncインストール後にMediaなど同期する項目を変更するときは**
  パソコンとこの製品を接続した状態でActiveSync画面の「ツール」メニューの「オプション」を選択します。
  前ページの手順**8**の「同期オプション」画面が表示されますので項目のチェックを付けたり外したりします。

ActiveSyncを使って同期する

1 スタート メニューの“設定”にタップします。

2 設定画面で 接続 タブにタップし、“USB接続”にタップし、USB接続 タブで「PCと同期する。(ActiveSync)」にチェックを付けます。

3 ActiveSync タブをタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付けます。

4 ok にタップします。

8-18ページの方法で接続するときは、ActiveSync タブで「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外します。

ご注意！

- この製品とパソコンを同期するときは、必ず手順**1**〜**4**を行ってください。手順**2**のUSB接続の設定が「モデムとして使用する」にチェックが付いていると、同期できません。

5 この製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

自動的に同期が始まります。
この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO

- 手動で同期するときは、次の方法で行います。

パソコン側から同期を実行する

1 ActiveSyncの[ファイル]メニューの[同期]をクリック、または[同期]をクリックします。

この製品側から同期を実行する

1 スタート メニューの“プログラム”にタップし、プログラム画面で“ActiveSync”にタップします。

2 画面左下の 同期 にタップします。

- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください(☞8-22ページ)。

同期をするときの設定を行う

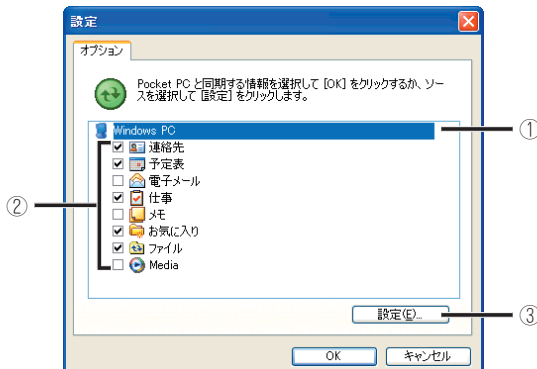
同期を行うときにどのアプリケーションと同期を行うのかを設定できます。

1 パソコンとこの製品を接続します。

2 パソコン側のActiveSync画面で、「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。

設定画面が表示されます。

3 同期に関する設定を行います。

同期するアプリケーションの設定など行います。

設定画面に表示される「ファイル」は、ファイルを同期するためのものです(☞8-13ページ)。
パソコンに保存しているファイルをこの製品にコピーしたり、この製品のファイルをパソコンにコピーするときは、8-12ページの方法(ファイルのコピー(ドラッグ&ドロップ))で行ってください。

---

① 同期するパソコン名(フレンドリ名)が表示されます。
「設定」をクリックするとフレンドリ名の変更やパソコンで設定されている日時をこの製品に同期させることができます。
・パソコンで設定されている日時をこの製品に同期させるときは「接続時にPocket PCの日時を同期する」にチェックをつけて同期操作を行ってください。

---

② 同期するアプリケーションにチェックをつけます(チェックを外すと同期されません)。

---

③「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。(☞次ページ)

予定表／電子メールなどの設定を行う

予定表や電子メールなどを同期するとき、同期する期間(たとえば、過去2週間と未来の予定)やメールのサイズ制限などができます。
以下のプログラムに対して設定ができます。

・予定表
・電子メール
・お気に入り

1 **パソコン側のActiveSync画面で「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。**

設定画面が表示されます。

2 **予定表、電子メール、お気に入りのいずれかを選択し、[設定]をクリックします。**

3 **表示された同期設定画面で、同期する期間などを設定します。**

・予定表　　　：同期する予定の期間を設定します。
・電子メール　：同期する期間やサイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
・お気に入り　：同期するURLを選択／削除します。

MEMO

● 予定表やメールを同期するとき、期間やサイズ制限などの設定によって同期できないデータがあります。同期した後、同期していないデータがあるときは、上記の手順**2**で確認してください。

ファイルをコピーする

パソコンとこの製品の間で相互にファイルをドラッグ&ドロップでコピーできます。

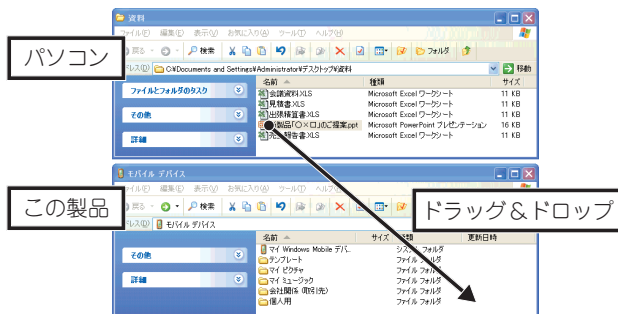
1 **パソコンとこの製品を接続します。**

2 **パソコン側のActiveSync画面で、[エクスプローラ]をクリックします。**

「モバイル デバイス」ウィンドウが開き、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

3 **パソコンのウィンドウを表示し、パソコンに保存しているファイルやフォルダを表示します。**

4 **コピーしたいファイルを一方のウィンドウからもう一方のウィンドウにドラッグ&ドロップします。**

ドラッグ&ドロップしたファイルがコピーされます。

5 **「モバイル デバイス」ウィンドウの右上の☒をクリックしてウィンドウを閉じます。**

6 **パソコンとこの製品を取り外します。**

MEMO

- パソコンからこの製品を取り外すとドラッグ&ドロップしてもコピーされません。
- パソコンからこの製品にMicrosoft ExcelファイルやMicrosoft Wordファイルをコピーすると外出先等でもファイルの内容を確認できます。

ファイルを同期する

パソコンのファイルとこの製品のファイルを同期できます。
同期するには、同期フォルダを利用します。

1 パソコンのデスクトップに同期フォルダ( )が表示されていることを確認します。

- 同期フォルダ( )が表示されていないときは、「同期をするときの設定を行う」(☞8-10ページ)を参照して、 ファイルにチェックを付けて同期設定してください。

2 同期したいファイルを同期フォルダに入れます。

3 この製品とパソコンを接続します。

同期フォルダ内のファイルを同期し、パソコンとこの製品で同じ内容のファイルを持つようになります。

ご注意！

- **Microsoft WordやMicrosoft Excelなどのファイルを同期するとき**
  Microsoft WordやMicrosoft Excelは、Word MobileやExcel Mobileに比べて多くの機能を持っています。このため、同期時にパソコン上の同期フォルダ内のWordやExcelファイルからWord MobileやExcel Mobileなどが持っていない機能が削除されます。

- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください(☞8-22ページ)。

お気に入りと同期する

パソコンで表示したホームページやパソコンに取り込んでおいたホームページのURLを、この製品に転送することができます。

1 パソコンのInternet Explorerの「お気に入り」メニューの中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されていることを確認します。

MEMO

- 「モバイルのお気に入り」フォルダが表示されていないときは、「同期をするときの設定を行う」(☞8-10ページ)を参照して、 お気に入りにチェックを付けて同期設定してください。

2 パソコンでホームページを表示し、「お気に入り」メニューの「お気に入りに追加」をクリックします。表示されたお気に入りの追加画面で、「 モバイルのお気に入り」をクリックして選択し、[OK]をクリックします。

MEMO

- お気に入りの追加画面に「 モバイルのお気に入り」が表示されていない場合は、お気に入りの追加画面の[フォルダ]をクリックしてフォルダを表示させます。

3 この製品とパソコンを接続します。

追加したお気に入りがこの製品に転送されます。
転送されるのは、モバイルのお気に入りフォルダに追加したホームページのURLのみです。実際にホームページを閲覧するときは、インターネットに接続する必要があります。

MEMO

- パソコンのInternet Explorerの「ツール」メニューの「モバイルのお気に入りの作成」をクリックしても「モバイルのお気に入り」に追加されます。
- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください(☞8-22ページ)。

他機種のデータをこの製品に移す

WS003SH、WS004SHなどからデータを移すには、ActiveSyncの同期を使って行います。
「WS003SH、WS004SHなどの予定表や連絡先などのデータ」と「パソコンのMicrosoft Outlookのデータ」を同期したあと、そのパソコンとこの製品を同期します。

- **WS003SH、WS004SHなど他機種でActiveSyncをインストールしてお使いの方**
  インストールしているActiveSyncを使ってこの機種と同期することでデータを移行できます。同期する項目を確認して、同期を行ってください。
- **WS003SH、WS004SHなど他機種でActiveSyncをインストールされていない方**
  ActiveSyncをインストール（☞8-4ページ）したあと、データを移します。

1 **8-4〜8ページをご覧になりActiveSyncをインストールします。**
インストール時、手順**8**で、「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「お気に入り」にチェックを付けます。

2 **インストール後、WS003SHなど他機種とパソコンを接続して同期します。**
Microsoft OutlookとWS003SHなどとの間で同期が行われ、Microsoft OutlookとWS003SHなどのデータが同じ状態になります。

3 **この製品とパソコンを接続して同期します。**
Microsoft Outlookとこの製品との間で同期が行われます。この製品に何もデータが入っていない状態では、Microsoft Outlookのデータがこの製品に移ります。

インストールや同期ができないときは

ActiveSyncをインストールできないときや同期できない、エラーメッセージが表示されるときは、以下の内容をご確認ください。

8-5ページの方法でインストールしたあと同期できないときは

USB接続(ActiveSync タブ)で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続してみてください。
この時、1回目の接続でドライバのインストールが必要になります。くわしくは、8-18ページをご覧になり、インストールを行ってください。

「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しても同期できないときは

以下の内容をご確認ください。

こんなときは	ここをお確かめください
● **インストール直後、同期できず、エラー(「サポートコード:85010014」)が表示される。**	● Microsoft Outlookを起動し、「ヘルプ」メニュー－「アプリケーションの自動修復」をクリックします。 自動修復完了後、Windowsの「スタート」メニュー－「コントロールパネル」－「プログラムの追加と削除」をクリックし、プログラムの追加と削除画面でMicrosoft ActiveSyncを選択し[変更]をクリックします。表示された画面で[次へ]をクリックし、次の画面で「修復」を選択し[次へ]をクリックします。
● **「Outlookを既定の設定にしてください」と表示され同期できない。** ● **「デフォルトのメールクライアントを設定されていないか、現在のメールクライアントがメールを受け取れない状態にあります。Microsoft Outlookを起動してデフォルトのメールクライアントに指定してください。」と表示され同期できない。**	● パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニュー－「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」の項目を「Microsoft Office Outlook」にします。

こんなときは	ここをお確かめください
● エラー(「サポートコード:8503001f」)が表示され同期できない。 ●「プロファイル保護がかかっています。プロファイルを作成し直してください。」と表示され同期できない。 ●「電子メールは既にWindows PCと同期しているため同期できません。」と表示され電子メールの同期ができない。 ● エラー(「サポートコード:80072EE2」)が表示され同期できない。	● 現在の同期設定を削除(モバイルデバイスの削除)し、再度、モバイルデバイスを作り直します。 パソコンとこの製品の接続を外して、パソコンとこの製品に設定されているモバイルデバイスを削除してください。削除後、再度同期を行うと新しいモバイルデバイスが設定されます。 以下の方法でモバイルデバイスを削除してください。 パソコン:ActiveSync画面の「ファイル」メニューの「モバイルデバイスの削除」をクリックして確認画面で[はい]をクリックします。 この製品:プログラム画面で“ActiveSync”をタップし表示されたActiveSync画面で メニュー − オプション をタップし、オプション画面で 削除 をタップして確認画面で はい をタップします。 パソコンとこの製品の両方のモバイルデバイスを削除した後、USBケーブルで接続すると「同期セットアップウィザード」画面が表示されますので画面にしたがって操作して同期を行ってください。
● AvtiveSyncインストール後にOutlookをインストールしたり、Windows Media Player10をインストールまたはWindows Media Player10にアップグレードしたときは?	● ActiveSyncの修復を行ってください。修復の方法は、前ページの1つ目の「ここをお確かめください」をご覧ください。

どうしてもインストールや同期ができないときは

Outlookを使える状態にしても同期できないときや前ページの方法でも同期できないときは、OutlookとActiveSyncをいったんアンインストールしてください。その後Outlookをインストールし使える状態にして、ActiveSyncをインストールしてみてください。

USB接続(ActiveSyncタブ)で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続する

8-5ページの方法でインストールしたあと接続できないときは、USB接続(ActiveSyncタブ)で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して試してください(☞8-9ページ)。

1 **パソコンからこの製品を取り外します。**

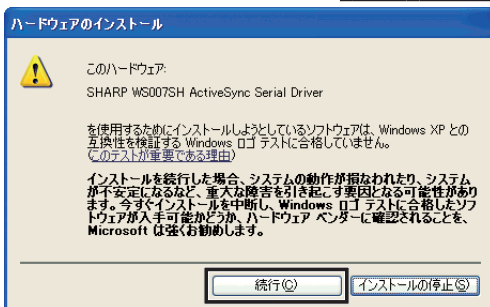
2 **付属のGetting Started CDをパソコンにセットします。**
自動的に8-5ページの手順**2**の画面が表示されますので、画面右上の×をクリックし画面を閉じます。

3 **この製品のUSB接続(ActiveSyncタブ)で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外し、okをタップします。**

4 **パソコンとこの製品を接続します。**

5 **しばらくすると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されますので、「いいえ、今回は接続しません」を選択し[次へ]をクリックします。**

6 **表示された画面で、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、[次へ]をクリックします。**

7 **下記のような「ハードウェアのインストール」画面で「合格していません」と表示されますが、[続行]をクリックします。**

8 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、[完了]をクリックします。**

9 **「Pocket PC同期ウィザードへようこそ」画面(8-6ページの手順7)が表示されますので、8-6ページの手順7以降をご覧になり操作します。**

データ通信

パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続すると、この製品をモデム(パソコンと接続してインターネットに接続したり、メール送受信するための機器)として利用できます。

この製品では、次のデータ通信方式が利用できます。

- 64kPIAFS(ベストエフォート)
- 64kPIAFS(ギャランティ)
- 32kPIAFS
- フレックスチェンジ方式
- 1xパケット方式
- 2xパケット方式
- 4xパケット方式

●64kPIAFS(ベストエフォート)

ウィルコムが提供する最大通信速度64kbpsのデータ通信方式です。基地局の利用状況や電波の状況により64kbpsと32kbpsをフレキシブルに選択し、切れにくい通信環境を実現する方式です。

●64kPIAFS(ギャランティ)

64kbps固定のデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できないときは回線を切断します。

●32kPIAFS

PHSの通信標準規格で、最大通信速度32kbpsの通信を行う方式です。

●フレックスチェンジ方式

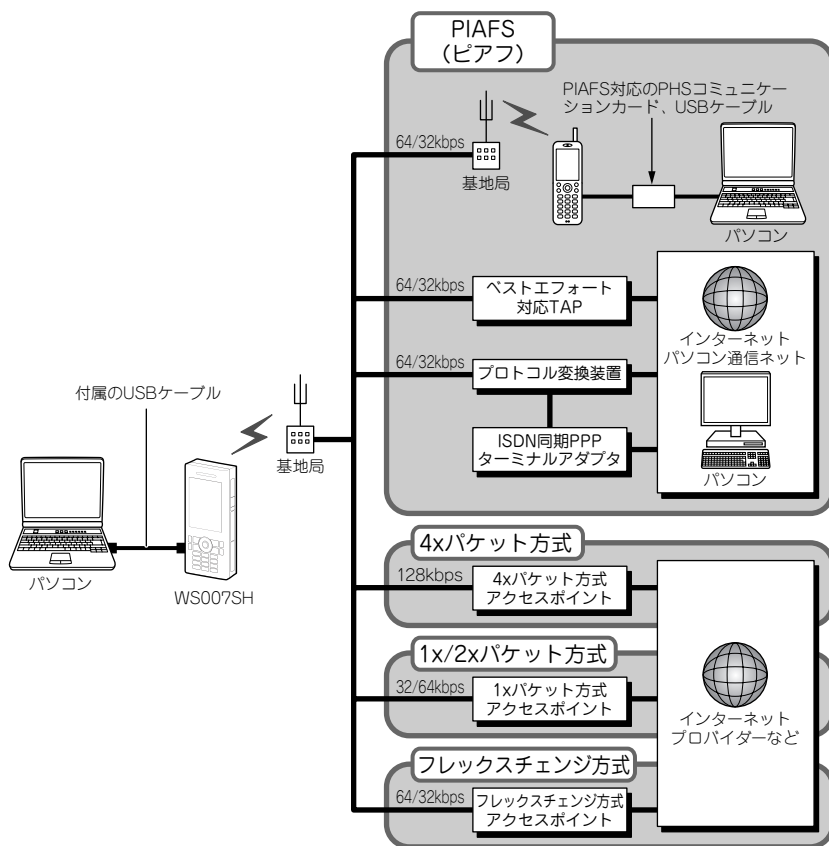
ウィルコムが提供する1xパケット方式/2xパケット方式と64kbps(ベストエフォート)の通信方式を送受信するデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。スムーズな通信環境を実現できます。
ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

●1xパケット方式/2xパケット方式

ウィルコムが提供する最大通信速度32kbps/64kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット(小包)に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの1x/2xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

※2xパケット方式を利用するときも1xパケット方式対応の料金コースに契約します。

● 4xパケット方式

ウィルコムが提供する最大通信速度128kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの4xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

ウィルコムのデータ通信に関するお問い合わせ窓口

- この製品から　局番なしの**157**（無料）
- 一般加入電話／公衆電話から　**0120-921-157**（無料）
  （携帯電話・PHSからもかけられます）

受付時間：9:00～21:00（日・祝日も受付）　（2006年6月現在）

データ通信の準備

パソコンとこの製品をUSBケーブルで接続する前に次の準備が必要です。

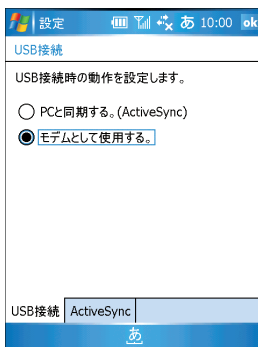
①USBモデムドライバをパソコンへインストールする

パソコンの動作環境については、8-3ページに記載しているOSの項目と同じです。詳細は8-3ページをご覧ください。
インストールの方法は、付属のGetting Started CDに収録しているマニュアル「USBモデムドライバのインストールマニュアル」(USB_install_manual.pdf)をご覧ください。マニュアルの開き方は、1-64ページをご覧ください。

②この製品の通信方式をモデムに設定する

1 **スタートメニューの“設定”にタップします。**
設定画面が表示されます。

2 **設定画面(接続タブ)で“USB接続”にタップします。**
USB接続画面が表示されます。

3 **USB接続画面で、「モデムとして使用する。」にチェックを付けます。**

4 **okにタップし、設定を保存します。**
この製品をデータ通信機器として使用できます。

- ActiveSyncを使ってパソコンと同期を行うときは、手順**3**で「PCと同期する。(ActiveSync)」にチェックを付けます(☞8-5ページ)。

8 パソコンとの連携

データ通信

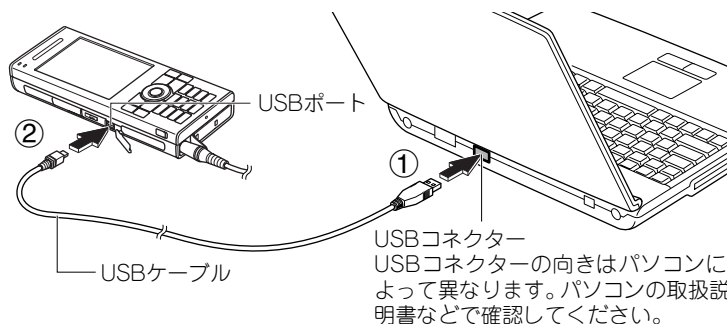
パソコンとこの製品を接続する

ここでは、ドライバをパソコンにインストールしているものとして説明します。

パソコンとこの製品を接続する

付属のUSBケーブルを使ってパソコンとこの製品を接続します。

1 データ通信ができる設定になっていることを確認します（☞前ページ）。

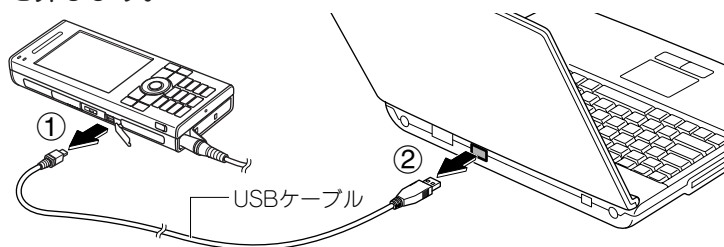
2 パソコンを起動し、下図のように①②の順でこの製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

● USBケーブルは、パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。

MEMO

● この製品の充電池の消耗を少なくするために、この製品にACアダプターを接続してデータ通信を行うことをおすすめします。

パソコンとこの製品を取り外す

データ通信終了後、以下のようにして取り外します。

1 パソコンを起動したまま、下図のように①②の順でUSBケーブルを外します。

データ通信（発信）を行う

この製品に接続しているパソコンからデータの発信などを行います。

ご注意！

- この製品では、データ（着信）通信はできません。
- ダイヤルロック（通話／通信機能の制限）やW-SIMロックを設定（☞3-38～40ページ）しているときは、データ通信も利用できません。

準備

データ通信を使ってインターネットに接続する前に、インターネットに接続するための設定（接続アカウント、パスワード、アクセスポイントなど）を行ってください。これらの情報を設定していないと、インターネットなどに接続できません。

1 この製品を接続しているパソコンなどからデータ通信の発信操作を行います。

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を設定するときは、電話番号に続けて次の記号と数字を入力します。

通信方式	電話番号に続けて入力
64kPIAFS（ベストエフォート、ギャランティ）	##4
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式	##7
1xパケット方式	##61
2xパケット方式／4xパケット方式	##64

※64kPIAFSと32kPIAFSの通信方式は、分計発信ができます。
分計発信するときは、電話番号＋記号（##4や##3など）の後に「,01」を追加します（例：03-××××-××××##4,01）。

この製品の画面（タイトルバー）上に、通信中であることを示すアイコンが表示されます。

64BE：64kPIAFS（ベストエフォート）　64GR：64kPIAFS（ギャランティ）
32PF：32kPIAFS　FC：フレックスチェンジ方式
PT：1xパケット方式／2xパケット方式／4xパケット方式

2 パソコンなどからデータ通信を終了する操作を行います。

MEMO

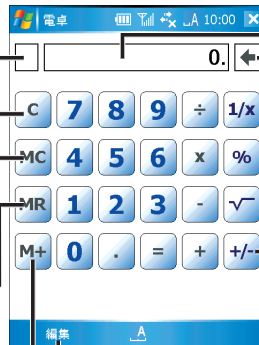
- データ通信を行う前に、この製品にACアダプターを接続するか、この製品の充電池残量が十分であることを確認してください。
- データ通信を行うためのパソコン側のくわしい設定や操作については、パソコンの説明書などをご覧ください。
- 発信者番号の通知／非通知は、発信者番号通知設定（☞3-36ページ）にしたがいます。
- データ通信をしたときの電話番号は発信履歴に保存されません。

9　その他の機能

電卓

一般の電卓と同じ操作で9桁までの計算ができます。

1 スタート メニューの“プログラム”にタップします。

2 プログラム画面で “電卓”にタップします。

3 電卓を終了するときは、 にタップします。

カードにバックアップする（バックアップツール）

この製品に保存しているデータなどをminiSDカードにバックアップ（保管）したり、保管したデータをこの製品にリストア（復元）したりできます。
また、バックアップ時、バックアップするデータを選ぶこと（すべてのデータ／選択データのみ）ができます。

- バックアップデータは、1枚のminiSDカード上に複数作ることができます。

以下のデータはバックアップされませんのでご注意ください。

・パスワード
・PINコード
・W-SIMの暗証番号
・ライセンスファイル（Windows Media DRM）※
※ライセンスファイルは、ウィルコム公式サイトの「着信メロディ」コーナーから曲データをダウンロードしたときに一緒にダウンロードされるファイルです。ダウンロードしたファイルを再生するには、曲データとライセンスファイルの両方が必要になります。

ご注意！

- バックアップデータをリストアすると、本体に保存していたデータは消去されバックアップデータに置き換わります。バックアップデータが選択データ（☞次ページ）のとき、リストアを行うと選択データの部分が置き換わります。
- WS003SHやWS004SHなど他の製品でバックアップ（保管）したデータは、この製品にリストア（復元）できません。
また、この製品でバックアップ（保管）したデータも他の製品にリストア（復元）できません。
- あるWS007SHのデータを別のWS007SHにリストア（復元）しても“メール”のデータは移すことはできません。

バックアップツールを起動する

1 **プログラムをすべて終了します。**

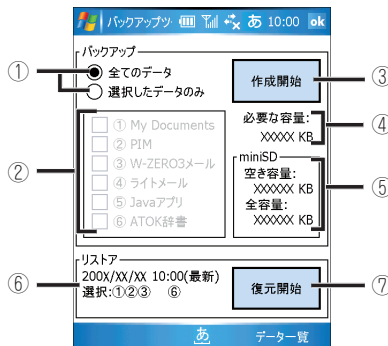
プログラムの終了の方法は、1-27ページをご覧ください。

2 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

3 **プログラム画面で“バックアップツール”にタップします。**

4 **バックアップに必要な容量の計算を行います。**

バックアップツール起動時、この容量の計算を行います。

5 **バックアップに必要な容量の計算が行われたあと、バックアップツール画面が表示されます。**

①	すべてのデータをバックアップ、バックアップするデータを選択するのかを選びます。
②	①で「選択したデータのみ」にしたとき、バックアップするデータを選択します。チェックが付いているフォルダやプログラムのデータがバックアップされます。「My Documents」はファイルエクスプローラを起動し、「マイデバイス」の中に表示される「My Documents」フォルダのことで、このフォルダ内のデータがバックアップされます。「Javaアプリ」はインストールしているJavaアプリケーション、「PIM」は「予定表」「連絡先」「仕事」「メール(Outlook)」です。
③	バックアップを実行します(☞次ページ)。
④	バックアップに必要な容量を表示します。
⑤	取り付けているminiSDカードの空き容量と全容量を表示します。
⑥	この製品にリストアするファイル名(バックアップデータ)を表示します。
⑦	リストア(復元)を実行します。

バックアップする(保管)

1 miniSDカードを取り付け、バックアップツール画面を起動します。

2 バックアップツール画面で、「全てのデータ」または「選択したデータのみ」を選びます。

通常は、「全てのデータ」を選びます。
「選択したデータのみ」を選んだときは、バックアップするフォルダやプログラムにチェックが付いていることを確認します。

3 作成開始 をタップします。

ご注意!

- 特定のプログラムが起動しない場合のみ、上記の手順**2**で「選択したデータのみ」を選び、動作しないプログラムのチェックを外してバックアップしてリストアを行ってください。通常のデータバックアップを行うときは、「全てのデータ」を選んでください。

4 確認画面が表示されます。
OK にタップすると手順5に移ります。
キャンセル にタップするとバックアップツール画面に戻ります。

5 「バックアップの作成中…」画面が表示され、バックアップが始まります。

6 バックアップが終了すると確認画面が表示され、数秒後に自動的にリセットが行われます。リセットが終了するまで待ちます。

Today画面(待ち受け画面)が表示されバックアップが終了します。

ご注意!

- この製品のメモリの空き領域が1MB以下のときは、バックアップできません。不要な画像データなど容量の大きなデータを削除したあと、バックアップしてください。

リストアする（復元）

バックアップしたデータをこの製品にリストア（復元）します。

ご注意！

- リストアを行うと、この製品に保存していたデータは削除され、リストアデータに置き換わりますのでご注意ください。
  選択データのみバックアップしたものをリストアすると、選択データのみリストアされます。選択データに入っていないデータはリストア前のものが残っています。

1 **バックアップツール画面で、リストアの欄に表示されているバックアップした日付とバックアップした内容を確認します。**
このデータをリストアする場合は、手順**4**に進みます。別のバックアップデータに変更するときは、手順**2**を行い、次の手順に進みます。

2 **画面右下の［データ一覧］を選びます。**
バックアップデーター覧画面が表示されます。

3 **リストアしたいファイル名（バックアップデータ）を選択しok、または画面右下の［メニュー］－［選択］をタップします。**

4 **［復元開始］をタップします。**

5 **確認画面で［OK］にタップします。**
リストア（復元）が始まります。［キャンセル］にタップするとバックアップツール画面に戻ります。

6 **「バックアップの復元中」画面が表示され、リストア（復元）が始まります。**

7 **リストア（復元）が終了すると、確認画面が表示され、数秒後に自動的にリセットが行われます。**
リセットが終了するまで待ちます。

8 **Today画面（待ち受け画面）が表示され、その上に確認画面が表示されます。**
リストア（復元）が終了します。

9 **ok をタップします。**
リストア後、「オンラインサインアップが必要です」のメッセージが表示されたときは、オンラインサインアップを行ってください。

バックアップデータ一覧画面について

バックアップツール画面で画面右下の［データ一覧］をタップするとバックアップデータ一覧画面が表示されます。
この画面は、miniSDカードの「CEBACKUP」フォルダに入っているバックアップデータをリスト表示します。

リストには日付が新しいものから順番に表示します（最大表示件数：10件）。
画面に表示されていない古いバックアップデータをリストア（復元）するときは、画面に表示されていて不要なバックアップデータを削除して目的のデータを画面に表示した後、前ページの手順**3**以降を行ってください。バックアップデータの削除方法は、下記をご覧ください。

■画面右下の［メニュー］をタップし、以下のメニューをタップして削除します。

- ［削除］：バックアップデータ一覧画面で選択しているバックアップデータを削除します。
- ［最新10件削除］：バックアップデータ一覧画面でリストの一番上から10件のデータを削除します。
- ［全て削除］：miniSDカードの「CEBACKUP」フォルダに入っているバックアップデータをすべて削除します。

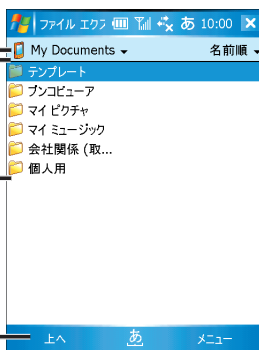
ファイルを管理する（ファイルエクスプローラ）

ファイルエクスプローラを使うと新規にフォルダを作成したり、ファイルのコピーやフォルダを移動させるなど、ファイルの管理ができます。
ここでは、ファイルエクスプローラの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。フォルダやファイルをコピー・移動する方法については1-60ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラの使いかた

1 **スタート メニューの"プログラム"にタップします。**

2 **プログラム画面の"ファイルエクスプローラ"にタップします。**

ファイルエクスプローラの画面が表示され、「My Documents」などのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

ご注意！

- ファイルエクスプローラを使うとWindowsのシステムファイルなどが見られますが、誤って削除したりすると正常に動作しなくなる恐れがあります。

- ファイルをタップしてもそのファイルが開かないときは、プログラムを起動して、そのプログラムからファイルを開いてみてください。

ファイルをメールに添付して送る

1 送信したいファイルをタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 [送信]にタップします。

「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。
ファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

- 送信したいファイルを選択し、画面右下の[メニュー]－[送信]をタップしてもファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、本文などを入力します。

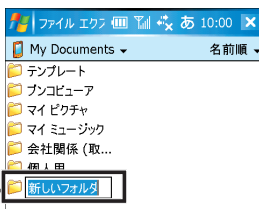
メールの送信についてくわしくは、「メールを作って送る」(☞4-35ページ)をご覧ください。

新規フォルダを作成する

ここでは「My Documents」フォルダの下に新しくフォルダを作ります。
別の階層にフォルダを作成するときは、「My Documents▼」にタップし、フォルダを選んでください。

1 ファイルエクスプローラ画面で「My Documents」フォルダを開きます。

2 画面右下の[メニュー]－[新しいフォルダ]にタップします。

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

- ファイルやフォルダのない空白部分にタップしたままにし、ポップアップメニューから[新しいフォルダ]にタップしても新しいフォルダが作成されます。

3 フォルダ名を入力します。

フォルダやファイルの名前を変更する

1 名前を変更するファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから 名前の変更 にタップします。

MEMO
- 名前を変更するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー － 名前の変更 をタップしても名前の変更ができます。

3 名前を変更します。

- 名前の変更をやめるときは、画面右下の メニュー － 編集 － 元に戻す 名前の変更 をタップして、元に戻します。

フォルダやファイルを削除する

1 削除するファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから 削除 にタップします。

削除の確認画面が表示されます。

- 削除するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー － 削除 をタップしても削除の確認画面が表示されます。

3 はい にタップします。

ご注意！
- **削除の取り消しはできません。**
  フォルダの削除を実行すると、フォルダ内のファイルやフォルダはすべて削除されます。
- エラーが表示され削除できないときは、そのファイルがプログラムから開かれていることが考えられます。
  関連するプログラムを終了（☞1-27ページ）した後、削除してください。

フォルダやファイルを移動・コピーする

1-60ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラのメニュー

My Documents		「My　Documents」のファイルとフォルダの一覧を表示する。
パスを開く		ネットワークに接続しているときパスを指定してネットワーク上の共有フォルダを開く。※指定したパスの履歴が残ります。履歴の編集はできません。
送信		タップすると選択しているファイルを添付したメッセージ作成画面を表示する（☞9-9ページ）。
最新の情報に更新		最新の状態に更新する。
すべてのファイルを表示		すべてのファイルを表示する。
新しいフォルダ		新しいフォルダを作成する（☞9-9ページ）。
名前の変更		フォルダやファイルの名前を変更する（☞前ページ）。
削除		フォルダやファイルを削除する（☞前ページ）。
編集メニュー	元に戻す	フォルダやファイルのコピー、名前の変更、移動の操作を元に戻す。
	切り取り	フォルダやファイルを切り取る（☞1-60ページ）。
	コピー	フォルダやファイルをコピーする（☞1-60ページ）。
	貼り付け	コピーおよび切り取ったフォルダやファイルを貼り付ける（☞1-60ページ）。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダやファイルのショートカットを貼り付ける。
	すべて選択	すべてのフォルダやファイルを選択する。

ゲームで遊ぶ（ソリティア／Bubble Breaker）

ソリティアとBubble Breakerの2つのゲームを楽しむことができます。
くわしくは、それぞれのゲームのヘルプをご覧ください。

ソリティア

山札のカードを使い切り、すべてのカードを組札に積み重ねるゲームです。
組札には、エースからキングまで、同じマークのカードを数字の小さい順に積み重ねていきます。

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“ゲーム”の“ソリティア”にタップします。**

3 **画面左下の カードをめくる をタップして山札をめくります。**
山札をタップしても山札をめくります。

4 **場札に赤と黒のカードを交互に数字が小さくなるように積み重ねながら、組札にエースを移動し、同じマークのカードを数字の小さい順に積み重ねていきます。**

・組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
・移動したカードを元に戻すときは、画面右下の メニュー ー 元に戻す にタップします（直前のプレイを取り消せます）。
・移動できるカードがなくなると終了です。
画面右下の メニュー ー 新しいゲーム をタップすると、もう一度最初からゲームを始められます。

MEMO

● 画面右下の メニュー ー オプション で以下の設定が変更できます。

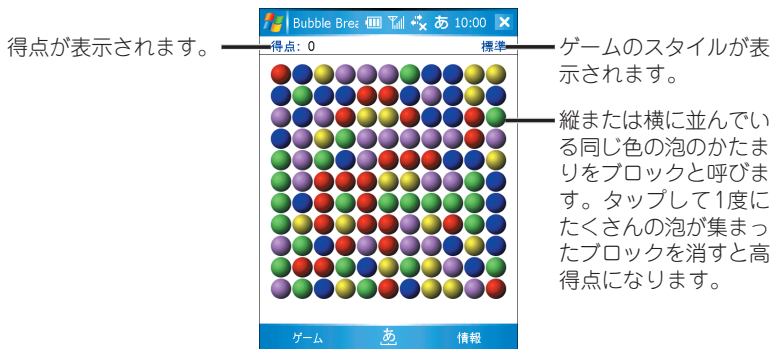
ゲームのルール タブ
・カード（山札）のめくりかたや得点の付けかたなどが設定できます。

カードの模様 タブ
・カードの模様を変更できます。

Bubble Breaker

泡(バルーン)を消すゲームです。
1度にたくさんの泡(バルーン)を消すと高得点になります。

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“ゲーム”の“Bubble Breaker”にタップします。**

3 **消したいブロックをタップします。**

消せるブロックが線で囲われ、得られる得点が表示されます。

4 **もう一度消したいブロックをタップします。**

ブロック内の泡(バルーン)が消え、得点が表示(加算)されます。

・消したブロックを元に戻すときは、画面左下の ゲーム − 元に戻す 移動 にタップします(直前のプレイを取り消せます)。
・消せるブロックがなくなると終了です。
画面左下の ゲーム − 新しいゲーム をタップすると、もう一度最初からゲームを始められます。

MEMO

● **ゲームの遊びかたを変更する**

画面左下の ゲーム − オプション でゲームの遊びかたを変更することができます。
・ゲームのスタイルは「標準」、「継続」、「メガシフト」などから選べます。
・バルーン(泡)の色は「カラー」、「グレースケール」が選べます。
変更が終わったら ok をタップしてください。

● **成績を確認する**

画面右下の 情報 − 成績表 でゲームの成績を確認できます。
確認が終わったら ok をタップしてください。

Java™アプリ

この製品には、Javaアプリケーションを実行するためのJava実行環境「JBlend™」が搭載されています。
ゲームなどのJavaアプリケーションを、インターネットからダウンロードしたり（☞5-8、5-18ページ）、パソコンやminiSDカードからコピーして（☞1-60、8-12ページ）、この製品で利用できます。ダウンロード後、インストールしてください。インストールの方法はダウンロード先などを確認してください。

Javaアプリケーションを起動する

1 スタートメニューの“プログラム”にタップし、“Java™アプリ”にタップします。

Javaアプリケーションの一覧画面が表示されます。

2 起動したいJavaアプリケーションにすばやく2回タップします。

Javaアプリケーションが起動されます。
使用方法は、Javaアプリケーションのヘルプなどをご覧ください。

MEMO

- この実行環境は、「J2ME CLDC-1.1 MIDP-2.0」に準拠しています。
- 画面右下のメニュー－アプリケーション－削除などでアプリケーションを削除するとアプリケーションを起動することはできませんが、元のファイル（インターネットなどからダウンロードしたファイル）はメモリに残っています。
- 本体メモリなどの容量を空けるときや不用になったときは、ダウンロードしたファイルもファイルエクスプローラを起動して削除します（ファイルによっては有料のものもありますので、削除にはご注意ください）。ダウンロードしたファイルを削除し再度インストールする場合は、ファイルを再度ダウンロードしてください。

Java™アプリのメニュー

アプリケーション	削除	選択しているJavaアプリケーションを削除する。
	すべて削除	表示されているJavaアプリケーションを全て削除する。
	パーミッション	ネットワークに接続する前に確認画面を出す／出さないなどを設定する。
	情報	選択しているJavaアプリケーションのファイル情報などを表示する。
Java設定		Javaアプリケーションの使用中、常にバックライトを点灯するか設定する。
Java情報		バージョン情報を表示する。
終了		Java™アプリ（Java実行環境）を終了する。

10 設定

使用環境を設定する 10-2

使用環境を設定する

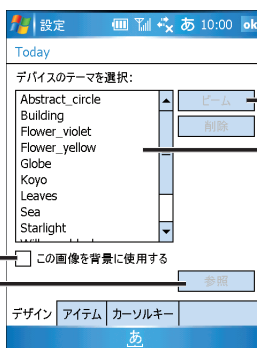
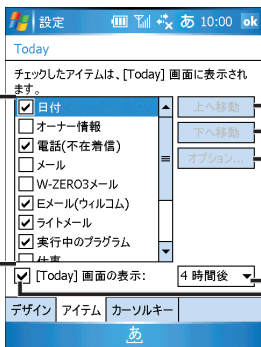
着信音や待ち受け画面（Today画面）など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。
スタート メニューの “設定”にタップすると、設定画面が表示されます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

待ち受け画面（Today画面）を設定する

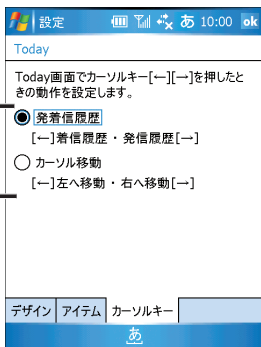
壁紙などを設定して、自分だけの待ち受け画面（Today画面）を作成できます。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして “Today”にタップします。**

2 **Today画面に関する設定を行います。**

◇ デザイン タブ ◇

◇ アイテムタブ ◇

MEMO

● この製品をロックするときは、デバイスロックではなくキーロック（☞1-8ページ）を使われることをおすすめします。デバイスロックをすると、電話がかかってきたときにデバイスロックを解除しないと電話に出ることができません。

◇ カーソルキータブ ◇

3 設定が終わったら、ok にタップします。

画像を「Today」画面の背景に設定する

この製品に保存している画像を「Today」画面の背景として設定できます。

1 **画像とビデオ画面で、「Today」画面の背景として設定したい画像をタップしたままにして表示されたメニューから [Today]の背景に設定する にタップします。**

「[Today]の背景に設定する」画面が表示されます。

MEMO

- 「Today」画面の背景として設定したい画像を選択し、画面右下の メニュー ー [Today]の背景に設定する にタップしても「[Today]の背景に設定する」画面が表示されます。

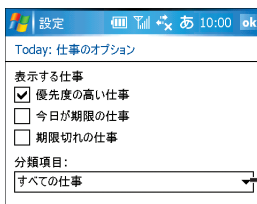
2 **背景にするときの透過レベルを設定します。**

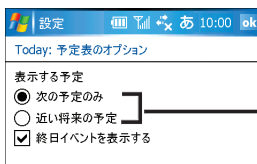
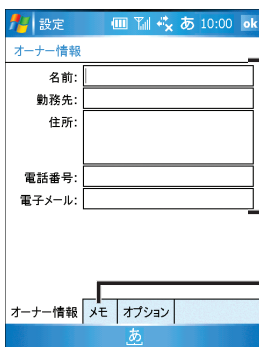
透過レベルのパーセントを低くするほど、くっきりした画像になります。

3 **[Today]画面の背景に設定するときは、ok にタップします。**

Today画面に表示する「仕事」と「予定表」の内容を設定する

アイテム タブ画面で「仕事」または「予定表」にタップしてから、オプション にタップして設定します。

◇ 仕事 ◇

仕事を分類しているとき(☞1-29ページ)、分類項目を選択します。

◇ 予定表 ◇

「次の予定」だけ表示するのか、「近い将来の予定」まで表示するのか、どちらかを選択します。

オーナー情報を設定する

オーナー情報を入力します。

1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

2 **個人用 タブにある “オーナー情報”にタップします。**

オーナー情報の設定画面が表示されます。

3 **オーナー情報に関する設定をします。**

◇ オーナー情報 タブ ◇

◇ オプション タブ ◇

設定 10:00 ok

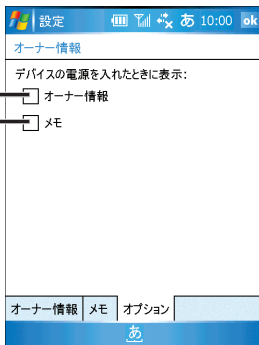
オーナー情報

デバイスの電源を入れたときに表示:

オーナー情報

メモ

オーナー情報 メモ オプション

あ

チェックをつけると：この製品の電源を入れたときに、オーナー情報やメモの内容が「マイ インフォ」画面として表示されます。（マイ インフォ画面にタップすると、Today画面が表示されます。）

4 **設定が終われば、 ok にタップします。**

キーを設定する

この製品のキーに割り当てるプログラムや機能を設定します。

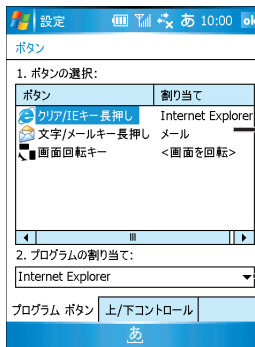
1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

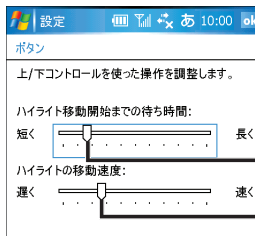
2 **個人用 タブにある “ボタン”にタップします。**

ボタン設定画面が表示されます。

3 **表示部の下にあるキーに割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。**

◇ **プログラムボタン タブ** ◇

「1.ボタンの選択」から設定／変更したいキーを選択し、「2.プログラムの割り当て」から割り当てるプログラムを選択します。

◇ **上／下コントロール タブ** ◇

カーソルキーを押したときスクロールを開始するまでの時間や移動速度、ならびに、キー入力時のリピートを開始するまでの時間やリピート速度を変更します。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

スタートメニューを設定する

スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

2 **個人用 タブにある “メニュー”にタップします。**

メニュー設定画面が表示されます。

3 **スタートメニューに表示したいプログラムなどにチェックを付けます（7つまで）。**

・チェックを付けたプログラムなどは、スタートメニュー（☞1-26ページ）に表示されます。

・チェックを付けていないアイテムは、プログラム画面（☞1-19ページ）に表示されます。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

他人が使えないようにロックする

電源を入れたときにパスワードの入力画面を表示して、この製品を他人が使えないようにロックします。

1 **スタート** メニューの "設定"にタップします。

2 **個人用** タブにある "ロック"にタップします。

パスワード設定画面が表示されます

3 **パスワードなどを設定します。**

チェックをつけると：設定時間が経過すると、パスワードの入力が必要になります。

パスワードを忘れたときにヒントになる言葉を入力します。パスワードを5回間違えると入力したヒントが表示されます。

パスワードの種類を設定します。
- ・数字の簡易パスワードの場合、4桁以上の数字を入力します。
- ・強力な英数字のパスワードの場合、英字（大文字または小文字）、数字、区切り記号（/、：など）の3種類を含んだ7文字以上を入力します。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

5 **確認画面で、** **はい** **にタップします。**

ご注意！

- パスワードは忘れないようにしてください。登録したパスワードを忘れると、この製品を使えなくなります。パスワードは控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、完全消去（フォーマット）（☞11-6ページ）が必要になります。完全消去すると、この製品に入っているデータなどはすべて消去されます。
- キーロック（☞1-8ページ）を設定しているときはパスワードの入力もできません。キーロックを解除してからパスワードを入力してください。

MEMO

- パスワードを設定すると、パスワード画面を表示するときもパスワードの入力が必要です。

単語登録(Microsoft IME)や文字入力の設定をする

日本語入力システムとしてMicrosoft IMEを使っている場合に、よく使う単語を登録します。また、入力方法の設定や手書き入力の詳細設定などをします。
ATOKをお使いの場合は、10-13ページをご覧ください。

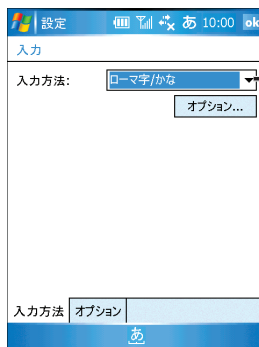
1 スタートメニューの “設定”にタップします。

2 個人用タブにある“入力”にタップします。

入力設定画面が表示されます。

3 よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。

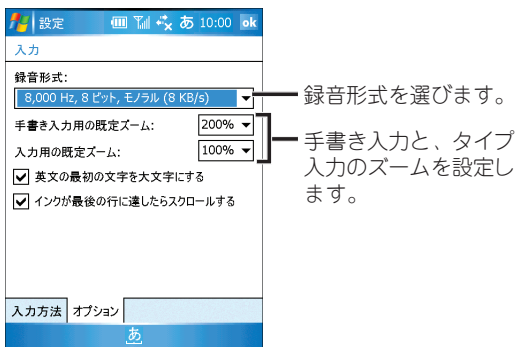
◇ 入力方法タブ ◇

単語の登録と手書き入力パネルの設定をします。

それぞれの入力方法から、以下のオプションが設定できます。

- ひらがな／カタカナ ：単語の登録(☞次ページ)
- ローマ字／かな ：単語の登録(☞次ページ)
- 手書き検索 ：「左手」(手書き入力枠が左になる)設定
- 手書き入力 ：「左手」(手書き入力枠が左端になる)設定、「3つの入力ボックス」(手書き入力枠が3つになる)設定、「タイムアウトを使用」(手書きした文字が設定した秒数で消える)設定、「タイムアウト値」(手書きした文字が消える秒数を入力)設定

● 手書き入力の設定についてくわしくは1-48〜49ページをご覧ください。

◇ オプション タブ ◇

録音形式や入力の詳細設定をします。これらの設定は、録音や手書きをサポートしているメモなどのプログラムに適用されます。

● 手書き入力のズームを大きくすると、手書きエリアに表示される罫線の幅が変わり、大きい文字が手書きできるようになります。

設定が終われば、ok にタップします。

よく使う単語を辞書に登録する

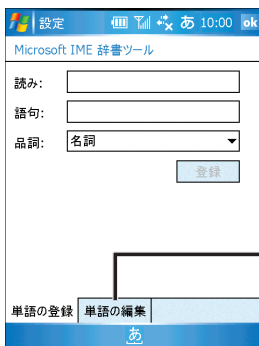
よく使う単語を辞書に登録します。

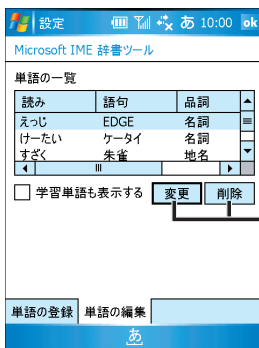
1 スタート メニューの “設定”にタップします。

2 個人用 タブにある“入力”にタップします。

入力設定画面が表示されます。

3 「入力方法」欄で ▼ にタップして「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」を選択し、オプションをタップします。

辞書登録画面が表示されます。

4 読み、変換後の語句を入力し、その品詞を設定して、登録にタップします。

5 登録した単語を変更／削除する場合は、単語の編集タブにタップします。

- この製品には、変換した語を記憶する学習機能があります。
  学習された語は、次回の変換で優先的に表示されます。
  変換ミスなどで誤った語が学習されてしまったときなどは、「学習単語も表示する」にチェックをつけて一覧に表示し、変更や削除をします。

6 設定が終われば、ok にタップします。

音と通知を設定する

アラームや画面のタップ音の設定などをします。

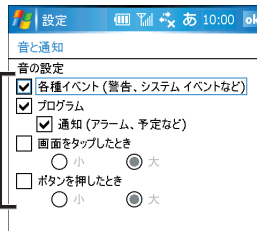
1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

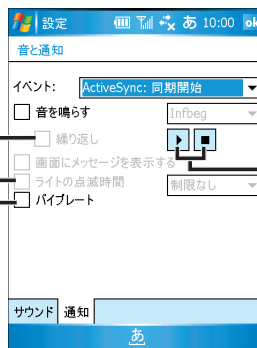
2 **個人用 タブにある “音と通知”にタップします。**

音と通知設定画面が表示されます。

3 **音や通知に関する設定をします。**

◇ サウンド タブ ◇

“予定表”や“仕事”で設定したアラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

◇ 通知 タブ ◇

各種イベントを通知する方法にチェックをつけて設定します。

4 **設定が終われば、 ok にタップします。**

MEMO

● サウンド タブで「プログラム」の「通知(アラーム、予定など)」のチェックを外している場合、通知 タブで「音を鳴らす」にチェックをつけていても音は鳴りません。サウンド タブでは、「通知(アラーム、予定など)」のチェックはつけておいてください。

日本語入力システム(ATOK)の設定と単語登録をする

日本語入力システムを切り替えたり、日本語入力システム(ATOK)の変換候補に表示される文字種の設定、よく使う単語の登録、バージョン情報の確認などをします。

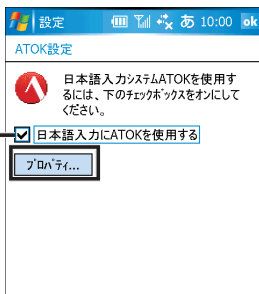
1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

2 **システム タブにタップします。**

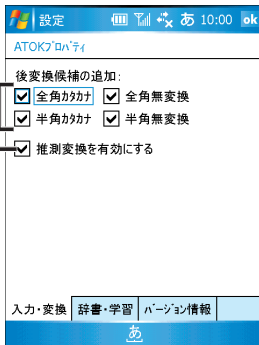
3 **“ATOK設定”にタップします。**

ATOK設定画面が表示されます。

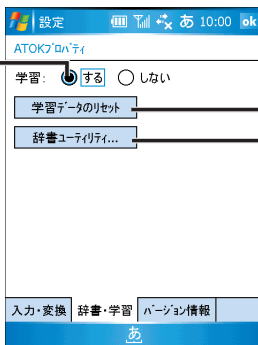
4 **プロパティ にタップします。**

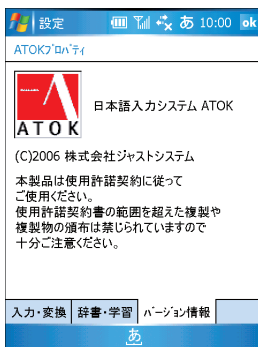
チェックを外すと、Windows Mobile標準の日本語入力システム(Microsoft IME)に切り替えることができます。くわしくは10-9ページをご覧ください。Microsoft IMEを使って文字入力をするときは、ダイヤルキーで文字の変換はできません。

5 **変換候補の設定や学習データのリセット、単語の登録、バージョン情報の確認などをします。**

◇ 入力・変換 タブ ◇

変換候補(☞1-36ページ)に表示される文字の種類を変更したり、推測変換を有効にする／しないを設定します。

◇ 辞書・学習 タブ ◇

変換結果を学習する／しないか、学習したデータのリセット、単語登録ができます。単語登録については、「よく使う単語をユーザー辞書に登録する」(☞次ページ)をご覧ください。

「する」にチェックを付けると、1度入力した語は次回の変換で優先的に変換候補ウィンドウに表示されます。

◇ バージョン情報 タブ ◇

ATOKのバージョン情報を表示します。

6 **設定／確認が終われば、ok にタップします。**

7 **さらに ok を数回タップし設定画面を閉じます。**

推測変換候補ウィンドウに表示する文字を変更(☞前ページ)したり単語登録(☞次ページ)を行った後、設定画面を閉じてください。設定画面を閉じないと変更や登録が有効になりません。

日本語入力システムを切り替える

Microsoft IMEとATOKを切り替えることができます。

1 **10-13ページの手順4の画面で、「日本語入力にATOKを使用する」のチェックを外します。**

2 **ok にタップします。**

3 **確認画面で［はい］にタップします。**

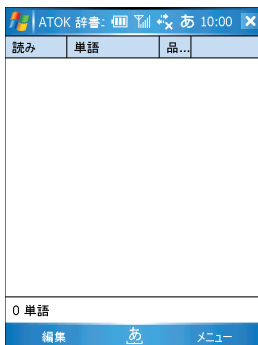
この製品が再起動されます。

MEMO

● ATOKの使用を再開するときは、手順**1**で「日本語入力にATOKを使用する」のチェックを付けてください。

よく使う単語をユーザー辞書に登録する

1 **10-13ページの手順5の画面で［辞書・学習］タブにタップし、［辞書ユーティリティ］にタップします。**

ユーザー辞書画面が表示されます。

2 **画面左下の［編集］－［登録］をタップします。**

3 **単語、読み、品詞を入力して、［OK］にタップします。**

4 **画面右上の ✕ をタップし、さらに ok を数回タップして設定画面を閉じます。**

単語が登録されます。

MEMO

● **登録した単語を削除するときは**

上記の手順**2**の画面で、削除したい単語を選択し、画面左下の［編集］－［削除］をタップします。

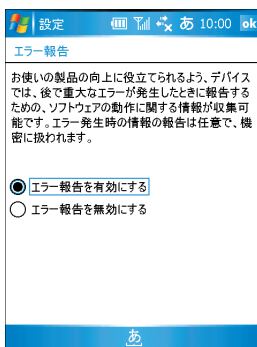
エラー報告をする／しないを設定する

この製品を使っているときに発生したエラー内容を、マイクロソフト株式会社に報告する／しないを設定します。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“エラー報告”にタップします。**

エラー報告画面が表示されます。

3 **「エラー報告を有効にする」、または「エラー報告を無効にする」にタップします。**

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

- エラー報告のために「お詫び」画面が表示されたとき、この画面内に「特別な費用はかかりません」のメッセージが出ますが、情報を送信するための通信費は別途必要となります。

バックライトを減光(最小輝度)するまでの時間を設定する

画面のバックライトを減光（最小輝度）するまでの時間を設定します。
バックライトが最小輝度になるとキーボードのバックライトは消灯します。

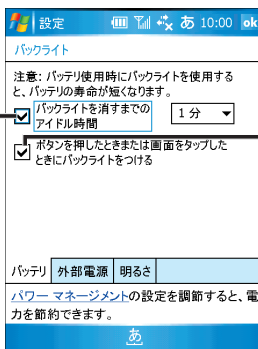
1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“バックライト”にタップします。**
バックライト設定画面が表示されます。

3 **バックライトに関する設定をします。**

◇ バッテリ タブ ◇

充電池を使っている（ACアダプターを接続していない）ときの設定をします。

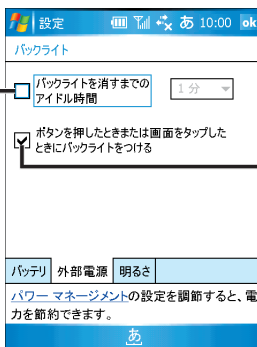
チェックをつけると：最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります。下記メモもご覧ください。

チェックをつけると：キーを押したり、画面をタップしたらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。
画面の電源がオフになっているときは、PWR HLDキーを押します。

MEMO

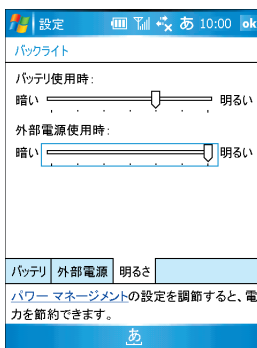
- **ダイヤルキーやキーボードのバックライトについて**
  最後の操作から数秒後、ダイヤルキーやキーボードのバックライトが消えます。
  消えた状態で画面タップまたはキーを押すとバックライトが点灯します（ユーティリティ設定画面（キー点灯 タブ）で「バックライト設定と連動」にチェックを付けているとき（☞10-26ページ））。

◇ 外部電源 タブ ◇

ACアダプターを接続しているときの設定をします。

チェックをつけると：最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります。

チェックをつけると：キーを押したり、画面をタップしたらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。

◇ 明るさ タブ ◇

バックライトの明るさを設定します。
充電池使用時、ACアダプター（外部電源）使用時それぞれの明るさを設定できます。

- スライダーを左端に移動すると、バックライトは消灯します。
  バックライトを消灯すると、ダイヤルキーやキーボードのバックライトも消灯します。
  また、バックライトの明るさを左端以外（消灯以外）にすると、キー操作中はダイヤルキーやキーボードのバックライトも点灯します。キーボードのバックライトの明るさは調節できません。
- 充電池の残量が少なくなると設定に関わらずバックライトは最小輝度になります。

4 設定が終われば、ok にタップします。

パワーマネージメントを設定する

充電池の残量確認やオートパワーオフ（画面の電源をオフ）するまでの時間などを設定します。

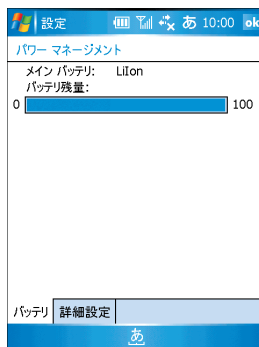
1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“パワーマネージメント”にタップします。**

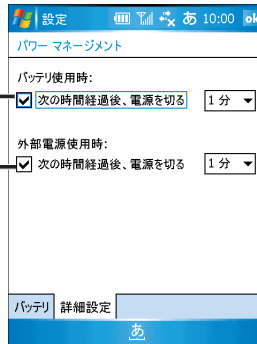
パワーマネージメント設定画面が表示されます。

3 **充電池の残量の確認や、パワーマネージメントの設定をします。**

◇ バッテリ タブ ◇

充電池（バッテリ）の残量を確認できます。

◇ 詳細設定 タブ ◇

最後の操作から一定時間が経過すると、画面の電源が自動的に切れるように設定します。
画面の電源が切れても電話着信／ライトメール受信時などは自動的に電源が入ります（☞1-28ページ）。
バッテリ（充電池）使用時と外部電源使用時（ACアダプター接続時）を別々に設定します。

チェックをつけると最後の操作から設定した時間が経過するとオートパワーオフ（画面の電源をオフ）します。

ご注意！

- 通話中やインターネットなどで通信中のときは、設定時間を経過しても、使用しているプログラムや動作状況によってすぐにオートパワーオフ（画面の電源をオフ）しない場合があります。
- **以下のときは、設定した時間が経過してもオートパワーオフ（画面の電源をオフ）しません。**
  - ・インターネットなどで通信中
  - ・ActiveSyncでパソコンと接続中
  - ・Windows Media Player 10 Mobileで再生中
  - ・ブンコビューアの自動表示中

4 設定が終われば、ok にタップします。

バージョン情報などを確認する

CPUやメモリ容量など、この製品に関するバージョン情報を確認できます。

1 スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。

2 “バージョン情報”にタップします。

バージョン情報確認画面が表示されます。

3 バージョン情報やこの製品の名前を確認します。

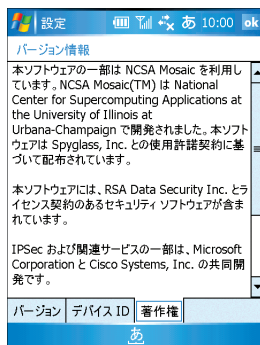
◇ バージョン タブ ◇

この製品のバージョン情報を確認できます。

◇ 著作権 タブ ◇

この製品の著作権について確認できます。

◇ デバイスID タブ ◇

この製品の名前を設定します。

ActiveSyncを行ったときなど、ここで設定したデバイス名がパソコン側の画面に表示されます。

4 確認／設定が終われば、ok にタップします。

プログラムを削除する

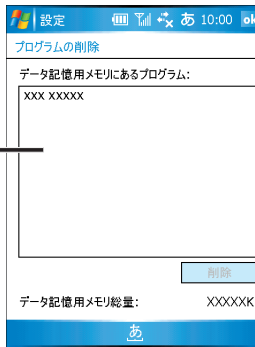
追加したプログラムを削除します。

1 **すべてのプログラムを終了します。**

プログラムの終了については、1-27ページをご覧ください。

2 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

3 **“プログラムの削除”にタップします。**

プログラムの削除設定画面が表示されます。

4 **削除するプログラムを選択し、削除 にタップします。**

5 **確認画面で、はい にタップします。**

- あらかじめこの製品にインストールされているプログラムは削除できません。

メモリを確認する

メモリの使用状況を確認したり、実行しているプログラムの切り替えや終了をしたりできます。

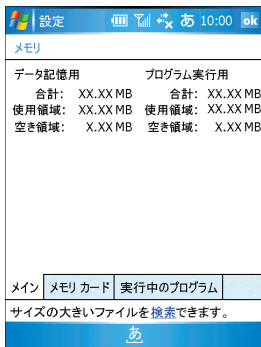
1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

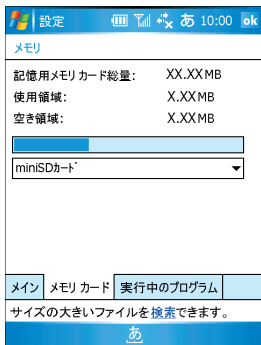
2 **“メモリ”にタップします。**

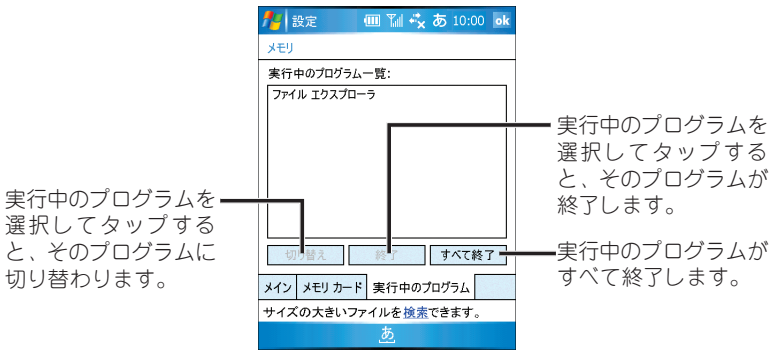
メモリ設定画面が表示されます。

3 **メモリの使用状況を確認したり、プログラムを終了します。**

◇ メイン タブ ◇

メモリの使用領域や空き領域を確認できます。

◇ メモリカード タブ ◇

装着しているメモリカードの使用容量／空き容量を確認できます。

◇ 実行中のプログラム タブ ◇

実行中のプログラムを確認できます。

4 確認／設定が終われば、ok にタップします。

メモリ不足を解消する

動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、以下の内容をご覧になりデータ記憶用メモリやプログラム実行用メモリの不足を解消してください。

■データ記憶用メモリの不足を解消する

“Internet Explorer Mobile”や“Opera Browser”を使っていろいろなホームページを閲覧していると画像データなどをキャッシュファイルとして一時保存します。キャッシュファイルがデータ記憶用メモリを使っていることが考えられます。プログラムをインストールしたり、大きなファイルを保存していないのにデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、5-9、5-19ページに記載している方法でキャッシュを削除してください。また、このメモリが不足すると縦表示と横表示の切り替えが遅くなることがあります。

■プログラム実行用メモリの不足を解消する

動作が遅くなったり、“Picsel PDF Viewer”を使ってPDFファイルを正しく開けなかったり、縦表示と横表示の切り替えが遅くなったときなどは「プログラム実行用のメモリ」が不足していることが考えられます。
このようなときは、1-27ページをご覧になり、終了するプログラム名をタップし、終了 をタップします。

音量調節キーや縦横切替の設定などをする

音量調節キーを押したときの設定や、キーボードを開いたときに表示される画面の向き、ダイヤルキーやキーボードのバックライトの点灯などの設定をします。

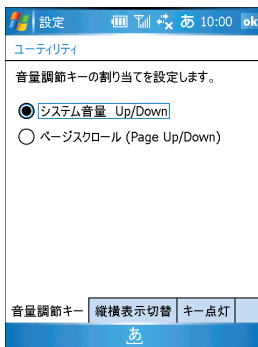
1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“ユーティリティ”にタップします。**

ユーティリティ画面（音量調節キー タブ）が表示されます。

3 **音量調節キーなどの設定をします。**

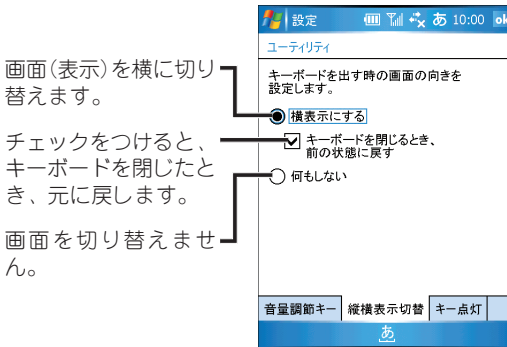
◇ 音量調節キー タブ ◇

音量調節キーを押したときに、音量を調節またはスクロールバーが表示されているときに画面単位で上下にスクロールを設定をします。

- 通話中、音量調節キーは受話音量の調整を行います。

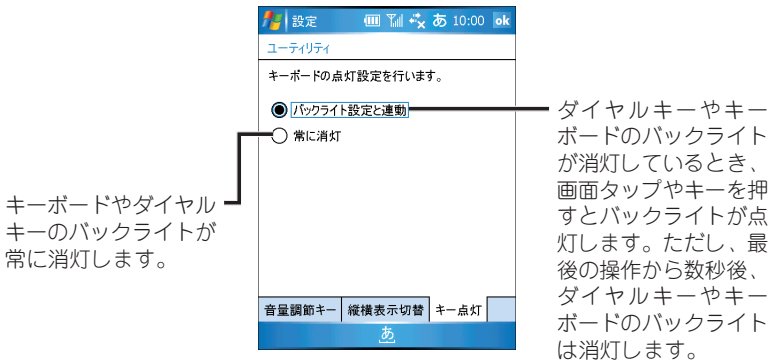
ご注意！

- 音量調節キーをページスクロールにしていると音量調節キーを使ってシステム音量のコントロールができなくなります。
- ページスクロールに設定しているとき、プログラムによっては音量調節キーを押してもページスクロールしません。

◇ 縦横表示切替 タブ ◇

キーボードを開いたとき、画面を横に切り替える／切り替えないを設定します。

● キーボードを閉じた状態で表示する画面の向きは“画面”で設定します（☞10-30ページ）。

◇ キー点灯 タブ ◇

キーボードやダイヤルキーのバックライトの設定をします。

地域を設定する

この製品で使う数値の表示形式を変更できます。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“地域”にタップします。**

地域設定画面が表示されます。

3 **各タブで数値の表示形式などを設定します。**

- 地域を変更しokにタップすると、「再起動してください」と表示されます。このときは、リセット(☞11-2ページ)を行ってください。
- 地域を日本に選択したときは時刻表示は24時間制になります。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

時計を設定する

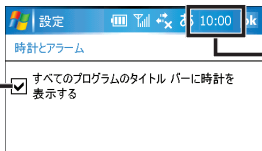
現在地と訪問先の時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。

1 スタートメニューの “設定”にタップして、システムタブにタップし、 “時計とアラーム”にタップします。

時計とアラーム設定画面が表示されます。

2 時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。

◇ 時刻タブ ◇

現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

- 画面の時分秒のいずれかにタップすると時刻は止まったように見えますが、「訪問先」(灰色になっている時分秒)の時刻で分かるように時刻は進んでいます。このため、変更する時刻の秒を「00」にして、時報に合わせてokにタップしても実際の時刻と合わなくなります。
  正確に時刻を合わせるためには、時報などに合わせて、変更する秒を「00」にしてください。
  また、ActiveSyncと同期するとパソコンと時刻を合わせることができます(☞8-10ページ)。

◇ その他タブ ◇

時刻タブで設定した時刻をすべてのプログラムで、タイトルバーに表示するかしないかを設定します。

3 設定が終われば、okにタップします。

アラームを設定する

決まった時間に音を鳴らしたり、画面にメッセージを表示できます。

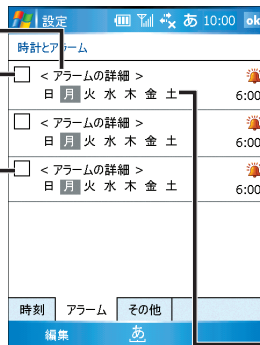
1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“時計とアラーム”にタップします。**

時計とアラーム設定画面が表示されます。

3 **アラーム タブをタップします。**

◇ アラーム タブ ◇

決まった時刻に通知するアラームを設定します。

MEMO

- 音と通知設定画面（☞10-12ページ）で、「通知（アラーム、予定など）」にチェックを付けないと音は鳴りません。
- “予定表”や“仕事”で設定したアラーム音の種類などを設定するときは、10-12ページをご覧ください。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

画面の設定をする

画面表示の方向や文字のサイズの設定ができます。

1 スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。

2 “画面”にタップします。

画面設定画面が表示されます。

3 画面に関する設定をします。

◇ 全般 タブ ◇

画面の向きを設定したり、タッチスクリーンの調節をしたりします。

選択した画面の向きが表示されます。

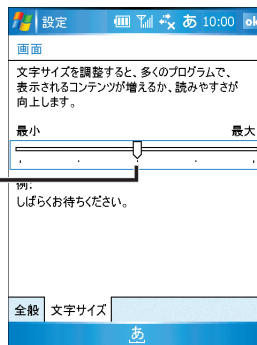
「横(右きき)」または「横(左きき)」を選択すると横画面に切り替わります。

画面にタップした位置と反応する位置がずれているときは、タップしてタッチスクリーンの補正をします。

MEMO

- キーボードの開閉時に画面の向きを切り替える設定もできます(☞10-26ページ)。

◇ 文字サイズ タブ ◇

文字サイズの設定をします。

4 設定が終われば、ok にタップします。

タッチスクリーンの補正をする

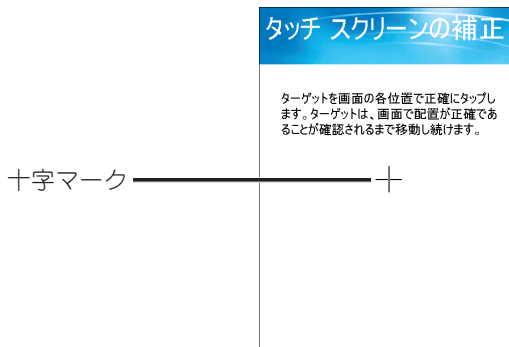
スタイラスペンでタップした位置が画面の位置とずれているときはタッチスクリーンの補正をします。

1 **前ページの手順1～2を操作します。**

画面設定画面が表示されます。

2 **タッチスクリーンの補正 にタップします。**

タッチスクリーンの補正画面が表示されます。

3 **画面の十字マークの中心に少し長くタップします。**

タップすると十字マークが移動します。同様にタップし、以後、同じ操作を繰り返します。

4 **タッチスクリーンの補正が終了すると、画面設定画面が表示されます。**

証明書を確認する

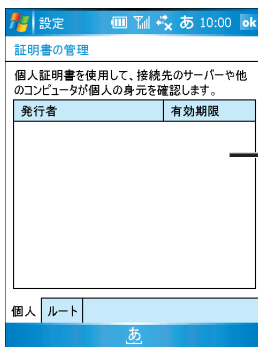
個人の身元を証明する個人証明書や、接続先のサーバーを識別する証明書を確認できます。

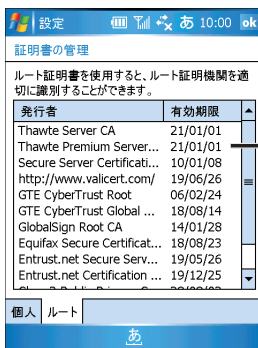
1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“証明書”にタップします。**

証明書の管理画面が表示されます。

3 **証明書を確認します。**

◇ 個人 タブ ◇

タップすると証明書の詳細が表示されます。ok にタップするとこの画面に戻ります。

◇ ルート タブ ◇

タップすると証明書の詳細が表示されます。ok にタップするとこの画面に戻ります。

4 **確認が終われば、ok にタップします。**

- 証明書についてくわしくは、ヘルプをご覧ください。

11 付録

異常が起きたとき

異常が起きたときは、まず「困ったときは」(☞11-24ページ)を参照してください。「困ったときは」をご覧になっても症状が改善されず、データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しく働かない、など異常状態のときは、ACアダプターを接続し、10分〜20分程度充電したあと、次の対処方法を順に試してみてください。

①リセット(再起動)　☞下記
②フルリセット　☞11-4ページ
③完全消去(フォーマット)　☞11-6ページ

① リセット(再起動)する

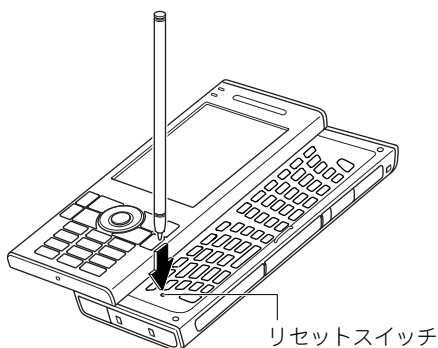
データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しく働かない、などのときにリセット操作を試してみてください。リセット操作を行うと編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

ご注意!
- **手順にしたがって操作をするときは、本体側面を持ち画面に指が触れないようにしてください。**

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります(☞1-12ページ)。**
動作しない場合には、手順**2**へ進んでください。

2 **この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

3 リセットスイッチをスタイラスペンで押します。

リセットされます。

4 自動的に電源が入り、しばらくするとToday画面(待ち受け画面)が表示されます。

電源が入らないときは、充電池ぶたがきっちり取り付けられているか確認し、ACアダプターを接続して充電してください。また、充電池を入れ直してください。

Today画面(待ち受け画面)表示後は、時刻が合っているか確認してください。

② フルリセットする

リセット(再起動)(☞11-2ページ)しても正常に動作しないときは、次の方法でフルリセットしてください。この方法も編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。
設定している日付/時刻は失われます。フルリセット後は必ず日付/時刻を設定(☞次ページの手順**8**)してください。

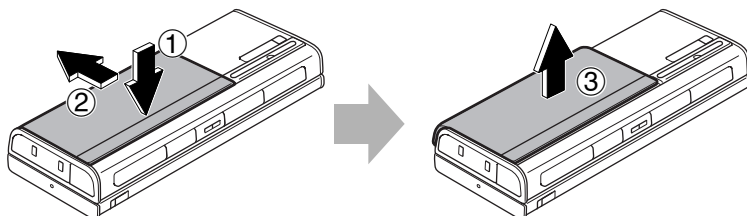
1 すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります(☞1-12ページ)。

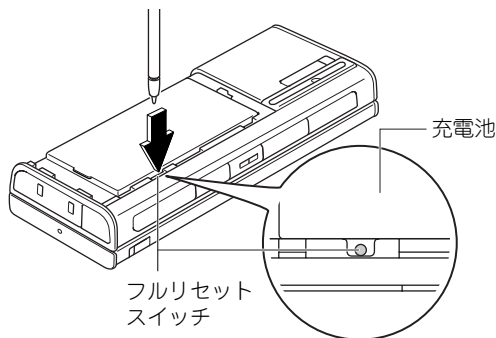
動作しない場合には、手順**2**に進んでください。

2 この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

3 裏側の充電池ぶたを取り外します。

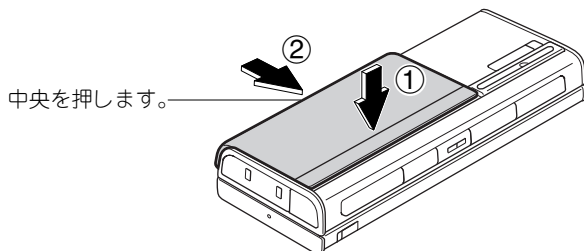
1 矢印の方向に押し(①)ながら、スライドします(②)。

2 持ち上げて取り外します(③)。

4 約15秒待って、フルリセットスイッチをスタイラスペンで押します。

フルリセットされます。

5 充電池ぶたを取り付けます。

1 充電池ぶたを置きます（①）。

2 図のように中央を押して取り付けます（②）。

充電池ぶたはきっちりと取り付けてください。充電池ぶたをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。

6 [PWR HLD] キーを約2〜3秒間押して電源を入れます。

電源が入らないときは、ACアダプターを接続して充電してください。

7 しばらくすると、Today画面（待ち受け画面）が表示されます。

8 時計画面を表示し、日付／時刻を設定します。

時刻設定画面は、Today画面（待ち受け画面）で にタップして「時計とアラーム」画面を表示します。

「時計とアラーム」画面については、10-28ページをご覧ください。

ご注意！

- フルリセット後は必ず手順**8**を行い、日付／時刻を合わせてください。

11 付録

異常が起きたとき

③ 完全消去する(フォーマット)

11-2～5ページの①と②を行っても正常に動作しないときなどは、本体の全データを消去してフォーマットします。

ご注意!

- **データがすべて消去されます。**
  ご購入後に入力したデータや設定、追加したプログラムなどがすべて消去されます。日付／時刻データも失われますので、手順**10**を必ず行ってください。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります(☞1-12ページ)。**
動作しない場合には、手順**2**に進んでください。

2 **この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

3 **裏側の充電池ぶたを取り外します(☞11-4ページの手順3)。**

4 **約15秒待って、フルリセットスイッチをスタイラスペンで押します(☞11-4ページの手順4)。**

5 **充電池ぶたを取り付けます(☞前ページの手順5)。**
さらにACアダプターを接続します。

6 **本体を表にして、キーボードを開きます。**

7 **Fnキーと Fキーの両方を押したままで、PWR HLD キーを長く(約2～3秒)押します。**
しばらくすると本体が起動し、メンテナンスメニュー画面が表示されます。

8 **2 か ABC キーを押します(「フォーマット」を選択します)。**

9 **確認画面が表示されたら、ok キーを押します。**
完全消去が始まりますので、終わるまで待ちます。
終了後はセットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってセットアップを行います。

10 **セットアップ完了後、表示されたToday画面(待ち受け画面)で にタップして「時計とアラーム」画面(☞10-28ページ)を表示し、日付／時刻を設定します。**

MEMO

- セットアップの途中でタッチスクリーンの補正を行う画面が表示されます。タッチスクリーンの補正については10-31ページをご覧ください。
- スタートメニューから再度オンラインサインアップを行ってください(☞2-2ページ)。

充電池について

充電池を安全にお使いいただくために、「安全にお使いいただくために」(☞0-7ページ)をよくお読みください。

使用できる充電池

リチウムイオン充電池:EA-BL13
※EA-BL13以外の充電池は使用しないでください。

- 通常は、電源を切った状態で充電し始めてから約3.5時間で満充電されますが、工場出荷時からの時間の経過により、ご購入直後の充電時間は変わります。
- 充電池は、ご使用にならなくても自然に放電します。充電池の消耗によるトラブルを避けるために、長期間ご使用にならないときは、使用される前に充電されることをおすすめします。

充電する

この製品に充電池を取り付け、ACアダプターを接続して充電します(☞1-10ページ)。
使用しながら充電を行った場合、充電が完了するまで長い時間がかかるため、充電するときは電源を切ることをおすすめします。
充電中に温かくなることがありますが、故障ではありません。

残量を確認する

充電池の残量は、タイトルバーの充電池残量のアイコンで確認することができます(☞1-17ページ)。
パワーマネージメント画面(バッテリ タブ)でも確認できます(☞10-19ページ)。

充電池の交換について

充電池は繰り返し使用するうちに劣化し、使用できる時間が短くなってきます。満充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、充電池の寿命ですので、交換してください。

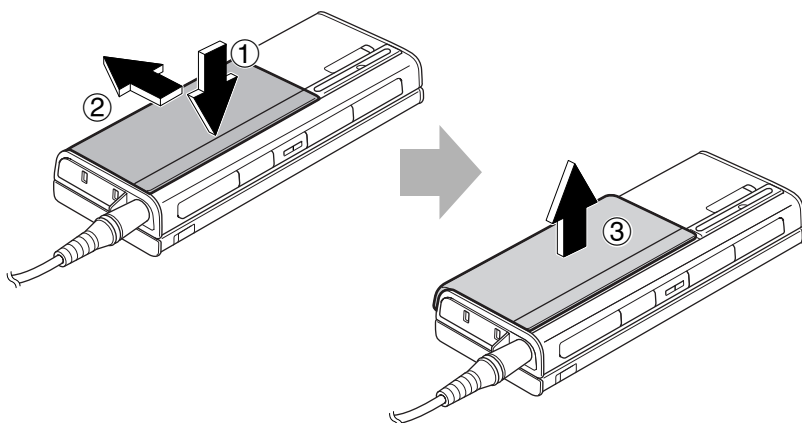
充電池を交換する

1 この製品の電源を切ります(☞1-12ページ)。
また、USBケーブルを接続しているときは、取り外します。

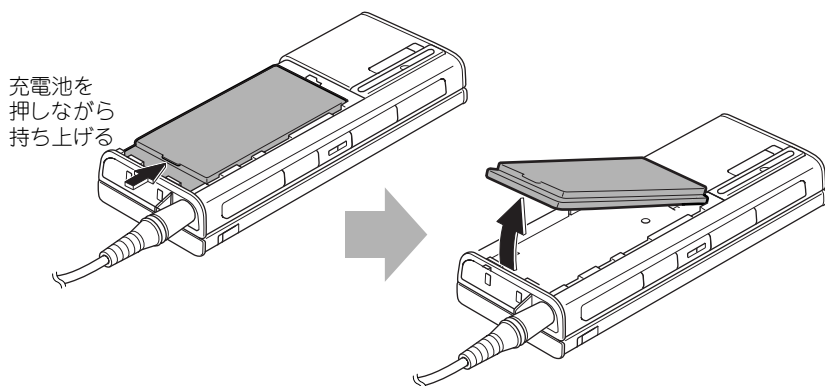
2 表示が消えたことを確認してから、裏返します。

3 ACアダプターを接続します(☞1-10ページ)。

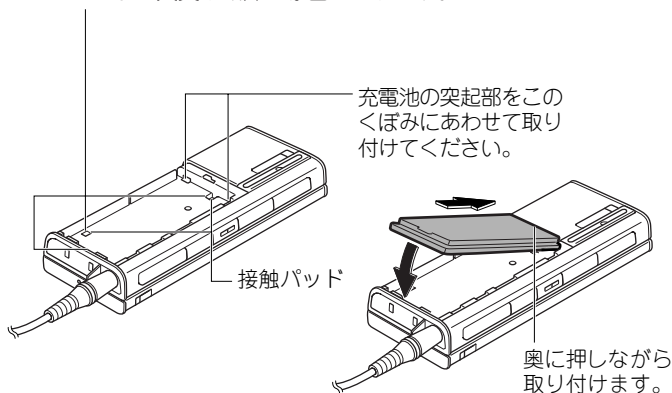
4 本体裏側の充電池ぶたを取り外します。

1 矢印の方向に押し(①)ながら、スライドします(②)。

2 持ち上げて取り外します(③)。

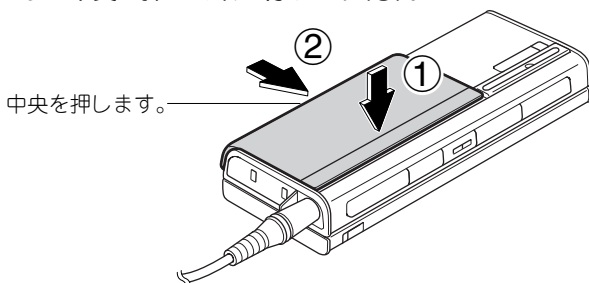
5 消耗した充電池を持ち上げて取り外します。

ご注意!

- 充電池は端子面を下にして金属などの導電性物の上に置かないでください。ショートの原因になります。

6 図のようにして充電池の突起部をこの製品のくぼみにあわせて取り付けます。

ご注意！
- 充電端子や接触パッドに金属片や鉛筆の芯などの導電性の物が触れないようにしてください。
  ショートによる火災や故障の原因になります。

7 充電池ぶたを取り付けます。

1 充電池ぶたを置きます（①）。

2 図のように中央を押して取り付けます（②）。

8 [PWR HLD] キーを長く押します。電源が入らないときは手順1からやり直してください。

電源が入ります。

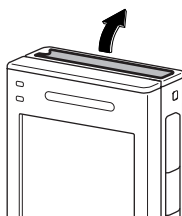
交換した充電池を充電するときは、いったんACアダプターを取り外し、再度、ACアダプターを取り付けてください。

ACアダプターを接続せずに充電池を交換したときは、日付と時刻が合っているか確認してください。合っていないときは、10-28ページをご覧になり設定してください。

W-SIMを取り外す／取り付ける

1 この製品の電源を切ります（☞1-12ページ）。

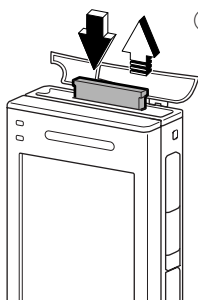
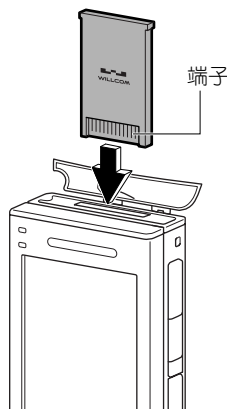
2 この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

3 W-SIMのスロットのカバーを開きます。

4 W-SIMを取り外します。または、取り付けます。

取り外す

W-SIMを指で押し込み、スロットから外れたカードを抜き取ります。

取り付ける

端子側を下にして、かつ、見えるようにしてW-SIMを取り付けます。

5 スロットのカバーを閉じます。

※上記の方法で正常に動作しない場合は、フルリセットを行ってください（☞11-4ページ）。

シフトJISコード表

絵文字の入力と、シフトJISコードを使って文字や記号を入力できるのはライトメールのみです（☞4-76ページ）。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8140		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾
8150	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼
8160	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛
8170	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	
8180	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
8190	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆
81A0	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓			
81B0									∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩
81C0									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	・
81D0											∠	⊥	⌒	∂	∇	≡
81E0	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬							
81F0	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯			
8240																０
8250	１	２	３	４	５	６	７	８	９							
8260	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ
8270	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ						
8280		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
8290	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					ぁ
82A0	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け
82B0	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち
82C0	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
82D0	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め
82E0	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ
82F0	を	ん														
8340	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ
8350	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
8360	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ
8370	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	
8380	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
8390	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									Α
83A0	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ
83B0	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α
83C0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
83D0	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω									
8440	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
8450	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
8460	Я															
8470	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
8480	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
8490	ю	я														─
84A0	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗
84B0	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	
8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
8750	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ		㍉
8760	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜
8770	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									瓩	
8780	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
8790	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪			
8890																亜
88A0	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
88B0	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷
88C0	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
88D0	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣
88E0	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨
88F0	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
8940	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓
8950	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲
8960	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴
8970	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	
8980	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
8990	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	押
89A0	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶
89B0	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価
89C0	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
89D0	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過
89E0	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会
89F0	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改			
8A40	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外
8A50	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣
8A60	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚
8A70	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	
8A80	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
8A90	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	粥
8AA0	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官
8AB0	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢
8AC0	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
8AD0	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩
8AE0	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇
8AF0	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄			
8B40	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌
8B50	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇
8B60	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍
8B70	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	
8B80	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
8B90	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	供
8BA0	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯
8BB0	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響
8BC0	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
8BD0	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近
8BE0	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具
8BF0	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈			
8C40	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫
8C50	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契
8C60	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経
8C70	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	
8C80	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
8C90	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	検
8CA0	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険
8CB0	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺
8CC0	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8CD0	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午
8CE0	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉
8CF0	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向			
8D40	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘
8D50	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩
8D60	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔
8D70	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	
8D80	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
8D90	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	此
8DA0	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮
8DB0	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐
8DC0	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
8DD0	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪
8DE0	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾
8DF0	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷			
8E40	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三
8E50	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸
8E60	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉
8E70	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	
8E80	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
8E90	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	次
8EA0	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識
8EB0	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質
8EC0	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
8ED0	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈
8EE0	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣
8EF0	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周			
8F40	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆
8F50	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔
8F60	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出
8F70	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	
8F80	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
8F90	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	勝
8FA0	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄
8FB0	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵
8FC0	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
8FD0	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾
8FE0	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾
8FF0	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾			
9040	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇
9050	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神
9060	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵
9070	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	
9080	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
9090	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	澄
90A0	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星
90B0	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請
90C0	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
90D0	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節
90E0	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰
90F0	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線			
9140	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前
9150	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙
9160	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双
9170	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	
9180	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
9190	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	臓
91A0	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊
91B0	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰
91C0	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
91D0	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮
91E0	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托
91F0	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只			
9240	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹
9250	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆
9260	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛
9270	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	
9280	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
9290	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	帖
92A0	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹
92B0	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍
92C0	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
92D0	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴
92E0	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵
92F0	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓			
9340	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹
9350	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点
9360	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
9370	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
9380	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
9390	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	董
93A0	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同
93B0	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳
93C0	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
93D0	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那
93E0	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難
93F0	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入			
9440	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念
9450	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農
9460	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳
9470	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	
9480	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
9490	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	函
94A0	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪
94B0	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆
94C0	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
94D0	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲
94E0	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費
94F0	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美			
9540	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧
9550	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
9560	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓
9570	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	
9580	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
9590	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	福
95A0	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮
95B0	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄
95C0	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
95D0	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕
95E0	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包
95F0	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋			
9640	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽
9650	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
9680	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
9690	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	漫
96A0	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民
96B0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟
96C0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
96D0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻
96E0	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄
96F0	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒			
9740	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌
9750	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉
9760	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔
9770	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	痢
97A0	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留
97B0	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料
97C0	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
97D0	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令
97E0	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦
97F0	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			
9840	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼
9850	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀
9870	湾	碗	腕													
9890																弌
98A0	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍
98B0	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭
98C0	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
98D0	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚
98E0	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假
98F0	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲			
9940	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖
9950	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩
9960	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩
9970	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	
9980	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
9990	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	辧
99A0	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹
99B0	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅
99C0	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
99D0	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听
99E0	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻
99F0	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨			
9A40	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹
9A50	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟
9A60	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤
9A70	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	
9A80	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
9A90	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	圈
9AA0	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀
9AB0	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊
9AC0	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
9AD0	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤
9AE0	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲
9AF0	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩			
9B40	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑
9B50	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽
9B60	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃
9B70	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	
9B80	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
9B90	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	屐
9BA0	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷
9BB0	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛
9BC0	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
9BD0	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已

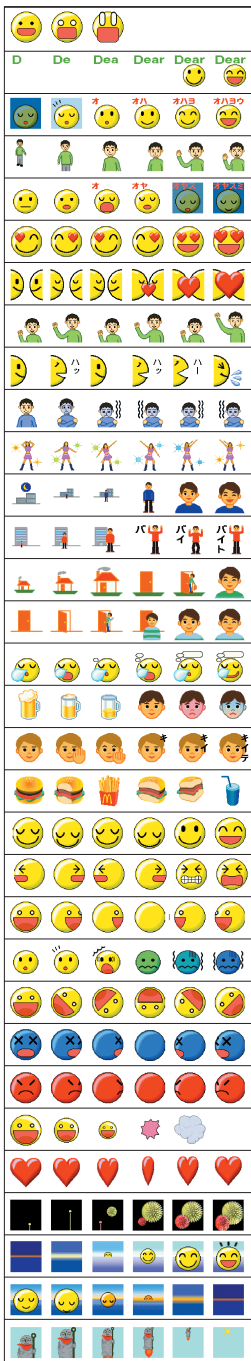
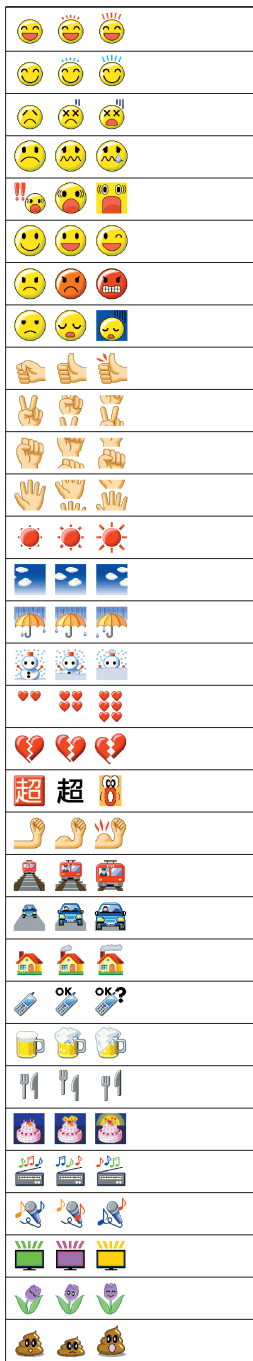
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9BE0	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢
9BF0	幤	幇	干	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏			
9C40	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾
9C50	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑
9C60	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙
9C70	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	
9C80	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
9C90	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	悄
9CA0	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘
9CB0	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾
9CC0	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
9CD0	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑
9CE0	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶
9CF0	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛			
9D40	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂
9D50	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈
9D60	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐
9D70	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	
9D80	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
9D90	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	據
9DA0	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶
9DB0	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸
9DC0	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
9DD0	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻
9DE0	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢
9DF0	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼			
9E40	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧
9E50	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩
9E60	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞
9E70	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	
9E80	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
9E90	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	棔
9EA0	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡
9EB0	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞
9EC0	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
9ED0	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧
9EE0	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸
9EF0	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣			
9F40	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅
9F50	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙
9F60	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪
9F70	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	
9F80	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
9F90	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	沺
9FA0	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣
9FB0	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸
9FC0	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
9FD0	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝
9FE0	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂
9FF0	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌			
E040	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎
E050	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱
E060	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰
E070	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	
E080	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
E090	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	燹
E0A0	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘
E0B0	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒
E0C0	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
E0D0	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E0E0	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜
E0F0	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱			
E140	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍
E150	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧
E160	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂
E170	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	
E180	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
E190	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	癲
E1A0	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹
E1B0	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩
E1C0	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
E1D0	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚
E1E0	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌
E1F0	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬			
E240	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕
E250	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬
E260	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉
E270	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	
E280	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
E290	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	筺
E2A0	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟
E2B0	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩
E2C0	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
E2D0	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬
E2E0	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀
E2F0	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆			
E340	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨
E350	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫
E360	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊
E370	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	
E380	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
E390	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	罅
E3A0	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆
E3B0	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱
E3C0	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
E3D0	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲
E3E0	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥
E3F0	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋			
E440	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂
E450	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉
E460	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與
E470	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	
E480	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
E490	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	茵
E4A0	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟
E4B0	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫
E4C0	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
E4D0	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹
E4E0	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡
E4F0	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈			
E540	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜
E550	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋
E560	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩
E570	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	
E580	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
E590	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	蝓
E5A0	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇
E5B0	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢
E5C0	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
E5D0	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E5E0	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃
E5F0	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞			
E640	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦
E650	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐
E660	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂
E670	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	
E680	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
E690	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	譟
E6A0	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈
E6B0	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼
E6C0	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
E6D0	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱
E6E0	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣
E6F0	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊			
E740	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇
E750	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅
E760	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟
E770	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	
E780	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
E790	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	遏
E7A0	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽
E7B0	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙
E7C0	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
E7D0	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶
E7E0	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐
E7F0	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮			
E840	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔
E850	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇
E860	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰
E870	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙	
E880	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
E890	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	陝
E8A0	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸
E8B0	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑
E8C0	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
E8D0	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜
E8E0	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵
E8F0	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰			
E940	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔
E950	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑
E960	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮
E970	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	
E980	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
E990	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	髻
E9A0	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃
E9B0	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀
E9C0	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
E9D0	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇
E9E0	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆
E9F0	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈			
EA40	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲
EA50	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚
EA60	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸
EA70	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	
EA80	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
EA90	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	堯
EAA0	槇	遙	瑤	凜	熙											

絵文字一覧

シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字
F040		F060		F080		F0A0		F0C0		F0E0	
F041		F061		F081		F0A1		F0C1		F0E3	
F042		F062		F082		F0A2		F0C2		F0E7	
F043		F063		F083		F0A3		F0C3		F0E9	
F044		F064		F084		F0A4		F0C4		F0F0	
F045		F065		F085		F0A5		F0C5		F0FC	
F046		F066		F086		F0A6		F0C6		F140	
F047		F067		F087		F0A7		F0C7		F148	
F048		F068		F088		F0A8		F0C8		F14D	
F049		F069		F089		F0A9		F0C9		F150	
F04A		F06A		F08A		F0AA		F0CA			
F04B		F06B		F08B		F0AB		F0CB			
F04C		F06C		F08C		F0AC		F0CC			
F04D		F06D		F08D		F0AD		F0CD			
F04E		F06E		F08E		F0AE		F0CE			
F04F		F06F		F08F		F0AF		F0CF			
F050		F070		F090		F0B0		F0D0			
F051		F071		F091		F0B1		F0D1			
F052		F072		F092		F0B2		F0D2			
F053		F073		F093		F0B3		F0D3			
F054		F074		F094		F0B4		F0D4			
F055		F075		F095		F0B5		F0D5			
F056		F076		F096		F0B6		F0D6			
F057		F077		F097		F0B7		F0D7			
F058		F078		F098		F0B8		F0D8			
F059		F079		F099		F0B9		F0D9			
F05A		F07A		F09A		F0BA		F0DA			
F05B		F07B		F09B		F0BB		F0DB			
F05C		F07C		F09C		F0BC		F0DC			
F05D		F07D		F09D		F0BD		F0DD			
F05E		F07E		F09E		F0BE		F0DE			
F05F		F07F		F09F		F0BF		F0DF			

アニメーション絵文字一覧

ローマ字→かな変換表

キーボードまたは文字入力パネルでローマ字入力することができます。

あア行	A	I	U	E	O
かカ行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さサ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
たタ行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
なナ行	NA	NI	NU	NE	NO
はハ行	HA	HI	HU FU	HE	HO
まマ行	MA	MI	MU	ME	MO
やヤ行	YA		YU		YO
らラ行	RA	RI	RU	RE	RO
わワ行	WA				WO(を)
んン	N	NN			

がガ行	GA	GI	GU	GE	GO
ざザ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だダ行	DA	DI	DU	DE	DO
ばバ行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱパ行	PA	PI	PU	PE	PO

きゃキャ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃシャ行	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃチャ行	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
にゃニャ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃヒャ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃミャ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃリャ行	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃギャ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃジャ行	ZYA JA JYA	ZYI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃヂャ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃビャ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃピャ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
いぇイェ行				YE	
くぁクァ行	QA KWA QWA	QI QWI	 QWU	QE QWE	QO QWO
ぐぁグァ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
つぁツァ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃテャ行	THA	THI	THU	THE	THO
でゃデャ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふぁファ行	FA	FI		FE	FO
ふゃフャ行	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
うぃウィ行		WI			
うぇウェ行				WE	
とぅトゥ行			TWU		
どぅドゥ行			DWU		
ヴぁヴァ行	VA	VI	 VYU	VE	VO

●撥音(はつおん)の入力

・"ん､ン"の次に母音または"Y"がくるときや "ん､ン"で終わるとき"N"を2回入力する
　ほんやく→HONNYAKU
　はんい→HANNI
　ほん→HONN
・上記以外のとき
　ほんき→HONKI

●促音の入力

"N"と"Y"以外の子音を重ねる
けっか→KEKKA
トップ→TOPPU

●特殊な表現の入力

ヴゅ→ VYU

●小さい文字
(ァ、ィ、ゥ、ェ、ォ、ヵ、ヶ、ッ、ャ、ュ、ョ、ヮ)の単独入力

・"X"または"L"(エル)の次に、それぞれの文字を入力する。
　ティータイム→TEXI-TAIMU
　トップ→TOXTUPU
・"ヵ"と"ヶ"はカタカナで入力される。

● 　：ATOKでは入力できません。

仕様について

本体

形名	WS007SH
OS	Microsoft(R) Windows Mobile™ 5.0 software for Pocket PC 日本語版
CPU	Intel® PXA270 プロセッサ 416MHz
本体メモリ	Flashメモリ128MB（本体システム領域等含む） （ユーザーエリア：約60MB） SDRAM 64MB（ワークエリア）
表示部	640×480 ドット　2.8型　65,536色 モバイルASVシステム液晶（バックライト付き）
通信機能	PHS（W-SIM）
内蔵カメラ	有効画素数：約131万画素（接写機能付）
カードスロット	miniSD™カードスロット×1、W-SIMスロット×1
接続端子	USB端子（USB 2.0 Full Speed（12Mbps））、 ACアダプター端子、イヤホンマイク端子（平型）
電源	DC 3.7V　充電池：リチウムイオン充電池（EA-BL13）
消費電力	W-SIM（装着時）：2.4W W-SIM（取外時）：1.9W
使用温度	0〜40℃
外形寸法	（高さ）約135mm×（幅）約56mm×（厚さ）約21mm （キーボード収納時、突起部除く）
質量	約175g（充電池、スタイラスペン、W-SIM含む）
付属品	W-SIM（※1）、充電池（EA-BL13）、USBケーブル、 ACアダプター（EA-79）、ソフトケース、スタイラスペン、 『はじめにお読みください』、『取扱説明書』、CD-ROM、保証書
プログラム	電話、W-ZERO3メール、メール、ライトメール、Opera Browser、 Internet Explorer Mobile、予定表、連絡先、仕事、 メモ、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、Word Mobile、 Windows Media Player 10 Mobile、画像とビデオ、電卓、 ゲーム、バックアップツール、Picsel PDF Viewer、ActiveSync、 ブンコビューア、JBlend（Java™アプリ）
連続待受時間	約500時間（電波状態ランプ消灯時） 約300時間（電波状態ランプ点灯時）
連続通話時間	約7時間

※1　W-SIMは、箱に入っています。
本体のみの販売の場合には、W-SIMは同梱されておりません。

充電池(EA-BL13)

公称電圧	3.7V
公称容量	1500mAh
充電時間	満充電になるまでの時間：約3.5時間（常温25℃、電源を切った状態での目安）
使用温度	0〜40℃
充電温度	5〜35℃
充放電回数	約500回

ACアダプター(EA-79)

入力	100V-240V 50/60Hz
出力	DC 5V 1A

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

困ったときは

この製品を使っていて、『使いかたが分からないとき』や『困ったときは』、ここに書いている内容をご覧ください。
“ActiveSync”については8-16ページもご覧ください。

電話操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● **電話がかからない**	● 市外局番からダイヤルしていますか。 ● 電波状態のアイコンがY.ılやY.ılになっていますか。Y.ılやY.ılになる場所に移動してください（☞1-3ページ）。 ● インターネットに接続中ではありませんか。タイトルバーに⇄アイコンが表示されていると、インターネットに接続中です。接続を切ってください（☞0-21、5-4、5-13ページ）。 ● 通話／通信機能が制限されていませんか。通話／通信機能の制限を解除してください（☞3-38ページ）。 ● W-SIMはきっちりと装着されていますか。W-SIMを一度取り外して、再度取り付けてみてください（☞11-10ページ）。
● **着信音が鳴らない**	● 着信音の音量を確認してください（☞3-24ページ）。 ● マナーモードを設定していませんか（☞3-34ページ）。 ● 安全運転モードを設定していませんか（☞3-35ページ）。
● **電話がかかってこない**	● 電波状態のアイコンがY.ılやY.ılになっていますか。Y.ılやY.ılになる場所に移動してください（☞1-3ページ）。 ● 着信拒否の設定をしていませんか（☞3-42～44ページ）。

● **電話がかかってこない（つづき）**	● インターネットに接続中ではありませんか。タイトルバーに⇄が表示されていると回線が接続したままになっています。ホームページを閲覧したあと、画面右上の✕にタップしただけでは、回線は切れず接続したままになっています。着信時に接続を切るように設定（☞3-30ページ）しても、パケット方式（※）以外で通信を行っている場合は着信しません。 回線を切断するときは、PWR HLDキーを押します。またはタイトルバーの⇄にタップし、表示されたウィンドウの 切断 をタップします（☞0-21、5-4、5-13ページ）。 ※タイトルバーにPTが表示されているときは着信します。またFCが表示されているときもパケット方式で通信しているときは着信します。32PF、64BE、64GRが表示されていると着信しません。 ● 着信転送サービスを利用していませんか（☞3-52ページ）。 ● 電源を切っていませんか（☞1-12ページ）。
● **通話中、相手の声が聞き取りにくい、雑音が入る**	● アンテナマークがやになっていますか。やになる場所に移動してください（☞1-3、1-16ページ）。 ● 周囲が高いビルに囲まれている場所ではありませんか。見通しのよい場所に移動してください。 ● 受話音量が小さくなっていませんか（☞3-13ページ）。

本体操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● 充電池の消耗がとても早い	● **使用していないプログラムを終了する。** Today画面でをタップし、表示されたメモリ（ 実行中のプログラム タブ）画面で一覧から使用していないプログラムを選択して、 終了 にタップ、または すべて終了 にタップします。 ● **画面の明るさを下げる。** スタート – 設定 – システム タブ– バックライト – 明るさ タブをタップして、スライダーで画面の明るさを調節します。スライダーを左端にするとバックライトは消灯します。

● 充電池の消耗がとても早い（つづき）	● **画面の電源を切る。** スタート－設定－システムタブ－パワーマネージメント－詳細設定タブをタップして、チェックを付けて時間を設定します。
● **インストールしたプログラムや大きいファイルを保存していないのにメモリの空き領域がほとんどなくなっている**	● データ記憶用メモリの空き領域が少ないときは、インターネットを閲覧した際のキャッシュ（前に表示したWEBコンテンツなどの記憶）でメモリを使用している場合があります。 このようなときはキャッシュを削除してください。 Internet Explorer Mobileの場合：メニュー－ツール－オプション－メモリタブからファイルを削除をタップします。 Operaの場合：メニュー－ツール－設定－履歴タブからキャッシュ削除をタップします。 ● プログラム実行用メモリの空き領域が少ないときは、Today画面でをタップし表示されたメモリ（実行中のプログラムタブ）画面で、一覧から使用していないプログラムを選択して終了にタップ、またはすべて終了にタップします。
● **画面が暗い**	● 充電池の残量が少なくなっていませんか（☞1-17、10-19ページ）。 ● バックライトの明るさの設定が暗くなっていませんか（☞10-18ページ）。
● **電源が入らない**	● 充電池ぶたが、しっかり閉まっているか確認してください。
● **充電ランプが点灯しない** ● **充電ランプが点滅する**	● 次の順で、充電ランプが点灯（オレンジ色）するかを確認してください。いずれの場合も点灯したときは充電池を10分程度充電してください。 ①ACアダプターを取り外してから、再度ACアダプターを接続して点灯するか確認してください（点灯しないときは②へ）。 ②ACアダプターを取り付けた状態で、リセット（☞11-2ページ）を行ってください（点灯しないときは③へ）。 ③ACアダプターを取り付けた状態で、フルリセット（☞11-4ページ）を行ってください。

● **充電したが本体の電源が入らない** ● **充電開始後所定の充電時間以上が経過しても充電ランプが消灯しない**	● 長期間使用しなかったときなど充電池が過放電の状態になっている場合は、しばらく充電しても本体の電源が入らなかったり、所定の充電時間以上充電しても、充電ランプが黄緑色にならないことがあります。そのときには、ACアダプターを取り外してからリセット(☞11-2ページ)をして再度充電してみてください。 ● 指定の周囲温度(5〜35℃)で充電してください。 ● 満充電後、そのままにしておくと、充電池を消費し、また充電がはじまる場合があります。
● **急に電源が切れた**	● パワーマネージメントを設定していると画面の電源が切れます(☞10-19ページ)。 ● 充電池が消耗すると、電源が切れます。すぐにACアダプターを使って充電してください(☞1-10ページ)。 ● 強い静電気や電気的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。
● **[PWR HLD]キーを押しても何も表示されない(電源が入らない)** ● **画面が明るくなるだけで文字などが表示されない**	● [PWR HLD]キーを約2〜3秒以上押し続けていますか。すぐ[PWR HLD]キーを離すと電源は入りません(☞1-12ページ)。 ● 充電池が消耗していませんか(☞1-17、10-19ページ)。 ● リセットしてください(☞11-2ページ)。
● **[PWR HLD]キーを押すと、1、2秒間隔で電源が入りそうになるが、入らない**	● 充電池が消耗しています。ACアダプターを使って充電池を充電してください(☞1-10ページ)。
● **ACアダプターを接続しているのに満充電にならない**	● この製品を使用しながら充電を行っている(ACアダプターを接続したまま使用している)場合、約7時間で満充電にならずに、充電が自動的に終了することがあります。ACアダプターをいったん取り外し、再度ACアダプターを接続してください。ACアダプターを約7時間以上接続したままにすると、充電を停止します。
● **ACアダプターを使用中や充電中に、ACアダプターやこの製品が温かくなる**	● 故障ではありません。ACアダプター使用中や充電中は、ACアダプターやこの製品は温かくなります。
● **ACアダプター使用中、ピーと音がする**	● 故障ではありません。ACアダプターの性質上充電時に小さくピーと音が鳴ることがあります。

● すべてのキーが働かない ● データを正常に表示しない	●「異常が起きたとき」(☞11-2ページ)の対処方法を順に試してみてください。 ● キーロックにしていませんか。 キーロックが働いているとキーを押しても動作しません。キーロックを解除してください(☞1-8〜9ページ)。
● 電源を入れたままW-SIMの抜き差しを行い、動作しなくなった。	● リセット(☞11-2ページ)を行ってください。リセットを行っても正常に動作しないときは、フルリセット(☞11-4ページ)を行ってください。
● miniSDカードを認識しない	● 奥までしっかりと装着していることを確認してください。 ● 表裏が逆になっていませんか。端子面を上にして装着してください(☞1-57ページ)。 ● いったん本体からカードを取り外し、リセット(☞11-2ページ)をしてから、再度カードを装着してください。
●「シュルシュル」という音がする	● 静かな場所でご使用のとき、「シュルシュル」という音が聞こえる場合がありますが、これは構成回路の動作音であり、故障ではありません。

インターネット接続／メール操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● インターネットに接続できない	● プロバイダーのアクセスポイントの電話番号があっているか確認してください。 ● インターネットに接続するユーザー名/パスワードが合っているか確認してください。文字を入力時、大文字と小文字、全角と半角、「0」(ゼロ)と「O」(英字のオー)、数字の「1」と「l」(英字のエル)などをまちがえていないか、よく確認してください。 ● サーバーアドレス(DNSサーバー)などが、プロバイダーから指定されたものと合っているか確認してください。 ● 電波状況が良好か確認してください(☞1-3、1-16ページ)。
● メールの送信や受信ができない	● メールアドレス、ユーザー名、パスワード、メールサーバーなどが、プロバイダーから指定されたものと合っているか確認してください。

● メールの送信や受信ができない（つづき）	●プロバイダーのアクセスポイントの電話番号が合っているか確認してください。 ●“メール（Outlook）”を使ってメール送信するときは、アカウントを切り替えてから必ず、画面右下の メニュー ― 送受信 （☞4-37ページの手順**8**）を行ってください。この操作を行わないと、メールは「送信トレイ」に入ったままになっています。
● メールが途中で切れている／添付ファイルが受信できない	【W-ZERO3メール】 ●メールの一部を受信するように設定していませんか？ アカウントの設定画面（ 動作設定 タブ）で「受信行数制限設定」にチェックを付けていると、メールの一部しか受信しません。 このような場合は、メールの全部（全体）を受信してください（☞4-15ページ）。 【メール（Outlook）】 ●「メッセージヘッダーのみ取得する」設定にしていませんか？ オプション（3/3）画面（☞2-18ページ）で、「メッセージヘッダーのみ取得する」にしていると、一部しか受信しません。 全文を受信するときは、4-45ページをご覧になり、メールの全部（全体）を受信してください。
● 長い件名のメールを送受信すると、件名が文字化けするときがある（“メール”）	【メール（Outlook）】 ●送受信するメールの件名が全角で19文字以上になると件名が文字化けする場合があります。件名は、全角18文字（半角36文字）までにしてお使いください。
● 添付メールは何MBまで対応できますか？	●仕様としての制限はありません。 本体メモリーの空き容量やサーバーによって異なります。なお、Eメール（ウィルコム）アカウントでの添付可能なファイルサイズの上限は、約1MBです。
● メールアカウントは、複数設定できますか？	●【W-ZERO3メール】：10件 【メール（Outlook）】：7件
● 絵文字に対応していますか？	●絵文字には対応していません。絵文字は送信／受信ともにお使いいただけません。

● miniSDカードに直接メールを受信できますか？	● miniSDカードに、直接、メールを受信することはできません。 また、受信後のメールをminiSDカードに移動／コピーすることもできません 。 添付ファイルのみ、データ保存領域をminiSDカードに設定することができます。
● メールが文字化けする	【メール（Outlook）】 ● 長文のメールの場合、文字化けすることがあります。改行を入れて文章を区切ったり、文章を短くしてください。
● 設定したメールアカウントを削除する方法を教えてください。	【W-ZERO3メール】 ● 受信トレイ一覧画面などで、メニュー－その他－アカウント設定から、削除したいアカウントを選択し削除－はいにタップします。 【メール（Outlook）】 ● メールの一覧画面でメニュー－ツール－オプションから、削除したいアカウントをタップしたままにして表示されたメニューから削除－はいにタップします。
● メールを受信後にサーバーから消す設定はできますか？	【W-ZERO3メール】 ● アカウントの設定で行います（☞2-10ページ）。 【メール（Outlook）】 ● Eメール（ウィルコム）の場合は、メールプロキシ（☞4-51ページ）で設定します。 ● プロバイダーのメールの場合は、メールを受信した後に、サーバーからメールを削除する設定はありません。「削除済みアイテム」フォルダに入れたメールを削除（[削除済みアイテムを空にする]を実行）してサーバーに接続すると、メールはサーバーから削除されます。 くわしくは、4-33、4-49ページをご覧ください。
● ライトメールの送信ができない	● 宛先となる電話番号を間違えていませんか。ライトメールは、ライトメール対応電話機にのみ送信できます。 ● 送信相手が電源を切っている、エリア外、話し中などになっていませんか。送信できないライトメールは送信待ちフォルダに入りますので、時間をおいて送信してください（☞4-71ページ）。

● ライトメールの送信ができない（つづき）	● 連絡先に登録している電話番号を使ってライトメールを作成するとき、（電話番号）選択画面でまちがった電話番号を選び（ライトメールに対応していない電話機の電話番号）ライトメールを作成すると、その宛先には送信できません（そのライトメールは送信待ちフォルダに入ります）。宛先の電話番号を確認してください（☞4-74ページ）。
● ライトメールの受信ができない	● エリア外や電源を切っていませんか。エリア外にいると、ライトメールの受信はできません。
● ホームページが表示できない	● サーバーアドレス（DNSサーバー）の設定をまちがえていないか確認してください（☞2-24ページ）。
● すでに受信したウィルコムのメールを再度受信する	【W-ZERO3メール】 ● パソコンなどを使ってウィルコムのメールサーバー上にある最後に受信したメールを削除すると、次にこの製品でメールを受信した場合、（ウィルコムのメールサーバーの仕様により）受信済み／未受信にかかわらずサーバーに 残っている全メールを受信するため、受信済みのメールが重複することがあります。

その他のプログラムで困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● プログラムの終了はどのようにするの	● 画面の右上の ok や ✕ にタップしただけでは、プログラムは終了しません。1-27ページに記載の方法で、プログラムを終了してください。
● メモリー不足の画面が表示された	● 使っていないプログラムを終了してください（☞1-27ページ）。
● 画面の縦横切り替えなどが遅い	● 使っていないプログラムを終了してください（☞1-27ページ）。
● 他の機種から電話帳などを転送できない	● W-SIMを使っている機種は、「電話帳転送」を行ってください（☞3-47ページ）。 ● この製品はMicrosoft Outlookと同期できます。お使いの機種がOutlookと同期できる場合は、その機種とOutlookを同期したのちこの製品と同期することで転送することができます。

同期(ActiveSync)操作で困ったとき

インストールできないときなど困ったときは、8-16ページもご覧ください。

こんなときは	ここをお確かめください
● ActiveSyncがインストールできない ● ActiveSyncを使って接続／同期ができない	● パソコンにウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトをお使いのときは、それらを停止してからインストールしてください(ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトを停止する方法は、各ソフトウェアの問い合わせ先へご確認ください)。 ● パソコンにOutlookがインストールされているか確認してください。ActiveSyncと同期するときは、Microsoft Outlook98以降が必要です。
● 付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続しても、ActiveSyncが動作しない	● パソコンに正しく接続されているか確認してください(☞8-6ページ)。 ● ActiveSyncの接続設定を確認してください。 1. パソコンのActiveSyncを起動させます。 2. [ファイル]ー[接続の設定]で、「USB接続を有効にする」にチェックが付いているか確認してください。 ● 接続方法を変えてみてください(☞8-18ページ)。
● 同期がうまく取れなくなってしまったのですが	● 複数のアプリケーション(プログラム)を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください。 ● 同期中に接続／切断を繰り返したり、USBケーブルを取り外したりすると、正しく接続できなくなることがあります。 このような時は、本体をリセットし、パソコンを再起動させてからもう一度接続してください。
● 同期する情報の種類を変更するには、どうすればよいのですか？	● 次の操作をしてください。 1. パソコンのActiveSyncを起動させます。 2. [ツール]ー[オプション]をクリックします。 3. 同期する情報の種類を変更して[OK]をクリックします。

アフターサービスについて

保証について

①この製品には保証書がついています。

・保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

②保証期間は、お買いあげの日から1年間です。

・保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

③保証期間後の修理は…

・修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

・当社は、この製品の補修用性能部品を、製造打切後5年保有しています。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

①「困ったときは」(☞11-24ページ)をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
②それでも異常があるときは使用をやめて、下記のシャープドキュメントシステム株式会社、またはウィルコムサービスセンターにお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。
③故障・修理のときは、本体のデータや追加ソフトウェアは消去されます。

修理に関するお問い合わせ先

● シャープドキュメントシステム株式会社
大阪フィールドサポートセンター
住所　　　　：大阪市平野区加美南3丁目7番19号
ナビダイヤル：0570-081010
受付時間　　：月～金(午前9時～午後5時40分)
※全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
※IP電話・PHSからはご利用いただけません。06-6794-9708へおかけください。

● ウィルコムサービスセンター
ウィルコムの電話から ....(局番なしの)116
一般加入電話・公衆電話から 0120-921-156
(携帯電話・PHSからもかけられます)
受付時間　9:00～21:00(日・祝日を除く)

株式会社ウィルコムの電話・サービスに関する お問い合わせはウィルコムサービスセンターへ

ご利用のお申し込み・お問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ……………………………… (局番なしの)**116**
一般加入電話・公衆電話から …………… **0120-921-156**
携帯電話・PHSからもかけられます
受付時間 ／ 9：00〜21：00（日・祝日を除く）

データ通信に関するお問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ……………………………… (局番なしの)**157**
一般加入電話・公衆電話から …………… **0120-921-157**
携帯電話・PHSからもかけられます
受付時間 ／ 9：00〜21：00（日・祝日も受付）

ホームページもご覧ください

http://www.willcom-inc.com/

操作方法などわからないときは

Step1 この取扱説明書の「さくいん」（☞11-20ページ）や「もくじ」（☞0-2ページ）を使って説明を探す

Step2 この製品のホームページにある「Q&A」を探す
http://wssupport.sharp.co.jp/qa/

Step3 シャープ「お客様相談センター」へ問い合わせる
0120-606-512
受付時間 ／ 月曜〜土曜：午前9時〜午後6時
（日・祝日および年末・年始、当社の休業日は除く）

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

06G28.3T（TINSJ1376YCZZ）②